KENWOOD

CDに、マガジン

**1枚がさっと聴ける。7枚をいっきに聴ける。アローラのCDチェンジャーは、6連奏CDマガジン&1ディスクトレイ。**

6+1 CD CHANGER

1枚のCDを取り替えるのにいちいちマガジンを出し入れするのはめんどくさい。そこでアローラのCDチェンジャーは、6連奏CDマガジンとは別に、通常のCDトレイも装備。BGMとしてよく聴くCDはマガジンにまとめてセット。ニューアルバムをさっと聴きたい場合はCDトレイにセットして聴く。というように使い分けができる便利なCDチェンジャーです。マガジンとトレイの合計7枚のCDの連続プレイももちろんOKです。●**プログラムプレイ**/目一杯セットした7枚のCDから好きな曲を好きな順で、最大32曲までプログラムして再生できます。●**リピートプレイ**/7枚のCD全部のくり返し再生はもちろん、プログラムした全曲、あるいは指定した1曲だけでもリピート再生できます。●**ランダムプレイ**/7枚のCDからマイコンがランダムに曲を選んで再生します。●**電動オープン・クローズパネル**/リモコン操作で自動開閉する電動パネル。クローズ状態は美しい大型FLディスプレイになります。●**CDライブラリー**/オプションの8cmCDマガジンの追加で、12cm・8cm混合のCDマガジンも可能。アーチスト別のCDライブラリーを作るときなどに便利です。

●6連奏CDマガジン&1ディスク・トレイ

SCHROEDER:
©1951 United Feature Syndicate, Inc.

XF3M
NEW

**本体標準価格139,800円(税別)** レシーバー、6+1チェンジャータイプCDプレヤー、Wデッキ、AIグライコ、スピーカー、リモコンの一体価格

オプション●スーパーウーファーSW-07 標準価格39,800円(税別)●6連奏CDマガジン(8cmCD用) CDM-608 標準価格2,500円(税別)

ORA

●あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用することができません。●ドルビーはドルビー研究所の登録商標です。

●カタログをご希望の方は、郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢・性別・職業・ステレオの有無・希望製品名をご記入のうえ、〒150 東京都渋谷区渋谷1-2-5 アライブ美竹 株式会社ケンウッドC.I.部 パチパチ10A係まで、お申し込みください。

KENWOOD CORPORATION

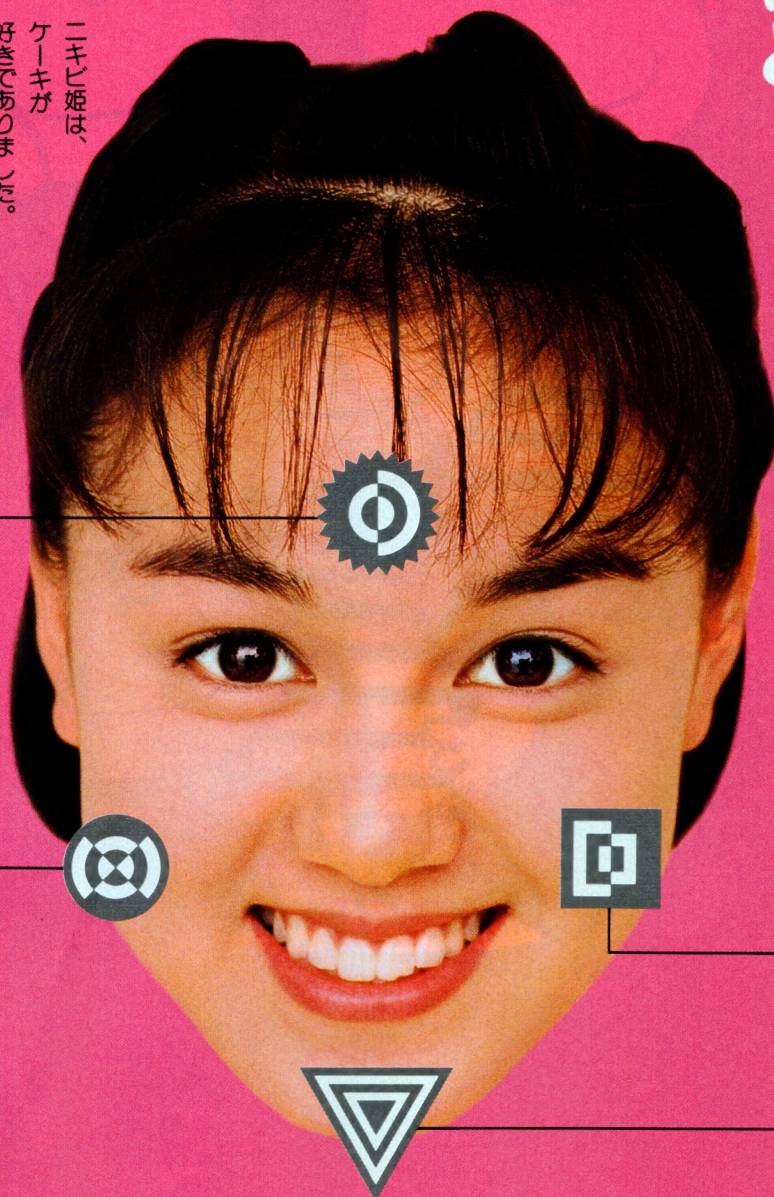
たし、ナナレンジャー。

ALL

SCHROEDER: © 1951 United Feature Syndicate, Inc.

SHISEIDO
FINE TOILETRY

# わかっているけど やめられないの、ニキビができると困るけど。

ニキビ姫は、ケーキが好きでありました。

ニキビ姫は、
夜ふかしが
好きでありました。

ニキビ姫は、
恋のストレスありました。

ニキビ姫は、汗っかきでありました。

## …だから洗顔

肌へのやさしさを考えて、エクボアクネ洗顔フォームが新登場。薬用だからニキビケアもしっかりと。泡もたっぷり、さっぱり洗えてつっぱらない。洗いあがり、肌つるつるなめらかだから1日何回でも洗顔できる。

①有効成分配合で、ニキビの原因となる細菌をおさえて肌を清潔に保ちます。
②肌にやさしい生体関連洗浄成分AMT配合。そして、洗顔後のつっぱり感がありません。
③クリーミーな泡立ちで、マイルドな洗い上がりです。

肌にやさしく、さっぱり洗える薬用洗顔フォーム
**エクボアクネマイルド洗顔フォーム**
新発売 （医薬部外品） 110g 600円／ 60g 400円
表示価格に別途消費税が加算されます。AMT：アシルメチルタウリン

大小のつぶつぶが
肌あたりソフトになって
改良新発売。

**エクボアクネ洗顔フォーム**
（医薬部外品） 110g 600円
60g 400円

MONTHLY

おもしろ六気ヤング・ミュージック・マガジン パチ・パチ

# PATi・PATi

11

# 小室哲哉・ソロアルバム『HIT FACTORY』大特集

[小室哲哉 パチ・パチ特製 オリジナル・グッズ プレゼント!!]

▶大好評FAXサービス第7弾
[小室哲哉・木根尚登・宇都宮隆・谷口宗一・リンドバーグ]

▶SOUND MAGAZINE 創刊第4弾
[井上睦都美 橘いずみ 八反田理子CDプレゼント]

▶全員サービスカレンダープレゼント

▶Mr. Childrenクリスマスイベント決定!!

▶ロッテンハッツ 全国6ヶ所初ツアーに御招待!!

▶福山雅治パチ・パチ私設ファンクラブ 会員募集中

'93

## アクセス 66
●浅倉大介率いるスーパー・ボーカル・ユニットが新登場。この音はキョーレツ!!

## 佐久間学 68
●ここまで書いてしまっていいのだろうか。でも本当に彼が経験したことです、これは。

## 木根尚登 88
●ソロ・アルバムを制作中の木根さん。木根さんらしいレコーディングなのです。

## 谷口宗一 123
●ソロとしてレコーディング中の谷口くん。どこよりも早くパチ▸パチがキャッチ。

## BUCK-TICK 95
●B−Tが久しぶりに姿を見せた横浜アリーナ2DAYS。やっぱりカッコイイ。

## マンナ 104
●梶原もと子嬢、御自ら書いてもらったルナパークでのライブ楽屋裏レポート。

## BY-SEXUAL 100
●全然関係ないけど、「DEEP KISS」のビデオの最後でRYOが笑ってんの見た?

## チェッカーズ 190
●今月は、MASARINAです。そして、ジャイアンツ大久保選手も出てます。(笑)

## BAKU 49
●夏いっぱいで解散してしまったBAKU。パチ▸パチ最後の記事は、メンバーがメンバーを撮影した写真+読本で連載されていた「ぼくたちの物語」の感想文(もちろん自分が主人公だった回のヤツね)を掲載!というメモリアル企画。ちなみに絶賛発売中!のパチパチ読本ではBAKUの表紙・巻頭特集を60ページ大特集。10月下旬に発売予定の単行本もナイスなできばえ。Thanks a lot!!

# 小室哲哉 9
●パチ▸パチ11月号の表紙・巻頭特集は、完成したばかりの小室哲哉のソロ・アルバム、『HIT FACTORY』の大特集です。『HIT FACTORY』はその名のとおり、ヒット曲のオンパレード。作曲家として他のアーティストに提供した数多くの曲の中から選ばれた7曲を、彼自身が歌ったカバー集――なのですが、もちろんそこは先生のこと、さまざまな手が加えられています。オリジナルの新曲も3曲収められているこのアルバムのことを、先生はあらゆる角度から語ってくれました。1曲1曲にまつわるお話もとても興味深いものでした。

さらに、御存知のようにマイアミでレコーディングされ、N.Yでトラックダウンされたこのアルバム制作後、彼は早くも次のレコーディングにかかっていたのでした。今度はL.Aで。L.Aでの撮りおろし写真と共に、その生活ぶりも御紹介しましょう。

とにかくやっとやっと帰国した先生です。久し振りにたくさんの写真と、たくさんのインタビューで先生をお伝えできるこの特集、ゆっくり楽しんでください。

恒例となったあら?カルトQ、先生自らが考えてくれたパチ▸パチ、オリジナル・グッズ、そしてFAXサービスの情

## 杏子 107
●ソロとしての活動が本格的にスタートした杏子。今、彼女はどういう気分なんだろう? 恋愛相談室は1回お休みです。

## CUTE MEN 126
●実は秘かにFANが増えつつあるキュートメン。2号連続企画で、ふたりのことをもっと知ろう。今月はヒコリンだ。

## 槇原敬之 194
●ツアー中の槇原くん。噂によると、ライブを見た女の子は泣いちゃうんだって。

スピッツ……70
詩人の血……94
井上睦都実……111
橘いづみ……111
To be Continued……130
M-age……●
L↔R……162
KIX'S……164
GAO……165
LADIA……166

ジガーズサン……167
鈴木彩子……178
T-BOLAN……183

コンサートスケジュール……172
イトウアキ走る!……163
パチ▸パチ・ランド……175
BUHi♥BUHi……●
プレゼント……222
インフォメーション……224

MONTHLY

# PATi-PATi 11 1992

第8巻第12号　1992年11月9日発行
編集人：吾郷輝樹　発行人：吾郷輝樹　発行所：株式会社ソニー・マガジンズ
〒102 東京都千代田区五番町6－2　TEL. 03-3234-7906(編集)
印刷：凸版印刷株式会社


## CONTENTS

**福山雅治** 41
●前回のシングルが初のベスト・テン入りして、次のシングル・アルバムの制作は、さぞプレッシャー受けてんだろうなと思ったけど、福山クンはいつも通りでした。(少なくとも表面上は) 自信があるのかどうかわからなかったけど、とりあえず詞が書けずに期限は迫っているらしい。どうなるんだろう…。という状況でお送りする"福山にとってレコーディングとは?"というお話です。どうぞ。

**氷室京介** ●
●11月にはNEWシングルが予定されるヒムロック。今月は彼の'90年を追う。

**米米クラブ** 132
●"E"の次は"N"!? 再び世に問うカールスモーキー石井責任編集本とは?

**リンドバーグ** 200
●写真が秋っぽくて、大人っぽいでしょ。ストーリーの方は、いよいよこれで最後

**B'z** 31
●バンドっぽい音になったシングル「ZERD」に秘められた今後の展開とは?

**JUN SKY WALKER(S)** 140
●"ジュンスカが変わった"～こんな噂の真相を追求。彼らは本当に変わったのか?

**THE BOOM** 55
●今月から4回シリーズでお届けするパーソナル・インタビュー。栃木さんから。

**プリンセス・プリンセス** 184
●「もういっぺん同じ企画やってもいいよ」とメンバーは気に入ってくれた…。

**電気グルーヴ** 71
●満を持して発売される『KARATE KA』の話をたっぷり原稿用紙15枚分だ。

**ガーランド** 204
●カナちゃんの恋のお話のはずが脱線して…。VSパチ²ボーリング大会も必読!

**ホブルディーズ** 58
●そういえば、この人たちの年齢ってプロフィールに載ってないんですけどお。

**布袋寅泰** 154
●『GUITARHYTHM Ⅳ』解説&ライブレポート。布袋さんはやっぱスゴイ!

**WIZ KIDS** 60
●全員揃っての写真撮影、全員揃ってのインタビュー。これが彼らの実態です。

**ロッテンハッツ** 145
●デビュー直前っちゅーことで、今年の夏は6人にとって超忙しかったらしい。

**ソフトバレエ** 157
●美しい男"遠藤遼一"を解剖してみた。今、明らかになる衝激の幼年、少年時代。

**CHARA** 92
●新シリーズなのよ。でもって今月もCHARAちゃんとウッツーは冴えていた。

**モダンチョキチョキズ** 62
●我らがアイドル"マリちゃん"のお料理教室。メニューは全て天津甘栗料理?

**Mr. Children** 149
●愛の求道者(ぐどう)ミスチル(ウソ)の今月のテーマは"大人の恋"。イベントも開催決定!!

**大江千里** 179
●ニューシングル「ありがとう」のインタビュー。写真は久しぶりの大アップ!

**吉川晃司** 197
●始まったばかりのツアー&ニューシングルについて。All吉川直筆メッセージ。

**ブレインドライブ** ●
●カッコイイけどよくわからん。そんな疑問を抱いている君。これでわかるはず。

**UNICORN** ●
●5人が持ち寄ってくれた愛用品、お気に入り、きれいなもの、かわいいもの…etc。その中にあったんです。キクちゃんなるバイク・レーサーのビデオが。それが今月のインタビューがこういうテーマになるきっかけだったのです……。そんなわけで、みな様はまた1人、ユニコーンさんのお友だちのことを知ることができることとなりました。新連載「エキサイティングを呼べ!」もヨロシクね♡

●パチ▶パチ特製ポスター➡小室哲哉／電気グルーヴ・ソフトバレエ

▶ART DIRECTION：染谷淳一＝HEAD BUTT
▶DESIGN：染谷淳一／村井美香／中村慎吾／前田銀象＝HEAD BUTT
▶EDITORIAL DIRECTION：吾郷輝樹　▶EDITORS：吾郷輝樹／吉田好見／黒木ミドリ／藤本昌俊／村田茂／千脇晶子／吉田祐子／山崎恵理子／伊藤亜希
▶ASSISTANT EDITORS：鈴木香里／千葉瑞穂
▶ALL WRITERS：森田恭子／佐野郷子／河合美佳／鉄石美保子／伊藤亜希／山下由美子／宇都宮美穂／川崎和哉／藤沢映子／天辰保文／小杉之子／松浦靖恵／金井覚／吉村栄一／佐藤大／能地祐子／小貫信昭／三浦雅子／根田美聡／伊藤あゆみ／松野ひと実／飯塚早苗／田沼功／吉川晃司／谷口宗一／車谷浩司／加藤英幸
▶PHOTOGRAPHERS：三浦憲治／小木曽威夫／鈴木圭／加藤正憲／山内順仁／大川直人／北岡一浩／塚越健治／杉山芳明／石黒美穂子／ZIGEN／小松陽祐／植田信／坂本正郁／おおくぼひさこ／奥山清紀／管野秀夫／細野晋司／石渡憲一／三浦麻旅子／種田宏幸／青木太伸／南部康男／ハービー山口／田中和子

COVER/ART DIRECTION●JUNICHI SOMEYA　PHOTO●YORIHITO YAMAUCHI
STYLING●YOKO TANAKA　HAIR & MAKE-UP●YOSHIO YOKOHARA

# ACTORY

# MURO

小室哲哉のソロアルバム、『HIT FACTORY』が完成した。10月21日リリースのこのアルバムには、彼が他のアーティストに提供した曲を彼自身がカバーした7曲と、新曲3曲が収められている。ようやく帰国した"工場長"のお話とお姿をお届けします。

Photo by Yorihito Yamauchi
Copy by Nobuaki Onuki
Styling by Yoko Tanaka
Hair＆Make-Up by Yoshio Yokohara
衣装協力●グラスメンズ（グラスインターナショナル）サトミギャラリー、ヌード・トランプ

HIT F

TETSUYA
KO

HIT FACTORY
TETSUYA KOMURO

# AS A VOCALIST

●作曲家として提供した曲を、ボーカリストとして歌った今回のアルバム。2者のバランスはどう保たれているのだろう。

## 最終的に僕のメロディが抽出されれば最高

HIT FACTORY
TETSUYA KOMURO

『ヒット・ファクトリー』が完成した。このアルバムは、小室哲哉が贈る「作曲家のアルバム」であり、「歌のアルバム」でもある。そのふたつの要素を、微妙なバランス感覚で合わせ持つことに、大きな意味がある。

——マイアミ、ニュース見ましたか？ もう少し時期がズレてたら、小室さんも避難してたかもしれない。大ハリケーンの〝アンドリュー〟に襲われて！

「僕が居た頃は、台風のカケラもなかったから。マイアミでスタジオをふたつ使ってたんですけど、そのひとつは避難地区になってたしねぇ。ロスから連絡しようとしたんですよ。でも電話がつながらなかった。(テレビ見てても)、なんか僕が居たのと同じ場所とは思えないほどでしたよ」

——それで、前回、シングルの『Magic』の話を電話インタビューで伺った時、今回の『ヒット・ファクトリー』ってアルバムは、どの曲も平均してるから、曲順とかどうでもいい感じだったって言ってたでしょ？ でも実際には、インストゥルメンタルが調度いい場所に入っていたりして、〝アルバムを構成する美学〟も感じたんですけどね。

「まぁ確かにね、どうでもいいっていっても、さすがにそういうものでもなかったんですけどね。(笑) 一応は考えた。だいたい完成したところで、マイアミから日帰りでバハマに遊びにいった時に、往復で12時間くらい船乗るし、その間、聞いてみて考えようと思って聞いてたりしたし」

——それ、船がカジノになってるって奴でしょ。でも、バハマに行く豪華客船の中で曲順を決めたなんて、とんでもなくゴージャスだなぁ。(笑)

「でしょ。ゴージャスに、聞こえるでしょ？ でも実際はゴージャスじゃなくて、12時間船に乗ってて、途中で寝たい人もいるのに、でも寝るところはないから、そこら辺でザコ寝してたりもする、そんな状態だったんですよ。いったん国外に出るから、帰りはまたアメリカに入国をするんだけど、一応まあ船の中に税関みたいなのがあってね、そこでまた2、300人並んでる。帰りはみんなヘトヘト。結構、すごい悲惨でもあったんです。まあそれなりにバハマは凄い青空だったし、行って良かったけど、そんな船の中で、一応曲順を考えたりしたんですけどね。それぞれ作曲した年代は別々だから、順序だててそれを並べることも出来たけど、それはやめて」

——よく海外でレコーディングすると、現地での音と東京帰ってからの音にギャップが感じられたりするっていうけど、こうして帰国してみて、その辺どうですか？

「う〜ん。東京では、まだ聞いてないんだけど、(笑)でも東京の音になってるんじゃないかな、結局は。ソニーの工場って、静岡かなんかですよね。そこで最後にCDになるわけだから、最終的には静岡産になって帰ってくるっていうね。回り回って。どうしても日本の音になる」

——静岡だから、日本茶の成分も、そこでチロッと入り込む。(笑)

「おいしいミカン食べてるおばちゃん達とかも、工場で手伝ってくれてるし、そういう音にもなってるかな。(笑)でも、それでいいと思ってますから。それがラジオで掛かると日本の音楽になる。いい意味で中途半端で、色々な要素が、ちょっとづつ味付けしていくっていう感じでね」

——そもそも今回は、マイアミに触発されて曲を作ったりしようと思った段階から、そのいい意味での中途半端って考えはあったわけですからね。

「ええ、そうですね」

——『ヒット・ファクトリー』には様々な面があるけど、小室哲哉のボーカル・アルバムという側面ではどうですか。

「自分で聞いて、あんまり〝嫌だなぁ〟っていうのがなかったですからね。だからそのまま出しちゃった。決してまあ、成長して良くなってるとかってことではないですよ(笑)」

——作曲家の歌っていうものが、世の中にはあるでしょ。例えばジョビンのそれ、バート・バカラックが自身で歌ってる奴とかもある。ああいったものに漂う独特の雰囲気って確かにある。専業歌手が観衆を前にして歌う、いわゆるプロの歌とは違うものですね。それと、普通に歌手といわれている人がうたう歌と……。こう考えると歌にも二系統のものがあるような気がするんですよ。その辺の兼ね合いなど、お聞きしたいなぁ、と。

「ええと、例えばデヴィッド・フォスターとかも、デビュー・アルバムでは1曲自分でもボーカル歌ってるんですよね。でも、2枚目からは結局歌わなくなっちゃったんですよ。勿体ないなぁと思うけど、やっぱり上をいく人はやたらアメリカにはいるわけだし、彼の歌はアース・ウィンド&ファイアーとかシカゴとか、そういう人が歌ってるわけだから。僕なんかも、(ボーカリストとして) 人の前に立つとぜんぜん萎縮しちゃう、ちっちゃくなっちゃうと思うんですよ。ただ、今回は非常にプライベートな、パーソナルなものだったから、それで気負いもなく歌えちゃったってところがあると思うんですよ。だから、いま言ったようなバランスがね、上手く保たれていればいいなって思いますね。そのバランス忘れて欲を出すと、ちょっとっていうのがあってね(笑)」

——なるほどなるほど。

「デヴィッド・フォスターもね、もし何かヨーロッパ向けの企画とかだったのなら、全曲自分で歌ったんじゃないかと思うんです。でも、アメリカで出すとなると、いくらコンポーザーとしてはいい立場にいられても、シンガーとしてはちょっとカワイイね、になっちゃうから…。そういう、(自分のいる) ポジションと考えちゃう。僕は幸い、それをパーソナルな気分で出来ましたからね。もしこのアルバムを〝シンガー〟ってことで考えて作ってたら、もっと〝上手く聞こえる曲〟を作るってところもあったかもしれない。

——ここでは他人の服にそのまま手を通してるが、話が違ったら、もっと洋服を新たに仕立てるみたいな、そういう作業してたと思うと。

「そうですね。このアルバムはそういうものとしては作ってないから、最終的に僕のメロディが抽出されれば最高っていうか。だから歌詞カードとかも、全部ローマ字にして、ちょっととんでもないんだけど、CD買った人が歌詞を追いながら聞こうとしても、途中でそれを諦めてくれるんじゃないかってのがあるんです。そうやって、メロディに集中してもらおうって。そっちに誘導するために歌詞カード、ローマ字表記にしたんです」

——徹底してるなぁ、その辺。(笑)

HIT FACTORY
TETSUYA KOMURO

新作『ヒット・ファクトリー』は、小室哲哉のこれまでの作曲活動を、見やすい（もちろん実際には、聞きやすい、だが）形でファイル化したものだ。このアルバムを通して聞くことによって、彼が音楽を生み出す時の、彼ならではの汗のかきかた、助走のつけかた、はにかみかた、夢のみかた、などを理解することが出来る。

つまりこれまでの活動の、総まとめ的な意味あいであり、受け取るわれわれは、作曲家としての彼の、いわば生理のようなものと対面することになる。

そしてもうひとつ、『ヒット・ファクトリー』は未来へつながっていく。工場は、生産をやめてしまったわけではなく、ここでちょっと工作機械の点検をしたり、人員の点呼をしたり、もっと創造性豊かな場所へと、変化しようとしているわけだ。

これから彼が語ることは、ニュー・アルバムの解説であると同時に、小室ファクトリーの過去現在未来をも意味している。

――とりあえず、シングルの「Magic」の話は前回したけど、アルバムの中でのこの曲の位置は？

「今回マイアミに行くっていうことが決まってから作ったものなので、一応そういうイメージ、ウエットにならずにドライな感じでというのを持ちつつ作りましたよね。それでこの曲はね、いままでの僕の財産でもありつつこの先作るメロディの架け橋にならないといけない、ちょっと新しい味にしたいな、という、そんな曲なんですよ。だからイントロの部分とか、ちょっといままでの僕にはなかったものを使ったりしてるんです。イントロのど頭を聞いて〝ちょっと違うな〟って思ってくれたら、今後の架け橋になるかなって。今後、作曲家として、こういう方向も出てくるのかな、ということを示唆していますね」

――ファンの人は、その辺に今後の予感を感じてください、みたいな。

「ええ。だから「Magic」って曲はね、曲順としてはアルバムの2曲目なんだけど、気分としてはラストにあるんです」

――作曲家・小室哲哉にとって、懐かしい曲というと？

「そうですねぇ。この中で一番古いメロディはね、「Kimi ni Aete」かな？ メロディとか、それこそ高校くらいの時ですからね、これ作ったの。TMとか始める前に、誰に歌ってもらうでも、自分達でグループやるでもなく、なんとなく曲を溜めてた時期があったんですよ。その中にあった曲だから」

――その頃って、どんな風に曲を記録してたんですか。

「もう、ちゃんと聞けるデモ・テープでしたけどね。ラッキーなことに、あるスタジオをね、空き時間自由に使えたんですよ。だから24チャンとか、あ、最初は16チャンだったかな。で、そのデモ・テープのままですよ、これ。ほとんどピアノだけですからね。それで渡辺美里さんに提供した時も、おんなじようなピアノと歌って感じだったし。イントロとかは、アレンジの清水信之さんのアイデアだったんですけど。それを僕が、今度はそのアイデアを借りたっていう」

――しばらく親戚の家に子供預けてたら。

「ちょっと知らないものがついてきた。（笑）オリエンタルな印象のものが。でも、外人の人、アメリカ人のひととか、ああいうの聞くとすごくオリエンタルな印象を受けるみたいですよ。なかなかああいう感じは出てこないみたい」

――では、この曲に関しては、かなり最初から完成されていた曲。

「まあ、最初に作った時から〝出来上がっちゃってた〟ってことですね。この曲を聞いてもらうと、僕の一番初期のデモ・テープ作りの様子が分かると思うんですけど。当時はこんな感じでしたよ、という」

――その後の作品としては……。

「次はぱぱっと同じ時期だと思うんですよ。僕は〝マイ・リヴォリューション〟ていう曲で業界に作曲家として知られるようになったんですけど、それでみんな、〝アイツに曲を書かしてみよう〟って連絡してくれるようになった。〝ウチの小泉に〟とか、〝ウチのミホに〟とかね。（笑）そういう時期があって、道場破りじゃないけど、違うメーカーのアーティストにも曲を書くようになっていくんです。渡辺美里さんは、たまたま同じエピックでね、プロデューサーも同じ人だったけど。だからその時期に、一気に外に出てったっていうか」

――「50／50」の具体的な思い出とかありますか。

「中山美穂さんに提供したこの曲はね、この曲を作る前に一曲やってたし、向こうも僕のデモ・テープを楽しみにしていてくれたんですよ。ディレクターの人とか、夜中に僕がこの曲出来たら、ずっと待機してて〝今から車で行くから！〟とかって、わざわざ聞きにきてくれたりして。まあ普段は表に出ない裏方の話ですけど、そういう楽しさが当時はあったんです。あとこの曲は、「カモン・レッツ・ダンス」とか、ああいうTMの路線が見えてきた時期で、たとえばダンス系のリズムの強いやつとかね。その勢いで作ってみたところがありますね。美穂さんのアルバムには、この時期に〝アルバムの中の一曲〟みたいな形でもうひとつ作ってて、それがTMの最初にやった武道館でのライブのオープニングの音楽と似てたりとかもしてるんです」

――その時期、小室さんの頭の中に舞ってたフレーズがそういうものだった、ということでしょ？

「そうかもしれないです。ただ、御本人はこの曲、すごく難しいし、大変だったと思いますよ。よく歌えたと思って」

――曲の難しさは、今回自分で歌ってみて……。

「すごくよくわかりましたねぇ。（笑）あとこれ、歌詞が新しくなってますけど、相変わらずこの曲はフィフティ・フィフティのままです。ふたりの行方はわからないまま（笑）」

――「Good Morning-Call」は同じ時期ですか。

「この曲を頼まれたのが、確かTMの忙しい時期じゃなくて、ポッカリ開いてたっていうか、いろいろと（アイデアも）溜まってた時期なんですよ。それで、このパターンでこの後に曲を作ったこともあるから、これはそういう意味で〝1号機〟っていうかね。新製品、つまり新曲のことですけど、ひとつ出来てヒットすると、そのパターンでいくつか作れちゃうこともあるんです。これはその新しいパターンていうか、ちょうどそれが出来た時に依頼をうけたので、タイミングが良かったんですよね」

――あとこの時期というとどんな曲がありますか？

「「Kimono Beat」は、松田聖子さんのアルバムで、〝ロック系の人に曲を書かせよう〟っていう、僕とかレベッカの土橋君とかに依頼が来た時期があったんです。だから僕の方も、（その要望をすでに満たしているわけだから）気を使わずに出来たってところがありますね。この曲は僕が女性シンガーに曲を提供する時に色々なパターンの、どれにも属さない曲ですね。イメージとしてはオリビア・ニュートンジョンとかシーナ・イーストンとかですけど。聖子さんの声が好きなんですよ。だから、その声で自分の曲を歌ってくれたら、それでいいなって。基本的に上手な人だから、メロディの動きとか、それ程気にしないで作っても歌ってもらえるし。制約がなかった。年代でいうと、その後あたりが〝Resistance〟かな」

――この曲に重要な意味があるとしたら。

「いまだに僕の曲作りのひとつのパターンになってますからね。まあ、言わせてもらえばっていうか」

――言ってください。（笑）

「この曲の作り方、コード進行とかって、いまヒットしている他のアーティストの曲にも多少の影響は与えていると思うんですよ。ここ何年か、ずっとそうだと思うけど、明るさと暗さの同居が上手くいってる曲が流行するんだと思うんですよ。それのお手本になりやすい曲だったと思うんでね。それで、もともとはこれ、早い曲ではなかったんですよ。だからここでやっているのが、デモ・テープの時の本来の形なんですけどね。多分、TMでやった時には、「ゲット・ワイルド」の後だったし、バンドの流れのなかでアップ・テンポになっていっちゃったんでしょうね。TMNの他の2人もね、多分、この曲について訊ねられたら同じようなことを言ってくれると思いますよ。あと、TMの曲は100くらいあると思うので、その中からわざわざ選んだっていう意味もありますね。中でも大切な曲なんだってことで」

――堀ちえみに提供した「Omoide o Okizarinishite」（当時のタイトルは「愛をいま信じていたい」）の場合はどうですか。

「この曲は、堀ちえみさんが引退することになって、その最後の作品ということで依頼されたんですよ。だから、予め曲の寿命が分かってる曲でしたね。普通なら、ヒットすればその人がコンサートで歌ったりするけど、この曲はテレビの最後の出演が終わればそれで終わり、曲の死期を分かってるっていうとへんだけど。（笑）そういう意味で、逆に手抜きは出来ないな、という感じでした。彼女が『夜のヒット・スタジオ』かなんかで歌ったの見たけど、すごく良かったし感動しましたけどね。今回聞き直してみて、すごく心に残ったし歌いやすいメロディですよね。〝流れてる〟メロディっていうか」

――アルバムの冒頭にあるのは、だからなんですか。

「そうですね。すごく入りやすいし。それと秋元康さんが書き直してくれた詞がまた凄い気に入っちゃってね。なんか日本語が入ってくるようで入ってこないようで入ってくるようなね」

――新曲に関して教えてください。「Futari」はどうですか。

「これは、さっきの「Kimi ni Aete」の逆っていうか、今回新たに作ったデモ・テープって感じですね。普通、デモをつくって作詞家に渡って譜割りが変わるとか、アレンジャーがアレンジして、最終的に歌手が歌う、というのがあるんですけど、その前の段階っていうか。「Kimi ni Aete」の場合は、その初期の頃を再現した形だけど、これはいま現在、こういう形で作ってるってことですから。だから構成とかいい加減なんですよ。1番と2番の長さがちがってたりするんです」

――整備してない。

「そうなんです。それをもし、ある歌手に渡すと、いろいろな形になってそれが出てくるってことでね」

――「Magic」は現在から未来への架け橋だって言ったけど、「Futari」はどうなんですか。

「これはそのちょうど手前ぐらいだと思いますね。（笑）そのぎりぎり前、という感じ。〝Magic〟以降に関しては、あくまでこれから出てくるってことで」

――インストの「South Beach Walk」は、どうなんですか、以前ですか以降ですか？

「これは、まあ歌がないですけど、これに歌が乗っかると〝Magic以降〟になるかもしれないですね」

――このインスト、湧き出たアイデアをメモしてつなげていった雰囲気に聞こえたけど。

「まあアルバムの最後の仕上げってこともあって、レコーディングの間に出てきたアイデアをオムニバス的に入れたところはありましたけど。だから、今後出てくる曲で、この曲の最初の部分が使われてたりするかもしれないです」

# 『ヒットファクトリー』Vol.2の可能性、ありますね

# HISTORY & FUTURE OF HIT FACTORY

●『HIT FACTORY』の10曲に関するエピソードと全楽曲における位置を時代を追って聞くうちに垣間見えた未来は……

——これをぜひみんな、聞き込んでおくようにしたい。

**「の、楽しみもあるかもしれない」**

——レコードのクレジット見た人は、〝サウス・ビーチ〟って、小室さんがレコーディングしたスタジオの場所と同じだ、みたいな発見すると思うけど。

**「その同じ場所だと思ってもらってもいいし、僕のアルバムにBeachという言葉が出てくること自体がめずらしいっていうか」**

——バハマで砂を採集してきたそうだけど、当然このSouth Beachの砂も持ってきた?

**「持ってますよ。いろいろな所の砂を瓶に詰めて並べてるんですよ。ひとつくらいなら余ってると思うから、読者の人にプレゼントしてもいいけど」**

——そりゃぜひぜひ。で、これで全部かな?

**「うーんと、観月ありささんの「Too Shy Shy Boy!」かな。これはまあ、ちょっとこの曲を提供する前って、モーツァルトやってたりとかV2やってて、ぜんぜん人に曲を提供する暇がなくて——。この曲はTMでやりたくても出来ないアイデアを人に託した、というところがありますね。間違いなく5年前の僕らだったら自分たちで歌ってた曲だと思う。もしも5年前にこの曲が出来ちゃってたら、ですけどね。なんか一昨日ぐらい電話貰って、この曲は売れたそうだから、良かったですよ。別にこの曲、詩も自分で書くとは思ってなかったけど、タイトルが出てきちゃって、そのまま歌詞になっちゃったので」**

——この『ヒット・ファクトリー』って、これで終わりっていうより、ファイルの2冊目がそのうち出来る雰囲気じゃないですか。アルバム・タイトルをよく目を凝らして見てみると、〝ヴォリューム2〟の文字がすでに準備されている、みたいな。

**「岡田有希子ちゃんに提供した曲とかも、すごく好きな曲あるんですけどね。ただ、歌詞をどうするかとか考えてるうちに、今回は見送りになりましたしね。宮沢りえちゃんの〝ドリーム・ラッシュ〟もね、今回ほとんど骨組までは出来てたけど見送りになったし。それと、いくら区切りをつけようとしても〝増築〟される部分があるし、新しく進んじゃってるところもあるし。〝ヴォリューム2〟の可能性、ありますね」**

——最後にまとめて今回のアルバムの趣旨を繰り返すと、このアルバムは小室さんの作ってきた様々の作品の、その新製品のメロディの〝第1号〟が整理されている、というこことでいいですか。

**「僕は車好きだから、もしそれに例えるとしたら、自分がメーカーでロング・セラーっていうか、すごく残る車体があるとしたら、それは例えば「Res-is-tance」であるってことですね。あの曲はコロナとかブルーバードとか、20年とか同じ車で残っているものがあるでしょ。そういう定番です。だから今後もああいうメロディは出てくると思うんですよ。逆に「Magic」なんて、バリバリの新車でね。(笑)今後を示唆する新車だってことで」**

——だから、「Magic」は、ちょっと環境対策力入れてる雰囲気だったりして。(笑)

**「ああ、上手いですね、その表現。確かに。エコロジー対策、してる曲ですね。そうやって出来てる曲。(笑)だから、品のある車だったりとか、すごく手頃な軽自動車みたいな曲もあるって感じかな。ま、だから「Magic」から後で、実際にもう作り初めているものがあるから。もう10曲以上、作ってるから。アルバム1枚分以上は作ってますからねえ」**

——工場長としては、どうですか。新しいファクトリーに満足してますか、今?

**「もうちょっと。もうちょっといい工作機械じゃないけど、それが入ったらって」**

——ま、なんていっても贅沢な工場長ですからね、なにしろ小室哲哉さんは!

なにやら作曲の裏話みたいなインタビューになったけど、そもそも作曲とは、パズルのようなものなのだろう。でも、同じパズルをやってたら、人は飽きてしまう。自分にはいままでなかった、新しく、ゴキゲンなメロディを日々発見することで、彼は元気に生きているのだ。それがよくわかる話だったのではないだろうか。

『ヒット・ファクトリー』は、確かに異色のアルバムだけど、TMNの音楽もアイドルへの提供曲も、同じ場所から自然に生まれてくるのだという、その確認が出来たことには意義があったと思う。そして、すでに作品はアルバム1枚分溜まっている、という言葉も実に頼もしかった。表現者は井戸のようなもの。枯れてしまったら終わり。でも、小室という名の井戸からは、今日も名水がこんこんと湧き出ている。

HIT FACTORY
TETSUYA KOMURO

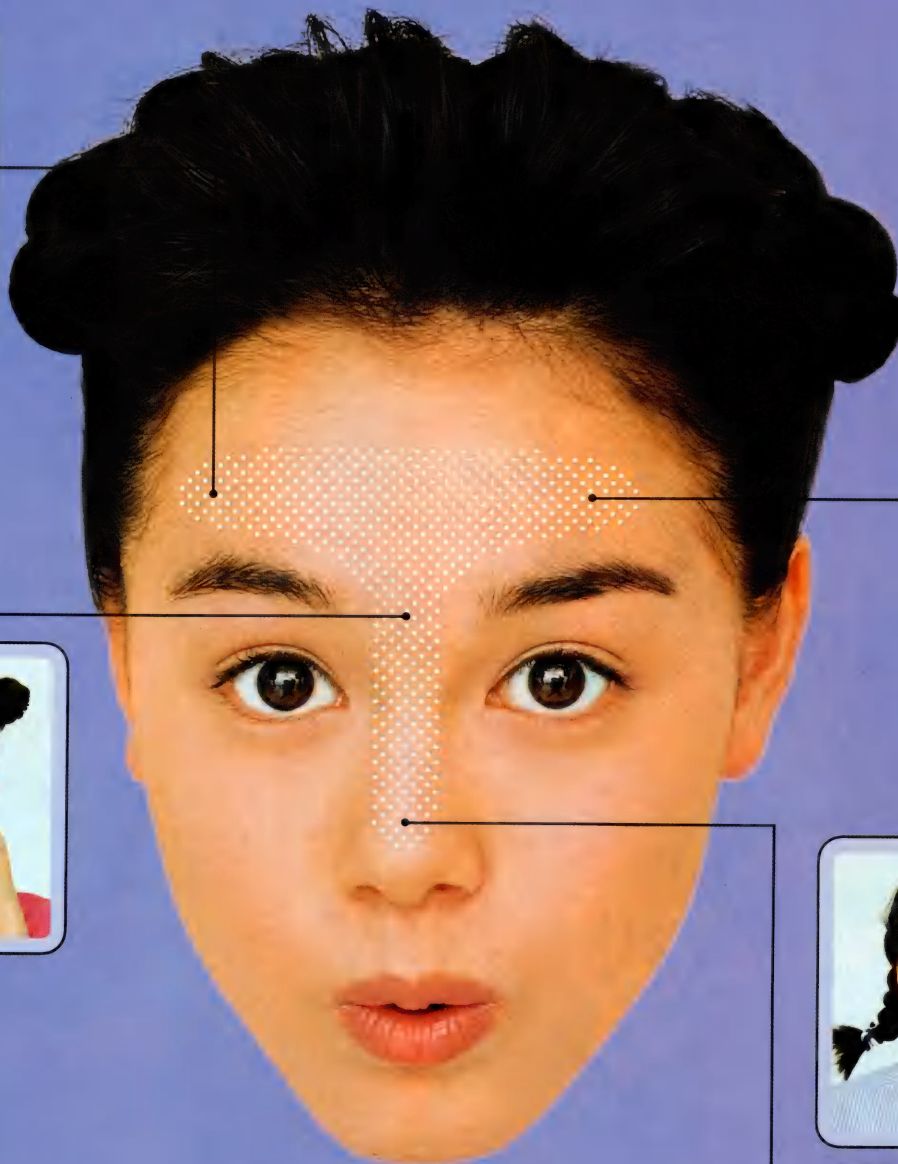
# 作曲・編曲リスト

（TM NETWORK、TMNの楽曲は除く）

## 作曲リスト

| 発売日 | 歌手 | 曲名 | 作詞 |
|---|---|---|---|
| 1985. 9.18 | 岡田有希子 | Sweet Planet | 三浦徳子 |
| 1985. 9.18 | 岡田有希子 | 水色プリンセスー水精ー | 三浦徳子 |
| | | (ALBUM〝十月の人魚〞) | |
| 1985.10. 2 | 渡辺美里 | SOMEWHERE | ──── |
| 1985.10. 2 | 渡辺美里 | 死んでるみたいに生きたくない | 戸沢暢美 |
| 1985.10. 2 | 渡辺美里 | 君に会えて | 神沢礼江 |
| | | (ALBUM "eyes") | |
| 1985.12. 5 | 渡辺美里 | 死んでるみたいに生きたくない | 戸沢暢美 |
| 1986. 1.22 | 渡辺美里 | My Revolution | 川村真澄 |
| 1986. 5. 2 | 渡辺美里 | Teenage Walk | 神沢礼江 |
| 1986. 6.25 | 松永夏代子 | 天使の休日(ALBUM〝微少女宇宙〞) | 銀色夏生 |
| 1986. 7. 2 | 渡辺美里 | 天使にかまれる | 渡辺美里 |
| 1986. 7. 2 | 渡辺美里 | My Revolution | 川村真澄 |
| 1986. 7. 2 | 渡辺美里 | そばにいるよ | 神沢礼江 |
| 1986. 7. 2 | 渡辺美里 | This Moment | 川村真澄 |
| 1986. 7. 2 | 渡辺美里 | My Revolution-Hello Version- | 川村真澄 |
| 1986. 7. 2 | 渡辺美里 | 雨よ降らないで | 渡辺美里 |
| 1986. 7. 2 | 渡辺美里 | Teenage Walk | 神沢礼江 |
| 1986. 7. 2 | 渡辺美里 | 嵐ヶ丘 | 渡辺美里 |
| | | (ALBUM "Lovin'you") | |
| 1986. 7.15 | 中山美穂 | JINGI・愛してもらいます | 松本 隆 |
| 1986. 7.21 | 岩崎良美 | 哀愁クルーズ(ALBUM"Cruise") | 吉本由美 |
| 1986.10.22 | 渡辺美里 | BELIEVE | 渡辺美里 |
| 1986.11.14 | 福永恵規 | 10月はさよならのパームツリー | 麻生圭子 |
| | | (ALBUM "SPLASH") | |
| 1986.11.21 | 岩崎良美 | スロープに恋をして | 松井五郎 |
| 1986.11.21 | 岩崎良美 | Blizzard | 麻生圭子 |
| 1986.11.28 | 原田知世 | 家族の肖像(ALBUM "Soshite") | 秋元 康 |
| 1986.12.16 | 荻野目洋子 | NONSTOP DANCER | 川村真澄 |
| | | (ALBUM "NONSTOPPER") | |
| 1986.12.21 | 杉浦 幸 | Adbantage You | 柄内 淳 |
| | | (ALBUM "NEWDMAN・新女類") | |
| 1987. 3.21 | 堀ちえみ | 愛を今信じていたい | 秋元康 |
| 1987. 3.21 | 堀ちえみ | Faraway | Chiemi |
| 1987. 5.16 | 松田聖子 | Kimono Beat | 松本 隆 |
| | | (ALBUM "Strawberry Time") | |
| 1987. 6.25 | 大西結花 | パンドーラ | 冬杜花代子 |
| 1987. 7. 5 | 福永恵規 | ハイパーラッキー(ALBUM "Sanbo") | イノ・ブランシュ |
| 1987. 7. 7 | 中山美穂 | 50/50 (フィフティー・フィフティー) | 田口 依 |
| 1987. 7.15 | 渡辺美里 | Here Comes The Sun | 渡辺美里 |
| | | (ビートルズに会えなかった) | |
| 1978. 7.15 | 渡辺美里 | Pajama Time | 渡辺美里 |
| | | (ALBUM "BREATH") | |
| 1987. 7.15 | 中山美穂 | Linne Magic | 田口 俊 |
| | | (ALBUM "ONE AND ONLY") | |
| 1987.11. 5 | 中山美穂 | 50/50 (フィフティー・フィフティー) | 田口 俊 |
| 1987.11. 5 | 中山美穂 | JINGI・愛してもらいます | 松本 隆 |
| | | (ALBUM "MIHO NAKAYAMA COLLECTION") | |
| 1987.11.21 | 八木さおり | 月と恋心 | 森 雪之丞 |
| | | (ALBUM "MOON & LOVE") | |
| 1987.12. 9 | 渡辺美里 | 悲しいね | 渡辺美里 |
| 1988. 2.16 | 伊藤かずえ | 星屑のイノセンス | 麻生佳子 |
| 1988. 2.25 | 沢口靖子 | Follow me | 川村真澄 |
| 1988. 2.25 | 沢口靖子 | ひかりの素顔 | 川村真澄 |
| 1988. 3. 9 | 小泉今日子 | Good Morning-Call | 小泉今日子 |
| 1988. 4. 5 | 小泉今日子 | Good Morning-Call | 小泉今日子 |
| | | (Another Version) | |
| 1988. 4. 5 | 小泉今日子 | Down Twon Boy | 小室みつこ |
| | | (ALBUM "BEAT・POP") | |
| 1988. 4.27 | 荻野目洋子 | ジャングル・ダンス | 森 正和 |
| 1988. 5.28 | 渡辺美里 | Believe(Remix Version) | 渡辺美里 |
| 1988. 5.28 | 渡辺美里 | 悲しいね(Remix Version) | 渡辺美里 |
| | | (ALBUM "ribbon") | |
| 1988. 6.10 | 今井優子 | 虹のオーラ | 田口 俊 |
| | | (ALBUM〝25時のプレゼント〞) | |
| 1989. 6. 1 | 渡辺美里 | ムーンライトダンス | 渡辺美里 |
| 1989. 9.15 | 宮沢りえ | DREAM RUSH | 川村真澄 |
| 1989. 9.15 | 宮沢りえ | 秘密がいっぱい | 川村真澄 |
| 1989.11.22 | 宮沢りえ | DREAM RUSH | 川村真澄 |
| 1989.11.22 | 宮沢りえ | 秘密がいっぱい | 川村真澄 |
| | | (ALBUM "MU") | |
| 1990. 7. 7 | 宮沢りえ | NO TITLIST | 川村真澄 |
| 1990. 5. 9 | 田中美奈子 | 夢みてTRY | 小室哲哉 |
| 1990. 5. 9 | 田中美奈子 | I Say Hello Again | 小室哲哉 |
| 1990. 6. 1 | 郷ひろみ | 空を飛べる子供達 | 秋元 康 |
| | | ～Never end of the earth～ | |
| | | (ALBUM〝アメリカかぶれ〞) | |
| 1990. 7. 7 | 渡辺美里 | Power 一明日の子供一 | 渡辺美里 |
| 1990. 7. 7 | 渡辺美里 | Tokyo | 渡辺美里 |
| | | (ALBUM "tokyo") | |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | Relaxation 一自己回帰一 | ──── |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | T・Meditation. 一超越瞑想一 | ──── |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | Precognition 一未来予知一 | ──── |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | Astralprojection 一幽体離脱一 | ──── |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | Inspiration 一神霊感応一 | ──── |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | Imagination 一発光夢想一 | ──── |
| | | (ALBUM "Psychic Entertainment Sound) | |
| 1991. 4.18 | 渡辺美里 | 卒業 | 渡辺美里 |
| 1991. 4.18 | 渡辺美里 | JUMP | 渡辺美里 |
| 1991.12. 4 | 観月ありさ | 夢だけのボーイフレンド | 小室みつ子 |
| | | (ALBUM "ARISA") | |
| 1992. 4.22 | 渡辺美里 | My Revolution一第2章一 | 川村真澄 |
| 1992. 5.27 | 観月ありさ | Too Shy Shy Boy! | 小室哲哉 |
| 1992. 7. 8 | 渡辺美里 | ムーンライトダンス | 渡辺美里 |
| 1992. 7. 8 | 渡辺美里 | My Revolution一第2章一 | 川村真澄 |
| 1992. 7. 8 | 渡辺美里 | 青空 | 渡辺美里 |
| | | (ALBUM "Hello Lovers") | |
| 1992.10. 1 | 観月ありさ | SHAKE YOUR BODY FOR ME | 小室哲哉 |
| 1992.10. 1 | 観月ありさ | GIVE ME YOUR LOVE TONIGHT | 小室哲哉 |
| 1992.10. 1 | 観月ありさ | Too Shy Shy Boy!(Extended New Re-mix) | 小室哲哉 |
| 1992.10. 1 | 観月ありさ | GENERATION | 小室哲哉 |
| 1992.10. 1 | 観月ありさ | HE'S GONE | 小室哲哉 |
| | | (ALBUM "SHAKE YOUR BODY FOR ME") | |

## 編曲リスト

| 発売日 | 歌手 | 曲名 | 作詞 | 作曲 |
|---|---|---|---|---|
| 1984. 7.21 | 大江千里 | ロマンス | 大江千里 | 大江千里 |
| 1984. 7.21 | 大江千里 | 思いたったら吉日 | 大江千里 | 大江千里 |
| 1985.10. 2 | 渡辺美里 | SOMEWHERE | ──── | 小室哲哉 |
| | | (ALBUM "eyes") | | |
| 1986. 7. 2 | 渡辺美里 | 天使にかまれる | 渡辺美里 | 渡辺美里 |
| 1986. 7. 2 | 渡辺美里 | 嵐ヶ丘 | 渡辺美里 | 小室哲哉 |
| | | (ALBUM "Lovin'you") | | |
| | | (編曲：大村雅朗&小室哲哉) | | |
| 1987.12. 9 | 渡辺美里 | 悲しいね | 渡辺美里 | 小室哲哉 |
| 1988. 5.28 | 渡辺美里 | 悲しいね(Remix Version) | 渡辺美里 | 小室哲哉 |
| | | (ALBUM "ribbon") | | |
| 1989. 6. 1 | 渡辺美里 | ムーンライトダンス | 渡辺美里 | 小室哲哉 |
| 1989. 7. 5 | BEVT BOYS | Let's Break Danse!! | F.Francis | T.Takamizawa |
| 1989. 9.15 | 宮沢りえ | DREAM RUSH | 川村真澄 | 小室哲哉 |
| 1989.11.22 | 宮沢りえ | DREAM RUSH | 川村真澄 | 小室哲哉 |
| | | (ALBUM "MU") | | |
| 1990. 2.15 | 宮沢りえ | NO TITLIST | 川村真澄 | 小室哲哉 |
| 1990. 5. 9 | 田中美奈子 | 夢みてTRY | 小室哲哉 | 小室哲哉 |
| 1990. 5. 9 | 田中美奈子 | I Say Hello Again | 小室哲哉 | 小室哲哉 |
| 1990. 6. 1 | 郷ひろみ | 空を飛べる子供達 | 秋元 康 | 小室哲哉 |
| | | 一Never enf of the earth一 | | |
| | | (ALBUM〝アメリカかぶれ〞) | | |
| 1990. 7. 7 | 渡辺美里 | Power 一明日の子供一 | 渡辺美里 | 小室哲哉 |
| 1990. 7. 7 | 渡辺美里 | Tokyo | 渡辺美里 | 小室哲哉 |
| | | (ALBUM "tokyo") | | |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | Relaxation | ──── | 小室哲哉 |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | T・Meditation. | ──── | 小室哲哉 |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | Precognition | ──── | 小室哲哉 |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | Astralprojection | ──── | 小室哲哉 |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | Inspiration | ──── | 小室哲哉 |
| 1990. 9.21 | Mr.マリック | Imagination | ──── | 小室哲哉 |
| | | (ALBUM "Psychic Entertainment Sound) | | |
| 1990.12. 1 | 大江千里 | あいたい | 大江千里 | 大江千里 |
| 1991. 4.18 | 渡辺美里 | 卒業 | 渡辺美里 | 小室哲哉 |
| 1992. 5.27 | 観月ありさ | Too Shy Shy Boy! | 小室哲哉 | 小室哲哉 |
| | | (編曲：小室哲哉、Cozy) | | |

HIT FA

TETSUYA KOMU

# IN LOS ANGELS

HIT FACTORY

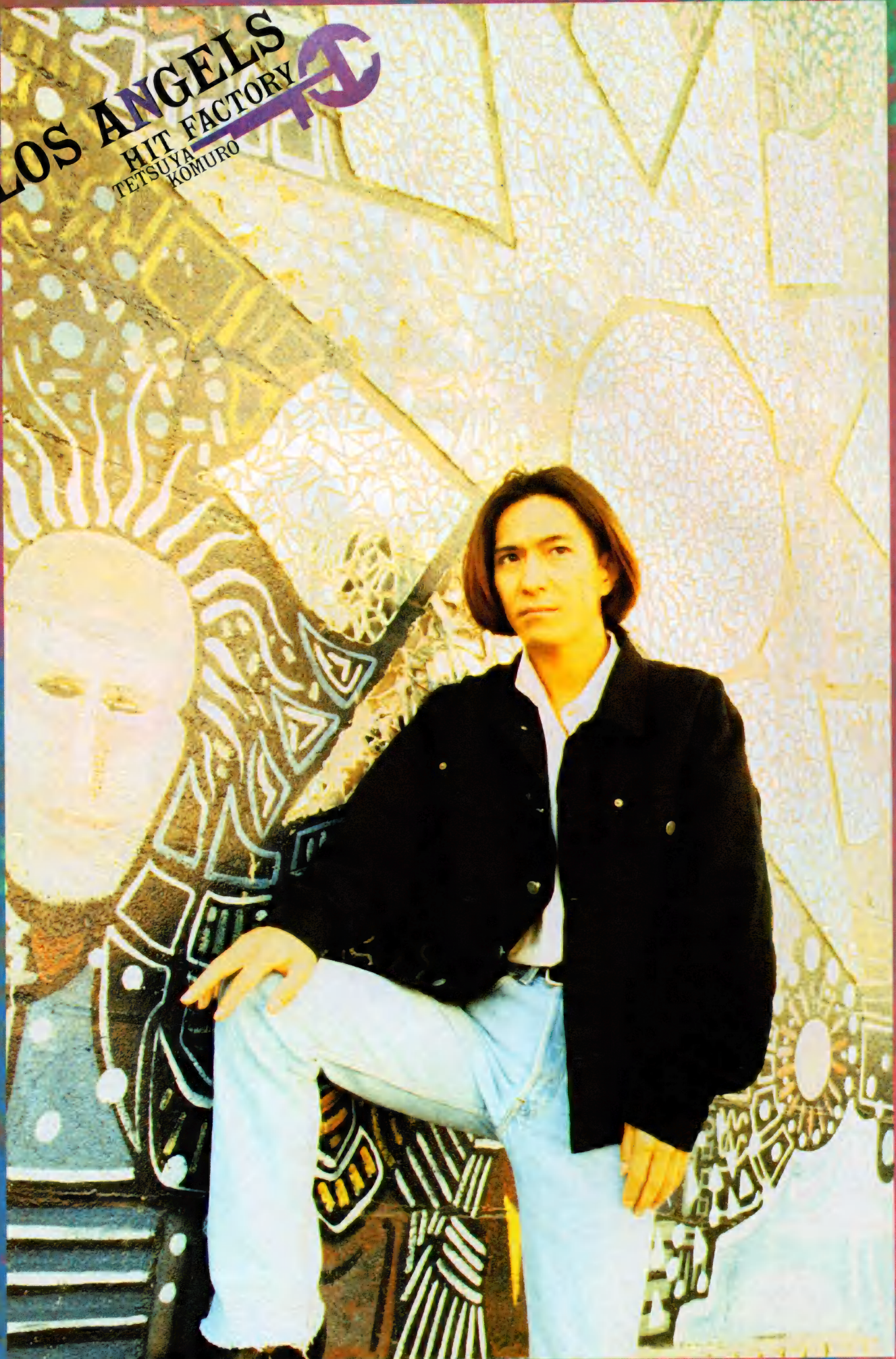
TETSUYA KOMURO

●早くも次の作品の制作のために、L.A.に滞在していた小室哲哉。マイアミ、N.Y.に続く、L.A.での彼の暮らしぶりは……

Photo by William Hames

# IN LOS ANGELS

HIT FACTORY
TETSUYA KOMURO

ANGELS
HIT FACTORY
TETSUYA KOMURO

# YOSHIKIにも会った。(笑)シャケも向こうにいて……

92年の小室哲哉は、はっきりいって忙しい。人前に出ることより、スタジオで音を作ることに忙しい。

東京で構想を練って、マイアミでレコーディングを終了した『ヒット・ファクトリー』。マイアミからニューヨークに飛んだ彼は、そこで、アルバムの最終仕上げを行った。大都会、ニューヨークが最終地点だった(このクサい表現には伏線あり)。しかし、その後休む間もなくロサンゼルスへと向かって、TVドラマのサウンド・トラック・アルバムの録音に突入したという典型的な日本人的勤勉さを示し、やっと日本に帰ってきたと思ったら、都内某スタジオに篭もって、さらに作業を続行中だ。まあ、このドラマの件に関しての細かい事は、追って本誌にも報告されるだろうが、このコーナーでは、彼の最新ロサンゼルス・ライフをちらっと覗いてみることにしたい。そんなに忙しくて、ロサンゼルス・ライフも何もないだろう、と思うけど、仕事をする分、遊びにも充実を求める小室の性が、ちゃんと発揮されているのである。よかったのである。

——このインタビューは、やっとやっと東京でしているわけですが、マイアミからいきなり東京戻るっていうのも、社会復帰しずらそうだなぁと思ったんです。まずその辺のことは?

「マイアミ⇩ロス⇩東京だと、ちょっと東京でクラッときたと思うけど、マイアミとロスの間にニューヨークに寄って、1週間居たでしょ? それがあったから、良かったって気もしますね。ニューヨークで〝都会〟をちらっと垣間見れましたからね」

——アメリカ横断ウルトラ・レコーディングだったけど。

「タイム・ラグとか、それはあんまり感じないでやれましたけどね。でもマイアミに3か月近くいて、そこからニューヨークへ行った時は、さすがにクラクラきましたよー。マイアミからニューヨーク行って、国内線の空港降りると、いきなり摩天楼が出てくるしねぇ」

——クリスタル・キングの「大都会」歌いそう、なんて。で、マイアミにずっと居たとなると、ロスの人たちが現地の話を聞きたがったりとかしなかったですか。

「ロスより、ニューヨークの人には聞かれましたよ。なんかニューヨークの人は素直に憧れているみたい、あそこに。羨ましいって言ってた。マイアミから船でバハマにも行ったっていうと、凄い羨ましがられたんです。やっぱりあるみたいですよ、ゆっくり休暇をとって、マイアミに行ってみたい、みたいなのって」

——ロスの人は?

「逆にロスの人はね、マイアミっていっても〝あんな田舎!〟、みたいなね。だって、マイアミとロスって、結構近いものもあるでしょ?」

——照りつける太陽なら、俺のとこにだってあるぜ、みたいなこと?

「よくわからないけど、ライバル意識みたいなのがあるみたいなんですよね。それで、いろいろと砂とか取ってきたんですけど、それを比べるとね、やっぱり南に行くほど砂が白くて粒子が細かいんですよ。バハマ行った時も、甲子園の土じゃないけど砂を持って帰ってきてて、それを見せればLAの人も〝違い〟を納得するんじゃないかなって思った。なんかこう、寝っころがった時の、あの埋まるような感じがないんですよ、サンタモニカの砂は」

——もう、ほとんどビーチの砂質研究家になっている小室さんです。で、ロサンゼルスでは、仕事以外に遊んだりしなかったんですか?

「まあマイアミのような、〝サイトシーング〟って感じではなかったですけどねぇ〜。ロスには知り合いも多いってことで、だから結構パーティとかにも顔をだしたりしましたよね。それがフォトグラファーのパーティだったりとか。あとYOSHIKIにも会った。(笑)シャケも向こうにいて、みんな日本人同士は、やっぱり連絡が密になってましたよ」

IN LOS

——けっこう、連絡網みたいなのが出来上がっちゃったりして……。

「東京だと、"食事しましょう!"とか言っても、ただ飲んで最後には誰が誰だかわからなくて、結局挨拶もしないで別れたりするけど、(笑)ロスとかだと、久し振りに食事しましょうとか言ってちゃんと食事楽しんで、最後は握手して帰る、みたいなことが意外と出来ますから」

——それ、いいな。海外にいる時の、日本人ミュージシャンの団結心、みたいなの。

「今日はあそこのスタジオでやってるよとかって言うと、早く終わった方がちょっと顔を出す、みたいな感じでね。東京じゃ、あり得ないでしょ? TOKYU-FUNスタジオで誰かやってるとかっていっても、実際にはあんまり行かない」

——東京じゃ、いろんなところでやってて当たり前だもんねぇ。(笑)さっき、パーティに出席したっていったけど、面白い人に会えたとか?

「そのフォトグラファーのパーティっていうのが、マイケル・ジャクソンとか、その周りにいて働いてる人だったから、マイケルのなかなか話せない裏話とか聞いたりして。だからまあ、ちょこっとハリウッドを垣間見るって感じですけどね。あと、今回は会えなかったんだけど、ロサンゼルスのどのディスコもナイトクラブも"顔"っていう人がいて、その人がクラブのエントランスで髪をバサッとか(前髪をかき上げる仕種をする)やると、近くにいる女の子がバタバタっとか倒れちゃうほど人気のある人がいるそうなんですよ」

——なんだそりゃ、ひぇぇぇ〜。(笑)

「どっかでショッピングしてても、またその髪をバサッと(小室、同じ仕種、する)やると、バタバタっていうね。(笑)今度行ったら会うことになっているだけど、そういう人に会える楽しさってありますよね。それと、その人をよく知ってるライターの人が、いろいろコンサートに顔がきくとか、そんなことから仲良くなっていって、"今度僕がロスでのマネージャーをやってあげるよ"とかね。そういう、仕事の要素も少しは入れつつ、ちょっと友達になる、みたいなね」

——その辺、実に世界に名高いハリウッドの社交界って感じの雰囲気だなぁ。じゃ、スポーツとか、そういう方面は?

「泳いではないけど、ローラー・スケートはやりましたよ。スタジオの近くに10キロ・コースっていうのがあって。結構ローラー・スケートはね、ここで滑ってみてって言われても、恥ずかしくないくらいには滑れるようになったんです(笑)」

——スタジオからスケート靴履いて出て、また戻ってこられるの?

「まあ、戻ろうと思えば戻れるけど、車で5分くらいのところなんです。ゴルフのパブリック・コースがあって、そのゴルフ場の周りが、サイクリング・ロードみたいな、スケートも滑れるようになってるところでね」

——じゃあ、マイアミに居た時の健康路線はキープしつつのぉ、という…。

「そうです。それはキープしつつ、(笑)ちょっと業界に戻ってきたかなぁ、というね」

——小室さんといえば、ディズニーランド狂のイメージもあるけど。

「マジックマウンテンとか、行きたかったんですけど、行けなかったですよ。まあ、あとは海側の方へ行ったたくらいかな。サンタモニカがあってベニスビーチがあって、その隣りくらいにマリナ・デル・レイってところがあるんですけど、今度行く時は、その辺に住みたいなぁって思ってるんですけどね。こないだ行ったのは、今後のロケハンみたいな積もりもあって(笑)」

——ただ行くだけじゃない。今後に必ずつなげるぞ、と。(笑)

「あはは。ともかくマリナ・デル・レイはよかったですよ。昔の友達が住んでるところだし」

仕事中心のロスではあったけど、仕事の中にも遊び感覚、遊びの中にも仕事感覚の、そのバランスがいい小室さんでした。

HIT FACTORY
TETSUYA KOMURO

## 小室哲哉

# あら？カルトQ

▼すっかり恒例となった表紙・巻頭アーティストの「あら?カルトQ」です。全国100万人の小室哲哉フリークのみなさんにも、ついに実力を試す時がやって来ました!! 成績上位者20名様に、左下のキーホルダー差し上げます。〝今キーホルダー持っていないから…〟と小室先生自らがオリジナルグッズに提案してくださった物です。(デザインは実物とは異なります)〝我こそは〟と思う方は是非御応募下さい。では、問題です。

**Q1** 小室哲哉が最も多く楽曲を提供したアーティスト(TMNは含まず)は誰でしょう。

**Q2** 小室先生がこれまでに手がけた映画のサウンド・トラック・アルバムのタイトルをすべて挙げて下さい。

**Q3** 彼は'90年の3月〜 ある食品のCMに出演していました。その食品の商品名は?

**Q4** 10月下旬に小社より発売予定の(CM!)写真集『HIT FACTORY』(仮タイトル)のロケが行われた場所は?

**Q5** 某ワッツイン誌12月号(11月14日発売)誌上で先生はある外国のミュージシャンと対談していますが、それは誰でしょう。(グループ名とアーティスト名共に答えて下さい)

**Q6** 先生が作曲を手がけたミュージカル、「マドモワゼル・モーツァルト」の原作者の名前を答えてください。

**Q7** TM・NETWORKとしてデビューするきっかけとなったグランプリを受賞したコンテストは、何というコンテストだったでしょう。またこの時の受賞曲は?

**Q8** 小室哲哉はMr.マリックとアルバムを制作していますが、ライブを見に来たMr.マリックは、打ち上げ会場で何かを宙に浮かせました。それは何でしょう?

**Q9** 「RESISTANCE」は何というドラマの主題歌だったでしょう。またこのドラマの主演女優の名前は?

**Q10** 小室先生が単独でテレビ朝日の「徹子の部屋」に出演したのは何年の何月何日?

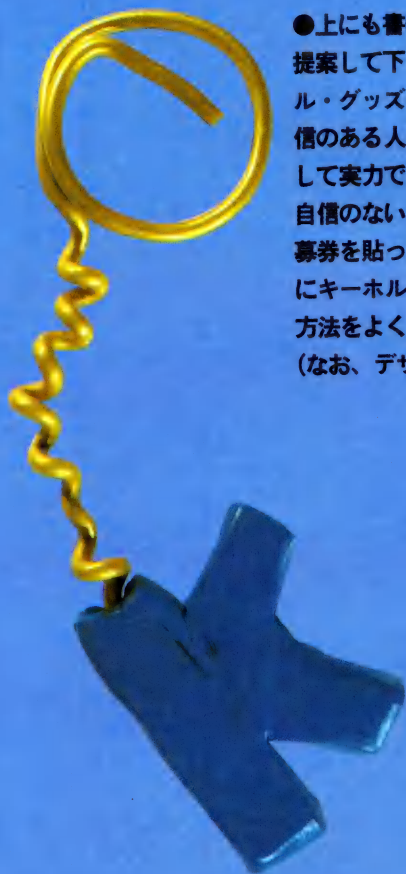
**Q11** 彼がXのYOSHIKIと組んだユニットV2の結成記者会見が行なわれたホテルと、部屋の名前を答えて下さい。

**Q12** この巻頭特集を撮影したカメラマン、山内順仁氏と、先生は同じ車に乗っています。それは何という車でしょうか?

**Q13** 先生がソロアルバム、『Digitalian is eating Breakfast』を発表したとき、ライブツアーを行いましたが、このときギターとして参加していたミュージシャンは誰?

**Q14** パチ▼パチで連載していた先生の連載、SCAN。このSCANの1回めシリーズの第6回のテーマは何だったでしょう?

## パチ▶パチ特製 オリジナルグッズ

# 小室哲哉 キーホルダープレゼント

●上にも書いてあるように、先生自らが提案して下さったパチ▶パチ・オリジナル・グッズはキーホルダー。クイズに自信のある人は〝あら?カルトQ〟に挑戦して実力で勝ち取って下さい。クイズに自信のない人は、運で勝負を。左下の応募券を貼って応募すれば、抽選で180名様にキーホルダーが当たります。右の応募方法をよく読んで応募してくださいね。(なお、デザインは実物と異なります)

## 応募方法

あら?カルトQ▶必ず官製ハガキに答えを書いて、下の宛て先の「あらカルトQ」部門までお送り下さい。締め切りは10月7日(消印有効)です。成績上位者及び正解の発表は、パチ▶パチ1月号(12月9日発売)誌上にて行います。応募券を貼っていただく必要はありません。なおパチ▶パチ・FAXサービスにて第15問を出題します。FAXを受けた方はその答えもお書き下さいね。得点になります。もちろん、ハガキにはあなたの住所、氏名、年齢を明記して下さい。

注:このクイズの問題に関するお問い合わせはパチ▶パチ編集部、EPICソニーレコード、オペラギグ他関係各媒体とも一切受け付けません。必ず実力で答えて下さいね。

応募券による応募方法▶官製ハガキに左下の応募券をしっかり貼って、下の宛て先の「応募券」部門までお送りください。あなたの住所、氏名、年齢も忘れずに書いて下さいね。締め切りは10月7日(消印有効)、当選者の発表はパチ▶パチ1月号誌上にて行います。

〔宛先〕〒156-91 世田谷区千歳郵便局私書箱25号 ソニーマガジンズ パチ▶パチ編集部 小室哲哉オリジアルグッズ係 各部門 応募方法に関するお問い合わせは☎03(3234)7906 パチ▶パチ編集部

## PATi▶PATi FAXサービス 初登場!!

●大好評のFAXサービスに遂に小室先生が登場。先生が答えるQ&A、サイン、アラ?カルトQ第15問などがFAXで受け取れます。詳くはP227を見て下さい。

HIT FACTORY
TETSUYA KOMURO

# HIT FACTORY
## TETSUYA KOMURO

確かな技術で最先端製品を生産し続けてきた小室哲哉という名のHITファクトリー(工場)は今、どんな夢を製造しているのだろう

# B'z

# ZERO

●10月7日にリリースされたシングル「ZERO／恋心」
一聴すれば、意外にB'zらしくないこのシングルは、
新たなチャレンジなのか？　アルバムの予告なのか？
さまざまな反響を呼ぶであろう問題作のインタビュー。

PHOTO●YOSHIAKI SUGIYAMA　COPY●HIDEKI TAKE

# B'z ZERO

まず曲を聞いて欲しい。

話はそれからにしよう。

そんな気分なのである、きっと本人たちもそうなのだと思う。アーティストはいつもレコーディングを終えた後は、誰でもそうなのだろうが、特に今回は、そういう気持ちが強いのではないだろうか。僕だって、そう思うのだから。

B'zの新しいシングル「ZERO」のことである。カップリングの「恋心」という二曲についてである。「ZERO」は、夏のイベントの後半にステージでやったりしていたので、聴いた人もいるだろうけれど、この2曲をカップリングで聴くと、全く違うトーンのものになるのではないだろうか。

「ZERO」はいきなり、松本孝弘のギターのリフで始まる。アメリカン・ハード・ロックのような力強いリフは、明らかにロックバンドのものだ。そして、間奏には、ホーン・セクションのダイナミックなフレーズが踊っている。「恋心」は、対照的だ。耳馴れたB'zのサウンドでありながら、どこか違う。ギターのフレーズに日本的なメロディーが加わっていたり、詞の世界も、これまで稲葉浩志が歌ったことがない思春期の恋愛について歌われている。

「ZERO」と「恋心」——。

A面B面ではなく、1stBEAT、2ndBEATと記されているこの曲のカップリング。片方は、思い切ったバンド・サウンドで、もう片方は、これまでのB'zを一歩ひねってみせた。そんな意欲的なカップリング——。

※

**——バランスのいいカップリング。**

**松本** いいというか、悪いというか。(笑)

**——まず「ZERO」の方からですが。**

**稲葉** 曲は、合歓の郷の合宿の一番最初のセッションで、できちゃったような感じですね。でも、合宿に入った時はメロディーなかったですけど。

**松本** っていうか、あのリフみたいなものは、レコーディング入る前からあったんですよ。で、合歓に行く時に一番最初にこれをやってみたんです。

**稲葉** 歌はなかったんで、その時、ぼくはいなかったですけど、メロディーなかったですから。(笑) 合宿中にできた曲ですね。

**松本** メロディーは、あったんだけど、説明するのが面倒臭かった。(笑)

**稲葉** 何、それ。(笑)

**——最初にやったということは、それだけやりたい曲だったということ?**

**松本** というか、みんなで「せーの」でやるのは、初めてだったんで、明石君や一光(田中)に、感じを説明するのに、リフが決まってる方がわかりやすいんじゃないかっていうんで最初にやったんですよ。

**——間奏は、どうやってできたという。**

**松本** あれは合宿の後、東京に帰ってからですね。明石君のアレンジで。この曲に関しては、はっきり別かれてて、間奏・明石リフ・松本って。ウチらは企画スペースって言ってるんですけど、譜面上に企画スペースっていう空白があるんですよ。誰がそこを埋めるかは、最初決まってなくて、それぞれがチャレンジしていくんです。そこに明石君がブラス入れるのを決めて。ラッパは前から入れようっていう話はあったんだけどね。ブラスも、今まではシンセだったけど、これは4管、ナマで入ってて。ドリカムと米米とチューブの人と、もう一人、もう、売れセンの人のブラスやってる人に来てもらってる。

**稲葉** せめて管ぐらいはね。(笑) 今回一番ポップなのは、そこですよ。(笑)

**松本** ネーム・バリューのある人ばっかりで。(笑) それ以外は、全部自分たちですから、ステージ立ってるメンバー5人だけでやったから。

**——「ZERO」というタイトルは。**

**稲葉** タイトルは決まってなくて、内容だけ先に書いて。その歌詞の中に"ゼロ"っていう言葉があって"ゼロ"にしようって後で決まったんです。

**——いろんな意味にとれるタイトルでしょ。**

**稲葉** そうですよね。

**——どういうふうに受けとってほしい?**

**稲葉** あえて希望はないですけど、歌詞の中にもありますけど、ゼロがいいなと。(笑) ゼロに戻るとか、そういう感じじゃないですかね。何か、抜けた感じというイメージがあって、そこから勢いをつけていくというか。そういう意味では、すごいいい言葉だと思いましたね。

**——「恋心」の方は、アルバムに入るんですか。**

**松本** 入ってないです。6、7曲録った時に「ZERO」のシングルは決まってたんだけど、その中で、アルバムの中ではちょっと色が違うものをシングルにしようと思ったんですね。詞がのる前に、何か違うんじゃないかっていう感じだったんですよ。アルバム作ってると、その原因がわかるのにいつも時間がかかるんだけど、一番最初に解決しなきゃいけなかったのが、テンポが遅いんじゃないかということと、イントロが違うというようなことで。で、いきなり歌から始めようっていうところに落ち着いて。最後の最後に、ああいう、ギターの日本的なイントロをつけたんですけど。サウンドが固まるまでに、結構時間かかりましたね。

## (周りにいる人が)何かにつけドキドキワクワクしている人たちばかりだから。

**——「恋心」というタイトルも「ZERO」と対照的で。**

**稲葉** 最初タイトルは漢字2文字の日本語にしたいということがあったんですね。

**——「教室」とか「教科書」という言葉があったり。**

**稲葉** そうですね。初めのうちはオーソドックスな恋愛パターンみたいなものを書こうかと思ったんですけど、何回も書いていくうちに「青春」という感じが妙にしてきてね。「恋心」というのは、青春の永遠のテーマでもあるし、誰もがかかえる悩みのひとつだし。

**——初恋という感じ。今まで歌ってたオトナ同志の恋愛じゃない。**

**稲葉** そっちの方に近いかもしれませんね。初恋という。年齢はいっても、恋愛の一番最初の時点では、メチャクチャドキドキしたりするというところは続いているというテーマですけどね。子供っぽいかなという気もしたんですけど、ラジオなんかやっても、しょっちゅうこういう質問されたりしますしね。こういうことを実際に日々の悩みとして持ってる人はいっぱいいるし、普段から肌で感じることですから、遠いテーマではないと思いますよね。

**——そういう思春期っぽいものが好きだったり?**

**稲葉** ぼくですか。(笑) でも、ぼくら普段話してる人たちも、割とそういう感じの話題は多いですからね。何かにつけドキドキワクワクしてる人たちばっかりだから。(笑)

**——どういうふうに聞かれるだろうという感じですか。**

**松本** サウンドとしては、B'zがやりそうなサウンドですよね。「恋心」は。だから、「ZERO」の方が、どういう聞かれ方するだろうというのがありますよね。

**——らしくないと思われるかもしれないし。**

**松本** かもしれないし。売れ線ではないみたいな。(笑)

**——でも、アルバムの話で、今までにも、次はバンド・サウンドになるという話はしてるでしょ。予告編みたいな形で。それを読んでる人は納得するかもしれないけど、初めて聞いた人は意外に思うかもしれないですね。**

**稲葉** アルバムの中にはあったタイプでしょうけど、シングルっていうとね。

**松本** だから、これがヒットすれば、日本もまだ捨てたもんじゃないと。(笑) しかもタイアップも全部なしにしちゃったし。ノータイアップでいこうと。「太陽のKomachi Angel」以来初めてか。ファースト・シングルはそうだったし。三枚目もタイアップがつかなかったことあったね。

**——B'zだけの力を試してみたいという。**

**松本** ていうか、周りに対しては、あるかもしれない。

**——今の風潮があるでしょ。主題歌とかCMとか、タイアップじゃないといけないという、タイアップが全て、みたいな。そういう風潮に対しての。**

**松本** 反発するつもりはないけどね。全然。でも、まぁ一回、そういうのをなしで試してみるのもいいかなっていうのもあるしね。でも、タイアップの効力というのは、もう認識されているわけだけど、でも、コマーシャルにしても作品じゃない。音と絵がはまったりした時にいい作品になるわけでしょ、そうじゃないものもあるわけですよ。必ずしも、いい作品になるものばかりとは限らないし。だったら、かえってない方がいいという考え方もあるわけでしょ。

**——まわりは、いろいろ言うでしょ。**

**松本** ていうか、今は、あるのが自然みたいになってるからね。

**——今のB'zなら、どこでも付くというのはあるでしょう。**

**松本** それはどうかわからないけどね。

# B'z ZERO

—付ければ百万枚越えるのに、80万枚でいいのかって考える人もいるし。(笑)

**松本**　百万いくのに越したことはない、ですけどね。(笑)

—つけないで百万いってみせるぞということもある。(笑)

**松本**　そういう気はあんまりないですよね。いかなかった時の弁解を考えなきゃいけないし。(笑)

—でも、面白いカップリングだし。チャート的に、どのくらいになれば合格という感じですか。

**松本**　チャートは、百位にでも入ればという。(笑)

—これが発売された時には、前のシングルがまだ残ってるでしょう。両方とも並ぶ可能性もあるでしょ。

**松本**　その同じ百位の中にね。そうですね。

—こっちの方が上になる。

**松本**　こっちの方が先に落ちちゃうなんていうこともなきにしもあらずだし。(笑)でも、何回も出したけど、そうですよ。前回はアルバム一位だったとかいうことは、データーとして残ってるけど、結構不安ですよね。その辺は、やっぱり。

—特に、この曲に関しては、そうとう…

**松本**　不安にさせないで下さいよ。(笑)

※

別に不安にさせるつもりはなかったわけで、ただこれがどういう聴かれ方をするのか楽しみになるタイプの曲であることは確かなのだ。今までのB'z、という一般的なイメージがあるとしたら「ZERO」はその範ちゅうからはみ出した曲であることは否定できない。はみ出したという言い方が消極的なら「やりたいことをやった」という方がいいのかもしれない。そうやってシングルを作ることが、B'zというバンドの健やかさであるのだろう。

でも、今、B'zがシングルをタイアップにしないということの"心意気"は、頼もしいという気がしないだろうか。

何が何でもタイアップになければ曲にあらず、みたいな風潮が広まっていることは、ひょっとすると、読者の思っている以上に強いと思う。聴き手の人たちの中にも、"タイアップだから"という、"タイアップ信仰"が生まれているのかもしれない。でも、自分の目と耳で好きな音楽を選ぶことをやめてしまっていることにならないのだろうか。タイアップでヒットしたから買う、というだけでいいのだろうか。そんなことがアタマから離れなかったところへ彼らの試みは興味深い。

一度、それこそ「ZERO」のままやってみたいと思うのは、健全なバンド感覚なのではないだろうか。まず、バンドありき。まず曲ありき。そして、まず、コンサートありき、なのだろうから。

※

—このシングルで、次の方向が変わったり次の作り方が変わったり、ということはありそうですか。

**松本**　いやそんなことはないと思う。次の作り方は次の作り方で、もう決まっているから。

—これ以外にアルバムの中からのシングル・カットはあるとか。

**松本**　いや、そういうのは、ないですよ。別に。

—このシングルがアルバムのパイロットになる。

**松本**　まぁ、そうですね。

—何曲入ってるんでしたっけ。

**松本**　アルバムは、10曲かな。

—「ZERO」を聴いて、アルバム全体を想像できるという感じですか。

**松本**　だけではないけどね。「ZERO」を聞いて、あ、変わったな、と思うんだろうけど、そういうのがたくさん入ってる。「ZERO」みたいなのがたくさん入ってるっていうんじゃなくて、あ、変わったなっていうような感じの曲がたくさん入ってるかもしれない。

—そういう手ざわりというか、肌ざわりという曲?

**松本**　そうですね。

—ボーカルのキーが高くなったような気もしましたけど。

**稲葉**　そうかな。

**松本**　アルバムの曲とかは、高いのがかなりあるよ。

**稲葉**　目茶苦茶な金切り声で歌ってるわけでもないですけどね。シャウトはやってましたけどね。シャウト関係は今までよ難なくやってるかもしれないですよ。アルバムでは。

—それ声域が広くなったとか。

**稲葉**そんなに変わってないと思いますけど。むしろ下がってるかもしれない。でも出してると出るんですよ。そういう曲を聴いてると、どうしてもやりたくなる。(笑)

—ロック・ボーカリストとしての新境地を開きたい。

**稲葉**　(笑)新境地というか、まぁ、新境地は開きたいとは思ってるんですけどね。でも、目覚めさせてくれたというのはありますよ。

—今回のレコーディングが?

**稲葉**　えぇ。いくつかの部分で。バンド形態で合宿を始めたっていうのも、そうだったし。コンサートのリハーサル以外で、そういうのをやったことなかったんですからね。B'zになってから。で、次は、そこからセーノでやるようになったという。

> (次のアルバムは)全然媚びてない。これでいいのかなというくらいに。(笑)

—「ZERO」のレコーディング中に面白いエピソードってありましたか?

**松本**　最初AメロとBメロの繰り返しだったんだけど、何かもう一個メロディつけようっていう話になって、スタジオの中でちょこちょこっと。(笑)すごい無理な転調なんですけど。(笑)

**稲葉**　音とれなかったもんね、仮歌の時。何回やっても音とれなくて、最終的にキーボードでメロディー入れてもらって、それ聞いて覚えた。(笑)

**松本**　今回は出来たものをそのままとっとくみたいな感じだからね。ここでバラードが必要だとか、そういうことを考えてないんだよね。「恋心」なんかは、イントロ聞くとB'zっぽいとか思うんだろうけど、ずっと聞いていくと、全然。

—違うところに連れていく。

**松本**　ベースなんかも、打ち込み一切ないからね。

**稲葉**　明石さんなんかの、ベーシストとしての意味とかは、今回、ものすごいありますよね。

—これがやりたかったという。

**松本**　でも、毎回そうなんですよね。「RISKY」やった後で、ずごいポップでキャッチーなことやりたかったし。で、今回はこの前のツアー見てもらえば、わかる通りだったし。

**稲葉**　ツアーの影響ってありますよね。スタジオで掛けあいとかやっちゃうしね。キーボードの町田くんと、どっちが速く弾けるかって。

—速弾き。

**稲葉**オーソドックスな速弾き。できねぇだろう、とか言いながら。(笑)

—バンド少年(笑)

**松本**　楽しんでやってる。

**稲葉**　企画スペースのひとつでもあるしね。速弾きも掛けあいも。無茶苦茶な早いやつ。オケができたあと、詞がずっとたまってると、ほとんどスタジオ行かないで書いてるでしょ。行ったら、知らない間にこんなのできてたっていうのが、ありますね。(笑)一番最初に入れてからしばらくして、オケが完成して聴かされたりすると、ほとんどぶっ飛ぶ時ありますよ。大変なことになってるという。(笑)

—でも媚びてない。

**松本**　全然媚びてない。これでいいのかなというくらい。(笑)

—B'zっていうと、やたらコマーシャルなバンドと思ってる人もいるかもしれないけど、そうは見られなくなる。

**松本**　かもしれないですね。でも、そういうことは、今までも実績の中でやってきたし、今後もたくさんやると思うんですよね。その時、その時だよね。自分がいいと思える事をやれるから、いいんじゃないですかね。方法としてね。

—このアルバムを使ったステージも、当然そういうものになる?

**松本**　そうですよね。来年のツアーとかもそうなっていくと思うんですけどね。

※

五月の終わりからスタートしたというアルバムのレコーディング。B'zとしては初の試みだったバンド・スタイルの合宿の成果は、10月28日発売に聞くことができる。タイトルは『RUN』。

まる4ヵ月かかったアルバム作りが終わって、二人は一段落の休み、というのではない。年内に、もう一枚ミニ・アルバムを出すためのレコーディングにとりかかった。「ZERO」と『RUN』。『RUN』の内容は間もなく明らかになる。

B'z

ZERO

# RUN

## NEW ALBUM 10.28 ON SALE

CD初回プレス分のみ豪華特殊ジャケット仕様

CD : BMCR-104 3,000YEN (TAX INCLUDE) CT : BMTR-104 2,450YEN (TAX INCLUDE)

## NEW SINGLE "ZERO" 10.7 ON SALE

CD-S : BMDR-129 S-CT : BMSR-129 930YEN(TAX INCLUDE)

### B'z SPECIAL ON AIR

10.16(FRI) FM OSAKA 18:00~18:30
10.17(SAT) FM AICHI 20:00~20:30
10.17(SAT) FM 佐賀 20:00~20:30
10.18(SUN) FM 青森 18:00~18:30
10.18(SUN) FM 岩手 18:00~18:30
10.18(SUN) FM 山形 18:00~18:30
10.18(SUN) FM 山口 20:00~20:30
10.18(SUN) FM 高知 20:00~20:30
10.18(SUN) FM 中九州 20:00~20:30
10.18(SUN) FM 三重 20:00~20:30
10.19 (MON) FM 北海道 25:00~25:30
10.19 (MON) FM 新潟 19:00~19:30
10.20(TUE) FM 福岡 19:30~20:00
10.20(TUE) FM 山陰 20:00~20:30
10.22(THU) FM 仙台 18:00~18:30
10.22(THU) FM 沖縄 25:00~25:30
10.23(FRI) TOKYO FM 25:00~25:30
10.23(FRI) FM 石川 20:00~20:30
10.23(FRI) FM 愛媛 25:00~25:30
10.23(FRI) FM 長崎 20:00~20:30
10.23(FRI) FM 大分 19:30~20:00
10.24(SAT) 広島FM放送 19:00~19:30
10.24(SAT) FM 静岡 20:00~20:30
10.24(SAT) FM 秋田 17:00~17:30
10.24(SAT) FM 長野 20:00~20:30
10.24(SAT) FM とやま 25:00~25:30
10.24(SAT) FM 福井 20:00~20:30
10.24(SAT) FM 秋田 17:00~17:30
10.24(SAT) FM 香川 24:30~25:00
10.24(SAT) FM 徳島 20:00~20:30
10.24(SAT) FM 宮崎 20:00~20:30
10.24(SAT) FM 群馬 21:30~22:00
10.24(SAT) FM 鹿児島 20:00~20:30

# B'z

TAKAHIRO MATSUMOTO
KOHSHI INABA

MASAHARU FUKUYAMA

# RECORDING TIME

## 福山雅治

PHOTO●SHIN WATANABE
COPY●MISATO KONDA
HAIR-MAKE●KAN SATO

◉初のレコーディング・スタジオ取材。
10月28日・シングル「約束の丘」
11月21日（予定）４thアルバムの
リリースにむけ、福山クンはスタジオごもり。
ナーバスになってんのかなぁ…
と思いつつ、訪れたスタジオでも
福山クンはいつものまま、フランクに
レコーディングのことを話してくれました。

# RECORDING TIME

## 曲はロックだね いわゆる〝カッチョイイ〟

**歌手の小金沢くん（フルネーム・小金沢昇司）に負けじとレコーディングに入ったロック歌手の福山くん。**
**今度のアルバムで4枚目、シングル化「Good night」がヒットした後だけに、より一層力の込もった作品になるのでは…という期待を胸に、途中経過の様子を訊いてみた。**

※

**——どないでっか。**
「ぼちぼちでんな」
**——お約束、どーもありがとう。（笑）作業的にはどのへんまで進んでるの？**
「今、シングルの詞を書いてるとこ」
**——曲の方はどんな感じ？**
「ロックだねぇ、今回は。結構カッチョイイです。いわゆる〝カッチョイイ〟っていうやつ」
**——それは世間一般的に？**
「いや、それはわかんない」
**——自分の中ではカッコイイと。**
「カッコイイと思うよ。自分の中でも。そんなにないサウンドだと思うよ、いまどきないんじゃないかなあ。8ビートなのか、16ビートなのかわかんないけど、わりと大きな感じで。でも、どう思われるかはわかんない」
**——キャッチーなとこ狙おうとしてない？**
「そうでもないんだよ、それが。俺はそうしょうと思ってたんだけど、（出来上ってみたら）そんなにキャッチーでもないな」
**——オリコン9位に続いて、ここはオリコン8位を目指そう！とか。**
「（即座で）それは無理でしょ（笑）」
**——ドラマつかないと無理？（笑）**
「やっぱタイアップつかないと（笑）」
**——現実は厳しいなあ…**
「結果としては全然見えないんだけど、今度のシングルって位置的にはアルバムの中の大事なヘソになる部分の曲だからさ。「Good night」は完璧にシングルとして独立してたけど、今回はもうちょっとアルバム寄りっていうか」
**——アルバム先行シングルっていうやつね。**
「うん。俺は好きなんだけどねぇ」
**——アメリカンな感じなの？**
「そういうとミもフタもないからさぁ（苦笑）アメリカンと取れるかもしれないけどアコギのストロークは俺が弾いててさ、そのストロークはヘタウマのイギリス人が弾いてるような感じなんだよ」
**——うーね。（困）**

「まあ、わりとないサウンドになってると思うよ、いろんな意味で。いまどき、こんな曲出すヤツいねえよなっていう」

**――それがアルバムの中心になってるってことは、全体的にそんな感じなの？**

「そうなっちゃうのかなあ。でも、毎回そうだからな」

**――でも、自分の得意なパターンとかわかってくるでしょ、4枚目ともなると。**

「うん、それはある」

**――じゃあ、その路線を生かしつつ。**

「そうだね。ベーシックなものは同じなんじゃないかな」

**――また男子寄りの世界なの？**

「えっ？じゃあ、どういうのが女子寄りなんだよ」

**――チャゲアスみたいなの。**

「あぁ、キミへのソウルが動き出す、とか。でも、どうなのかなあ。最近の傾向としてはどうなの？いわゆるロックな人たちってどんなこと歌ってんの？」

**――人それぞれかなあ。（曖昧）**

「でも、あんまり詞の内容は問われてないよね。サウンド指向というか。それとは今回のレコーディングは全く反対でさ。ギター一本でちゃんと歌える、ある種完成された楽曲というか、そういうものを10曲集めて、それからサウンドの方を肉付けしていくっていうスタンスだから。最終的に出来上がりのサウンドを想定して曲を作るんじゃなくて、こういう曲だったから最終的にこうなった、みたいな作り方だからさ、サウンド優先ではないんだよね、それは相変わらず」

**――サウンドの中から言葉が出てくるってことは…**

「ナイ」

**――言葉があって、曲が生まれる。**

「うん。俺の場合メロディ・オンリーっていうか、最初からサウンドのこと考えて曲作ることはないからさ。それよりはもっと根っこの部分というか」

**――じゃあ今度のアルバムは、今見失われがちな言葉に耳を傾けさせるものになると。**

「今みんな、歌詞聞いてないのォ？」

**――つーか、いい意味で聞き流せる歌が多いんじゃないかなっていう。とりあえず耳ざわりがいい、みたいな。**

「そんなの内容がないじゃん」

**――そんなのがウッカリ流行ったりしてさ。**

「好きだ、とか言ってりゃいいの？（笑）」

**――そうそう。ホントかよ、みたいな。（笑）**

MASAHARU
FUKUYAMA

**最初からサウンドのこと考えて**
**曲作ることはないから。**
**俺の場合。**

「そういう疑問はあってさ、人の歌を聞いてどーのっていうんじゃなくて、自分の中でサウンドに合わせた言葉ってあると思うんだ。でも、そればっかりやっていくと内容がなくなっちゃうというか、言葉を羅列していくだけじゃ筋が通らないと思うんだ。もちろんアレンジされて、歌入れして、TDしたらそこそこ形にはなるけどさ、聞く人にはそれなりの伝わり方すると思うんだけどさ、それじゃあ筋通ってないんだよね、自分の中では。やっぱり内容から詰めていかないと。例えば、詞のワンフレーズを取って、"これ、どういうことですか？"って聞かれた時に、答えられないとマズいなっていうのあるじゃん。"いや、それは歌だから"って答えるのも、なんかなあ。自分で書いたんだから責任持たないと」

**——説明ぐらいできないとね。**

「やっぱり企画・制作・宣伝、一人でやらないといけないからさ（笑）」

**——詞を書く時、ベースになるのは自分の経験？**

「うん、自分で感じたことじゃないとね。俺、シンガー・ソング・ライターだからさ、作詞家じゃないから、机の上で物語作るのはできない」

**——例えば一年に一枚のベースでアルバム出す人は、その一年間の自分がアルバムに反映されてるっていうけど、福山君は？**

「この一年間というか、今まで生きてきた自分が端々に出るんじゃないの？あとは、出そうと思ってなくても、今の自分が出ちゃうんじゃないのかな」

**——今回は全部自分で**

「そうそう、たいへんなんだよ」

**——そろそろ全部自分でやる時期かな、と。**

「いや、そうも思ってないんだけど。書けないものは書けないものとしてあるからさ」

**——例えば？**

「もうちょっとセクシーな歌が欲しいな、とか曲調によってはあったりするじゃん。そういう時に書けないことってあったりするからね。俺、セクシーな曲は書けても、詞が書けないんだよ。爽やかだから。（笑）セクシーな詞って難しいよねぇ（しみじみ）」

**——まだまだ書けない？**

「そう。もっと乱脈交際しないとダメかな、浜田省吾みたいに。（笑）なんでああいう歌が書けるんだよ、あの人」

**——それは不倫とかあってタイヘンだから。**

「ああ、そうかあ（納得）でも、あれって絶対いいように書いてるんだよな。もうひ

## 作詞家じゃないから、机の上で物語作るのはできない。

RECORDING TIME

とつの愛の暮らしがどーのこーのって。あの人って大体、三角関係の話が多いよね」

**――実体験、豊富だもん（憶測）**

「ああいう詞が書けるのっていいよなあ。だって普通、一対一の恋愛が多かったりするじゃん、歌にする時って。ホントは軟派野郎で、いろんな女とすぐやっちゃうくせに、なんか自分の一番美しい思い出だけを歌にしてしまう傾向にありがちじゃん」

**――それは一応、人様に出すもんですから。**

「だからって、そんなふうにいいように見つくろうのは、いわゆる偽善者っていうんじゃないの？」

**――ほおー。**

「だって、友達と話してる時、自分のいいとこばっかり喋ってるヤツって信じられないもん、俺。〝俺は浮気したことない〟なんて言ってるの聞くと、〝ウソだろう〟って思うもん。（笑）〝二人の女しか愛せない〟って、おまえの心はそうかもしれないけど、カラダは違うだろうって（笑）」

**――そ、そこまで深読みするかぁ。（笑）**

「なんか俺、疑っちゃうんだよな。ホントのことなのかもしれないけど、疑っちゃう」

**――いけないよ、それは。**

「えーっ、疑いやすいじゃん、アナタだって（笑）」

**――この男、ひどいこと言ってるー（怒）**

「そうだよ、俺より疑い深いよ」

**――あんたね、そんなこと詞を全部書いてから言いなさいよ。**

「（笑）今回はね、アツいよ。ホントにアツい（笑）」

**――そんなアツい歌、聞けないかもしれないわ、ワタシ。**

「大丈夫大丈夫、聞ける聞ける」

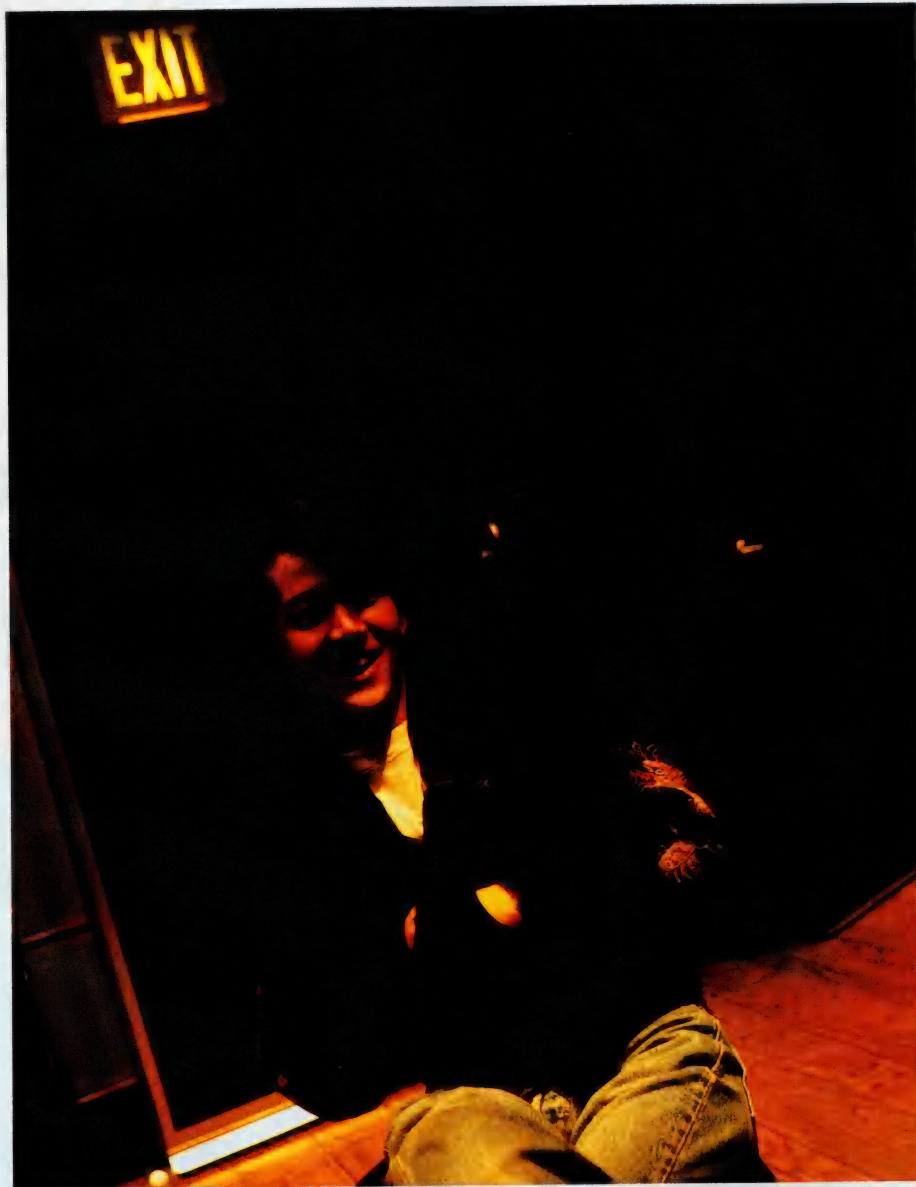
※

**なにやら自信ありげな福山くんではあるが、取材した時点では（9月11日）**

「出るのかなあ。出す気持ちはあるんだけどさ、間に合うかなあ」

**ちなみにリリースは10月後半予定。まさにイチかバチか状態。まっ、その前にシングルを完成させなければ。**

「でもさ、タイトルが「約束の丘」っていうんだけど、佐野元春さんが「約束の橋」を出すんだよね、同じ時期に。しかも向こうはドラマのテーマ・ソング。フジテレビの牧瀬理穂が出るやつの。㊟月曜夜の9時『二十歳の約束』）だからさ、なんかマズいなあと思って」

**さあ、どっちがヒットするか。**

# MASAHARU FUKUYAMA

**セクシーな曲は書けても**
**セクシーな詞が書けないんだよ。**
**難しいよね…**

# 新装開店　私設FC改め　パーラー福山

◉先月の表紙・巻頭のせいか、会員激増で㊥の机の横の封書の束は遂にダンボール3箱目に。新コーナーも無理矢理始まって、やっと形になってきた「パーラー福山」出血大サービス中。

## ねえねえ八木ちゃん　マネージャー日記

「今月の福山仕事」が外から見た福山クンの観察なら、このコーナーは現場マネージャー・八木一介氏の内側からの仕事報告！　…いいんかなぁ…

皆様、初めまして。福山雅治の現場マネージャーの八木一介(かずゆき)です(ターザン八木じゃないよ、㊥Fさん)。第一回目は御挨拶がてらに、僕が福山についてから現在までのことと、その感想を、ちょっと書きます。

思えば、僕が今年アミューズに入社し、5月に福山チームに入った時点では、ここまで福山人気が爆発するなんて思いもしませんでした。ぶっちゃけた話、アミューズに入社するまで僕は福山雅治という人を、知らなかったのです。(あ～書いちゃった。福山先生すんません)そんな僕が初めて福山に、会ったのがテレビ東京の『SOUND GIG』でした。それから、『オールナイトニッポン』、『スパークリングファクトリー』、『ロックエイジ』、『愛はどうだ』、「Good night」のプロモーション活動(深夜のラジオ局にヤクルトかかえて御挨拶)、パチパチを筆頭とする雑誌取材、その他諸々を経験しました。

そして気が付いてみるとオリコン九位(ヤクルトがきいた?)、女性紙での好きな男は、ベストテン入等々で、正に人気爆発、平成四天王、人気ロッカー、スキャンダル福山等の名に恥じないポジションを、福山先生は確立したのです。

一人のアーティストの人気上昇を、直に見れた僕は、とても運がいいと思います。こんなことは滅多に見れるものではありません。福山先生はじめ配属して下さった、アミューズの皆様に非常に感謝しています。(社会人になると本音とたてまえが必要なんです)

最後に、秋に発売するシングル、アルバムで更なるステップアップを狙う福山先生に、これからも皆様の応援をよろしくお願いします。(ここにきてまで宣伝を忘れないこの根性！)……………おっと、どうやら眠っちまったらしい。時計を見ると午前五時をまわってく。レコーディングは終わったかな…。あっ！福山先生！　しまった！　寝ているところを見られてしまった。あぁ…、顔に悪戯な笑みがうかんでいる…。またネタにされてしまうのか……。というわけで、次回は『オールナイトニッポン』でもよく暴露されている僕の失敗談を書こうと思います。

## 今月の福山仕事ウォッチング

「最近、天狗になってんじゃないの?」天狗な男に、「天狗」呼ばわりされてしまった根田です。余計なお世話だ、フン。今月はスペースが短いので、即本題。

●福山、今度はヒモ役。

10月16日スタートのTBSの新番組「ホームワーク」(金曜21時、いわゆるゴールデン・タイム)に出演する福山君。四組のカップルを通して愛し方のパターンを見せていくというドラマで、彼の役どころは清水美砂のヒモ。おー、こいつは汚れ役ってやつか。(笑)ハマリすぎてて見るのがコワイ(笑)でも、唐沢寿明クンが出るから毎週欠かさず見よーっと♡ちなみに気になる主題歌は『稲垣潤一の『クリスマスキャロルの頃には』。挿入歌は売り出し中のロッテン・ハッツが担当。うーん、こうなったらドラマの中で自主的に自分の曲を歌うしかないな、福山君の場合。例えばハナ歌とか。たのむ、毎週一回、歌っておくれ。(願)それにしても、TBSのドラマばっかり出る男だな。さては癒着してるな。(笑)

●福山、G4のふりして実はG3

これまたTBSネタ。G感性チェックの番組で、福山君はテストの結果G3に。ミュージシャンにはG4が多いってことでスタジオの予想はG4だったが、本人いわく「人と変わったことがしたいんだけどそれがなかなかできない。だからG3かも」福山、やっぱりキミは正直者だ。

## 会員数4000名(くらい)

### F・C入会方法

福山クンに関する文章・イラスト等と、表にあなたの住所・氏名を書いた返信用封筒に62円切ってを貼って同封し以下まで送って下さい。▶〒156-91　世田谷区千歳郵便局私書箱25号　ソニーマガジンズ　パチパチ「福山雅治F・C」係へ。会員証をお送りいたします。現在、会員数が急増中で事務処理が大幅に送れております。会員証のお届けはもうしばらくお待ち下さい。▶会員番号がゾロ目になった方は、パチパチ特製福山"Good night…のジャケ写で着てたのと同じ"パーカーがあたります。

## あら？カルトQ　解答&当選者

まずは先月号の表紙・巻頭記念の「あらカルトQ」の解答をどうぞ！

A1、伝書
A2、菊池桃子
A3、(3)のパチンコ屋
A4、橋本三蔵
A5、(1)オールナイト・ニッポン
A6、(3)ザ・モッズ
A7、(1)イナカモン・バイ(選択枝には「いなかもんバイ」とありましたが、こっちが正しいです)
A8、(1)白浜久
A9、福チャン
A10、(2)ラモーンズ
A11、正解ありません、すいません。この問題は全員正解です。ちなみに、正しい答えは、八木一介(やぎかずゆき)さんでした。
A12、太陽はふたつない
A13、山下久美子
A14、Good night

＊　＊

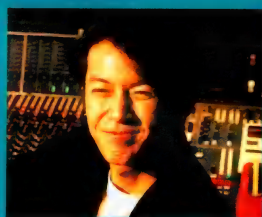
そして、FAXサービスのプレミアム問題Q15は…
Q15　福山雅治の出身地は何県でしょう?
A15、長崎県

でした。

＊　＊

はっきり言って、超カンタンでした。全問正解率は全体の20%くらいでしょう。Q4の問題「映画"ぼんの59"で福山クンが演じたおたく青年の役名は?」だけ答えられなかった人が多かったようです。

それでは、抽選になってしまった、パーカー当選者の発表です。

東京都　土田絵里さん
岡山県　広田桃子さん
大阪府　中川尚子さん
千葉県　草間美紀さん
宮城県　長田明子さん
埼玉県　田村みかさん
東京都　富田貴子さん
千葉県　岩田真由美さん
東京都　大久保由美子さん
埼玉県　八木下玲子さん

今月のボツ写真

某清涼飲料水のCM・某Lというバンドのマネをするも、スポンサーの関係でNGに。(この手には某清涼飲料水が持たれていた)他歌手のコ○ネザワ君のマネバージョンも有り。

BMG
BMG VICTOR, INC.
Amuse

# MASAHARU FUKUYAMA
NEW SINGLE
10・28 ON SALE

MASAHARU FUKUYAMA

**TOUR'93 We're BROS.**
— 約束の丘 —

**1・10 静岡市民文化会館**[START/18:00]
(問) サンデーフォーク静岡 054-284-9999★11/7 チケット発売

**1・13 新潟音楽文化会館**[START/18:30]
(問) FOB企画新潟 025-229-5000★11/8 チケット発売

**1・22 大阪厚生年金会館大ホール**[START/18:30]
(問) キョードー大阪 06-345-2500★11/29 チケット発売

**1・27 名古屋市民会館**[START/18:30]
(問) サンデーフォーク名古屋 052-320-9100★11/22 チケット発売

**1・30 福岡市民会館**[START/18:00]
(問) BEA 092-712-4221★11/29 チケット発売

**2・1 広島アステールプラザ大ホール**[START/18:30]
(問) キャンディ プロモーション 082-249-8334★12/6 チケット発売

**2・4 札幌市民会館**[START/18:30]
(問) WESS 011-613-9000★11/8 チケット発売

**2・6 仙台青年文化センター**[START/18:30]
(問) G.I.P 022-222-9999★11/8 チケット発売

**2・16・17 渋谷公会堂**[START/18:30]
(問) フリップサイド 03-3770-8899★11/28 チケット発売

**NEW SINGLE 10・28 ON SALE**
TBS系「テレビ近未来研究所」エンディングテーマ

## 「約束の丘」

c/w ふたつの鼓動
CD-S:BVDR-130 税込定価¥930

**NEW ALBUM 11・21 ON SALE**
CD:BVCR-100 税込定価¥3,000

•

## 福山雅治

Nestlé Mackintosh

おいしい気分転換。

Have a break, have a KitKat.®

Nestlé KitKat® CRISP WAFERS IN MILK CHOCOLATE

® 登録商標

毎月500名、合計3,000名様に 当たる!

## キットカット"ブレイクキャリー"プレゼント

※ラケット、シューズ、タオル、小物類は景品に含まれません。
※景品のデザインが一部変更になる場合がありますので、ご了承ください。

●応募方法／キットカット製品の裏面についている点数マークを30点分集め、官製はがき又は応募はがきに貼り、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、右記までご郵送下さい。

この点数マークを集めて送って下さい。 NM KK 5　NM KK 10

●対象商品／キットカット50円、キットカット100円

●宛先／〒119-44 東京中央郵便局留置 キットカット"ブレイクキャリー"プレゼント係行

●応募期間／平成4年10月1日(木)～平成5年3月31日(水)

●締切／毎月、月末締切。最終締切、平成5年3月31日(水)。当日消印有効。

●抽選・発表／厳正な抽選の上、当選された方には、直接景品を発送し、発表にかえさせて頂きます。

# LAST SESSION

●BAKUがパチ▶パチに載るのはこれが最後です。だから、メンバー同士に写真の撮りあいっこをしてもらいました。心にしまっておいてね。

BAKU

PHOTO by Yōsuke Komatsu
COPY by BAKU

# KOJI TOOK PICTURES OF SOICHI

イトーアキさんと言う人は不思議な人で付き合いが長いからか、何なのか分かりませんが、良く僕のことを知っている人ですね。この中の主人公の僕の考え方とか、話し方とか、けっこー似てる部分があります。

この話は、僕が作った「精一杯の想い」を元に作られた物ですが、良くここまで僕の気持ちを、上手に表現しているなぁと思いました。この話を読んで……と言うか、僕の経験からすると、恋愛と言う物は、とっても難しい物で、好きな人と近くにいる分には、ディズニーランドに行ったり、食事したり、けんかしたり、で、仲なおりとかして、それ以上に仲良くなったり、1回別れてまた付き合ったり、その2人の間には、いろいろな思い出が出来るわけですが、距離が離れていると、思い出も過去の物しか出てこないわけで、現在進行形の思い出というのは、電話や手紙だけでは難しい物です。この中の主人公の僕はかわいそうですが、それ以上に微笑ちゃんはとってもかわいそうです。僕は電話を出来るときに出来ますが、微笑ちゃんは僕の電話を待つことしか出来ないから、きっと、毎日、毎日僕の電話の来る事を楽しみにしていたのでしょう。電話の来ない夜には、きっと、深い眠りにはつけなかったでしょうね。でも、僕が思うに、微笑ちゃんには本当に好きな人ができたのでしょうか。毎日、つらい夜を乗り越えて、毎日、僕の事を考えて……。自分で決めた最後の手段だったんじゃないでしょう。分かりませんけどこういう考えも出来ますね。

と、好き勝手な事を書いてますが、きっとこれを読んでいる人の中にも、こういう経験をした人もいるでしょうね。でも、恋愛なんて物は、くり返しですから、別れたらその前の人より良い人としか付き合えないから、どんどん付き合って、そして別れて下さい。で、自分に1番合う人と結婚して下さい。まぁ、まだずーっと先の事だと思うけど……。僕も、みんなに負けない様な、素敵な恋愛を見つけたいと思います。最後に。読んでくれてありがとう。

イトーアキさん他、沢山の方々、本の出来上がりを楽しみにしています。どうぞ、よろしくお願いします。で、今後も、谷口宗一をお願いします。

# HIDEYUKI TOOK PICTURES OF KOJI

TOURは楽しいです。本当にいい物です。色々な人間模様が見れます。様々な人々、風景に出逢います。うまい酒を飲むこともあればマズイ酒を飲むこともあります。

この物語はたしかにフィクションなんだけど、限りなく本当に近い部分が多々あります。実際TOUR中、メンバー、スタッフがバス移動のとき、僕は必ずトランポに乗ってました。それが僕のTOURの中のひとつの楽しみでした。トランポの牧野さんとは、その移動の車の中でしか出来ない話もたくさんしました。色々な物、事柄を一緒に見てきました。TOURスタッフの中では、1番仲良くしてもらい、色々な悩みや相談を聞いてもらいました。自分にとってのいい兄貴、いやおじさんでした。11t車に乗ると、公道の中で1番偉くなったような気がしました。車中はいつも、看板をバックに写真を撮りました。車中はいつも、牧野さんが980円でそろえたBEATLESが流れていました。それが終わると〝永ちゃん〟だったりするのが牧野さんらしいな、と思いました。

初めて牧野さんに逢った時、なんと恐そうな人なんだろうと思い、絶対一緒に、普通に会話することなんてないだろうなと思っていたら、想像していた人間とまるで違う、ただの気の優しいおじさんでした。

全然感想文になっていなくてごめんなさい。でも、いざ書くとなると、こういう想い出ばかりが次から次へと出て来て止まらなくなります。そんな中で、うちらの最後のTOURも終盤の札幌で、矢沢永吉さんの物販で売られているTOURトラックのミニカーを改造して作ったBAKUのTOURトラックのミニカーをプレゼントだと言って、少し恥ずかしそうに、ぼそっとくれました。僕はその時、初めてこのバンドが終わるということを実感しました。この時だけです、実感したのは。それと同時に、これからだなと思いました。とにかく嬉しかったんです、その車が。今でもしっかり部屋に飾ってあります。僕、部屋の中にBAKU関係の物ってあえておいてなくて、本当に全部、実家に送ってしまうんですけど、ただひとつ、それだけは、しっかり飾ってあります。

また必ず一緒に周りましょうね、牧野さん。だまされたと思って3年くらい待ってみて下さいな。

おわり

# SOICHI TOOK PICTURES OF HIDEYUKI

まったく。
この物語はくそ腹立ちますよね。
これじゃぁ、まるで僕が毎日ちこくしてるみたいじゃないですか。
それが本当の話だから、またまた腹が立って、もう夜も眠れませんよ。
そうしてまた、ちこくをしてしまう俺なのですが……。
実はですね。
この物語をまた最近読みなおしたのですが、なんか、本当にむかしのような、なつかしい感じがしまして、まぁ、あの頃は若かったなと思いました。
あい変わらず毎日、このような生活をしているのですが、やっぱり後ろを振りえらずに、前進あるのみでがんばります。
また、何かあったら、こういうのを書いて下さいね。
伊藤アキたのむゼ！（死後）
でも、あまり生活は変わらないと思いますが……。
追伸・ブルージーンズは、今だ健在です。

加藤

# BAKU FINAL BOX

## 10月下旬発売決定!!

**●3冊セット●豪華ケース入●全554ページ●3800円**

**BOOK 1**
●BAKUがGBに初めて登場してからの記事を完全再録で掲載。さらに、未使用分のフォトも一挙に公開。もちろん、BAKUとして最後のフォトセッションになる、最新未発表の写真もばっちりお見せします。加えてBAKUとして最後の活動になる"夏のツアー・EAST・3DAYS"を完全密着取材。本当に最後のロング・パーソナル・インタビューまであります。BAKUの2年間とみんなの2年間を比べてみてください。必見です。

**BOOK 2**
●今までバチ▶バチの記事では伝えきれていないこと――まだまだたくさんあります。BAKUがデビューしてからずっと追いかけてきた1人の人間が、3人を通して感じたこと考えたこと…"経験"という2文字では語れない大切なことを書き下ろします。谷口くんのちょっとした男らしさや車谷くんの何気ない優しさ、そして加藤くんの本当の芯の強さが見えてくる、正真正銘の文字だけのBAKUの本です。最新カラーフォト付。

**BOOK 3**
●先月号ではお知らせできなかったプレミアム・グッズの内容が決定! なんと、カラー64ページの写真文庫がつきます。たっくさんある雑誌のBAKUの記事の中でも、いつも最高のビジュアルをお届けしてきた(と思う…弱気なヤツ…笑)バチ▶バチ。みなさんのアンコールにお答えして、バチ▶バチ2年間のベストショットをセレクション! もちろんあの名作(笑)BAKUマガジンのショットもお届けします。満足必須。乞う御期待!

## ばくしんサンクス◎最終号

BA KU BA KU BA KU

こんちにわ。めっきり涼しくなりましたがお元気ですか、みなさん。単行本やなんやらで、今までのバチ▼バチのBAKUの記事を全部読み返してみたんだけれど、このコーナーの飛ばし具合といったら……。もうほとんどひとりごとの世界でしたね。まぁいつもこのコーナーの原稿を書くのが1番後回しになっていたから、眠くてしょうがない、壊れた状態で書いていたので、どうか許してくださいまし。さて、もうすでにそれぞれの活動に入っている3人なんですけれども。3人の中で1番早く表立った活動を再開する谷口くんの記事が、今月号の123から125ページに載っています。約束したとおり、でしょ? この快挙。みなさん喜んでいただけましたでしょうか。(笑)その思いはぜひ、アンケートハガキに託して、谷口くんのページが少しでも多くなるよう、祈っていてくださいねん。

さて、私のほうはと言いますと…。やっぱり単行本を書いてまして、書いて書いて、ちょっとライブに行って(カーブとかシャーラタンズとかオーシャンカラーシーンとかヒットパレードとか)また戻って来て、書いて書いて書いて…という感じです。今、最終チェック段階ですが、自分のつたない文章を読み返してみて感じることは、BAKUというバンドは私にとっては"とびばこ"みたいな存在だったんだなということです。どうしてか…というのは単行本に詳しく書いてあるのでを読んでみてください。なんだか自分のことをとてもたくさん書いてしまったような気がするけれども、全部BAKUがいたからこそ出てきた感情であり、経験でした。私という人間をとおして、きっと、3人の違った一面を見ることができるんじゃないかと思います。バイバイ。

Sony Magazines Inc.

●注文伝票(注文は書店で)

BAKU FINAL BOX

'92年10月発売予定
●予価3800円(税込)

●住所　●TEL

●お名前　●年齢　●職業

〒102 東京都千代田区五番町6-2 TEL03-3234-5811 ソニー・マガジンズ

※書店様へ:このカードがまいりましたら、台帳にお控えの上、お取引の販売会社へお早めにご注文ください。

▶この注文書は切り取らないで、コピーして使ってくれてもOKだ。お友達にもあげよう。

書店(番線)印

書籍扱い

才能じゃない。
ほんの小さなきっかけなんだ。

音楽遊学・ヤマハ

PMS

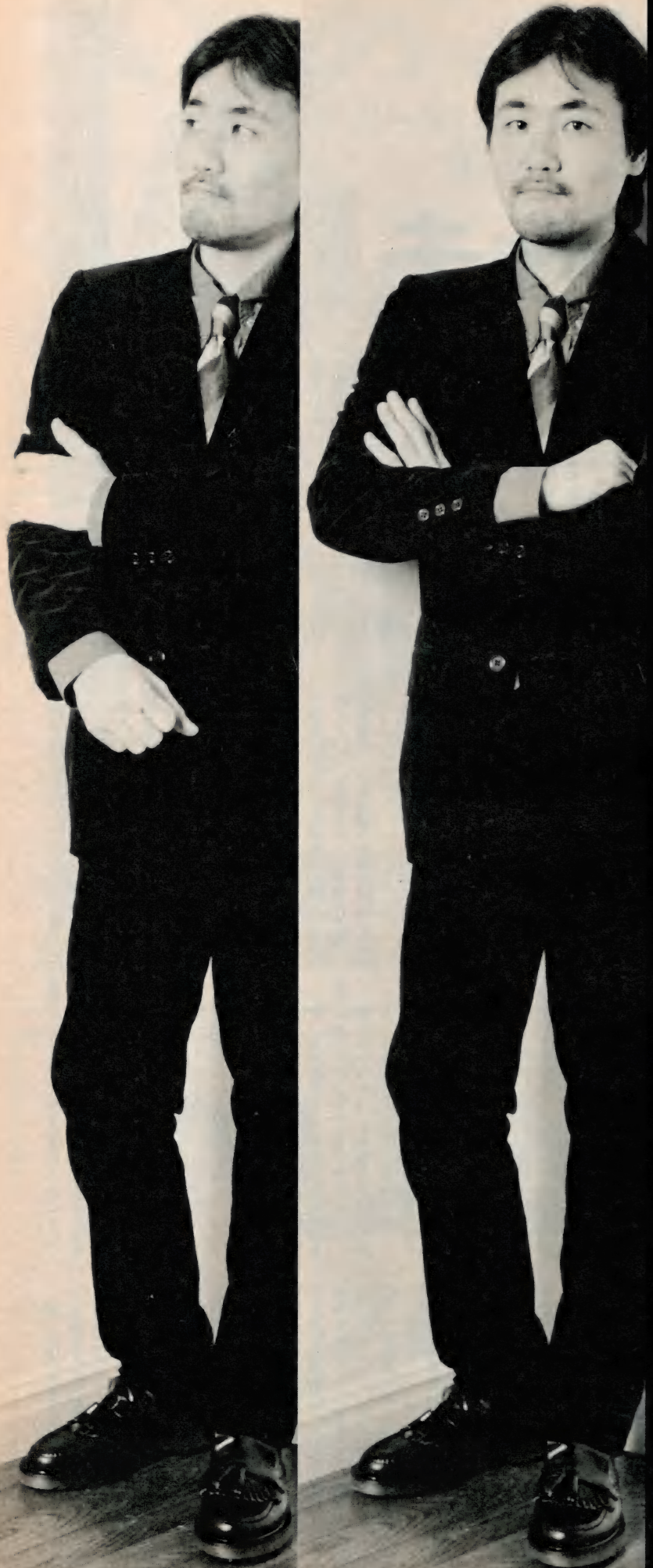
YAMAHA
POPULAR MUSIC SCHOOL

## 秋の入会受付中

「バンドってスゴイ。カッコイイ。こんな世界があったんだ」。友だちのライブに誘われていったときのこと。一瞬、アイツがスターに見えた。ふだんはフツーのヤツなのに。僕と違うところといえば、ギターがちょっとひけるぐらい。その日、僕は決心した。始めてみると、楽器ってべつに難しくないんだ。気のあう仲間もみつかった。いよいよ今日は、初ライブ。「そうか。アイツも、こんな気分だったんだね」

募集コース

エレクトリックギター　エレクトリックベース　バンドキーボード　ドラム　ボーカル　バンドコース　アコースティックギター　フルート　サキソフォン　トランペット　クラリネット　ポピュラーピアノ

お問い合せは(財)ヤマハ音楽振興会各支部へ　北海道地区〈北海道支部〉011-512-6119　東北地区〈仙台支部〉022-222-6947　関東甲信越地区〈東京支部〉03-3573-6625　静岡地区〈静岡支部〉0534-73-6821　中部・北陸地区〈名古屋支部〉052-782-6901　近畿・東中国・四国・沖縄・広島(福山市・府中市)地区〈大阪支部〉06-647-1722　広島・山口・島根地区〈広島支部〉082-244-3741　九州地区〈九州支部〉092-472-2154
関東甲信越地区、中部・北陸地区、近畿・四国地区の方はフリーダイヤル 0120-329808へどうぞ

# THE BOOM PRESENTS LONG² INTERVIEW SERIES

# そばにいたい Vol.1 栃木孝夫

●THE BOOMを取材しはじめた日から、"パチ▶パチ誌上では絶対、4人で出てもらおう"というこだわりを守ってきた。でも、やっぱり"ひとりひとり、じっくり話を聞いてみたい"とも、どこかで思っていた。チャンス到来。

撮影●石黒美穂子　文●小杉之子　スタイリング●KUMIKO　協力●G&M

THE BOOM

# 栃木孝夫

## 兄貴は兄弟というより一番古い友人。親友というより心友。

前からの予定通り8月8日の〝夏祭り〟で、THE BOOMは年内の4人での活動を終えた。これはよく世間で言う、活動停止や充電期間をとる、といったものではなく、あくまでもBOOMとしてのライブやレコーディングを行わないだけ、という期間だそうだ。私自身は〝それぞれが個人にたちかえる、見つめ直す時間〟だと受け止めている。

以前から、BOOMの活動にそって、パーソナル企画ものはやらないと決めていたパチ▼パチだけど、4人が4人として活動を始める来年の1月までちょうど4ヵ月。個人が個人に戻っている、この期間だからこそ、いつもはできない一人の人間に対してのインタビューを試みてみようと思う。今月から4ヵ月間は、モノクロ・ページでじっくり語ってもらうという特別企画になった。さて、順番は年齢で決定。つまりトップバッターは栃木さん。テーマは4人統一で「友人・友情について」です。

—栃木さんって、もともと友達は多い方だったんでしょうか?

「うん、小さい頃はそれなりにいた方だと思うよ。俺って双子でしょ? だから注目されたりして、人が集まり易かったから」

—やっぱり双子のお兄さんとよく遊んでいたんですか?

「そうだね、気がついたらいつも一緒、みたいな。でも小学校入る前とかってうちは下町だったからね。もう近所のガキ、全部友達だった。人の家、ガンガン入っていって、二階の物干し台をダダーッと駆けずり回っていたりしてね(笑)」

—時代を感じるなぁ。(笑)

「高度経済成長期だもん。しかも双子だとガンガン喋れるし、ガンガン走る。ただのやんちゃ坊主っていう感じ」

—やっぱり仕切ってた?(笑)

「いや、その頃はまだ。(笑)ただ、やりたいようにはやってたよ」

—本能のおもむくまま。

「そんな、人を野性児のように言わなくても。(笑)小学、中学と仲良かったのは、ヤスダっていうヤツ。教師の息子だった。よくローラースケートやったな」

—え、そんなもの、もうあったの?

「失礼なっ。あったよ。でも鉄板にタイヤが付いていて、紐で留めて履くヤツだったけど。(笑)それで団地中をガーガー走り回ってた。とにかく友達と外で遊ぶのが好きでさ、自転車乗ったり、溜池でザリガニ釣ったり。ワイワイやって楽しかったよ。しかも男としか遊んでいなかった」

—高校に入ると、友達も変わってくるんじゃないですか?

「そうだね。といっても本当は中学も一緒だったんだけど、最初のバンドを組んだ奴が同じ高校だったから結構一緒に遊んでたよ。ベースとギター」

—高校はお兄さんと別?

「うん、別。だからそこから俺だけの個人的な友達っていうのができた。俺はクラブやってなかったから、学校帰りに喫茶店に寄って、煙草吸いながら友達と話をしてたっていう毎日。タカギとかとね」

—煙草? 栃木さんもそういうことを…

「(笑)別に煙草は悪いことじゃないよ。俺、中学の受験勉強の頃から吸っていたもん、気分転換に」

—その高校の時の友達っていうのは、親友と呼べる友達?

「親しい友、の親友だったら、そうだね。テラモトとアサオカとヤスダ。ヤスダは、高校入ったら、違う友達とつきあい始めて人間変わっちゃったから(笑)遠ざかっていったけどね」

—その人達と未だに会ったりする?

「全然会ってない。その当時の親友だったんだろうね。連絡もしていないからさ」

小学、中学、高校の頃の友達っていうのは、本当にくだらないことで大騒ぎができた。私もまたそう。誰と誰がくっついた、離れた、だけでも大事件。ちっちゃなちっちゃな自分の世界の中で、よくまぁあれだけ動いていたと思う。友達と喧嘩しただけで、この人生が終わってしまったかのように、どっぷりと落ち込んだ。部活の内部が揺れるだけで、日本の政治が変わってしまったほどの不安があった。でもあの頃はそれがすべてだった。いつも周りにいた人達はみんな親友だと思っていた。でも、どうだろう? 24歳になった今、いや、高校を卒業して仕事を始めてからというもの、当時の仲の良かった友達と会うことが全くなくなってしまった。連絡すら取り合わない状態。あんなに大事な友達だったくせに。それを繰り返して、また新たな友達とつきあっている今の自分がいる。この友達ともいずれ会わなくなってしまうのだろうか? 自分の取り巻く環境が変わると、友達が変わる。それはしょうがないことなのかもしれない。そう考えると、やはり親友というものはできづらいものなんだろう。

—やっぱり双子のお兄さんっていうのは友達にはならない?

「いや、もう友達だよ。兄弟だなんておもわないもん。幼なじみだね、完全に」

—双子だっていうことが嫌な時ってなかったんですか?

「ぜーんぜん。親に比較された記憶もないし。兄、弟っていう区別もなかったもん。もちろん外の人は比較していたかもしれないけど、家の中ではいっつも同じ扱いで。嫌な気分になったことって一回もない。よく〝私も双子なんだけど、すごく嫌です〟みたいな手紙を貰うんだけど、あれは不思議だな。だからねー、兄貴は、一番古い友人。そいつが同じ家にいるっていう感覚」

—栃木さん兄弟の仲の良さっていうのはもう有名な話だったりするんですけど、喧嘩なんかはあまりしないんですか?

「そりゃしたよ。喧嘩している時はただのムカつくヤツ。(笑)でも次の日、朝飯食ってる時にはもうすっかり忘れている。そんなことをずっと繰り返して今まできたっていう感じ」

—お兄さんは親友?

「親友っていうよりも〝心友〟だね。なんて、そんなことを言ったらミもフタもないんだけど(笑)」

同じ顔をしている人間がもう一人いるっていうのは一体どんな感じなんだろう? 時時双子に憧れたりもする。だって楽しそうなんだもん。

友達から少し離れるかもしれないけれどこんなことを聞いてみた。

—栃木さんは、男女の間に友情は存在すると思いますか?

「存在すると思うよ」

—実際、いる?

「今は……いない(笑)」

—何でなんでしょう?

「たまたまだよ、たまたま」

—無理しちゃって。(笑)

「おーきなお世話だ(笑)」

—栃木さんの初恋っていつ?

「それにはいろんな段階があって…」

—なにブツブツ言っているんですか?

「ただかわいいなって思うのと、好きだなっていうのは違うでしょ。かわいいなって思ったのは小学校2年の時」

—そのあとは?

「そのあとは……嫌だ、言わない(笑)」

—別にいいじゃないですか。(笑)

「ビデオの中で言ったけど、千葉城でデートした女の子かな。でもその子には、俺、自分からアプローチしたわけじゃないんだよ。バレンタインの時にチョコレートをもらって、初めて向こうの気持ちを知った」

—好きだった?

「っていうか悪い子じゃなかった。想いを寄せていたわけじゃなかったからね」

—想いを寄せていたのは他にいた?

「自分が本当にもう何とかしたいと思って悶々としたのはもっと先のこと。高校に行ってから。中学も一緒だったんだけど、駅まで行くバスの中で会う女の子がいてね」

—バスの君? クーッ。(笑)

「うるさいなぁ(本気でテレる)。俺が乗るにはちょっと早い時間のバスだったんだけど、彼女はそれじゃないと間に合わないらしくて。で、一生懸命そのバスに乗ったんだよ、毎朝毎朝」

—ルックスはどんな子?

「とにかくかわいい。セーラー服着て、髪が真っ直ぐで長くて…」

—クーッ。

「なんだよ。お前っ(テレ隠しに怒る、が目は笑ってる)。おとなしくって、キレイな子だったなぁ」

—それで、それで?

「バスで一緒になった時に何気なく話をしたり。〝いつもこれ乗ってるの?〟とか」

—うまくいった?

「いかなかった。でも学校の文化祭は来てくれたけどね。うちは文化祭やるのが早くてさ、5月だったたから、誘った」

—今、現れたらどうする?

「なんか結婚して、もう子供がいるらしいよ。だから子供連れでとかなら会ってもいいかな、なんて思う」

—今度やろうか、パチ▼パチで。(笑)

「探してくるか?」

—探そうか?

「絶対だなっ」

—ムキにならないで下さい。(笑)

大学卒業して、自分からひとりきりを選んだ。目標のために。

# LONG² INTERVIEW SERIES
# そばにいたい

「(笑)でも後にも先にもあれだけ燃えた恋愛ってないかもしれない」

—栃木さんの恋愛。(しみじみ)

「今の子みたいに上手じゃないよ」

—え、ナニがですか?(動揺)

「何を考えてるんだ。(笑)そうじゃなくて、やっぱり千葉の田舎の子だからさ、誘い方ひとつとっても全然スムーズじゃないの。俺の方から手紙をひたすら書きまくってたな。返事が来たのは最初の一通だけ。あとはまったく。(笑)でもさ、人間って不思議なものでさ、一回返事が来るといい気になっちゃうんだよ。〝ああ、書いてもいいんだな〟って証明書をもらったような気分っていうのかな。そこからはもう、ホイホイいくらだって書けちゃう。それをバスの中でどんどん渡してた(笑)」

—バスの君に。

「そう、T・Tさん」

—(笑)栃木孝夫?

「偶然、同じイニシャルだったの。それを発見してからは、ノートに名前書くのもイニシャルで書いたりしてた。で、ひとりで〝一緒だ〟てニヤケたりして(笑)」

—わかりたくないけど、その気持ちはわかる。(笑)栃木さんってファンの子とよく話をしているけど、ファンっていうのは友達になりえると思いますか?

「本当の本当のただの友達だったらなれるかもしれないね。でもこれだけ年齢が離れていると、俺の立場から意見を言ったりはできないね。だから彼女なり彼なりの話をただ聞いてあげられるっていう立場」

—お兄さん的立場ですね。

「そうそう、それだったら大丈夫だね」

—メンバーはどう?

「うーん、YAMAちゃんは友達だと思うね。(笑)あいつには、同じバンドのメンバーであると同時に友達感覚っていうのが湧いちゃうんだよね」

中込「YAMAちゃんが友達っていうのはなんとなくわかるなぁ」

「MIYAやTAKASHIは、もう仲間っていう感じ」

—マネージャーの中込くんとか藤井くんは、どんな存在なの?

「やっぱり仲間かな」

—剛さんは?

「剛さんは社長だよ。(笑)それ以外のなにもせのでもない」

—プロになってから知り合った人はみんな友達ではないんだ?

「仕事を介して出会った人達っていうのは全部同じ目標をもった仲間だね。他のミュージシャンの人っていうのも、友達というよりはまだ知り合い程度だから。やっぱり男も34歳になると友達っていう人間はいまさら増えないもんだよね」

知っている人も多いと思うが、栃木さんは大学卒業者。私は大学へ行ったことがないのでよくわからないけれど、なんとなく大学っていうところは友達がいっぱいできそうな感じがするところだ。とにかく人も多いし、全国からいろんな人が集まっている。栃木さんもたくさんの友達ができたんだろうなと思って、そこを尋ねてみる。

「ところがね、いないんだよ、大学の頃の友達って一人も」

—え?

「みんなただの知り合い。卒業研究を一緒にやったヤツっていうのは1年間、顔を突き合わせていたから、友達といえば友達かもしれないんだけど。その頃はもうバンドを始めていたから、その仲間がいればそれで良かった。大学卒業してからなんて、一人っきりになったから、自然と友達を必要としない生活をじぶんで覚えていったんだよ。それから先は友達がいなくて淋しいとか嫌だとか全然思わなくなった」

—どうしたらそう思えるようになる?

「俺はプロになりたい、っていうことだけを考えてた。だからそれ以外のものは全部排除したっていう感じかな。お金もなかったし。バイトして、スタジオに入ってドラム叩いて、飯食っているとそれで終わってしまう。それ以外何もしないの」

—バイト仲間とかは?

「一人だけ音楽好きのヤツがいて、チョロッとつきあったけどね」

—大学の頃の友達は?

「卒業してからは全然。一度だけクラス会があって出席したけど、もう全く世界が違うんだよ。みんなちゃんと就職していて、フラフラしているのは俺だけでしょ? 当然話は、今の仕事の話になったりするわけよ。だけど俺は「何をしてる?」っていう質問に「バイトしながらドラム叩いてる」としか答えられないからさ。(笑)それで話が終わっちゃうという」

—みんなびっくりしていた?

「卒業式に行かなかったから、そこである程度はわかっていたみたいよ。俺はもう就職せずにプロ目指すって決めて、卒業が決定した段階で家を出たからさ」

—ようするに栃木さんは卒業証書を持っていないっていうことなの?

「うん。(笑)一刻も早く稼がなきゃやっていう感じだったからね。MIYA曰く〝卒業していない〟と。(笑)でもその時はそう思ったから行かなかった」

—不安にならなかった?

「なるのは当たり前。不安を嫌だと思わなければいいんだよ」

—お兄さんはなんて?

「家出る3日前に話した。どんなに苦しい思いをしても、今やりたいのはドラムなんだって言ったら「しょうがねぇな」って」

—女友達は?

「クラスに10人しかいなかったからね、話くらいはしていたけど。そういえば、そのうちの一人が卒業して1ヵ月くらいした頃、俺を尋ねて来たことがあった」

—なんで?

「会いたいって」

—おやおや。

「ひとり暮らし始めたばっかりの頃。ベニヤの壁の、陽の当たらない6畳一間。その部屋まで来たけど帰ってもらった」

—もったいない。

「無理だよ、あの部屋じゃ」

—無理って…。

「そういうことできない部屋なの(笑)」

—そういう意味じゃなくて(笑)その子は会いたくてきたんでしょ?

「気持ちはわかったけど、生活を考えてつきあうのは無理だと思ったの。プロになるっていうことのためにお金も時間も全部注いでいたから、他のことにさいたりすることができなかった」

—でも存在が支えになるっていうこともあるじゃない?

「俺はならないと思った。不安になったり自信がなくなったり、落ち込んだ時に、そこで救いを求めちゃいけない。現状に満足してしまうからさ」

—ストイックですね。

「そういうクセがついちゃったんだよ。20歳そこらでドラムを叩き始めた人間なんだから、ストイックになるしかない」

—そういう生活を何年くらい過ごしたんです?

「えーと、3年くらい。一人っきりっていうのは1年半。その後バイト先のヤツと2人で1年やって、そのあとバンドを組み始めて1年。そこをやめて〝スクラップ〟に誘われて1年半。それからBOOM」

—じゃあ、純粋にバンドやっている仲間とだけしか接触していなかったんだ?

「そうだね。でも、そのバイト先のヤツも女と暮らし始めちゃって、だんだん…。やっぱり女と暮らすと金がかかるじゃない? 生活費や食事代や。そうやって自然にバンドから離れていくんだよ。周りにそういうヤツいっぱいいたからさ。最初のうちはいいんだけど、だんだん音楽以外のことが大事になって優先していってしまう。〝どうして音楽に専念できないんだよ〟って怒っちゃったりして」

—BOOMは?

「BOOMはそこがちゃんとしていた。みんな真剣に音楽と取り組んでいたからね。バンドとして形がはっきりあったし、練習も真面目にやったし。みんな〝とにかくやろう〟っていう感じで〝でもさぁ〟って水を差す人間が一人もいなかった。練習を週2回から3回に増やそうっていう提案も、〝そうだね〟っていう風に前向きだったんだよ、その頃から」

—……。

「みんなそれなりの事情もあったんだろうけど、そんなことを口にするヤツが一人もいなかった」

—よかったね。

「で、もうBOOMをやり始めちゃったから友達なんていらなかった。きっとこの先もこうだと思う。ひょっとしたらこの先はもう親友ができないかもしれない。でもドラムが叩けるっていうことだけで、おれは嬉しいし、充実しているから大丈夫」

何かを犠牲にすればするほど、人は、今自分のしていることを離しやしない。それだけ打ち込んでいるものがあるっていうことは、それだけで羨ましかったりもする。

こうして、現在も、栃木さんはまた一人でスタジオに通う毎日を過ごしている。でも。こんな栃木さんにもいつかは〝そばにいたいな〟と思わされる人が現れるのかもしれない。

# ホブルディーズ

## 載っちゃうんだぞっ!!

HOBBLEDEES

**11月にデビュー予定のホブルディーズです。
彼らの歌は、合唱の本に載りそうなくらい簡単なので、
ホントは30年くらい前からワープしてきたんぢゃないかと思う。
平日の午前中に市ヶ谷駅の売店近くで見かけた3人は、
“ねぇねぇ、どこから来たの?”って聞きたいくらい透けていた。**

撮影●ハービー山口　文●根田美聡　出演●ブロントサウルス

笑撃だった。どうしようかと思った。

初めて見たボブルディーズのライブは、トイ・ドールズみたいな感じで、なんて書いちゃうとミもフタもないけど、そう書きたくなるほど、ピュアでシャイでストレートで、ほんのりとシニカルだった。

素朴なコトバ、シンプルなメロディ。

ほとんどの曲が、「みんなのうた」状態。

お世辞にも上手いと言えない演奏に多少難があるものの、(笑)そこが“御愛嬌”になってしまうトクなキャラクター。

気になるなぁ、この3人。

絶対、ヘンな人種に違いない。

おとなしそうなふりをしてるだけだぞ、たぶんきっと。

つーことで。

どのぐらい「ヘン」なのかを確かめるため、(半分マジ)3人に会った。

まずはカルーくメンバーの紹介。

●市川武也▼担当→ボーカル、ギター、ウクレレ、マンドリン。ホブルディーズの作品のほとんどを手がける。塩入とは中学の同級生。

●塩入文彦▼担当→ドラムス、ギター、ボーカル。ドラムのくせにライブ中はフロントに出てくる場面も。

●小島誠▼担当→ウッドベース、ボーカルを担当。簿記一級の資格あり。高校に入って塩入と出会う。それが運のツキ、か?

バンド結成のいきさつは、

①中学の頃チェッカーズに触発されて、市川と塩入、その他2名がバンドを始める。

塩入「でも、チェッカーズのコピーは1曲でやめちゃったんです。難しいから」

小島「俺、そんな話聞いてないよ」

市川「で、次がアナーキー」

なんつー変わり身の早さ。(笑)ポリシーがないのか、キミたちには。そりゃあ、アナーキーはコード進行簡単だけどさ。

②高校入学後、その他2名が脱退。小島が加入する。

塩入「ベースの人が嫌いだったんで、小島君を入れました。(笑)で、ドラムの人もやめちゃったから他の人呼んで」

当時のカバー曲はピストルズ。パンク道まっしぐら、である。何か人生に不満でもあったのだろうか。

市川「あっ、別に…」

簡単だからコピーしてたの?

市川「あっ、そうかもしれない」

……正直な返事かもしれない。

週に1~2回練習して、時々ライブして。ごくごくフツーに音楽を楽しんでた若者3人は、高校卒業後それぞれの進路へ。市川君と塩入君は東京、小島君は地元長野に残って就職。

市川「俺は専門学校に行って、(塩入は)仕事やってて」

——何の専門学校?

市川「衛生技師系」

——どーしてまたそんなところに。

市川「女がたくさんいたから(キッパリ)」

小島「いいのかよォ、載っちゃうんだぞ」

——その間バンドはどうしてたの?

塩入「2人で違うバンドやってたけど、この3人ではやってなかった。でも、つまらなくなって。武也が卒業と同時に長野に帰ったんで、俺も帰って。それでまたバンドやろうと思って高校の時のメンバーを小島ともう一人呼ぼうと思ったら、もう一人のほうがダメだったんで…」

小島「やっぱり小島がいいなってね」

塩入「載っちゃうんだぞっ」

——そうか、やっぱり小島君がよかったんだ。

塩入「小島しか知らなかった(笑)」

ここんとこ、一見ごくごくフツーの会話だけど、その前に3人でこんなやりとりがかわされている。

——高校時代ってどんなふうだったの?

小島「からまれてました(笑)」

——プロフィールによると、いじめられるって書いてあるんだけど。

小島「からまれてました。(笑)いじめられるの好きですから(笑)」

(一同笑)

——で、塩入君の趣味が“小島いじめ”。

小島「(小声で)ちゃんと言えよ」

塩入「いや、ハイ、そのとーりです。(笑)憎たらしいんですよ、ホントに(笑)」

——市川君のとこには“小島とは、いじめで会話する”って書いてあるよ。

市川「そうなんです（笑）」
小島「そうなんです（笑）」
塩入「でも、ゆがんだいじめはしないです」
──素直ないじめなのか、（笑）例えば？
塩入「言葉の暴力」
小島「一番ゆがんでるじゃねーか！（笑）」
つまり。
この3人は限りなくSMに近いカンケーなんですねぇ。こういうのって精神的な結び付きが深いんですよねぇ。
仲良し3人組って呼んじゃうぞっ。

話を戻そう。
③結局3人でバンドを再スタートさせた彼らは、地元のライブハウスに出るようになり、この店長さんが勝手に申し込んだNHKのBSヤングバトルというコンテストに出場。うっかり審査員に気に入られてしまい。（笑）2ヵ月に一度のペースで東京でライブを行うことに。
市川「あやし気な人達に声をかけられたんです（笑）」
──なんて声かけられたの？
市川「このシーンを盛り上げよう！って（笑）」
小島・塩入「戦っちゃうんだぞ（爆笑）」
──そう言われた時、よぉし、俺たちで盛り上げてやるぞ！って思った？（笑）
市川「いや、思わなかった（笑）」

全然肩に力の入ってない人たちである。
──どんなミュージシャンが好きなの？
塩入「3人共通してんのは、トイ・ドールズとポーグス。あと僕個人はスラッシュ系が好きです」
小島「アイドルですね。（笑）でも、そんなに聞いてないか。（笑）ただアイドルが好きなだけです」
市川「僕は大体何でも聞くけど、長髪系はキライ」
──うざったいから？
市川「いや、そういうんじゃなくて、なんかウソっぽい感じがして。ステージがウソっぽいっていうか…」
──トイ・ドールズも、ウソっぽいところあるでしょ。
市川「でも、あれは許せるウソって感じ」
──許せないウソって？
市川「自分でわかってやってる人のウソは許せるけど、勘違いっていうかナルシストなのはちょっと…」
──市川君が持ってくる歌をどう思う？
塩入「いいと思います（即答）」
──キライなとこはない？
塩入「武也がキライです（笑）」
──詞と本人の間にギャップはある？
小島「そんなことはないです」
──じゃあ、小島君から見た他の2人ってどんな感じ？
小島「（ボソッと）いじめっ子」
塩入「あとで覚えとけよ！」
小島「やっぱり、いじめっ子です（笑）」
──塩入君はどう？
塩入「（市川を指差して）スゴイ人と（小島君を指差して）どーしようもない人」
市川「えっ、どーしようかなぁ（困）……恋人です（笑）」
──みなさん、ホントに仲がよろしいようで。（笑）バンド以外のシュミは？
塩入「僕と小島はパチンコ」
市川「僕は、あのォ…」
──みんなの目を気にしているようですけど。（笑）ナニナニ？
塩入「別に言っても良いんだぞ」
市川「ストリップ鑑賞です（笑）」
小島「いーんか!? 戦っちゃうんだぞ！」
市川「浅草のロック座に行くんです」
小島「長野にロック座があって、そこに好きな子がきたんで一回見に行ったら、もうトリコになっちゃって（笑）」
──珍しいシュミだねえ。（笑）
市川「いや、周りにいっぱいいますよ」
まっ、ダイヤルQ2にハマるよりマシか。
こんなキャラクターをしたホブルディーズ最大の醍醐味は、やっぱりライブ。（というか、今のところライブしかないんだけど）
──アンケートとか取ってる？
塩入「ハイ」
──どんなバンドに思われてるの？
小島「礼儀正しくて可愛くて、人のよさそうな人たち（笑）」
──すごいなぁ、それ。（笑）反論は？
塩入「その逆です。（笑）ステージに立つと緊張して、そうなっちゃう（マジ）」
市川「人前でMCすると考えてたこと忘れちゃったり…」
小島「何言ってんのかわからなくなるし…」
──喋るの苦手？
（大きく肯く3人）
──そのわりには3人共MCするよね。
市川「事務所の方針で（笑）」
──ライブ中、MCのこと考える？
市川「演奏中はそればっかり考えてます」
おかげでライブ前はMCの練習に余念が無いらしい。（笑）不安すぎる。（笑）
とにかく、このまんまの3人。
ちょっといい歌聴きたいな、なんて時にはピッタリのバンドかもしれない。

市川武也
*TAKEYA ICHIKAWA*

塩入文彦
*FUMIHIKO SHIOIRI*

小島誠
*MAKOTO KOZIMA*

## 他のヤツなんて死んでも愛さない。君だけ、いつでもお前だけ。（⬆歌詞そのまんま）

ホブルディーズ観察日記

【1日目】初取材は公園でロケ。撮影も無事終了し、駅の方へ歩きはじめた直後のこと、突然(市)が全力疾走。50mくらい先でふりむくと、"つかまえたぁ"と、ボールだかトンボだかを帽子の中につかまえたらしく、えらいニコニコしてる。ここは長野ちゃないし、君はもう子供ちゃないハズ……【8日目】ライブ。今日は、えらそうな人々がたくさん来てて、いつにも増して(市)の目が泳いでいた。「夢でもいいから」の時、スタッフが、客席の右から左へ走って横切ったら、3人とも、目線が右から左へ動いただろう。(笑) そんなことよりMCだっ。ワシは常々、ホブルディーズのMCは、「こんばんわ、長野から来たホブルディーズです」と「お願いがあります。帰りにアンケートを書いていってください」と「今日は○ヵ月ぶりの東京のライブなので緊張しています」と「次のライブは○月○日なのでよかったら、また来てください」──の、4種類しかないかと思ってたのだが、今日、(小)が違うコトを言った。「久しぶりに東京に来て、めずらしくお金があったので買い物をしました。これ（着てたオーバーオール）です。似合ってますか？ あ、あと髪も切りました」(塩)も違うコトを言った。「今、半分くらい終わったんですけど、最後までがんばります」やっぱ、デビューするとなると、人間成長するねぇ【9日目】読者プレゼント用にサインを書いてもらう。誰とは言わないが、自分の書いた一枚目のサインを見ながら二枚目を書き、二枚目をマネしながら三枚目を書いていたため、一枚目のサインと三枚目のサインは別モノになっていたヤツが約一名。そのまんまなヤツが約一名。VERY BESTって何だよっ！

# NEW LOST GENERATION

◉お待たせしました。デビュー・アルバムが10月7日にリリースされたWIZKIDS、初の全員揃っての御目見えです。インタビューでは、この噂の新人バンドの自信作について語ってもらいました。

写真右から、大友治隆(G)、黒光俊秀(Dr)、佐伯庸人(Vo)、黒光健吾(Ba)、黒田真示(Key)

**彼らのデッド・オア・アライブは、間違いなく個々の研ぎ澄まされた感性の収束にある。つまり集結すれば強靭だし、崩れれば醜いのだ。デビュー・アルバム「ザ・ニュー・ロスト・ジェネレーション」のポイントもそこ。そのへんをどうクリアしたかからアルバムの全貌が見えてくるはずだ。**

**——音楽的ルーツはニュー・ウェーブ、エスニック、ヘビメタ、フュージョン、一連のポピュラー・ソング、UKもの、ビートルズ、そしていわゆるR&Rと広いですが。**

**佐伯**「でも"いい"って思う感性には、共通項があるんです。例えばお酒の飲み方が上手かったり。(笑)そこでちゃんと熱く音楽について語れる人間たち、という」

**大友**「やっぱ育ってきた(音楽の)畑が全員違うんで、逆にそこで刺激し合ったり」

**健吾**「あとドラムが8ビートの曲に16ビートのオカズを入れちゃったりするような、破天荒なものに対する感覚も似てますね」

**——クレイジーなものへのセンスというか。**

**大友**「そう。プレイ的にもフレーズ的にも」

**佐伯**「斬新といわれる音楽が好きみたい。でも僕ら'80年代のニュー・ウェーブが根底にある世代なんですけど、最近になってやっと'60年代'70年代の音楽を聴き始めてる」

**——という皆さんが作ったアルバムですが。この全12曲、選曲の基準はなんですか?**

**佐伯**「サウンドも詞もスリリングでドキドキするような感覚。それと疾走感。ライヴも最近はワイルドで、着るもんも無駄なものは付けない感じで、シンプルですし」

**——それにも関係すると思うけど、すごく目を引いたのはアレンジなんですね。このスキあらば俺的なアレンジ。この自己主張。**

**佐伯**「それはあると思うけど、そん中には空間もあるんです。音数ひとつひとつ拾ってくと、そんなに多くはないと思うんです。keyも音色が華やかだったり派手だったりするからギラッとした感じはあると思うけど、ひとつひとつの音は少ないと思いますね」

**——確かに厚みがあるけどタイトだよね。その鍵を握ってるのは誰? 全員?**

**佐伯**「アレンジは、曲が出来た時にスタジオに入って、みんなでやってみる」

**俊秀**「だから土台は5人の感性ですね」

**黒田**「でもスキあらば、っていう気持ちはいいと思いますよ。それが曲の良さにつながるんだし」

**——特にテンポの速い曲はイス取り合戦みたいだけど収拾つかなくなることはない?**

**佐伯**「でも取られた方は、やられたーとは

思うけど取り返しはしないと思う。それがkeyのフレーズだけどGの方が良さそうだ、ってなったら、ちゃんと差し替えるし」

**健吾**「そういう時は百円で譲ると（笑）」

**──安すぎるぞ。（笑）**

**佐伯**「だからスキあらばもあるし、お前にやるよこのイスって譲り合いの精神もある」

**──なるほどね。じゃそんなスリリングというテーマもありつつ、アルバムの全体的なバランスや統一感はどう考えた？**

**大友**「バラけてはないと思う。何も意図せずに自然に作ったらこうなったと」

**健男**「スリリングという中で5人が共感できるもの、っていうのをコンセプトに」

**大友**「だからアルバム2枚めになったら変わるかもしれないけど、ひとつの枠の中にある曲はお弁当のおかずみたいなものですね。食い合わせはあるかもしれないけど」

**──のり弁より幕の内、という感じだよね。**

**大友**「それがアルバムだと思うんですよ」

**佐伯**「美味しくて量が多くて安い弁当だな」

**黒田**「機械で云えば高性能でコンパクト」

**──自信たっぷり。（笑）そんな分厚いアレンジを従えた佐伯さんのVoというのは？**

**佐伯**「うるさいとか邪魔になったことはない。自分の作った歌の中に入って演じる、っていう。その歌の中で演じる僕が主役だったら、サウンドは脇役であり風景であり」

**黒田**「康人のVoやメッセージが活きるようなアレンジを5人5様でやってますね」

**──これから歌っていきたいことって？**

**佐伯**「ラブソングは歌いたいです。男女間だけでなく自己愛とか友情とかでも、その"ラブ"がどんな形でも、根底にあるのはラブソングだと思うし。僕自身が歌ってること自体は個人的で小っちゃいんだけど、聞き手がその想像を超えて広いスケールに感じ取ってくれるとありがたいですね」

**──なるほど。最後にこのタイトルのWIZKIDSなりの解釈を教えてください。**

**佐伯**「僕ら狭間の世代なんですよ。すごい優柔不断で中途半端。でもハートの部分でこうありたいって理想は持ってるという」

**黒田**「古い時代と新しい時代、どっちの良いところもどっちの良くないところも持ってるし、それを両方伝えたいっていうか」

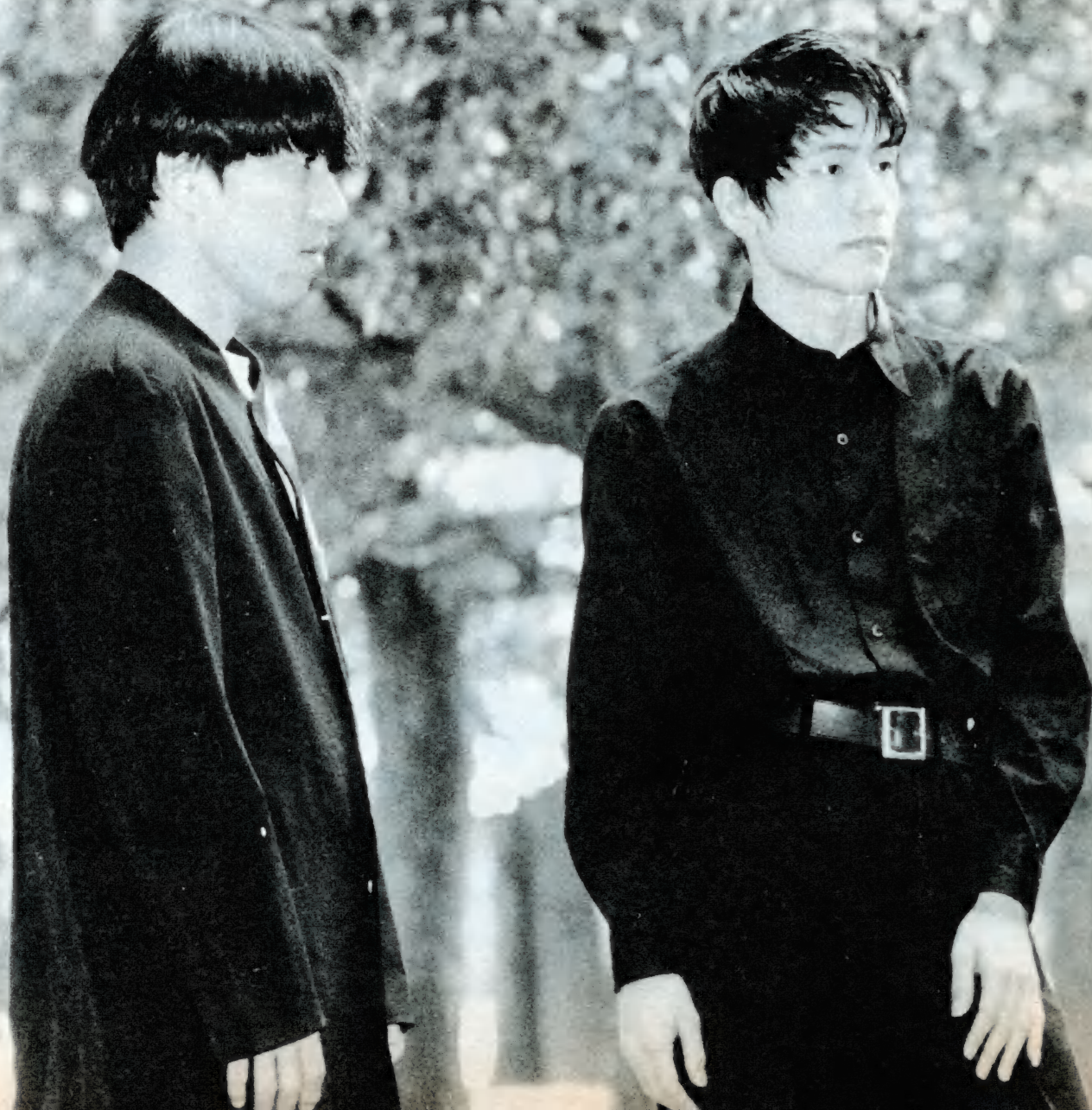
**──どっちにも所属できない、というのを逆に武器にできる世代、ってことだ。**

**佐伯**「そう。僕らが今生きてて感じる危機感や終末感、逆に幸福な気持ちや希望、それを感じて作ったのが俺らの作品なんです。それを感じ取ってもらえたらいいですね」

PHOTO●KEI SUZUKI
COPY●MARU SASAKI

# WIZKIDS

## サウンドも詞もスリリングでドキドキするような感覚。それと疾走感。

※WIZKIDS ライブ・スケジュール 11月12日㈭名古屋クラブクアトロ・11月13日㈮大阪クラブクアトロ・11月19日㈭渋谷ON AIR。

モダンチョキチョキズ

# マリちゃんのお料理教室

## 天津甘栗編

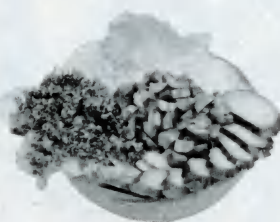
タララッタッタタタタン、タララッタッタタタンッ♪『マリちゃん3分クッキング』!というわけで、今月はマリちゃんとっておきの手料理を初公開。素材はもちろん、甘栗しかないでしょ! マリちゃんパワーの源…。マリちゃんの身体細胞の90%を占めるという甘栗…。稽古中にこっそり食べてリーダーに怒られてる(あんた中学生かい!)というあの伝説の甘栗だ。今回はマリちゃん御用達、神戸中国百貨公司謹製の天津甘栗を使用、小柳ルミ子(©セイシュンの食卓)も真っ青のお洒落で栄養満点な5品に挑戦した。

さてさて――おおっ意外や、マリちゃん、包丁の手さばきはかなり見事。栗の乱切り、みじん切り、3枚に下ろすのもお手のもの。「私めちゃマジメな子やったさかいなー、家庭科の時間に覚えてしもたアルヨ」。

そうこうするうちチャブ台に並べられた不気味…もとい、不思議な料理の数々。お、お味はいかに……?

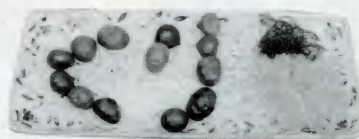
矢倉「や、……立派やなー(苦笑)」

マリちゃん「私くらいのもんですよ。世界広しと言えども、天津甘栗の可

本日のメニュー

1.天津甘栗サラダ

2.天津甘栗ネギマ

3.天津甘栗煮物

4.天津甘栗ゴハン

5.天津甘栗刺身

●材料

| | | | |
|---|---|---|---|
| 天津甘栗 | 大2袋 | サラダ油 | 少々 |
| ネギ | 2本 | 塩 | 少々 |
| キュウリ | 1本 | しょう油 | 少々 |
| ニンジン | 1本 | だしの素 | 少々 |
| キャベツ | 1個 | コショウ | 少々 |
| レンコン | ½本 | 砂糖 | 少々 |
| アスパラ | 5本 | | |
| ダイコン | ½本 | | |
| 牛肉 | 200g | | |
| 米 | 適量 | | |

**●人気急上昇モダンチョキチョキズの歌姫マリちゃんがいつも食べてる➡パワーの源"天津甘栗"を使ってお料理しましょう。食欲の秋にもってこいのこの企画。メニューは全て、マリちゃん考案による特別ディナー。なんと! マリちゃんは包丁の達人であった。うりゃ。**

撮影●鈴木圭　文●川崎和哉

# さあお料理しよう!!

## ① 天津甘栗サラダ

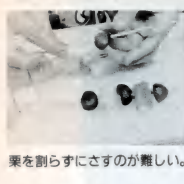
見よ！　この包丁さばきを！

栗を細かく切るのです。

まず皮を剝いた新鮮な甘栗をみじん切りにすんねんけど、この皮剝きが意外に大変（今回使用した甘栗は前日に浜田家総出で剝いてくれた！）なんです。つまみ食いも可。次に、お塩でもんだキュウリを輪切りにします。はじっことこ切ったら、切り口を合わせてようくこっすって苦みを取ってな。コレ、中国のおばあちゃんから習った知恵アル。（嘘）器にレタスを敷いて、だーれも食べへんパセリをよーけ乗せて。高校の時の友達で、めちゃベジタリアンの子がおってなー、みんなのお弁当のパセリ取って食べてたけど……別に関係あれへん話やね、ハイ。最後に甘栗のみじん切りを乗せてでき上がり。好きなドレッシングかけて、レタスで甘栗くるんで食べて下さい。

## ② 天津甘栗ネギマ

栗は最初にむいておくこと。

ネギは同じ大きさに切る。

栗を割らずにさすのが難しい。

お酒の好きなおとうちゃんやったらこたえられへんのがこれです。焼き甘栗を肴にキューッて一杯。ほやけどなんでお酒好きな人のこと左党て言うんやろ？　なんで左やねん。まあ、ええわ。

ネギマにすることで、甘栗のエッセンスとネギのきっつい香りの素敵なハーモニー。て、自分で言うてて恥ずかしいわ、ほんま。

で、剝いた甘栗と3センチづつに切ったネギを交互に串で刺して行きます。大事なんは、串を刺した時に栗が割れないようにていうことです。でも割れた栗はその場でつまみ食い可なのでうれしいです。やっぱり愛情とちゃいますか。痛いですよー入りますよーてやさしくなだめといて、ブスリ！　これがうまくできるかどうかで、甘栗への愛情の大きさがわかるていう……そんなたいそなもんかー！

焼くときは出来れば炭火がいいんと違いますか。団扇であおいで。何か日本風と中国の合体で、甘栗を通じて日中友好ていう素晴らしいお料理です。

焼けたら、塩でもタレでもチョコでもかけて、出来上がり。なんでこんなおいしいのにみんな食べへんのか不思議やわー。大阪の屋台いうたら、おとうちゃんみんなこれ食べてるでー。（笑）

## ③ 天津甘栗煮物

カンタン、カンタンタンタン。

レンコン人間じゃあ〜〜。

火がこわいのれす。

肉をジャーといためて。

野菜をジューといためて。

ライター川崎味見。ハラハラ。

これが今回の目玉です。甘栗の煮物。肉じゃが、てありますけど、これは栗じゃがですね。浜田家ではこれが上手にできないうちは一人前扱いしてくれないんです。まず、にんじんを乱切りに（これは意外と難しいのだが、マリちゃんは上手い）レンコンを輪切りにします。お肉は豚バラを一口大に切ります。お鍋にサラダ油を敷いて、お肉を炒めます。そこにお水を足して、にんじん、レンコン、最後にどどーって甘栗をなげ込んだります。難しいこと考えずにただ入れるのが大事です。煮立ったら、だしの素とお醤油と、ついでにコンソメも入れて味付け。後はしばらく煮てでき上がり。ほんとの話、これだけはおいしいです。

能性をここまで広げたんは」

矢倉「栗づくし、その名も『ぴっ栗、しゃっ栗、いん栗もん栗』かいな」

フィリップ君「ちょっと、この栗のお刺身、何もつけんと食べんのん？」

マリちゃん「ワサビ醤油つけてやー」

矢倉「おなか空いたとき食べる料理やな、ハン栗ーごはん栗ー（笑）」

フ君「あ、この煮物うまいやん」

矢倉「みんなおいしいわ。みんなおいしいけどみんな天津甘栗の味すんねん。あたりまえや！（笑）」

フ君「次は甘栗のフランス料理食べたいね」

矢倉「甘栗料理の女王（クイーン）、フレディー・マー栗ーや（笑）」

マリちゃん「よいこのみんなはマネしないでねー！」

ライター川崎思わず横から。

うーんうまい……矢倉さん。

ボーゼン！　フィリップ君。

## ④ 天津甘栗刺身

盛りつけが大事です。

うーーん、簡単すぎて……。

こいでどうだい。刺身だい。

今までの3つはどっちかいうたら庶民派の料理やったんですけど、これは料亭みたいなごっつ高いお店で食べるお料理です。

その日焼いたばっかりのほんとに新しい甘栗やないといけません。いうたら素材が命です。私がいつも行ってる神戸の中国百貨公司のおにいちゃんとはもう顔見知りなんで、背中の脂の乗ったとこを売ってもらいます。ダイコンのツマの上に並べていくだけやて思うたら大間違い、この並べ方がすんごくむつかしいんです。写真見てもらったらわかると思いますけど、芸術ていうんですか、私も四川省の板前、陳さん（48歳）の元に32年間弟子入りしてようやくここまで出来るようになりました。でもまだまだ青二才ですから、日々精進せないけないなあて思うてます。

## ⑤ 天津甘栗ゴハン

均等にゴハンに栗をまぜる。

栗とゴハンのバランスです。

つまみ食いも大事です。

最後は懐かしい（？）甘栗ごはん。ごはんに甘栗をざざーて投げ込むだけで、なんやしょーもないて思うたら、奥深いよー。まだ小さかった頃に、よう親戚のおっちゃんに甘栗買うてもらったんです。おっちゃんと一緒にお店の近くまで行くんですけど、おっちゃんは『マリはここで待っとき！』て言うて、一人で買いに行くんです。私が一緒やと一番でっかい袋のが欲しいて言うからなんですけど、いっつも、あの一番でっかい袋全部たべられたら幸せやろなあ、て思うてました。（実話）やっぱしそういう甘栗愛好歴がないとおいしい甘栗ごはんは作れません。私なんかいまだに甘栗ようけ食べて幸せでも、次の日になったらまた、ああ、どうしても食べたいー、てなって買いに行くんです。ほんま、クリ中！（笑）

I'll
unmask
you!!

# BRAIN DRIVE

# 果たして彼らは天才なのか？
# それとも単なるバカ野郎なのか？
# 宇宙人？　深まる謎にせまる！

**●10月21日に１stアルバム『完全驚異』をリリースするブレインドライヴ。メディア露出量が増えてきたにもかかわらずまだまだ謎の多いこの２人。３つの角度から彼らを分析してみたのだが……えっ、ますますわからないって。**

PHOTO●MAKOTO UEDA

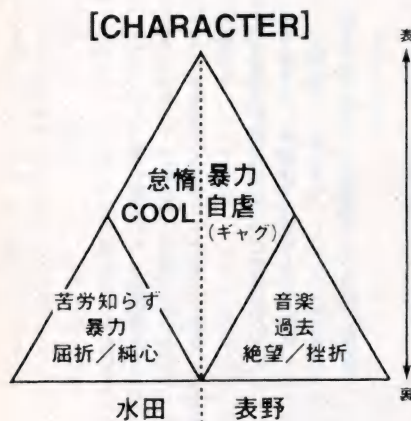
[CHARACTER]

怠惰
COOL
暴力
自虐
（ギャグ）
苦労知らず
暴力
屈折／純心
音楽
過去
絶望／挫折
水田
表野
表
裏

[SOUND]

メロディー
（XTC）
ノイズ
ギター
（ジーザス&メリーチェン）
ボーカル
イギーポップ
ロックンロール
ニューウエイブ
パンク
テクノ
テクノ
（ジグジグスパトニック）

[IMPRESSION]

サイバー
SF
ウィリアムギブソン
テクノロジー
人間的感情
（衝動／怒り）
表野
音でふくみ笑いをとりたい
お笑い
（ダウンタウン）

## ２つの顔を持つ男達

**●もちろん２人の性格は違う。共通しているのは、２人とも二面性を持っていることだそうだ。**

水田「僕は、根底にあるのが暴力と屈折。表面にあるのは……なまけもの。あっ、あと根底に純心でありたいっていうのがありますね」

表野「僕はね、一番下にあるのが挫折……。その上が死。あっヤバイ。その上が絶望、過去」

水田「暗い……」

表野「そして音楽。表面には、音楽と自虐。いや、ギャク、自ギャグって書いておいて下さい」

水田「ギャグのセンスには自信があるって本人が言ってましたよ」

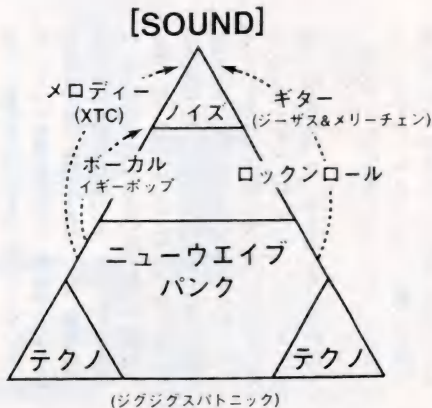
表野「ああ又……。俺の人格が一歩踏み出した気がする。この雑誌もまたひとつ終わった……」

水田「あっもうひとつ、俺、苦労知らずなんですよ」

表野「もう俺と比べたら……悪いけどとてつもなく苦労してますから」

水田「本ができますよ。この人の苦労は」

表野「あっあと霊が……」

**この辺でやめましょう。実に暗いことを、実に明るく話す人達である。キャラクターもサウンドも多面性を持つブラレイドライブ。やっぱり面白い。**

## 洋楽雑種型サウンドの構造

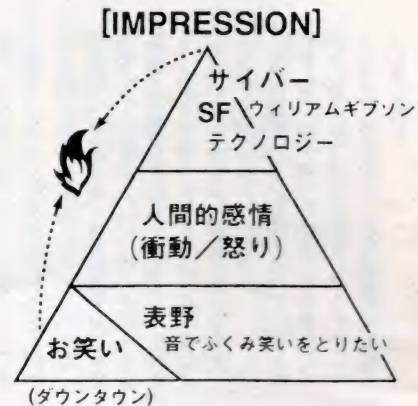
**●サウンドは簡単に言えば、雑種だ。図を見てくれ。**

水田「ノイズィ、ボディ、ダンス、ニューウェイブ」

**基本になっているのは、やっぱりニューウェイブ、パンクでしょうあとリズムですね。それにテクノをふりかけて……。豊富な音楽経験の上に構成されているわけで、あえて具体例は列挙しないが、キーワードとなるバンドはいくつかある。**

水田「ノイズィなんだけど、メロディ重視。それをギター。その辺が、XTCしかり、ジーザス&メリーチェンしかり。あと、ロックンロールってのも加えましょう。イギーポップとかああいう人達」

表野「テクノに関しては、YMO、クラフトワークというよりは、ジグジグスパットニック（笑）ってとこかな」

**もちろん彼らのサウンドは、洋楽のおいしいとこどりのボンボコピーなんかではない。影響された音楽を書くとわかりやすいからね。とにかく、センスのよさと、オリジナリティーという部分では、今の邦楽シーンでかなり面白いバンドであるのは間違いない。好きな人は、すぐハマルし、嫌いな人は二度聞かないというサウンドではあるが。リズムとメロディにはまるはず。**

## 近未来サイバーとダウンタウン

**●ブレインドライヴのイメージ、コンセプト……つまり見え方と意識、方向性ですね。**

表野「表に出ているのは、ウィリアムギブソン、テクノロジーですかね」

**ビジュアル的にもサウンド的にも近未来サイバーパンク的な印象を受ける。表面は、すごく機械的な冷たさに守られていて、なんとなく恐いお兄さんという感じ。**

表野「内面はすごく人間的。怒りとか……」

**確かに、機械の中は、熱い衝動的な感情に満ち満ちている気がする。彼らのパワーの源はここでしょう。ただ、このパワーって、㊀方向、暗黒方向に向いてんだよなあ。屈折ってやつですか。**

表野「でも、ダウンタウン尊敬してますから」

水田「やばい。又書かれるよ。」

表野「バカはバカだから、バカでありえるんです。バカバカバカ……ちくしょう」

**書いてしまいます。なんだかなあ。よくわからん。根本にある“めっちゃ、えー奴”的な人間身（笑）こそ彼らの本性なのか？　暗黒とんねるずといわれるゆえんか。このバランスが面白い。本当に味わい深い。（笑）**

表野「でも俺、M-age好きですよ」

**ガハハハ。やっぱ面白い。今後の発言にも期待します。**

## 10・21リリース 1stALBUM『完全驚異』とは？

――さていよいよリリースですが、聞きどころは？

表野「人間の感情みたいなものが、全て揃っている。喜怒哀楽……」

――他には？

表野「ない（笑）」

水田「あんまりいい機械じゃなくても、ここまでできる！　これです」

表野「TMとB'zを買うよりはいい」

――それは、どういうフィールドでの戦いとして？

表野「音楽に対して純粋であるということ。商業に目はくらんでないぞ、ってこと」

――じゃあ、サウンド的には？

表野「コンセプトみたいなのは、90年代ロックっていうことだったんですよ。あと2人でもロックはできる」

水田「最少ロックバンドと読んで下さい。世界最少ロックバンド（笑）」

――『完全驚異』の意味は？

表野「デビッドボウイの詩集から取ったんですけど、“狂っちゃいるけどほんのちょっとクラクラだ…”とかいう日本語でそういうタイトルになってるんですけど。そのタイトルにひかれて」

――詞は、すごく個人的なテーマだと思うんですけど、歌いたいことって何？

表野「世間一般に対して、言いたいことって別にないんですよ。自分のために書けばいいなって…」

――日本語で歌ってるでしょ。

表野「作った時は一応……完璧に洋楽っていうか、英語で作ってるんですけどね」

――じゃあなぜ英語で歌わないの？

表野「マーケティングを意識してるんじゃないですか」

――矛盾してません？

表野「だから、そこで葛藤があるわけですよ。それが……」

おっといい所なんだが、スペースが足らない。続きは次号でつっこむぞ。

# access

## Virgin Emotion

前号でセカンド・アルバム『D+Trick』のインタビューをお届けした浅倉大介が、貴水博之と共にボーカル・ユニット〝アクセス〟を結成した。インストゥルメンタルでファンタジックな世界を描いた『D+Trick』は全12曲のうち3曲がボーカル入りとなっている。そこで歌っているのが、アクセスのボーカリストである貴水クンなのだ。

ふたりが最初に出会ったのは『D+Trick』のレコーディング中というから、ごく最近のことになる。しかし、インタビューでのふたりの会話はまるで長年の親友のようだった。

まずは、アクセス結成に至るまでの、浅倉クンの興味深〜い話から始めよう。

**浅倉**「僕は個人的にはすごくインストゥルメンタルが好きで、それはどうしてかと言うと、歌詞がないぶんストーリーやシチュエーションを空想したり、想像する楽しさがあるからなんですよね。でも、前からボーカルにも興味があって、セカンド・アルバムではボーカル入りの曲もやってみたいと思った。言いたいことやテーマがはっきりと決まっているときは、やっぱり歌詞があったほうが伝えやすいですからね。それで、ボーカリスト探しをしていたときにディレクターからヒロ（貴水クンのこと）を紹介してもらった。今年の6月ぐらいだったかな」

貴水クンとの初めてのゴタイメ〜ンはレコーディング・スタジオで。早速、事前に渡しておいたデモテープの曲を歌ってもらったところ、浅倉クンのイメージにピッタリだったという。

**浅倉**「それまではインストばかりやってきたから、ボーカルが入るとどうなるのかわからないことがたくさんあったんですよ。実際にやってみたら、未知の部分がたくさんあることに気がついた。で、そのへんをちょっと追求してみようかな、と。それから〝ふたりでやってみようか〟ということになって、ものすごい速さで話が進んでいったんです。

ヒロは僕にはないものを持っていると思いました。僕が作った曲をヒロが歌うと、ほかに何かがプラスされるというか。1＋1＝2にはならない。それは最初から感じていましたね」

一方貴水クンのほうは「最初は緊張してしまって、ほとんど話せなかった」というが、お互いを理解するのに時間はかからなかったよう。「すぐにベラベラしゃべるようになったよね（笑）」と浅倉クンがつっこむ。

**貴水**「初めて浅倉さんの曲を歌ったとき、全然違和感がなかったというか、すごく気持ち良く歌えたんですよ。浅倉さんと一緒にやりたいと思ったのも、うまく言えないんだけど〝あ、この人とは合う〟っていうインスピレーションを感じたからなんです。前々から音楽をやるうえで、自分にプラスになるパートナーがほしいと思っていたから、浅倉さんはいい意味で僕と違う色をもっている人だなって。違う色がひとつになれば、もっと可能性が広がるんじゃないかと」

こうしてアクセスは結成され、11月26日シングル「Virgin Emotion」でデビューすることになった。作詞：貴水博之、作曲・編曲：浅倉大介という個性派コンビが作りだす独自のサウンドは〝SYNC-BEAT（シンク・ビート）〟と名づけられている。

**浅倉**「〝シンクロナイズ〟の略で〝シンク〟なんですが、シンセサイザーやコンピューターで作った音とボーカルがぴったりとシンクするっていう感じかな。さらに聞く人のノリもシンクできたら、いいなと。

ソロでやっていたときは、ファンタジックな世界を音楽にしていたわけだけど。アクセスでは、僕の中にあるもっとリアルな部分を出していきたいと思っています。だから、曲調も今までとは違ったものが自然に生まれてきた。

それと、ボーカルを入れてわかったことは、歌詞以外に伝わってくる言葉があるということ。歌っている人の気持ちみたいなものが、歌詞には出てこなくても、いつの間にか伝わってくる。これが僕にとっては一番不思議でしたね。

とにかく〝生の声〟には惹きつけられるものが多かった。楽器はどんなキーでも大丈夫でしょう？ とくにシンセサイザーでサンプリングすれば、生楽器でも出ないようなところまで、いくらでも出せちゃう。だけど、生の声には範囲があるし、ボーカリストが得意とするキーもあるわけですよね。シンセサイザーでは、何度でも同じ音が出せるけど、生の声は時間によって、日によってどんどん変わっていく。そこがまた、いいんですよね」

**貴水**「僕は作詞するのはほとんど初めてなんだけど、その時々の自分を出していけたらと思っています。今回のシングルに関しては、普段生活しているなかで、みんな本当に自分のやりたいことをやっていないような気がしたんですね。もっと、みんながやりたいことに向かっていければいいなと。そういう問いかけの気持ちを込めて詞を書きました」

ビート感あふれるサウンドとエモーショナルなボーカル。アクセス結成まで猛スピードで進んでいったというふたりの勢いが、デビュー・シングル「Virgin Emotion」にも表れている。

**浅倉**「音楽ってわりと一方的で〝聞いてもらう〟っていう感じがあるんだけど。アクセスは聞く人とコミュニケーションをとりながら、作っていきたい。僕らがみんなにアクセスして、そこで感じたものを今度は僕らにアクセスしてくれればと思っています」

**貴水**「〝ONE WAY〟ではなく、僕たちと聞いてくれる人がいつも〝TWO WAY〟でいたいですよね」

また、ふたりの間でも〝TWO WAY〟のコミュニケーションがうまく成立しているようす。音楽活動においては大先輩となる浅倉クンは、貴水クンにとって良きアドバイザーとなっている。

**貴水**「僕はダンスミュージックが好きで、それしか聞かないっていうところがあったんだけど、浅倉さんからいろんな音楽を教えてもらったんです。で、いい音楽はどんなジャンルでもいいと思うようになった」

アクセスについてのアイデアがひらめくと、2人は昼夜を問わず語りあっていたという。

**浅倉**「アクセスには〝∞〟（無限大）の可能性があると思うんですよ。これからものすごいスピードでアクセスしていくから、そこでみんなが感じたものを僕たちにアクセスしてほしい」

現在はファースト・アルバムのレコーディング中。11月25日には原宿ルイードでデビュー・ライブが行なわれる。ボーカル＆キーボードというスタイルで音楽はもちろん、ビジュアルでも新鮮なインパクトを与えてくれそうだ。

**アクセスには無限大の可能性がある。みんなも感じたことをアクセスしてほしい。**

**●アクセス――彼らの音は脳に届く前に、カラダが反応してしまうかもしれない。圧倒的なスピード感、溢れ出すパワーのうねり。私たちは興奮せずにはいられないはずだ。浅倉大介と貴水博之で結成されたこのユニット、結成の経緯とデビューシングルに突撃接近遭遇する!!**

Copy：Ayumi Ito

## PROFILE

▶写真左より：浅倉大介（あさくらだいすけ）／作曲・アレンジ・シンセサイザー／67年11月 4 日生／24歳／さそり座／Ａ型。▶右：貴水博之（たかみひろゆき）／ボーカル・作詞／69年 6 月 3 日生／23歳／双子座／Ｂ型。▶ヤマハの楽器開発に携わりながら、ＴＭＮのサウンドをサポート、ツアーにも参加と精力的な活動を続けてきた浅倉大介。浅倉と、独自の音楽活動を続けていた貴水博之が出会った経緯は本文の通り。浅倉のアルバム『D-Trick』で貴水が歌っているのは「Cosmic Runaway」と「Toy Box In The Morning」の 2 曲である。（もう 1 曲は麗美とのデュエット）▶“可能性無限大”というこのスーパーユニット。今後の展開に注目したい。

▶発売中の「パチパチ読本No. 9」では浅倉大介を 9 ページで特集。アクセスも次号No.10（11月30日発売）で登場予定。興味のある人はぜひ読んでみて下さい。

# SAKUMA'S STORY

Voluem : 2

**●先月から始まった佐久間学の足跡をたどったノンフィクション・中編。バンド・ブームのまっただ中、上京した16歳の佐久間が見た舞台裏と体験した苦い思いとは、何だったのだろうか。**

# 佐久間学

PHOTO●SHINJI HOSONO　COPY●EIKO FUJISAWA

90年7月10日夕方。羽田空港に、Tシャツとジパン姿のひとりの少年が降り立った。金色に染めた髪が真夏の日差しを受けてキラキラ光っている。が、日差しは、100円のサングラスを通してもなおまぶしく、湿度90パーセント、気温33度は、頭を溶かしそうな勢いで彼を襲った。

「クソ暑いべや」

彼、佐久間学が東京に着いて、最初に発したことばだった。

そして、人ゴミにもまれながらモノレールに乗り、浜松町で山手線に乗り換えるターミナルで、また、不快感に襲われた。人が、彼のきゃしゃな体にドンドンぶつかってくるのだ。

「コイツら、俺にケンカ売ってるのかァ」

そう勘違いしても仕様がない。ラッシュ時の東京のターミナルは、人とぶつからなければ前に進めないのだ。

やっと教えられていたアパートにたどりついた時には、精神も肉体も、クタクタになっていた。そのアパートは、事務所が社員やミュージシャン用に借りていた、2棟からなる寮のようなものだった。

東京に出る、ということで彼の両親のもとにあいさつに来た社長のKが、

「うちには、バス、トイレ完備の寮もありますし、まったく心配ないですよ」

といって時、両親も、自分も、寮があるなんてりっぱな会社かもしれない、とすっかり安心していたものだ。ところが、実際、寮というアパートの前に立った瞬間。

「ダマサレタ」

だった。

目の前には、築20年以上は確実に経過しているだろう、今にも崩れ落ちそうな木造のアパートが、オバケ屋敷のように建ってい た。部屋に入ると、カビ臭い臭いがツーンと鼻をつく。スリ切れた畳6畳に洗面台程度のキッチン、うす汚れたバス、トイレがあるだけの部屋。札幌から宅急便で送ったダンボール箱ふたつとふとん一組がポツンとあった。ボーゼンと部屋を見ている間にも汗は滝のように流れてくる。そう、この部屋には、クーラーもなかった。さらに、風呂が壊れているときた。

「チキショー!サイアク」

その夜はやむなく、一泊したが、翌日、事務所に猛然と抗議の電話をした。

「どーなってんのさ。いってたこととぜんぜん違うべや」

「ウーン、佐久間は札幌生まれだからな、東京の夏はキツイかもしれん。が、これに慣れないと、東京ではやっていけないぞ」

「そんなんだったら、俺、札幌に帰るぞ」

「あ、いや、まあ、うん、わかった。なんとかしよう」

最初からこんな調子だった。

その事務所というのは、最初、てっきりスカウトに来た、インディーズのレコード店をやっているKの事務所だと思っていた。しかし、実は、そのKと、元レコード会社の社員のSとがいっしょに作った子会社だった。しかも、その事務所は、ロック系は佐久間ともうひとつOという髪を紫や赤に染めたバンドがいるだけで、アイドルやお笑いの売れていないタレントを主に抱えていた。

彼は、その事務所のSに抗議の電話を入れたのだった。そして、3週間後にクーラー付のマイションに引っ越した。マンションとはいっても、やはり6畳余りのワンルームで、押入れすらない、ただの四角い箱のような部屋だった。そこに、衣装ケースと、テレビ、ラジオ、オーディオ、ベッドを置くと、あとは歩くスペースしかなかった。

家賃は事務所持ち。給料6万円の生活が始まった。

当然、事務所から、仕事の電話やら何やらが毎日のようにあると思っていた。ところが、待てど暮らせど、事務所からは何の連絡もない。でも、とにかく、1週間は待ってみた。ジッと黙っていた。そうして、キッチリ1週間後、電話をした。

「あのさぁ、俺、何すればいいのさ」

「とりあえずは、そうだな、歯医者に行って歯を直してこい」

「ハァ? なに、それ」

「だから、歌ってて、歯並びがきたないとみっともないだろ」

「俺、アイドルじゃないっすよ」

「それでも、きれいに越したことない」

〝なんだ、コイツ。話にならん〟

次にまた1週間たって電話を入れた。

「あのさ、俺、いつスタジオに入れんのさ」

「レコーディングより先に曲を作らないとスタジオに入れないだろ」

「違うよ、その曲作るためのスタジオだよ。自分の部屋じゃ音出せんべや」

「ああ、そのことね。じゃ、練習スタジオでいいわけね。入っていいよ、必要なら」

〝ったく、こっちから催促しないと何も進まない。いったい、どうなってんの?〟

やっとのことで渋谷の練習スタジオに入ったのは、事務所に入って1か月後のことだった。その間、狭い部屋の中で、何もすることなく過ごした。両親のことも、電話がかかってくると、少しだけ思い出した。

まだ、プロの話がなかった時、バンドで東京に出る計画が進んでいた。

学校をやめて東京に行く、といった時、あたりまえのことながら母は反対した。

「学校やめて働きたい」

「なんで」

「東京行くから、働いて金貯めたいんだ」

「何しに東京に行くん?」

「バンド」

「バッドっていったって、バンドでどうやって食べるの?」

「だから、食べれるようになるために東京に行ってバンドやるんだよ」

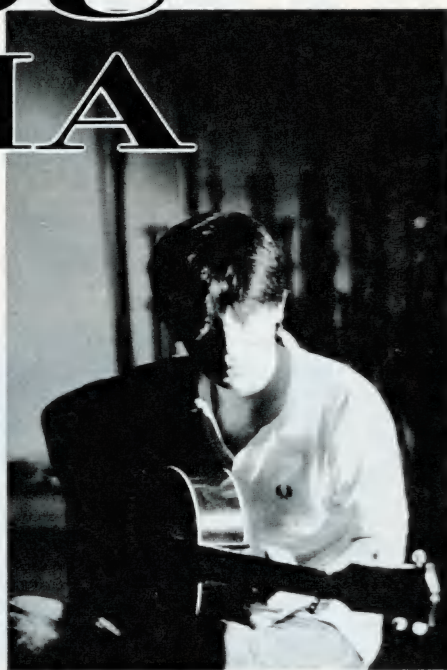
「そんなのできるわけがない。ダメです」

「ダメっていわれても、行くっていったら行くこと知ってるっしょ?」

「お父さんに話してごらん」

その夜、父親に話したら、たったひとこと、

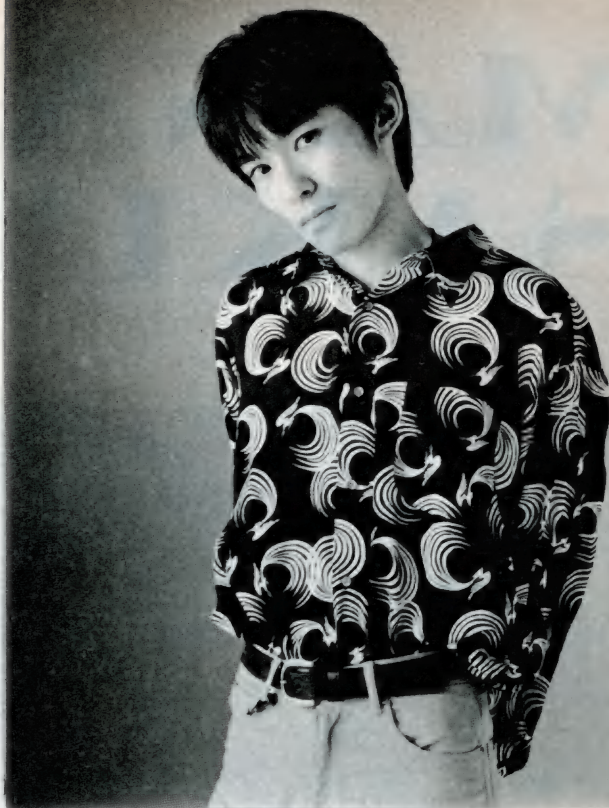
「自分で責任持ってやれるのなら、やってみるのもいい」

# MANABU SAKUMA

だった。そうしたら、数週間後にプロの話が来たのだった。母は、家に説明に来た社長に、
「あの、このコでホントにいいんですか？このコ、ホントに歌が歌えるんですか？」
「すごく上手いですよ。お母さん、御存知ないんですか？」
「はい。てっきり、ドラムやっているものだと思っていたもので。じゃ、とにかく、育ち盛りですから、3度のゴハンだけは食べさせてやって下さい」
といったものだ。
母親からすれば彼は、まだ、たった16歳の子供だった。
その母親からの電話は、決まって、
「ちゃんとゴハン食べてるの？仕事はうまくいってるの？」
だった。彼は、そのたびに
「うん。大丈夫」
とごまかしていた。
練習スタジオには、マネージャーが同行したが、彼は、ハナっからそいつと合わなかった。アイドルの親衛隊上がりで、まだ21歳のクセに、やたら業界ぶって、彼のことをシロウト扱いした。
「YOUはね、まだ若いから、業界のことは分からないのよ」
といった具合に、なにかにつけ「YOUはね」とくる。その口調も嫌いなら、いっていることも知能程度が低く、
〝単なるバカ！〟
としか思えなかった。その証拠に、そいつは、数カ月でクビになった。以後、彼のマネージャーは、いずれも長く続かず、デビュー当時から今日まで関係が続いているのは、レコード会社のディレクターTだけである。Tとは、唯一、音楽の話ができた。それ以外は、みんな、ろくに音楽も知らないへんなヤツばかりだった。
こんな調子だったから、彼は、毎日、イライラしっぱなしだった。が、業界のことなど何も分からない16歳の弱みで、
〝こんなものなんだ、この世界は〟
と諦観していた。
ある日など、彼が、事務所に行くと、玄関にピカピカのベンツが止まっていた。
〝スゲエ、ベンツだ。いったい誰のだろ。事務所に偉い客が来てんのかな〟
と思っていた。そうしたら、なんと、いけすかない社長のSが買ったばかりの車だった。
〝売れないタレントばっかり抱えてて、よくベンツが買えるな〟
彼は、少しばかり疑問を感じた。すると1週間後、今度は、サーブの新車が止まっていた。これまた社長が買ったという。おまけに、ハワイへ社員旅行に行くという。
〝いったいどこからお金が出ているのさ。なんか変だよ〟
疑問だらけだった。
実は、そのお金は、なんのことはない、本来なら、佐久間本人に支払われるべき、レコードと佐久間との契約金だった。しかし、彼が、その事実を知るのは、もっとずっと後のことだった。だいたい、事務所との正式な書類による契約自体が交わされていなかったのだから、レコード会社との契約金が彼のもとに入るハズがない。
バンドブームの頃、佐久間に限らずこういういいかげんな事務所はかなりあった。そして、一銭ももらえずにブーム崩壊と共に事務所から放り出されたバンドもたくさんいた。
東京、プロ、ということばに乗った彼もうつかだつのかも知れない。が、16歳の少年にそんなことが分かろうハズもなく、10代の貴重な時間は、無意味に費やされていった。
それでも、ベンツ、サーブ、海外旅行で
「なんかヘンダな」
という疑問が芽生え始めた。
曲作り、というから、曲を作って事務所に持っていって聞かせると、
「うん、いいんじゃない」
しかいわない。
「バンドを見つけてコンサートやりたい」
といっても、
「うん、いいんじゃない。そのうちにやんとかするよ」
ばかり。
もともと、気が長い方ではない彼は、とうとう怒りへと向かった。
「ちょっとぉ、どーなってんのさ。俺、もう、帰るよ。今日、ここで、ライブのスケジュールを決めてくれるまで動かないよ」
やむなくSは、ライブハウスに電話をして、スケジュールのブッキングを始めるが、そのやり方は、佐久間たちが札幌でやっていたアマチュアのやり方となんら変わらなかった。普通、プロを抱えている事務所なら、ライブハウスにもイベンダーにも顔がきいて、電話一本で全国のスケジュールが決まるものと思っていた。なのに、そんなノウハウはなく、1か所ずつ電話をして、断られると、はいそうですかで引き下がる。
結局、この日、一本も決まらないのを見て、
「このオヤジ、ダメかもしれない」
ガックリするのだった。
そうやって、ようやく決まったライブの一本に、名古屋のイベントの前座というのがあった。彼にとっては、ライブが出来る、もうそれだけで嬉しく、前座だろうが、気にかけずにさっそくバンド探しをして、当日を心待ちにしていた。かけ出しだから車で移動しろ、といわれても、ウキウキしながら出発した。
ワンボックスカーに積めるだけの楽器を積んで、バンドのメンバーを乗せた車は、苦しそうな唸り音を発して動き出した。東名高速に入ると、唸り音は、さらにひどくなり、
「大丈夫なの？」
さすがの佐久間も不安になった。
「平気、平気。クーラーつけなきゃ名古屋まで走れるよ」
クーラーなし。季節は8月お盆時。
不吉な予感は見事に的中。車は、炎天下の中、大渋滞に巻き込まれ、実に15時間もかかって名古屋に着いた。そして、肝心のライブは、たったの10分。
ふんだりけったりとはこのこと。
他のライブも、すべて楽器運搬用の車移動だった。社長がベンツに乗っているのに、アーティストは、人と楽器に埋もれたポンコツ車。何かが間違っていた。
でも、彼には、ライブさえできれば、他の疑問も帳消しになってしまう純粋さがあった。ホントにいいヤツだった。
それをいいことに事務所は、どんどん堕落していき、初めてのアルバムのレコーディングは、海外でやろう、行きたい所でやろうと景気のいいことをいう。
「矛盾だらけ」
だった。が、映画『クロスロード』を見てシカゴに行きたかった彼は、ついつい、そのことばにつられてシカゴに飛んだのだった。
たった17歳の海のモノともヤマのものとも分からない少年のレコーディングが海外とは、ムチャクチャな話だった。
そして、いざ、ふたを開けると、レコーディング自体は日本で行い、トラックダウンとプロモーションビデオ撮影のための短い渡米になってた。さらに、肝心のトラックダウンの作業は、現地の人とディレクターまかせ。佐久間は、朝から夜までビデオロケ。
またしても、話が違う、だった。
「こんなんで、いいのかなぁ、トラックダウン見てなくていいのかなぁ」
つぶやく彼に、社長は
「大丈夫、大丈夫。アメリカのプロがやっているんだから、心配ないよ」
首をひねりながらも、彼は、どうする術もなかった。いずれにしても、
〝アルバムさえ出せば、デビューさえすれば、何かが始まる。もう少しのガマンだ〟
彼は、まだ希望を持って、何かが始まるのを待っていた。
ところが、アルバムのリリース直前、突如、事務所がつぶれた。
何かは、始まりを見る前に終わりを見た。
〝やっぱり……〟
という溜め息と、
〝俺の1年間はなんだったんだろ。もう、東京には用はねえや。札幌に帰ろう〟
というあきらめの決意。
彼は、たった1年の東京に別れをつげるべく、小さなマンションの一室で荷作りを始めたのだった。
（つづく）

●野原と木々をバックに大きな弓をグイッとひき、何かを狙いすましている少年——こんなジャケットをもつアルバム『惑星のかけら』がリリースされました。今月は久々４人インタビュー。ニュー・アルバムをめぐり心境を語ります。こりゃほんと心ニクイアルバムよ。彼らから放たれた音の矢は、スパリとあなたの胸にささり、取れなくなってしまうかも……。

Photo:Shinji Hosono　Copy:Kyoko Sano

# 惑星のかけら
## 〈後編〉

田村アキヒロ(B)　崎山龍男(Dr)　三輪テツヤ(G)　草野マサムネ(Vo､G)

# スピッツ

## 燃え上るような恋じゃない、スロースターなんだ

カルト・バンド。スピッツにつきまとうそんなイメージを取り払ってもらおう、この新しいアルバムで。ソニック・ユースがあの内容で3万枚も売れる世の中だ。スピッツのこの『惑星のかけら』が聞かれる余地はまだまだゼーンゼンあるのだ。

＊

田村「カマしてるでしょ？（笑）1曲目から。（←『惑星のかけら』）派手なアルバムにしたかった。ウチら、地味だから」
草野「地味かあ？　地味っちゃ地味か？」
派手なバンドって例えば？
田村「ソフトバレエ」
三輪「ユニコーン」
草野「やっぱり性格が出るんでしょ？　ノンビリ屋ばっかりだからね」
田村「今までは探りを入れてたんで、この業界に。で？　これじゃダメだって（笑）」
草野「けど、派手さはありつつ奥ゆかしさもあるというこのバランス感覚」
派手になったのはギターの轟音のせい？
三輪「頑張りました。ミニ・アルバムを作った段階でやっぱり4人でやれるものを3枚目では作りたかった」
ミニ・アルバム『オーロラになれなかった人のために』はバンド以外のアレンジで草野マサムネの楽曲を提示した。
三輪「あれが与えた影響は大きい。欲求不満も含めて。あのアルバムでマサムネの曲がすごい可能性を持ってるんだなと思った。音楽的にもアレンジャーの長谷川さんに影響されたところはある。スピッツ・ファンの間では賛否両論だったみたいだけど。変わっちゃったねとか違うねっていう昔からのファンもいたし、好きだっていう新しいファンもいたし」
崎山「アレンジ面ではかなり勉強になりましたね。スピッツに客観的になれたし。『惑星のかけら』は、例えば絵画でいうなら水彩画から油絵のような変化が見られる」
草野「立体感のあるいろんな色を持ったアルバムになったと思う。3枚目でやっとスピッツの本質に近づいたんじゃないかな」
田村「2枚目もカラフルになったとそのときは思ったんだけど、また別の色が出てきたんだろうね」
草野「結果的にバンド・サウンドを見直すことになって、本質が浮き上がってきたといえる。バンドとしてのスピッツらしさが。4人のうち誰が欠けても成り立たないスピッツの音になっていると思う」
本質とはつまりオリジナリティ也。
崎山「1人1人が役割を意識するようになったからバンドの骨格が出きたね」
ロカビリー風あり、ジャズ・ロック風あり、サンバ風あり、幅とフトコロも豊かに。
草野「スピッツ・ファンはニヤリとしてくれるでしょうという読みもあって（笑）」
田村「ダイナミズムを出したかった。まとまりよりハミ出す感じ。エンジニアがマルコシアス・ヴァンプとかやってる人だったのもすごく大きい」
詞も前よりストレートになったような？
草野「言葉としてのインパクトが強くなってきてると思う」
崎山「わかりやすくなったんじゃない？」
田村「人間が丸くなったんだよ（笑）」
三輪「……でも、変わってないよ。欲が前より出てきたところはあるかな？」
田村「人気者になりたい欲？」
草野「そんなの初めっからあるよ（笑）」
田村「今度のアルバムの歌詞は想いこみの激しいファンなら、こんなのマサムネさんじゃなぁい！　っていうかも。草野マサムネっていう人間のイメージが勝手に膨らんじゃってんのがオレはイヤでさ。虚像マサムネはこれでオシマイ。それでスピッツがせばめられてんのってつまんないしさ」
草野「声質がコレだからさ、本気でうたってないように思われがちで、本気なのに」
田村「草野のその声だから曲が面白くなったりもするんだけど」
草野「男っぽい熱唱型のボーカリストがうたったらただのハードロックになる曲とかあるしね。この声の印象ってデカイね」
アルバムも3枚目。心境にも変化あり。
田村「危険な変化だったりして」
草野「危険な曲はたしかにあるからね。でも草野マサムネの歌を聞かせるっていうより、バンドとしての音を前に出したってことが一番大きな変化だね」
田村「そうなるのに5年かかったけど。燃え上るような恋じゃないの、ウチは。（笑）スロー・スターターなんだよ」
三輪「ライブやりたい、早く」
田村「特定の人だけが聞いているっていう次元からも脱却したい。もっと可能性を広げたいというのはある。わかる人だけわかればいい的なのって俺らにはないから。まだまだこのままじゃ済みません、スピッツは」

# KARATEKA

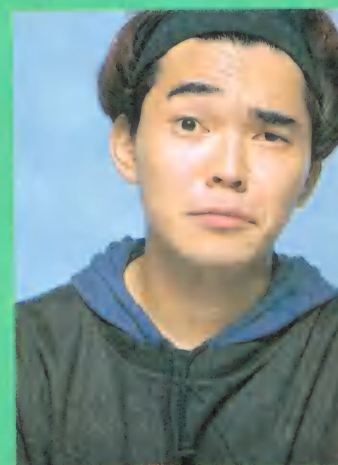
●お待たせいたしました。電気GROOVEの3rdALBUM『KARATEKA』のインタビューを心ゆくまでたっぷりどうぞっ!!

## DENKI GROOVE

PHOTO●KAZUHIRO KITAOKA　TEXT●EIICHI YOSHIMURA　STYLIST●MIWAKO UYAMA
COSTUME●DETENTE☎03(3461)2121　HEAVEN☎03(5411)0988

―できたね、『KARATEKA』。
**卓球** いやあ、おかげさまで。でも、最初考えてたものとずいぶん変わっちゃったですけど。最初って、例のクラフトワーク・ミーツ・ストーンローゼズってコンセプト（笑）があったんですけど、見事になくなった。
―最初はなんでそういうコンセプトになったんだっけ。
**卓球** もう単純にテクノでポップと。
―でも、この完成品もテクノでポップじゃん。
**卓球** いや、そうなんですけど、最初に頭のなかで鳴っていた音とずいぶんちがったなって。
―具体的にはどうちがう？
**卓球** う〜ん、なんだろう。最初に考えてたのって、もっとポップス然としたものだったんだけど、できてみたらポップだけども特殊なものになった。
―特殊っていうのは、いわゆるユーミンだとかアルフィーだとかの作るポップスにくらべてってこと？
**卓球** そうですそうです。
―だけど、なんで特殊になったんだろうね。
**卓球** やっぱり過剰なサンプリングのせいで。（笑）いつもだと、スタジオに入った段階では、曲はもう80％以上はできてるって段階なんですけど、今回はまたそっからも変わってきましたから。
―たとえば。
**卓球** いつもだと1曲のなかにひとつの要素があるとしたら、今回って、1曲のなかに3つぐらいの要素が入ってるんですよ。それぞれの要素が、たとえばワン・コーラスだけでてくるとか、サビの部分にだけ使われてるとかで、足したり引いたりしてるうちにずいぶん雰囲気が変わっていったんです。
―まあ、それがいい結果にでたと思うんだけど、最初にポップにしたいって思いがあったっていうことは、『UFO』までって、思ったほどポップにならなかったって感じがあるの？
**卓球** ですね。機材の面や、まだテクニック的にも未熟だったと思うし。
―そうかな。そういう理由だけかな。
**卓球** あ〜、でもないですね、やっぱり。
―歌詞の面ではどう？
**卓球** 歌詞も上達したんじゃないですかね。自分たちじゃあんまりわかんないけど。ただ、今回はちょっとわかりやすすぎたかなっていう感じはあるんですけど。でも、まあ、これ以上フィルターをかけた歌詞にしなくても、これでいいかって気はすごいする。
―たしかに前作までにあったちょっとシュールな部分とかヒネリみたいなところは薄れたなって気がするんだよね。これは、言いたいことはストレートにハッキリ言おうってことなのかと思ったけど。
**卓球** いや、べつにそんなわけでもないんですけど…。なんなんだろうなあ。
**瀧** ただ、歌詞はね、前までも自分らはべつにヒネろうとか思ってたわけじゃないんですよ。だから今回だって、ヒネリをなくそうとか前回の歌詞とはちがったものにしようとか、そういう意識はまったくない。ほんとにたまたまで、ぼくらにはわかんないですけど、そうしたたまたまの結果、歌詞が変わったとしたらハタから見たら変化とか成長ってことになるんでしょうけど。
―たとえば『フラッシュ・パパ』なんて、聞く人によってどうとでも解釈できる、いわばフレキシブルな歌詞だったじゃない。それが今回、たとえば「人事を尽くさず天命を待つ」なんて、どこの誰が聞いてもどういうことを歌ってるんだかハッキリわかる。
**瀧** たぶん、ひとつには、これまでうちらが自分らだけで、うわ、この歌詞おもしれえって思った歌詞っていうのが、いわゆるわかりにくい歌詞だったのかもしれないですね。今回って、いままで異常なことを歌詞にしてておもしろがってたのが、今度は逆にふつうの歌詞のほうがおもしろがれたってことがあるんですよ。メンバー内で、こいつはこういう歌詞を書いてくるだろうって、ある程度読めちゃうところがあるんで、そんなときに、すごくわかりやすくてシンプルな歌詞を見せられたら意表をつかれて逆に吹きだしちゃうっていう。
―裏を返しているうちに、また表がでちゃったと。
**瀧** じゃないすかね。
―ただ、それにしてもけっこう整合性とかをあまり気にしないで、勢いで書いたなってところがあちこちに見受けられるんだよね。
**卓球** たとえばどういうとこですか。
―たとえばねえ、「ドカベン」のなかにソープ嬢のセリフがあるじゃん。「お湯熱くない？ 服脱いじゃって」って。
**卓球** ええ。
―これ、どう考えてもセリフの順序が逆じゃない？
**卓球** あっ。そうじゃん。
**瀧** そうだよなあ。（笑）
**卓球** いまいわれて、おれ、初めて気がついた。ふつう服脱ぐのが先だよなあ。服着たままお湯かけてるってことだもんなあ。うわ、まちがえてんなあ。（笑）
―けっこう、ノリで書いたままの詞だなあ、と。
**卓球** そうですねえ。歌詞に関してはいじくらないで、1発目にバンって書いたやつがいちばんイイってのがあるから。
―どれも1発目でスラスラって感じだった？
**卓球** 全部ってわけじゃないんですけど。瀧がスランプに苦しんだっていうのもあって。な。（笑）
―ほう。
**瀧** スランプっていうかねえ、とにかくいいたいことなどなにもない！って感じで。（笑）
**卓球** いいたいこともないのに、ましてやそれを歌にするなんてなあ。
**瀧** でもまあ、『UFO』のときとくらべると、とくに問題になった歌詞

**もっとポップス然としたものができると思ったけど、できてみたらポップだけども特殊なものになった。**

# DENKI GROOVE KARATEKA

もなかったし、わりとすんなりいったって感じですね。

**──問題がなかったっていうのは、以前とくらべてあからさまなブラック・ジョークがなくなってきたから？たとえば「電気ビリビリ」みたいな。**

**卓球**　そうですね。いまさらもうそういうことをやりたいとも思わないし。

**瀧**　なんていうんですか、そういうトゲのある電気に魅力を感じてる人たちにとっては、つまらないって思われるかもしれないんですけど、そういうトゲの部分がなくなったかわりに、他のいろんなものが増えたと思う。

**──それさ、下着マニアとか、そういう一部の特殊な人を攻撃しなくなったかわりに、より一般的で身近な人を攻撃してると思わない？**

**瀧**　たしかに、100人サンプルを取ったら、なかには必ずデブ、ブス、ハゲがいますからねえ。

**──でしょ、たとえばこれを読んでる人の身近にも、下着マニアはいなくても、デブ、ブス、ハゲは学校や家庭に必ず何人かいるからね。**

**卓球**　それもべつに意識したわけじゃないんですけどねえ。ほんとに深く考えなかった。うちらにとって歌詞って、ほんとにハイハットと変わらないぐらいの扱いですからね。できるなら人に書いてほしいぐらいだから。（笑）

**瀧**　まあ、なんにせよ、いわゆるふつうのポップスを歌ってる人から見たら、うちらの歌詞ってすごく異常に見えるかもしれないけど、それはこっちにしたら向こうの人のほうがよっぽど変に見える。モノサシがちがうんですよ。うわ、真顔でこんなことよく歌えるなあって歌詞いっぱいあるもん。うちら、そういうの書けませーん。

**卓球**　なあ。（笑）もしある日、瀧が「負けないこと　逃げ出さないこと〜」なんて歌詞を書いてきたら、それこそギョッとするもん。（笑）

**瀧**　うちらのモノサシがまちがってるだけなんですけどね

**卓球**　愛だの恋だのの歌なんて絶対書けないよな。

# DENKI GROOVE KARATEKA

**——まあ、想像できないよな。（笑）ところでこれは触れずにおこうかと思った話題なんだけど…。**

**瀧**　ドキッー（笑）

**——寝た子を起こして藪をつつく。（笑）サンプリングの異常な多さ。すごいね、これ。**

**卓球**　ちょっと怖い気もするんですけどね。ほんと、『ヘッド博士』か『KARATEKA』かっていう。

**瀧**　不安だよな、ほんと。

**——サンプリングって、使われ方に2種類あって、ひとつはそれこそ具体的にあてはめていくようなやり方、もうひとつはモトネタの曲なりアーティストが好きでたまんなくて、自らの作品にその魂を取り込もうって使い方。**

**卓球**　うちらはもう、それは絶対に後者ですよ。

**——うん。モトネタがわかったほうがおもしろいって場合はパクリじゃなくてパスティーシュだって説もあるけど、それこそこの『KARATEKA』は電気の思いでのスクラップ・ブックみたいなとこがあるよね。**

**卓球**　そうそう。便利だとかバカにしてサンプリングしてるんじゃなくて、ほんとに好きで尊敬してるからサンプリングしてるんですよ。

**まりん**　そうじゃなきゃやんないし、人をつかまえては、ここは何々をサンプリングして使ってるって言ってまわりたいですもん。

**卓球**　だって、チャゲアスとかサンプリングしたいって思わないもんな。

**——これだけサンプリングって形で敬意を表しちゃうと、もう、カバー・ソングをやりたいって気にはならないでしょ。**

**卓球**　そうですね。ライブとか企画モノでやることはあるだろうけど、よっぽどのことがないかぎりアルバムに入れるっていうのはもう考えられないな。

**まりん**　もしやるとしても、逆に全然思い入れのない曲とかになるかもしれないし。

**——ほんとにこのサンプリングって、オマージュって感じに聞こえるな。**

**卓球**　たとえばなにかのベース・ラインだけをサンプリングするって場合、べつに同じようなベースを誰かに弾いてもらったっていいんですよ。でもそうじゃなく、サンプリングして使うってことに意義がある。（笑）

**——あとは著作権者がその意義を認めるかどうかだけだな。（笑）**

**卓球**　だんだん状況が厳しくなってきてるから、今回みたいなサンプリング・アルバムって、もうできないでしょうね。まあ、同じ手法をくり返したくもないし。もうね、次はどんなアルバムにしようかと思うと夜も寝れなくて、ああ、早く次のアルバムを作りたくてしようがない。くそ、録りてー。

**——それ、まったく同じセリフを『UFO』のアルバム・インタビューのときにもいってたよ。（笑）**

**卓球**　いっつもそうなんですよ。レコーディングの最終日に打ち上げがあって、どうもみんなご苦労さまでしたって乾杯して、「さあ、次のアルバムはいつ作りましょうか」だって。（笑）病気。（笑）

**まりん**　さすがに作ってる最中はいわないですけどね。

**瀧**　いいや、お前はいってた。

**まりん**　今回はいってないよお。

**卓球**　いってたね。おれと瀧がスタジオで作業してるところにお前がぬーっと入ってきて、「ああ、早く次の録りてえなあ」だって。

**まりん**　べつに悪気があっていったんじゃないよ。

**瀧**　悪気がないっていうのがいちばん困る。（笑）

**卓球**　悪気がないと怒れねえもんなあ。まりん、お前はしあわせだ、ほんと。（笑）まわりの人に恵まれれば、そんな幸福な生き方はないぜ。

**瀧**　お前、これから「しあわせ君」として生きろ。（笑）

**卓球**　電気グルーヴ、右から石野卓球、ピエール瀧、しあわせ君。（笑）

**まりん**　名前がいっぱいあって、おれはしあわせ君だよ、ほんと。（笑）

# DENKI GROOVE KARATEKA

# KARATEKA

# 朗報!

**10月25日(日)午後3時KARATEKAの発売を記念してご近所のレコード店の店頭にて電気グルーヴの超レアな特別番組をオンエアー。LIVEありお笑いあり激怒ありのスペシャルプログラムをうご期待!実施店は下記のとおり**

＜旭　川＞玉光堂旭川店0166-26-6181
＜帯　広＞玉光堂帯広店0155-22-0888
＜札　幌＞玉光堂四丁目店011-231-5501
玉光堂パセオ店011-213-5888
玉光堂オーロラタウン店011-231-8865
玉光堂ポールタウン店011-231-8880
玉光堂ススキノ店011-231-8840
タワーレコード札幌店011-231-0581
キクヤ011-271-5571
WAVE札幌店011-215-3532
山野楽器新札幌店011-890-2588
＜函　館＞ミュージックショップ国原函館長崎屋店0138-45-4100
＜青　森＞ビーバップサンロード店0177-74-5711
＜弘　前＞JOY POPS0172-32-3041
＜秋　田＞秋田ゼンオン0188-32-3008
フリーウェイ秋田店0188-32-1616
＜山　形＞ギンセイ山形店0236-33-7526
＜盛　岡＞東山堂楽器0196-23-7128
＜仙　台＞ヤンレイ仙台店022-267-4379
スーパーレコード022-222-2021
＜福　島＞ざらんど0245-22-9178
フリーウェイ福島店0245-24-1166
＜宇都宮＞ディスクポート宇都宮0286-27-8571
＜高　崎＞新星堂カルチェ5高崎店0273-27-3963
＜新　潟＞新星堂新潟プラーカ店025-240-2577
＜取　手＞新星堂取手駅ビル店0297-74-1813
＜松　戸＞ヤンレイ松戸0473-66-1294
＜大　宮＞ヤマギワ大宮048-641-7325
＜川　越＞山野楽器アトレマルヒロ0492-26-7346
＜市　川＞ヤンレイ市川0473-26-5505
＜津田沼＞山野楽器津田沼パルコ店0474-77-5775
＜　柏　＞新星堂カルチェ5柏店0471-64-8760
＜千　葉＞ラオックス千葉店043-227-5318
＜浦　安＞山野楽器新浦安店0473-81-2645
＜渋　谷＞WAVE渋谷03-3462-3891
HMV渋谷03-3477-6880
＜原　宿＞HMV原宿03-3423-4891
＜新　宿＞帝都無線紀伊国屋店03-3354-7048
新星堂新宿店03-3354-1831
帝都無線新宿店03-3352-6325
＜笹　塚＞ラオックス笹塚店03-3485-1711
＜池　袋＞HMV池袋03-3983-5501
新星堂池袋サンシャインアルパ店03-3987-3505
＜上　野＞帝都無線上野ABAB店03-3832-7791
＜自由ケ丘＞サウンドファクトリージャム自由ケ丘03-3724-6560
＜町　田＞タハラ町田ジョルナ0427-22-3633
鈴木楽器町田中央店0427-28-6181
＜多　摩＞新星堂多摩中央店0423-71-9378
＜八王子＞G HOUSE駅前店0426-56-6311
＜甲　府＞新星堂甲府駅ビル店0552-24-3930
＜横　浜＞HMV横浜045-313-3101
新星堂横浜ジョイナス店045-321-6830
新星堂横浜ポルタ店045-453-6374
＜戸　塚＞ハマヤAV館045-881-8233
＜相模大野＞タハラ相模大野店0427-42-0024
＜厚　木＞タハラ本店0462-22-2725
＜藤　沢＞湘南レコード本店0466-25-7601
＜小田原＞新星堂小田原店0465-23-0576
＜静　岡＞すみや本店054-251-1236
＜富　士＞すみや富士本町店0545-63-2233
＜沼　津＞すみや沼津バイパス店0559-23-0177
＜浜　松＞すみや高台店0534-74-8811
名豊ミュージック浜松店0534-52-6888
＜豊　橋＞名豊ミュージック豊橋店0532-55-5754
＜豊　田＞新星堂豊田タウン店0565-35-1091
＜名古屋＞ディスクステーション栄地下店052-961-5691
音楽堂セントラルパーク店052-951-0181
愛曲楽器中部名古屋近鉄7F052-561-2047
＜一　宮＞新星堂一宮店0586-24-1751
＜四日市＞新星堂四日市店0593-55-8046
＜大　垣＞新星堂大垣店0584-75-6193
＜富　山＞フクロヤ総曲輪店0764-25-3513
フクロヤ二口店0764-91-3360
フクロヤ戸出店0766-63-6660
＜金　沢＞山蓄香林坊109店0762-20-5010
VAN VANラブロ0762-20-1777
山蓄横川店0762-47-5050
＜福　井＞松木屋本店0776-24-1388
＜奈　良＞ふたばやコトモール074-227-3880
＜京　都＞ビーバーレコード京極店075-255-0734
タワーレコード京都店075-212-7058
＜和歌山＞石井楽器イズミヤ和歌山店0734-24-3210
＜大　阪＞タワーレコード大阪店06-211-2997
三木楽器心斎橋店06-251-4593
ミヤコ 本店06-271-3891
大月楽器阪急ファイブ店06-312-9169
ワルツ堂梅田店06-374-0790
WAVE梅田06-359-3272
大月楽器スター店06-632-2286
＜豊　中＞ミヤコ千里中央店06-831-5650
交声堂千里店06-833-1127
＜　堺　＞イワキ堺もず店0722-70-1422
＜東大阪＞松井楽器0729-81-4978
＜川　西＞大月楽器アステ川西店0727-55-2243
＜神　戸＞ダイエー電気館パレックス078-391-7911
大蓄ハーバーランド店　078-360-1786
星電社ハーバーランド店078-360-8800
WAVE神戸078-360-5255
アシーネ藤原台078-982-4711
＜西　宮＞星電社西宮北口店0798-33-6926
＜姫　路＞タワーレコード姫路店0792-21-3161
＜高　松＞デューク高松0878-33-5450
＜徳　島＞AVスポットフジアミコ店0886-21-4327
＜高　知＞デューク高知0888-25-2505
＜松　山＞デューク松山0899-43-6660
＜倉　敷＞インディスク0864-21-0949
＜鳥　取＞中国ヤンレイ鳥取店セイコ0857-27-6540
＜福　山＞中国ヤンレイ福山店0849-25-0629
＜広　島＞カワイショップ082-243-9291
タワーレコード広島店082-240-0063
ダイイチ本店082-247-5111
＜東広島＞音響堂ゆめタウン0824-23-1234
＜山　口＞OK無線AVセンター0839-22-3455
＜下　関＞ホッタ楽器店0832-23-0688
＜北九州＞マエダ093-521-3629
＜福　岡＞ミュージックプラザ印藤092-751-3140
ベスト電器福岡店092-781-7131
ヨシダ楽器本店092-662-0001
三菱ソシオテックプラザ092-733-2055
＜久留米＞シティワルツ0942-32-2283
＜大　分＞エトウ南海堂0975-36-5273
＜熊　本＞マツモトレコード096-352-5671
＜鹿児島＞十字屋0992-25-3131
＜佐　賀＞トムカンパニー0952-26-3838
＜長　崎＞アトムレコードアトミックス0958-27-2424

**INFORMATION　03-3796-3570　キューン・ソニーレコード**

Ki/oon Sony Records
*Sony Music Entertainment (Japan) Inc.*

EBI

EBIくんの物▶右上から●香那ちゃんのフォト・スタンド＝もちろん飾ってます●サングラス＝山形のアベスペシャルで使用したブーチー眼鏡●ベルト＝シドベルトと呼ばれていて、アマチュアのパンクス時代に使用●太陽型ブローチ＝ライブで使用●ポラロイド・カメラ＝中古カメラ店にて購入●地球時計＝ハワイの出店で買った●ＹＭＯのアルバム＝中学生のとき買いました（ビデオは原田さんのもの）●燭台型ランプ＝舞監なき戦いのステージセット（〝お前が持っとるのか！〞という声が他のメンバーから上がる）●Maybe Blueのシングル＝ラジオオンエア用の非売品●ポール・シムノン（クラッシュのB）のサイン●ＡＲＢのバッチ＝ＡＲＢのキースさんからもらった●腕輪＝ジャカルタで買った●森雪之丞さんの直筆詞＝宝物●SEKONICの露出計＝アナログ感が好き●カメラ（MAMIYA－6）＝お爺さま→お父さま→EBIくんに受けつがれた品●スティック＝ＡＲＢのキースさんにもらった。宝物●アントン・コルビンの写真集＝すばらしい●地球ブローチ＝ライブで使用した。

# しよう!!

●タイトルを御覧いただきたい。〝キクちゃん〞という聞き慣れぬ名前の持ち主は、一体誰なのであろう!? ユニコーン・ファンの皆様は、彼らのプライベートな友人をも知る機会に非常に恵まれてきた。ここにまた新しい友人の登場である。しかも、我々は彼を応援することもできるのだ！ 何の関係もない写真は５人の私物である。

撮影●小木曽威夫　文●宇都宮美穂　スタイリスト●原久美子　ヘイアメイク●国沢拓　イラスト●奥田民生

衣装協力●EM☎03(3499)7478　HAKKA HOMME☎03(3498)0701　カサブランカ☎03(5489)1222　G&M☎03(3498)3518　渋谷フロンティア☎03(3464)4579
雑貨協力●東急ハンズ渋谷店☎03(5489)5111

NISHIKAWAWA

西川くんの物▶右上から●目覚まし時計＝中学生の頃から愛用。音がウルサくて丈夫●ネズミとチーズ＝ＬＡのディズニーランドで購入●JALのボールペン＝作曲用●せんたくバサミ＝色がきれいなので●クレヨン＝もちろん嵐丸くんの●自動車３台＝もちろん嵐丸くんの。何度も壊したのを西川パパは何度も修理●ホッチキス＝事務所に提出する書類を留める●ヘッドフォン＝作曲用●腕時計（茶）＝フランスで買った●腕時計（シンプソンファミリー）＝ロスで買った●額＝リビングルームに飾ってあります●カナヅチ＝いいでしょ？　愛用品●パルコの消しゴム＝色がきれい●電動ハブラシ＝電池式なのでツアー用。ＧＵＭのもの。歯医者さんがコレがいいと言ったので●せんたくバサミ（木）＝味わいがいい●鉛筆削り＝シンプルで好き。作曲用●木の魚＝おもちゃ●ライター＝時々愛用●ウォークマン＝ツアーに持って行く、コピー用●オイルフィルターレンチ＝車の工具●カレンダー＝仕事部屋に置いている●永ちゃんのトラック＝ライブで購入。嵐丸くんのオモチャ

# u n i c

# キクちゃんを応援

ニーゆう顔

喜久川光

# ABE

アベくんの物▶右上から●将棋の駒＝ベランダで将棋を打つと落ち着きます。●ポール・スミスのハブラシ＝原田さんが買ってきた（他のページも同じ）●シングルのジャケットと同じパネル＝デザイナーの樋川さんがわざわざ作ってくれた。とても気に入ってます。●エイズに気をつけよう（AIDS AWARENESS）バッヂ＝アベくんが発案、樋川さんがデザインしたバッヂ●ZIPPOのライター＝お気に入り。なくすまで使い続けます●多面カットのぞき眼鏡＝見た物がいくつにも見える。のぞくときれい●鉄琴＝音がとてもきれい●ゲーム＝アメリカのBARなどによくあるゲーム。友達がたくさん遊びに来て、誰か1人あぶれる人がいても、なごやかに時を過ごせる●マンセルのヘルメット（ミニチュア）＝正面から見ると顔が描いてあるのがポイント●布テープ＝マユにもホクロにもヒゲにもなる●石のペンダント＝なんとなく魅かれる。体に良さそう●ミッキーのライト＝振るときれい。のぞき眼鏡でこれを見ながら鉄琴をたたくとはまります。夜中にはまる3点セット

# unicorn

あのね、ワタシなんかは熱烈なるテニスファンで、その歴史も長いわけだよ。だけんども（東北弁）いまだウィンブルドンのチケットを手に入れられず、なおかつ選手のプライベートなんて鉄のカーテンよ。どのくらいハードな鉄かというと、テニスウエアを脱いでのオフのファッションはどんななのだろう？ という素朴な疑問すら解けてない。写真もなければ、インタビューもまずない。そういうファンにとってはせち辛い状況でありながら、ひたすら耐えているんだねぇ。美しいじゃないですか、リッパじゃないですか。

だからだな、みなさんもこのワタシを見習って、ダイヤルQ2に加担するような行為をやめなはれ。（京都弁）みなさんにはそんなことをしなくても、バチバチで十分、十分すぎるほど、もう、くだらなさに泣いてしまうほど、ユニコーンさんの情報が伝わっているわけで、これ以上彼らについて知りたいと思うのは、それはお昼のワイドショウを見ているオバサンと同じくらい下品です。

さぁ、今日も超くだらないお話をひとつ報道いたしましょう。何かというと、かつて語られることのなかったユニコーンさんの友人、キクちゃんの存在であります。これは新しい。今まで、北ちゃん、またはヤマについての話は数々出たものの、キクちゃんについては、ワタシも初耳なのでした。

**奥田「これはもう、大切なことですから」**

**西川「俺らのウワサの百倍大切」**

その大切さの意図はといえば。

**西川「二輪のレースをやっててねぇ。世界に羽ばたこうとしてるんです」**

なんと、キクちゃんはバイクのレーサーだったのだ。

**西川「今度、初めてA級レースに出るんですけど、その試合が10月10日と11日にあるんです」**

タイムリーとはまさにこのことなり。仙台にお住まいの方なら、須郷までバスで行けば、生でレース観戦ができてしまう。そうでない、他の地方にお住まいの方なら、WOWOWはチャンネルBS5で観戦できる。

ちなみにキクちゃんの本名は、喜久川光。

**奥田「カッコいいでしょ、名前がヒカル」**

光っているのは名前だけじゃない、その瞳すらもキラキラ。

**奥田「いかつい顔をしてるのに、目がやたらウルウルしてるんですよ」**

**（一同笑い）**

# TAMIO

タミオくんの物▶右上から・パワーグリップ＝握力をつけるため●耳かき＝子供の頃からの耳かきシャン。ポワポワが付きでないとダメ。先は削って自分用に調整●あんま器＝マルくん起こし用●キクちゃんのビデオ、プロレスのビデオ、イッセー尾形（面白い）のビデオ●カメラ（CONTAX T 2）＝成田で衝動買い●VANTALINスプレー＝ドラムで疲れた筋肉をいやした。超きく●録音再生ウォークマン(TCS−450)＝上京してすぐ購入。作曲の時超便利。「休日」もこれで作った●のぞき眼鏡＝きれいな景色を見る用●エアガン＝ベレッタというメーカーのコピーで子ベレッタと呼んでる●カギ＝玄関のカギがコレだったこともある●フィニッシュコーワ＝愛用品●SPALDINGパワーロープ＝上筋肉が付く●S.F.W.＝まだ読んでない●ニーパッド＝うちで悪人をやっつける時愛用●マーシャルのアンプ＝うちでギターを弾く時重宝●ラジコン＝今回のイベントで買いまくり●アロンアルファ＝何にでも使えて便利●スーパーファミコン＝ピエール瀧に勝った●クツ＝adidasのユーイング

EBI「少女マンガみたいだよね？　なんかキラキラしてて（笑）」

命をかけた仕事をしている人にありがちな、ちょっと暑苦しいルックスかもしれない。まあ、そのあたりは奥田画伯による似顔絵を見ていただきたい。

いつ頃からの友達なんですか？

奥田「同じ高校だったんです。ホントはキクちゃんもミュージシャンを目指してたんだけど、その頃みんなバイクに乗ってて）ですね、彼は年下だから後から免許を取ったわけですよ。ほんで、みんなで峠に走りに行ったりして、最初は僕たちについてこれなくて、それが口惜しくて練習してるうちにバイクに傾いてしまったという」

レーサーになると言うので、その当時奥田さんが彼に向かって言ったセリフは、

奥田「俺を破ってから行け」

（一同笑い）

それはそれはもう「あっ」という間に破られてしまったそう。

奥田「まあ僕の場合、キクちゃんだけじゃなくて、何人もの男が僕の上を通り過ぎていったんですが（笑）」

それならとっくに死んでいるはず、ではないか？

手島「横をだっちゅう（笑）」

阿部「上を通り過ぎたら、ちょっと痛いです（笑）」

レーサーになるというのは、男の人にとっては偉大なる憧れだろう。それを実践している人が、こんな軟弱な（？）ユニコーンさんの友達の中にいるとは、ビックリ。

西川「でも、俺らの中にもいますよ？」

ウソだぁ――。（全然信じてない）

西川「ホント、ホント。手島と阿部が」

聞けば、シロートのレースとはいえ、すでに手島さんが四輪で経験済み。阿部さんはカート・レース（ゴーカートの速いヤツ）とはいえ、もうすぐ本番を迎えるとか。

手島「面白いけどねえ、やっぱハンパな気持ちじゃできないですから、ダメです、僕は」

遊びと思っていれば勝てないし、かといって真剣になれば、命がかかる。

手島「僕みたいに他の職業を持ちながらじゃ絶対できない。レースって極限なんですよ。極限のところまで走らないとダメだから。アクセルゆるめたら、それは走る資格がないわけで、で、俺は走る資格がないんだ、とりあえず」

精神的にも、肉体的にも過酷なレーサーの世界。キクちゃんも、ヒジョーにストイ

**何人もの男が僕の上を通り過ぎて行ったんですが（笑）**

## 3623

３６２３の物▶右上から●１＄札＝裏のピラミッドの絵の目はギターに描いてあるのと同じ●ブレスレット＝バリで購入。500円くらい●ビデオ（ピーウィー・ハーマンのビデオ）＝原田さんの●グローブ＝車用。愛用している。ミケロッティのデザイン●お皿＝奥様（3623は〝嫁さん〟と言う）が自由ヶ丘で購入●釣り具（ルアー）＝魚付きがプラグ、エビ付きがジク、楕円形がスピナー、金色のがスプーンという●サングラス＝レイバンをしているのはメンバー中3623だけ●カエルの置き物＝バリで購入。50円くらい●ヒツジ＝小っちゃくてかわいかったので撮影用に持って来た●レーシングスーツ＝本物。レースに出たときに着用。SHOEIのステッカーの字が黒であることに注目。普通は青で、黒は買えない。腰の赤いステッカーには血液型と名前が。〝スーツだけなら、これでＦ１まで行けます〟●タオル＝アップリケは奥様の作品●ネックレス＝歴代のネックレス。古い順に羽根のとれてしまったもの→ワシのもの→現在使っているもの

# キクちゃんを応援しよう!!
# unicorn

ックな人らしい。
奥田「レースって、金かかるんですよ。大企業のスポンサーがついてれば別だけど、キクちゃんは個人でやってるし。だから普段は働いてて、金を貯めてはレースに出るみたいな。それでA級まで行ったんだからすごいよねぇ」
驚いたことに、メカニックは奥様が担当しておられる。それというのも、
一同「金がないから!!」（キッパリ）
西川「走る夫婦善哉ですね（笑）」
友達がひと旗あげるとあっては、ユニコーンさんも黙ってはいられない。すでにスポンサーとして協力、よって次のレースでのキクちゃんのバイクには、ユニコーンのマークが入る。
西川「といっても、大企業のスポンサーがついてるわけじゃないですからねえ。俺らが応援するっていっても、たかが知れてます（笑）」
そこで唐突に始まったのが、スポンサー募集大作戦。
手島「パチパチの読者が1人千円ずつ出したら、結構デカくないか?」
奥田「で、スポンサーになったら、あなたの名前がバイクに書かれます、かなんか言って（笑）」
西川「キクちゃんのバイク、名前がビッシリ（笑）」
それじゃ耳なし芳一になってしまう。ま、スポンサーになるのは無理だとしても、みなさんの声援によってキクちゃんが注目を浴び、やがてどこかのスポンサーがつくという希望は持てる。キクちゃんスター化運動――これはちょっとよくないか!?
西川「宇都宮さんがスポンサーになってもいいんですよ?」
奥田「バイクに〝結婚して下さい〟って書いてもらえ」
EBI「〝インタビューします〟っていうのもいいんじゃない?」
奥田「〝印税バリバリ伝説〟っていうのもいいなぁ」
そうです。みなさんの大好きなユニコーンさんは、こういうことを言う嫌な野郎らなんでした。

# 眠れぬ夜

C／W Birds

3　6　2　3

眠れぬ夜
Coupling With:Birds
手島いさむ

## ディレクターによるレコーディング秘話

●私がこの企画のためのデモテープを聞かせてもらったのは5月。さすが機材おたくという感じで、一聴していいものになると確信できた。ただ正直な話「結構地味かなぁ」とも思ったりしたが、アイデアをサポートしてくれるキーボードの松原氏との打ち合わせでは「起承転結をキチンと作り、盛り上げはハデに」と一致。この松原氏と私とテッシーとは、AURAのドラマー子れっずが企画したバンドでデモレコーディング等をやった仲で、実は話はAURAの打ち上げの席等で徐々に始まっていたのだ。(松原氏は私と共にAURAのプロデュースもやっている)

当然、作詞作曲編曲プロデュース共にテッシーがやるが、彼は歌とギター以外はやった事のないプロという事で、ドラマーは同郷広島出身でアマチュア時代からの知り合いの熊丸氏。ベースは松原氏の友人の入江氏にお願いした。この4人でリハーサルを数日演り本番に臨んだのだが、このドラムの熊丸という男がとにかく喋る男で、きわめつけは皆が疲れた時のトドメのダジャレ。演奏はスタジオで活躍中だけの事はありバッチリだったのだが、良くも悪くもムードメーカーになってくれた。一方ベースの入江氏は温厚な人。たまに口を開くと重みのあるひと言という感じで、熊丸氏とは初顔合わせだったが、演奏も人間関係も本当にうまくやってもらえた。キーボードの松原氏も大人でした。普通バンドのレコーディングって下らない事でもめたり結構ぐちゃぐちゃになるんだが、今回は不思議な程問題がなかった。

テッシーは〝理系の大学出とるんやね〟という感じで無意識的にいろいろ計算し、調整してる人で今どきのロッカーに欠けている部分をしっかり持っています。ちょっと苦労したのはやっぱり歌。仮歌を録った時にはどうなる事かと内心思った。自分で下手だと思っちゃうから、まずその精神的なリキミを取り除いてかつ気合いを入れるのに時間がかかったが、休憩後ダメもとでもう一回だけやってみようと開き直ってからは、レベルの高いテイクがポンポン来て、テイク選びも結局は想像した程は苦労せずに済んだ。テッシーの歌を知ってるファンにも知らないファンにも納得してもらえると思います。

もちろん本業のギターも、特にソロ関係やインストの曲で今どきのバンド少年達が忘れかけている感情の表現ができてるし、ちょっと書き足らない位なんだが、いい作品が作れたと思います。

内田忍

## マネージャーによるレコーディングスタッフ秘話

●サム兄さんのレコーディングはミュージシャンをサム兄さんのお友達関係でまとめたアットホームな雰囲気で行われたのでした。ドラムの熊丸さんは広島時代からの知り合いで、キーボードの〝マッチ〟こと松原さんはオーラの子レッズを通して知り合ったという関係だそうで、その〝マッチ〟に紹介されたのが〝太郎ちゃん〟ことベースの入江さんですが、みんな〝太郎ちゃん〟という人は知っていたのですが今回初めて入江さんという名前を知ったという何ともアバウトな関係の不思議なメンバーでした。

レコーディング前に何回かリハーサルをしたのですが、アレンジも皆でアイディアを出し合って初日からチームワーク固し！という雰囲気でした。

リハーサルはいつもユニコーンが使っていた所でもやったのですが、この時はどの店が美味しいかを知っているので充実した食事をしてしまい、この後に続く恐ろしい満腹全席状態を知る由もない私達はここでタラフク食べてレコーディングに突入したのでした。

レコーディングは都内は早稲田のスタジオを使ったのですが、ここの出前は夕方になるともう中華料理しかなくなってしまうので約1週間毎日毎日夕方になるとスタジオのロビーにラーメンやギョーザなどがびっしりとテーブルに並ぶという日々が続きました。

サム兄さんは中華料理が嫌いな訳ではないのですが……

サム兄さんがスタジオ内で、生活するのに必要な物はジョージアの缶コーヒーと、ケントマイルドと、ビックジョンの輸出モデルであるキョートスリムと、トニーラマのブーツと、焼き肉があれば大丈夫なのですが、今回この中の焼き肉がいかんせん中華料理屋なので生姜焼き的な物が無かったのでサム兄さんはひどく悲しんでおられました。

しかし、そんな逆境にもめげずにサム兄さんはギョ～ザの香りが漂うスタジオでカッコイイギターをびしびし決めていたのでした。

鈴木銀二郎

# グを呼べ！

●「ダウンタウンに会いたい！」——2ヶ月前、宇都宮美穂女史が叫んだこの一声が、恐ろしいもんで、こうしてページになってしまいました。パチ▶パチ読者にも今や絶大なる人気を誇る、尼崎（アマ）の生んだ2人組に、果たして森田、宇都宮コンビは会えるのか!?

文●森田恭子（P.86）宇都宮美穂（P.87）　撮影●大住寿明（P.87）
イラスト＆コミックス●浅見カヨコ

## たすけてユニコ〜ン。

●『ごっつええ感じ』の〝民生クンと阿部クン〟のコーナーが、前は2回だったのに今は1回になっていて、このパチパチが出る10月（←番組編成期）にまだ続いていることを願いながら、先月取材した〝民生クンと阿部クン〟の原稿を書いている。

2人に「風」のダウンタウン・バージョンを考えてもらって、それをダウンタウンの前で歌うとこを私たちが取材する＝私たちはダウンタウンに会える、という作戦を2人にお願いしに行ったわけだが。思ったとおり2人は……。

㋲「ネタはいつもその日に考えるんですか?」
阿部「そうです」
民生「移動中の車の中で考えるのがほとんどで。こういうふうに（撮影を行う学校に）到着してからも考えてるのもときどきあって。今日はいちばん（考える時間が）長い」
阿部「1回できてたものが、生徒たちの状況が変わったんで、また一からやり直しとか」
㋲「その学校に合わせたネタを移動中に考えるけども、着いてみると状況が違ってて、また作り直した、と」
民生「そーそーそー」
㋒「前もって用意したりしないの?」
民生「だから新鮮なネタをお届けしたいわけですよ（笑）」
阿部「そんないいもんかい（笑）」
民生「マジで、こういうくだらないギャグは、おもろないんだよ、次の日に見たら」
㋒「だからテレビで見るときはだいたいつまらないわけですね（笑）」
民生「そーそーそー（笑）」
㋒「あれってさ、テレビに出てるときはユニコーンって出てなくて〝民生クンと阿部クン〟って出てるでしょ。テレビ見てる人は誰だと思ってるんでしょーか」
民生「民生クンと阿部クンだと思ってるんじゃないでしょーか」
阿部「それはそれでい〜んじゃない」
㋒「あれに出るメリットは?」
民生「参加することに意義がある。〝ごっつええ感じ〟に参加してるという喜び（笑）」
㋒「毎週見てるの?」
阿部「見ますよ、たまに」
民生「俺、わりと毎週見る」
㋲「どのコーナーがいちばん好き?」
民生「普通にコントしてるとこ」
阿部「そっすね」
民生「ダウンタウンがただ喋ってるよりコントやる方が好き」
阿部「そっすね」
民生「ただ喋るのもおもしろいけど、作ってる方がひたむきさが伝わってくるから」
阿部「夜中まで一生懸命やってるんだな、って（笑）」
㋲「自分もコントやってみたい?」
民生「やってみたい。……と思うときもあるけど、すぐ怖じ気づく」
阿部「やっぱ外すんじゃない?」
民生「ハズスーンナズ（笑）」（←これは外すとas soon asをかけた……って、やっぱギャグを活字で説明するのってダサダサだ）
㋒「あのね、お願いがあるんですけど。いっつも変え歌をやってるけど、ダウンタウンのネタはないの?」
民生「やっぱ学校に行くからなぁ」
㋒「それをね、ダウンタウンの前で歌うっていうのはどうかな!?」
民生「それはね、僕はちょっとイヤです。（笑）そんなプレッシャーのかかることをやらせるな、バルセロナ、なんつって」
㋲「韻を踏みましたね（笑）」
阿部「向こうはプロですからね」
㋲「でも私たちはそれを取材に行きたいわけなんですよ。2人がそれをやってくれれば、ダウンタウンも取材に応じてくれるのではないかという、姑息な考えなんですよ」
民生「なるほど」
阿部「なんか違う企画ないの!?」
民生「いいのができたら、じゃ」
阿部「できたらね」

2人はシブシブOKしてくれたかのように見えた。そして9月13日、私は『ごっつええ感じ』を見ていた。2人のコーナーはやはり1回だけだった。しかしエンディングで、ユニコーンのソロ・シングルを宣伝するために2人はスタジオにいた。ダウンタウンと共に。……そんなことにもかこつけて、取材に行きたかったよーん。2人の頭からはもう、私たちのことは消え去っている。唯一の頼みの綱は切れた。前途多難だ。㋲

▼制服関係には弱い(!?)お2人。実習室にて歌った歌はケッサクでした。

▲「ごっつええかんじ」は毎週日曜日夜8時〜。フジテレビ系にて放映されています。



## やっぱりヒトシ。

●女性誌の〝いい男ランキング〟で必ず上位に顔を出すのが浜ちゃん。いっつも怒ってるのにドラマや〝24時間TV〟でやさしさも見せ、おまけにあのかわいいルックス。女心を締めつけないわけがない。それにしても下ネタが大好きなところも、今までのトレンディー男たちにはないリアルさが新しい一つの形として確立されつつある今なのかもしれない、と、分析してはみるものの。やっぱりいい男の順位なんてマユツバだぜぇ、ハゲたことすんなぁぁぁっ。

「よくボキボキと指を鳴らす人がいますが、あれはどうしてですか?」という視聴者からのハガキに、「エキサイティングを呼んでるんや」と答えたのは、ヒトシ♡ つまり犬笛のように、ケンカのときに指を鳴らすことによって、エキサイティングはやってくる。そんな不条理なことを日常会話のように話す男が週刊誌のランキングにまんまとおさまるはずもない。遅刻するヒトシ。絵がうまいヒトシ。笑っていてもあんまり嬉しそうじゃないヒトシ。そなんときには頬の内側を舌で押したりしてごまかしてるヒトシ。でも浜ちゃんや後輩たちのギャグにウケて、のけぞって笑うヒトシは、ごっつカワイイ。そして自信のあるコントをやるときのヒトシは、ベンジャミンの鼻の下に、カリスマの薄笑いさえ浮かべている。悪魔の瞳で天使の妄想をするヒトシに、フン、誕生日祝いなんて笑っちゃうよっ。㋲

ダウンタウンに会いたい!!

# エキサイティン

## 見学!!＊生生生ダウンタウン。

●結論から書くとだね、結局ワタシ＋モリタ＋編は、この日ダウンタウンのおふたりに会えなかったのだった。いや、会ったといえば会ったのかもしれないが、10メートルも離れたステージと客席では、ワタシの感覚上〝見た〟という表現しかできない。

読者の中には、そんな簡単に甘い汁を吸われてたまるかい！ というムキの方もいらっしゃるだろーが、ううん、ワタシは絶対に甘い汁を吸うつもり。あれこれとよからぬことを妄想しつつ、9月9日は〝生生生生ダウンタウン〟の収録スタジオにお出掛けだ。ちなみに我々はソニーレコードの内田さんとゆー人に連れられてお邪魔、であるので、スタジオの中をこの人を先頭にして、集団登校のようにしてさまよい歩く。

と、やおら番組プロデューサーであられる赤木さんの登場だ。内田さんとふたりして、出会いがしらに、「アレお願いしたいんだよー」「アレってアレでしょ？」「そうそう、アレアレ」と、〝アレ〟の応酬で会話していく様子がすでにギョーカイ。なんだかさっぱりわからん会話を小耳にはさみつつ、未知の世界にとうとう足を踏み入れた喜びを感じたワタシだ。

いよいよ現場に突入。進行表ではリハーサルの時間である。が、扉を開けたそこには、額に汗して働くADの人達しかおらず、しかもよりによって、番組の最後に撒かれる、例の足の匂いが充満していて、その中でポツネンと立っている我々のなんとマヌケなことよ。聞けばおふたりがリハーサルに出てくることはまずないとかで、予想はしていたものの、ちょっぴり落胆。それにしても、ク、クサイ。この匂いを本番でもう一度浴びなくてはいけないのか。ムゴすぎる。

ブラウン管の外から見ていると、すんごく広くて、すんごくゴーカに思えるスタジオなのに、実際には結構狭いし、チープな作りだ。こーゆーのを見てしまうと、心配なのは、実物のダウンタウン。ホラ、よくあるでしょう。ゲーノー人を見かけたら、イメージと全然違ってた、みたいな。ダウンタウンがそーゆーのだったら困るなぁ、マイッちゃうなあとか思っているうちに、もう8時。

「どうも―」

「こんばんはーっ」

出たっ。ジョワ〜〜〜ン。（涙にじむ音）それは見まごうことなきダウンタウンのおふたりで、イメージとまったく変わらない、全ッ然ッさわやかじゃない笑顔がまぶしくてしょうがない。ヤル気あるんだかないんだかの態度が、う、うれしい。矢沢永吉だって、ユーミンにだって会ったことがあるワタシだが、こんなに感激はしなかった。ギャルにまじって、一生懸命拍手したりなんかして、なんだか青春だ。

そう、ダウンタウンはね、青春ちゃんを連れてくる。この日、松本流クイズ道場でバカウケしたムッゴロウのネタなんて、まるで放課後のノリである。中学のとき、友達とこんなだったよねと思い出されるバカバカしくもほのぼのと幸せな、あの空気。そう思うとムリヤリに足の匂いを嗅がせるゴーモンも、やったよやった、てな感じに懐しい。

しかしてこの前日は松っちゃんの29歳の誕生日。30歳を目前にしてあんなふうでいられるダウンタウンってなんだろう。放映されたかどうかはわからないけれど、オメデトウのくす玉を用意したのに、照明が強すぎて火事騒ぎ。消火の最中にとっとと消してしまった浜ちゃんが、すねる松っちゃんに「危ないやん」と言い訳する姿が、しょーもない友達していちばん笑えたかも。

10メートルの隔りは、逆に言えばあとたった10メートルだ。見ておれ、来月はもっともっと近づくぜ。ウ

◀「生ダウンタウン」は毎週水曜日、夜8時〜。TBS系にて放映されています。

▶松っちゃん特有のこの表情は浜ちゃんに対して異議を申し立てる時に見られます。

◀対してよく見られる浜ちゃんのこの表情。怒らなければならないことがなんか多い…

▶クイズに勝ったことのない〝師範〟ではありましたが、この日はなんと初勝利！

◀注目株の今田くんであります。オモシロイ。浜ちゃんのクチにも御注目を！

◀前日が誕生日だった松っちゃん。ちょっとしたハプニングがあったお祝い会。

## ダウンタウン表紙への道。

●ある日、本当にある日突然、ダウンタウンにめざめてしまったワタシは、とうの昔からめざめていたモリタに電話をかけた。

☎〜〜〜〜〜〜

「はぁーい」

「モリタ、ダウンタウンに取材しよう！」

チャッカマン、あるいはミーハー大明神と、人々から恐れ、かつ嘲われるワタシは、行動するオンナである。好きなら会いに行くという、実に単刀直入な考え方のもと、かつてこのページで連載していた〝アベダス〟をいきなり打ち切り、強引にもダウンタウンの連載ページとしていただいた次第だ。奪れるものなら、なんでも奪る。こう見えて、欲は深いよー。

しかしながら、さすが国民的アイドルのダウンタウンとあっては、そうたやすく取材は取れないらしく、それどころか「取材大嫌い」と公言してはばからないんだそうだ。さすが真の人気者、憎たらしいけど、でもそーゆーところも好きっ。

まあね、とは言っても、我々だって負けてはいない。たいして作戦を練っているわけでもないが、いずれ取材ができる日が訪れることを確信している。大丈夫、みなさんも安心してその日を待っていてほしい。なぜならワタシもモリタも運が強いから。（断言）しかも野望はふくらむばかりで、ダウンタウンを取材できたあかつきには、表紙ジャックも狙っている。たとえアイドル誌と言われるパチ▼パチでも、やはり音楽誌。そこにダウンタウンが表紙を飾ったら？

そうです、エキサイティングがやってくる！ ああ、普段は鳩に豆をまいているらしいエキサイティングにぜひ来て欲しいと祈りつつ、バイナラー。ウ

MONTHLY PATi-PATi 11

DOWN TOWN

# 木根尚登

木根尚登・ソロ・アルバム制作の記録

## 木根尚登、100％作曲家の日々

●木根さんの居る場所は楽しい。そこには必ず暖い空気が生まれていて、心地良い時間が流れている。レコーディングスタジオも、もちろん例外ではない。――お待たせしました。木根さん、久々のインタビューは、レコーディングスタジオからお届けします。彼は、待望のソロ・アルバムを制作していました。しばらくは、彼のソロ・アルバム制作初体験を追っていきたいと思います。

撮影●杉山芳明　文●三浦雅子　スタイリング●高橋恵美　ヘアメイク●横原義雄
衣装強力　グラスメンズ☎03(3587)0221　サングラス・ベルソール／(株)MURAI　☎03(5410)1978

# 木根尚登

# どんどん絵が見えてきちゃうんだよね

いよいよ突入したソロ・アルバムのレコーディング。遂に実現されるソロということでいろいろ迷いや不安もあるけれど、やっぱり曲作りはすごく楽しい。TMNのツアーが終わってからは日々スタジオに入ってる毎日です。

　ところでなぜミニ・アルバムなのか？

そう、曲数ならいっぱいあるんだけどね。今も作ってるし。でも、今までこうTMで2曲とか3曲っていう立場で書いてきたから、なんか余裕で作りたいなと。「もっと聞きたいな」ぐらいの感じがいいなと。これはTMのモットーでもあるんだけどね。なんか昨日思いついて今日ポンとすごいことやっちゃた、みたいなイメージがあったでしょ？　ホントはすごく考えてるのに？(笑)そういうバンドにいたせいか、そういうのがこう流れてて、で、ミニ・アルバムにしようかなと。ソロだから大事にいきたいんですよね、自分が歌うことだしね。

　そこで今回やろうと思ってるのは、自然体の自分をそのまま素直に出すこと。自分がいちばん得意な部分を全面に出そうと思っています。その意味でもミニ・アルバムってのは適当でね。今の段階でフルを作るとなると、その自然じゃない部分もどっから持ってこなくちゃならないでしょ？　例えばバラードが得意っても10曲全部静かな曲だと、ホラ。(笑)で、自然体というとやっぱり自分のルーツ？　自分を、どっちかというと遡っていっちゃった感じかな。いろんな音楽が好きだったので、そういうのの代表的なものを出したいと思ってます。全体的にはメロディアス。そして懐かしい感じ。ビートルズっぽいのもあるし、カーペンターズにボズ・スキャッグス、昔のウェスト・コースト風とかAOR風とかね、TMNでは書いてもアルバムのバランスで外されてたような曲も結構入ると思います。でも、音作りは基本的に〝新しい音〟でやろうと思っていて、もちろん生の音もたくさん入れたいんだけど。だから振り返ってるんだけど時代は〝今〟。そうでないと、古臭い昔の写真をただ眺めるみたいになっちゃうから、やっぱりそれを今流に加工して出したいからね。

　曲作りはいつも通り全部ピアノ。でもTMの時とは作り方が大きく違っています。今回もアレンジャーはいるんだけど、TMの時は小室哲哉に任せきりだったし、また小室も「とにかくアレンジはしないでくれ」って。彼の場合はそのメロディだけを聞いてアレンジを浮かべるのが基本だったからね。ひとつアレンジをしちゃうとその世界ができちゃうでしょ？　その世界をまた他の曲とのバランスで考え直すってのは結構難しいんです。それで最近はずっと、そこにあるピアノでオレが弾いて歌う、みたいなやり方をしてきた。信頼関係かも知れないけど。ところが今まで他人(ひと)に作る時もそうだったけど、自由に思いつきでやっちゃったアレンジが意外にいいってことで結局そのまま使われる曲も多くてね。今回もだからイントロのピアノのメロディからもう曲作りに入っちゃってて、メロディと同時にアレンジを浮かべてる。どんどん絵が見えてきちゃうんだよね。それでスタジオでマルチを回してデモ・テープを作ったりなんかしてて、これがすごく楽しいわけ。苦しみも同じくらいあるけれど。

　そういえば候補曲に1曲、10年くらいまえに作った曲があって、TMでも全然使う気もなくて頭の中に仕舞ってたんだけど、昔の曲を振り返ってた時に「いい曲だな」と改めて自分で思って……でも今聞いたらすんごく古臭い。(笑)そういう自分で気に入ってる曲は譜面にもテープにも別に残してなくても全部、頭の中にあってね。あ、全部ったって何百もあるわけじゃないから。

　レコーディングは、全部同じミュージシャンで。アレンジも奈良部匠平さんに全曲お願いしました。最初は「曲ごとにアレンジャーやミュージシャンを選ぶ」という案もあったんだけど、僕の場合そのアピールしたいものが〝パートの部分〟？　それを大事にしようってことでね。そうなったんです。「せーの」でみんなが演るという、バンドのノリを出したいなと。だからひとつひとつ音をピコピコ重ねていくんじゃなくて、例えばリズムのちょっとしたズレがあったとしてもそれでみんなが気持ち良くズレてればいいんじゃないか、っていうような作り方をしたいなと。で、そのズレに合わせてコンピュータをズラせばいいという考え方。TMNとは逆なんです。

　メンバーは、2人は外人。意外でしょ？　自分でも思いがけないことなんだけどね。ティル・チューズデイってバンドのドラムの人と、その人の知人のピアニストをアメリカから呼んだんです。今回、ピアノにこだわりたかったのでね。ま、僕が弾くって案もあるんだけど、今回は歌に専念したかったので。その人がね、また歌をものすごく引き立ててくれるピアノを弾く人なんですよ。38歳ってのがいいのかも知れないけど、ものすごく年輪のあるピアノを弾いてくれる。どこか自分に近いニュアンスもあって、すごく、今気に入ってるんです。その他にはギターが葛城哲哉、ベースが美久月千春さん、シンセ類は奈良部さんが参加してくれてます。バンドのノリを出すために1日かけてリハーサルして、次の日にそれを録るみたいなスケジュールで進めてて、もちろんドラム、ベース、それにギターを含めた一発録り。僕もその時に仮歌を一緒に入れたりしてます。歌はどうだって？　んー、〝思ってる歌〟と〝実際の歌〟をどれだけ縮められるかというのに苦労してるよね。やっぱり歌い始めたのは昨日、今日だからね。『RHYTHM　RED』の時が最初だったでしょ？　あの時は、あれ1曲に百分集中しちゃってたからいいけど。

　それにしてもマイッタのは、外人。(笑)TMん時もいつも外人いたでしょ、でオレん時はまさかと思ってたのにまたでしょ、なんかレコーディングの感じがあんまり変わんないんだよね。相変わらず喋れないし、相変わらず顔だけニコニコしてね。でもいい音が録れたりすると自然に「ヘイ、グレート！」なんて言ってる。でもま、別に会話が楽しくなくてもいいんだけど。言葉が通じなくてもすごく楽しくいいものができるんで。

　あと、楽しいといえば、サッカー。負けましたけど。(笑)8月26日に神宮の国立競技場で、プロの試合の前座でやったんですよ。宇都宮、葛城、フェンス・オブ・ディフェンスの山田亘、といったメンバーでね。相手は全日本1位の女子社会人チーム。元々勝てる相手じゃなかったけど相手の監督が言うには「ウチのチームは体力は中学生」だと。男で考えれば中学生に負けたってことになるんだよね。でもその勝ち負けよりももう嬉しくて、前日眠れないぐらいの興奮。国立競技場の芝生に立てるってことがね、「このまま時間が止まって欲しい」って感じで。全員そう言ってましたよ。それで8月に4回ほど練習試合なんかもやったんだけど、仕事の面からするとそれはちょっと余計だったかな。曲作りと、その上また新しい本のことがあったのに、すっかり比重はそっちいっちゃってたからね。

## 木根尚登のレコーディングスタッフ

◀ドラム　マイケル・ハウスマン氏

◀ピアノ　マーク・ドイル氏

◀ミキサー　飯泉俊之氏

◀ギター　葛城哲哉氏

◀アレンジャー＆キーボード　奈良部匠平氏

CHARA

# チャラちゃんの年中行事シリーズ：1

# 秋はスポーツ

●アルバム『SOUL KISS』が各地で話題を呼んでしまっているチャラちゃんだ。チャラ・フリークはどんどん増えつつあるらしい。10月29日には渋谷公会堂でのライブも控えていたりして、めざましい。が、チャラちゃん本人は相変わらずで、今日も宇都宮美穂女史と、スポーツについて熱く（なわけなく）たらりんこと語っていたりするわけなのだ。——というわけで、新連載、年中行事シリーズの始まりです。始まりといえば、チャラちゃん、DJも始めました。特有の口調によるお喋りを楽しみたい方は、ぜひ。(P.175参照のこと。)

Photo:Masafumi Sakamoto　Copy:Miho Utsunomiya　Hair&Make-Up:Jun Kijima

WOWOWとは、なんの縁もゆかりもないワタシであるが、読者のみなさんには強く加入をお推めしたい。なぜならば、WOWOWなら、テニスが見れる！ バスケット・ボールが見れる！（おまけに秋から〝シンプソンズ一家〟も始まる。オモロイよーん）

ついこないだのUSオープン・テニス、泣いたぜ、まったく。エドバーグが優勝、んでもって24週間ぶりに世界ランキングの1位に返り咲いただよ。結婚したばかりの彼だが、その家庭になるべく早く不幸が訪れることを願い、さらに神の采配により、傷心のエドバーグとこのワタシがなぜか偶然に出会う日を願うという、実にややこしい事情というか、野望のもと、ひたすら応援しているわけだ。

「エドバーグって、誰それ!? アタシ知らない」

こうして人の熱弁をポッキリ折るヤツもいると。

CHARAちゃんはテニスは見ないのかね。

「見なぁい」

じゃあ、なんなら見るのよ。

「何かなぁ!? うーん……あんまりスポーツ見ないんだなぁ、アタシ。……あ、高校野球とか？」

ゲーッ、ダッセェー!!

「ダサくないよー。なんだっけぇ？ あの高校、延長延長ですっごい盛り上がったヤツ。忘れちゃったけどねぇ、そこの高校のチームは結構カッコいい子が多かったの」

まぁ、スポーツはこういういいかげんな見方もできるよね。

「そうだ、テニスねぇ。あんまりよく知らないけど、アガシが好きっ」

なんで？

「いい男だから！（笑）」

この際に、ワタシはCHARAに言っておかねばなるまい。スポーツとは、神聖にして、深遠、かつ孤高なものである。そーゆー邪悪な考えの持ち主は、この世でワタシ一人で十分なのだ。

# スポーツ・クラブって、カラダに悪いよ、アレ

「スポーツって、やらなきゃいけないんだけど、なかなかできないよねぇ」

小回りはききそうだが、体力において疑問の残るCHARA。ステージは体力だとばかり、さるスポーツ・クラブの会員になったそうだが。

「あ、その話はもうやめて」

やめない。

「……それがさぁ、（なぜか小声で）まだ4回しか行ってないんだよ」

ガーンッ、ガーンッ、ガーンッ、ガーンッ!! CHARAのステージ向上のためならと、クラブ入会に際しておぜん立てをしたマネージャー山中さんの胸中やいかに!? 言っておくが、入会してすでに1年が経っているのだ。

「ああいうの、向いてないかもね、CHARAには」

ああいうのは、〝向く〟〝向かない〟じゃねぇんだよおっ。（←スゴむ）

「だってねぇ、その4回目に行ったとき、友達と一緒だったのね？ で、軽く準備体操なんかしつつ、じゃあ自転車こぐヤツやろうってことになって、だけど久しぶりだったから、機械の使い方とか忘れてたわけ。だから、友達がやってるのをそのまま真似してやってみたらすっごく重くて、やたら重くて、必死でこいでたら6分ぐらいで気分悪くなっちゃって（笑）〝ごめん、ちょっとめまいするからアタシ休む〟とか言って」

更衣室で横になろうとしたはいいが、狭いスペースゆえにそこは酸欠状態。ますます気分が悪くなって「もう下着姿で（笑）」外へはい出る始末。あげく「そろそろ閉館の時間です」のアナウンスが。

「スポーツ・クラブって、カラダに悪いよ、アレ」

気の毒なあまり、このときワタシは山中さんの顔が見ていられなかった。

しかし!! それでもメゲない男、それが山中さんである。これほど痛めつけられても、何事もなかったかのように彼はこう言うのである。

「今度さ、相撲を見に行こうよ」

さすがヤクルト・ファン。こうでなければヤクルト・ファンなどやってられない(!?)

「アタシ、そういえば相撲見に行ったことあるの思い出した！ あの、枡席っていうの？ あそこで見た」

いぃ～!? 枡席といえばみなさん、チケット料金はおよそ10万円、しかもシロートでは絶対に手に入れられないと言われている。

「18歳の頃に、料亭でバイトしてたことがあってねぇ。そこのお母さんっていう人に〝行きましょう〟って連れていかれたの。なんか、黒姫山の断髪式があったりして、おジイさんとかが〝イヨッ〟〝黒姫山ッ〟みたいな。（笑）ちょっと違うかなぁ!? って思った（笑）」

あーあーあーあー、こういうヤツが、真の相撲ファンにとってのガンなんだよ。なのに、

「藤島部屋の稽古を見に行こうよ！」

藤島部屋とは、あの若貴兄弟の在籍する部屋だっ、もちろん。

「それでそれで、兄弟のどっちかに見染められたりして、キャーッ♡♡」

そういうことは、絶対にない。こと他人に（特にオンナに）関しては、完全に客観視できるのが、ワタシのリッパなところであろう。

かように、スポーツを完全にナメた態度のCHARAだが、実はひとつ計画があるそうだ。

「あのね、ソフト・ボールのチームを作ろうって盛り上がってるの」

ということは、オンナだらけのチーム？

「そうそう。入る？」

入らな～い。

「じゃ、応援してくれる？」

応援しな～い。

「ええ～!?」

〝ええ～!?〟じゃないよ、まったくもう。オンナだらけの人生には飽き飽きのワタシなのさね。

「チームの名前も決まってて、一応〝ベティーズ〟にしようって言ってるんだけど」

そのベティーズの構成員は、おもにCHARAの所属するレコード会社、EPICソニーレコードのピチピチギャルで固められるとか。

「衣装も考えたよ」

……それは衣装じゃなくてぇ!!

「そう、ユニフォーム（笑）あの、マドンナの〝プリティ・リーグ〟？ なんせイメージが先行してるという」

その発言がまったくの事実だと裏付けるのが、続く発言である。

ソフト・ボールってやっぱり9人でやるんだよね？

「そうなのかな!? 知らない」

CHARAちゃん、頼むよ。

「（笑）でもホラ、いざとなったらウグイス嬢にでもなって。ねっ」

いざとならなくても、CHARAはウグイス嬢で参加したほうがいいと思う。

## チャラリズム⑦

# 運動

Chara　背低いけど
ダンクシュートできるんだ
———小学校のやつだけど———
Charaも昔は
こんなことできたのに

今じゃ

でも首はよく動くんだ
ステージでもよく振ってるみたいで
次の日筋肉痛になってる

こないだは
ヒール折れてたし……
本番中、気が付かなかったけど
——やっぱり
力入ってるみたい
やっぱりね

あたし体かたいけど
やわらかく見せるのは
得意なんだ

# 花と夢 Le Sáng Dun Poéte 詩人の血

●「嬉しいのよ、すっごく。なのにアタシってヘン…どうして涙が出ちゃうのかしら」こんな嬉し泣きの定番セリフを言わずにはおれません。詩人の血のニューアルバム『花と夢』(11月1日発売)を聞いた気持ちは。どうぞ聞いてみて下さい。あなたの心の中の"幸せ"の琴線に触れる曲たち。幸福感や恋したときの想いが空気を揺らします。ボーカル辻くんのアルバム・インタビューをお届けします。

PHOTO●TAKEO OGISO COPY●KYOKO SANO

## 恋愛中の緊張感が好きな人なら、このアルバム、気に入ってもらえると思う。

「普通に一生懸命良い曲を書く人たちで十分」だと、辻睦詞はいう。イメージ先行、スタイル重視の今の音楽の中で、この"音楽第一主義"は当たり前なようでいてとても潔いと私は思う。論より証拠のアルバムになったという自信と爽快な表情。詩人の血、ちょっと、イヤ、かなり良い感じになってきた。『花と夢』の実りはもう近い。

＊

アルバムが完成したんが7月やったけ、もうずいぶん前の話のような気がするけど、このほうがプロモーション期間がちゃんと取れてええ。EPIC頑張ってもらわんと。今回の『花と夢』、僕は今までで一番気に入ってる。前作の『Cello-Phone』は今までの4枚では一番悩んだ。今回ポップになったのはその反省というわけじゃなくて、みんなが書いてきた曲が明るくなってたから自然にそうなったんだと思う。なんでかなあ？　なんでかわからんけど、明るくなりたい気分じゃったんやろ。自分が特に好きで聞いてたのがドノバンとかミッシェル・ポルナレフだったというのもあるかな。それまで、14、15歳からずっと、ハウスが出て来る前まではそれなりに熱中できる音楽があったんだけど、ここ2年くらい新しいアルバムで自分が好きで夢中になれるものがなかった。まあまあ良いものはあるけど、のめりこめるようなものはなかった。それで60年代のポップ・サイケとかバート・バカラックなんかを聞くようになっていった。とにかく曲の良いことが僕が好きになる音楽の第一条件だから、今の流行りの音、スタイルのカッコ良さだけが重要な音にはあんまり惹かれるものがないんよ。それよりもっと曲が残るものを作りたかった。今自分に、カッコイイものに対する憧れがないんで、流行りもんより、自分が幸福になれるような音楽を作りたいと思った。それが僕にとってのポップ。

歌がちゃんと聞こえる音楽にしたかった。しかも全部がラブ・ソングでもある。女の子にウケそう？　それはどうかわからないけど、聞くチャンスがあるなら愛される曲がいっぱい入っていると思う。『花と夢』というタイトルが中身を象徴してるし。僕らの音は打ち込みがほとんどだけど、出てくる音はそんなにエレクトリカルじゃないし、わりあい聞きやすいんじゃないかな？

『花と夢』というタイトルはアルバムが出来てから付けた。全体にフラワーなホンワカしたかんじがあったんで。恋愛による幸福感に近いかな。生活の中で自分が一番ときめくときって、やっぱり恋愛中のときでしょ？　それもこれからハッピーになっていく予感を感じさせる詞にしたかった。だから、このアルバム全曲ネガティブ要素0(ゼロ)。そういう曲を作らないと自分も幸せになれないような気がしたし、自分もそういう曲を聞きたかったから。最近、自分も生活もすごく前向きなんですよ。だから、これ、すごく真面目なラブ・ソング・アルバムだと自分では思ってる。真面目に前向きにラブ・ソングに取り組んだ。本当に言いたいことがあれば、ラブ・ソングでも照れる必要はないし、相手に届くと僕は思うから。あんまり言いたいこともないけど、とりあえず歌詞にしてみました的な歌は僕には作れない。

大きく2通りに分けると"花"が内面を表していて"夢"がファンタジー。ハッピーなものを目指していくと、どうしても"夢"という表現は出てくるけど、そればっかりじゃ嘘っぽすぎるでしょ？　自分でもロマンチストだとは思う。楽しいことを想像できないと自分も楽しくなれないから。それでこういう幸福感のあるアルバムになったんだと思う。

言いたいことがうまく言えない、伝えられないというジレンマがずっとあったんだけど、それも少しずつ解消されてきてる。アマチュアの頃に比べたら今の状態はそれこそ雲泥の差だし、働きながらアテもなく続けてたときのことを考えたら、今、音楽を作ることに専念できるのは幸せなんだと思う。ここまで思えるようになるにはある程度の時間が必要だったということだろうね。

最初の2年はライブも悩んだし、レコード・デビューはしてもアマチュアみたいなもんだった。やっと、周囲を見渡せるようになったんだと思う。で、初めて満足できるアルバムができた。

恋愛中の緊張感が好きな人なら、このアルバム、気に入ってもらえると思う。経験に基づくものも……多少はあるかな。僕は自分の書く詞と自分が絶対離れてないから。うたってて、だから、気持ち良い。歌ってどんな歌でも救いや希望の光が必要だと思う。どんなに悲しい歌でも。後々になっても自分で愛情が持てる歌にしたい。何年かたって『花と夢』を聞いたら、この頃の充実したときを思い出すだろうなと思う。もう迷いはない。昇り調子。1人でも多くの人に聞いてほしい。

# ファンVSライターVS編集者
# 激突!!ライブレポート&ビデオ予想

編集（以下編）「さて今回の横浜アリーナですが、いかがでしたか？」
ライター（以下ラ）「うーーん。セットはすごかったですけど……演奏がちょっと……」
ファン（以下フ）「でも、久々にバクチクに会えただけで私はもう幸せ」
編「うーん、いきなり言いたい放題ですが。とにかくステージはすごかった！ アリーナを横に使ってましたからね！」
ラ「ビデオ収録ということでカメラがバシバシ入ってましたが、いくらなんでもあれじゃあファンの人達、醒めちゃうんじゃないですか？ どう？」
フ「そんなこと、絶対ない!! ライブがあるってことが一番の楽しみだもん。逆に言えば、ビデオのおかげでライブが見れたんだし」
ラ「それにしても今回、結構ミディアム・テンポの曲がほとんどで、ファンの人達を見ていてイマイチ盛り上がれずにいるような気がしたんですけども」
フ「でも、確かにそんな風に見えたかもしれないけどぉ、ノリノリっていうよりもバクチクの世界に浸ってたっていうか……見とれてたに違いないと思うんですけどぉ」
編「うーん、確かに本編はミディアム・テンポの曲が多くて、ファンも"聞いてる"って感じだったけど、後半と、アンコール3連発で異常に盛り上がったんじゃないかなあ。アリーナが揺れてましたからね！ やっぱスゲェと思ったんだけど」
ラ「前のツアーが終わってから、バチクチの活動は水面下にあったわけだけど、あのライブを見た限りでは、なんだかんだ言ってますけど、流石って感じですね。そういえば今回、意表をついた選曲として"ナルシス"がありましたね」
フ「私はヒデの大ファンだから、あの"ナルシス"のギターの出だしを聞いたとたん、気が狂っちゃうほど興奮しちゃいました。あのギター、背筋にゾクゾクきちゃうんだもん」
編「個人的に僕は『JUPITER』が好きで、SEの賛美歌からの導入が気持ちよかったですね。だって、いつものライブだといきなりドギャーと来るでしょ。今回の始まり方は目新しいんじゃないですか？」
ラ「でもしょせんビデオ録りだから、ステージ前のあのカーテンを見ただけで"あー、この幕が上がりつつバラードかなんかで攻めてくるんだろうな"っていう……そんなの読まれちゃうんじゃないですか？ ファンには」
フ「そうですかぁ？ 私は"一曲目からバラードやっちゃうなんて！"ってビックリですよ。幕に映し出された映像もすごくよかったし、心が洗われる気分になったっていうか。そして幕にフロント3人のシルエットが浮かんで、一層気持ちが盛り上がっちゃって。ジリジリとじらしつつ幕が上がってさ。こっちは一目でも早く会いたいのににぃー」
ラ「ま、この『JUPITER』はビデオに入る、と」
編「ラさんの言うようにビデオは『JUPITER』で始まるのは間違いないですかね？」
フ「えー、全部ビデオに入れてくれるんじゃないのぉー？ えー、全部みたいのにー。私だけこっそり何の曲が入るのか教えてくださいよ、編さん」
編「フッフッフッフッフッフッ……そんなに知りたいかい」
フ「もちろん」
編「フッフッフッフッ……知らないのじゃ。だって、まだなーんにも決まってないって言ってましたよ。僕個人としては櫻井氏のMCがちゃーんと入ってくれることを望みますが……」
フ「なーんだ、知らないのか。つまんないの。私もあっちゃんのMCは入ってほしいけど、今回あっちゃんって全然おもしろいこと言ってくれてないよ。いつもは"ゼックスしよー"とか言ってくれるのに。愛を感じるMCが少なかったもん」
ラ「したくなかったんじゃないの？」
フ「ムカツクゥ～。きっとビデオ録りだからですよ。お茶目だから」
ラ「27歳の男をつかまえて"お茶目"とは……うーん。ファンの心理というものはわからん。でも櫻井さん、かっこいいわよね」
フ「でしょ？ でしょ？ 本当にバクチクを愛してなきゃその辺はわかりづらいのよ」
ラ「でも、ヘルメット姿の今井さんの美学だけはどーーしても理解できないんだけど」
フ「私が今井ファンじゃないからそこんとこは理解できませーん」
編「あの、ヘルメット姿がビデオとして収録された日にゃー、ねぇ。家でビデオ見てていきなりお父さんが入ってきて、そのとき画面が偶然今井さんのヘルメット姿だったりしたら"家の娘、気が狂っちまったー"って頭抱え込んじゃいますよ。まさに家庭崩壊！ ビデオに入らないでしょう。……いや入ったら困る」
フ「フッ、甘いんじゃないですかぁ？ 今井さんはああいう姿をビデオに録って残しておきたいがために！ 再びあの姿で登場したんだと思うんですけど」
編「……でも今井ファンの僕としては、好きなんだなぁ、コレが！ 僕はビデオでもあのヘルメット姿が見たい。あれが入ってなかったら、ガッカリだな」
フ「ちょっと、ちょっとぉ！ ヒデの立場は？」
ラ「じゃあ、どーなのよ。アニイとユータの立場は!?（笑）」
編「そうですよね。まあ、いつもどおり渋く美しいヒデとノーティーにかっこいいユータそしてアニイの恒例のスティック投げの雄姿も見られるんじゃないですかね、ビデオでも。今回のライブ・ビデオ、楽屋とかステージ入りのシーンとか入っててもおもしろいんじゃないですかねぇ」
フ「見たい、見たいーっ！ なんとかなりませんかね。絶対おもしろいですよ」
編「でしょう！ アリーナまで車で乗り付けるところからメイク・シーンまで収録されてたらおもしろいと思うんですけど……そんなことあるわけないだろーがっ！」
ラ「いや。入ってたら絶対買うと思いますけどね。たとえ今井さんのヘルメット姿が入ろうが……（⇧しつこい）。どーです？ ビクターさんっ!!」
フ「それで"ナルシス"は入れてね。この1曲があれば、絶対買う！ あとは"MY FUNNY VALENTINE""M・A・D""悪の華""KISS ME GOOD BYE""ICONOCLASM""…IN HEAVEN"。全部ヒデのギターがいいの。この選曲って結構マニアックだったりしません？」
ラ「あー、もう全部入れちゃえ、入れちゃえ！ アンコール3回分もぜぇ～んぶ入れちゃえっ!!」
編「というわけで"12月2日をご期待！"」

## 9月10・11日
## 横浜アリーナ2DAYS
## Climax Together
## 曲順表

SE　（賛美歌）
1　JUPITER
2　Brain, Whisper, Head, Hate is noise
3　LOVE ME
　　M C
4　地下室のメロディ
5　MY FUNNY VALENTINE
6　TABOO
7　HYPER LOVE
　　M C
8　VICTIMS OF LOVE
9　MISTY BULE
10　ナルシス
　　M C
11　M・A・D
12　悪の華
13　太陽ニ殺サレタ・・・
14　KISS ME GOOD BYE

ENCORE 1
1　スピード
2　JUST ONE MORE KISS

ENCORE 2
1　ICONOCLASM
2　SEXUAL ×××××！

ENCORE 3
1　…IN HEAVEN
2　MOON-LIGHT　（9月11日）

## B−T・FAXカルトQ 解答発表

1．櫻井敦のライブ本編でのMCは何回？
答え．2回
2．今井寿が「ICONOCLASM」で使ったギターの弦のメーカー？
答え．ghs、ニッケルロッカーズ、ゲージ010
3．星野英彦はライブ中、のべ何回ギターを持ちかえた？
答え．4回
4．ユータがライブ中、使用したエフェクターは何種類？
答え．4種類
5．アニイは「JUPITER」で何回バスドラをキックした？
答え．Sorryただいま問い合わせ中……

曲順予想クイズの正解者は、残念ながらゼロでした。

PHOTO●KEI SUZUKI

# BUCK-TICK

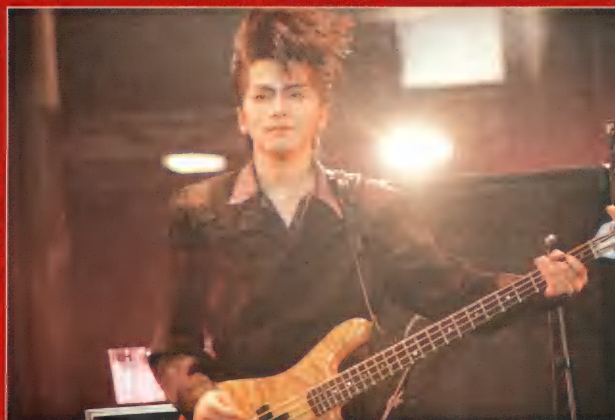
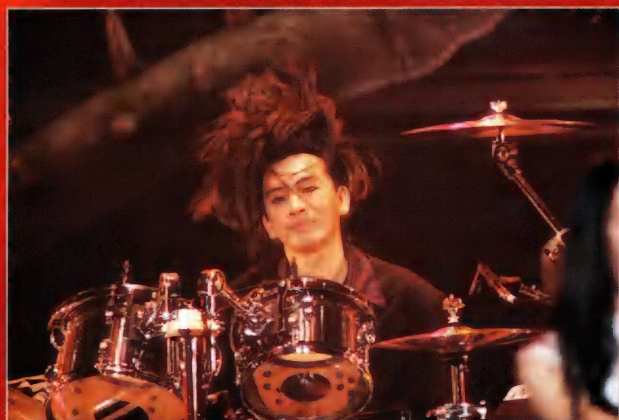
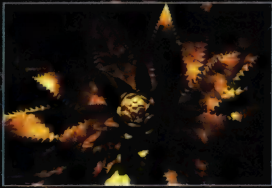
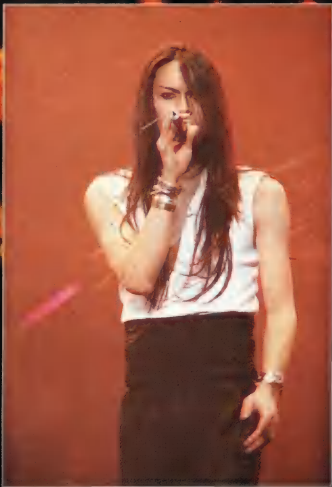
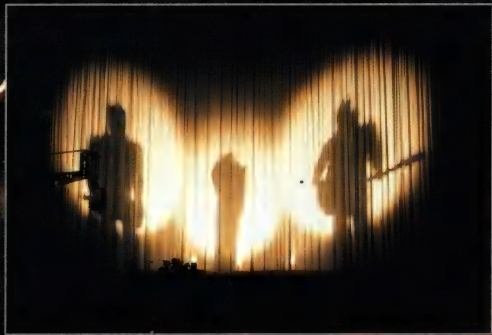
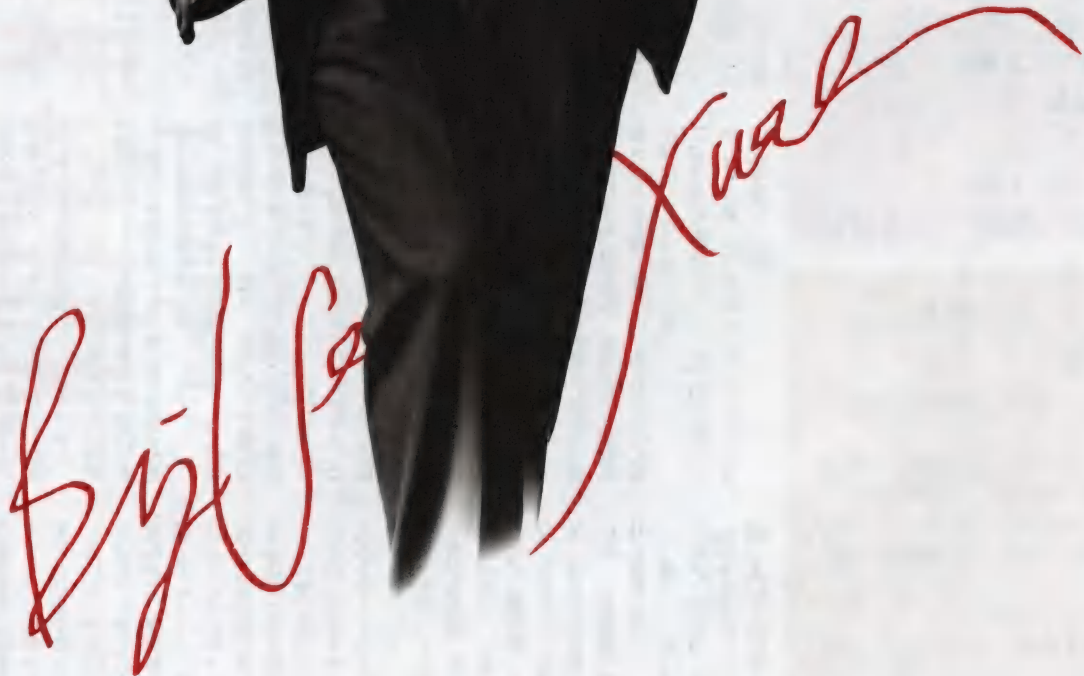
## Climax Together

YOKOHAMA ARENA

BUCK-TICK

Climax Together

YOKOHAMA ARENA

●数日前、ニュー・アルバムを発表したばかりだというのに、もう、TOURに出発——これもミュージシャンの宿命なら、いっそ、トリッパー＝（イコール）小旅行者になってしまいましょうか、それとも。

撮影●杉山芳明　文●鉄石美保子　スタイリング●高橋恵美　ヘアメイク●NIYA

# SHO

▶この秋『4D　POCKET』をひっさげて、再びツアーに出るバイセクの４人。となれば今日のテーマはやっぱコレ、旅人（なんでやぁ）。"SHOやん、こんな怖い経験もあるの!?"的なアッと驚く本邦初公開もんエピソードもあるぞー。怖いぞー。——まず旅と聞いて思い出すモノは？「んふ。"時空の旅人"（笑）」——……して、そのココロは。「そういうアニメがあったんです。主人公は普通の学生の女のコなんだけど、乗ったそのバスがタイムスリップしちゃうって話で。オレ、けっこうＢ級のアニメとか好きなんですよ。観たいモノは全部観てるから最近は近くのビデオ屋にはもう見たいものがないという（笑）」——へぇー、そんなにアニメ好きなんだ。「そう。『となりのトトロ』とか、宮崎駿のモノも見てるけど、そうじゃなくてＢ級なモノ？　ビデオだけで出てるってヤツが好きだから。新しいモノを求めてちょっと他の店にも行きたいんだけど（笑）」——……はぁ。じゃあまぁSFや近未来的なアニメが好きなSHOやんとしては、まず浮かぶのは時の旅人、と。「……"時空の旅人"（笑）ちゅーか、まぁ、旅人っていうとキレイというか詩人っていうかね。あてもなく仕事もなく、なんか自分自身の修行として行く旅って感じする」——そういう旅の経験は？「ない。あてもなくフラフラするのはしょっちゅうだけど（笑）だからあてもなく旅もしたくなるんだろうけど。このあいだ、『夏休みに自転車で日本横断した小学生』っちゅーのをテレビでやってて"今でもこういうガキがいるんだなー"とか思いながら見てたんだけど、でもずっと密着でテレビの人とかがずっとついてるし"やっぱ、イマイチだな、コイツ。ひとりじゃねーもんな"とか思って（笑）……でも、やっぱり誰しもそういう時期ってあるでしょ。遠くへ行きたいとかね。オレの場合遠くへ行くようになったのは……、やっぱり車の免許取ってからかな」——SHOやん、けっこうドライブが好きなんだよね。「うん。大阪にいたころは夜中に連れ誘って、日本海とか神戸の須磨とか行ったりしてた。そのへんだったら時間かかんないから、夜中出て朝方帰ってこれるからね。このあいだ琵琶湖の"幽霊ビル探検"ってあったでしょ、オレあそこよく通ってたん。あのへん住んでる人はみんなそうだと思うんだけど、日本海行くときはだいたい通るから。あの道。で、１回あのビルの屋上まで上がったことあるんです、オレ（笑）」——……ウッソぉ。「ホント。ちょうど夏で、バイト仲間２～３人で行ったんだけど、いつもそのビルの前で警察が張ってたりするのね。そこ有名だから夜中に人が集まったりするから。ちょうど仲間の一人に免許不携帯のヤツがいて捕まって（笑）、その夜は"こりゃ中には行けねーなぁ"とか言ってたんだけど、ホントに気持ち悪いの。"絶対夜は入れねーな"って感じで。で、しょうがないからそのまま琵琶湖まで行って一夜過ごして、夜が明けてから中に入ろうってことになったんだけど、昼間でもあそこスッゲェ怖いの。中、なんか雰囲気があるんだよ。"絶対これは、いますね"とかいって（笑）」——レポーターじゃないんだから（笑）「（笑）。で、ホントはエレベーターを作る予定の場所なんだなって所は、エレベーターないから筒状になってスコーンッと抜けてたり、階段あるんだけどボロボロで今にも壊れそうだったり……。そこ上って上まで行ったんだけど、上るときもみんなで"おいっ、離れるなよ"って固まってずっと上まで行って。……何かね、上ってる途中でこの階段どこに続いてるんやろって気がしてくるんですよ。もしかしたら上っても上ってもどこにも着かないんじゃないか、戻ろうと思ってどんなに下へ降りて行ってももう戻れないんじゃないかって……」——ひゃー……まさに時の旅人。「（笑）怖かったです。ホント。みなさんそういう廃墟でオレらの真似は絶対せんよーに。怖いからね、本当に」——ハイ、ごもっとも。で、肝心のツアーについてはどうですか。「ん？　飛びます（笑）」——飛びます!?　"飛びます。飛びます"!?「（笑）飛びます。ナニが飛ぶかは、さぁお楽しみ！　ちょっと、これはすごいよ」

RYÖ

▶「旅はやっぱり体感してこそ語れる、というとこかな。海外でも日本の中でもね」なんて、のっけからカッコイイことほざいてくれるRYÖくんではあります。が、実話はかなり笑えてカワイクも面白いです。——旅って好きなか?「うん。……と、言ってもあんまり長い旅は好きじゃない。オレ、散歩が好きなんですよ。特にね、明け方とか、人がいないときに散歩するのがすごい好き。そのかわり怖くないときね。オバケとかが怖いときってあるじゃないですか」——（オバケとかが怖いとき…）うーん。「ああいうときはあんまり外は出たくないけど、気持ち的に煮詰まってるととにかく散歩するのが好きだな」——電車乗ったりバス乗ったり飛行機乗ったりっていう旅はどう?「いいとは思うけど、あんまりやりたいとは思わないな。オレは、何か目的が欲しいな、オレの場合。たとえば"思い出の風景を作ろう"じゃなくて、見たいその風景が思い出の風景だったり、そこに行けばウマい物が喰えるとか、それが喰いたくて行くっていう目的がないとダメ。大阪にいるころは、けっこうツーリングとかしてたんですけどね」——やっぱりバイクで出かけることが多いんだ。「うん。で、また近場にいろんな所があったし。たいがい"若狭湾へ行こう"ってなるんだけど、若狭湾ですごい覚えてるのはちょうど夏休みに"夏だ、海だ、女のコの集まる海へ行こう!"（笑）って行ったのはいいけど、着いたら台風で……」——ワーイ、台風だって。（笑）「まったく。で、若狭湾の海ってふだんは水が透けててキレイなのに、それがもう濁りまくってて。（笑）5台ぐらいで行ったんだけど、うち2台が盗難車であとはオレら3人自分のバイクだったんだけど、走ってるとおまわりさんがいるんですね。で、普通はだいたい止められるんだけど、まずオレら3台が止まって、そのあいだ盗難車2台がスーッと行くとか（笑）そういうことしながら着いたら台風で、キャンプを張ろうとかいってテント持ってったのはいいけど風がすごくて。（笑）結局ガード下みたいなところでひと晩中遊んで、そのまま昼の海で泳いで。本当は2泊ぐらいする予定だったんだけど、"あ〜、もうたりぃ。帰ろう"とかいって、その帰りしなは行きの半分の時間で帰ったんですよね」——半分の時間……?「うん。行きもそうとう飛ばして行ったんだけど、帰りは"若狭から大阪までレース"とかいって、何時間で着いたか覚えてないけどとりあえず240km平均で山道走ってた記憶はある」——ありゃりゃぁ……。「なんかよっぽどうっぷんが溜まってたんでしょうね（笑）、そのときオレ、1番だったんだけど」——東京へ来てからツーリングは?「DENとかとは言ってたんだけど、ふたりとも気分で行く方だから。忙しくてたまの休みにちょっとの時間で行こうっていうの、面倒臭いんですよ。そういうちょっと暇っていうときは、"なんか暇だな。おもしろいことないかなぁ""とりあえずどっか行こうか"って行った先は『すかいらーく』だったりするの」——（笑）。じゃあこれから始まるバイセクの旅ということで、ツアーに関してはどうですか?「ツアー!?……うーん、シンプルっていうのはあるかな。気持ち的には、初めてホール・ツアーをやるときと同じかもしれない。"前はこれをやったから、じゃあこうしよう"って前のよさを引き出す感じでClacker Shopまで来たんだけど、今回のアルバムはいろんな意味で初めてのことが多かったでしょ。そういうところからも、このツアーは"前回の続き"じゃないと思う。ツアーにしても何にしてもこれからやろうとしていることのすべては、確実にオレらの前の歴史を受け継いではいるけど、でもいつも新しい気持ちでやろうって思ってるところが強くなったかな。だから、いつも、どんどん新しくなるんじゃない? すべての物事が。今回は……やる前の気持ち、だな。だからどうなるかわかんないし、"未体験"っていうかね。"旅の未体験"、一生懸命次を読んでやってるんだけど、予想も出来ないところで一生懸命新しいことを探っていきたい、かな」

# Trip

DEN

▲DENさんに旅、とくれば思い出すコトはたったひとつ。それは神戸ー大阪間をひとり歩きの旅。(笑)通称サバイバル。なぜサバイバルなのか、そこのところ詳しく話してもらったのはたぶんこれが初めてな気がするが、いかがでしょうか。まぁまともに歩いてたとは思えなかったけど、まさかここまで……。なんて、思わず納得のいくハナシであります。――DEN、旅っていうとワタシはやっぱり所持金百円くらいで神戸から大阪の家まで歩いて帰ったヤツが浮かぶ。(笑)「いや、アレは"旅"じゃなくて、"サバイバル"と呼んでる。(笑) 何時間くらいかかったのかなぁ……とにかく酔っぱらってたからあんまり覚えてないんよ」――しかしどうしてそうなったの？「あのね、その日は知り合いの結婚式だったの。で、式後そこの結婚式会場のヤツと式に出席してたヤツのケンカが始まったん。荷物預けたのがどうのこうのとかいってめでたい席にそう怒りだしたヤツがいるからオレ腹立ってムカムカきたから、"もうオレ、帰るわっ"てバーンッてカッコつけて出たら、お金がなかった（笑)」――あ。(笑)「"貸してくれ"っつって戻るわけにもいかないでしょ、で、歩いて帰ったの」――じゃ友だちのケンカでそんな神戸から大阪のはずれまで歩くはめになったわけ？「っていうかねぇ、親父なの、ケンカ始めたのは。(笑) まだ生きてたころの話で」――あぁそうなんだ。じゃ16歳くらい？「ん、そう。高校辞めた寸前ぐらいかな」――お父さん、心配してたでしょう。「いや、母親はやっぱ心配だったみたいだけど、でも慣れてるからね、酔っぱらって帰ってこないこととかに。(笑) おそらく歩いて帰ってきてるだろうとふたりで言ってたらしい。ちょうどそのころ、オレは道わかんなくて山の中を迷い込んだりとかしてて。(笑) 山に入ってたそのときは、これがまたなぜかバイクに乗ってたりしてて」――……(笑)。そのバイクはいったいどこらあたりから。「どこかな？ とりあえず神戸の魚崎っていうところからずっと歩いてて、それから初めはチャリンコに乗ってたのかな？ 1回。で、梅田までは出たの、大阪の」――そのチャリンコで……？「うん。それから、"もう限界だ"とか思って、マンション街に入ってって(笑)、バイクをちょっと拝借、と。そのマンション街が山の上にあったんだけど、そっから走りだしたらどんどん山の中の方へ行っちゃって、町の灯も何もなくなったところでガス欠したん。で、山の上から下の方を見たら、向こーぉに高速が走ってて"これはとんでもないところに来てしまった"とか思って（笑)、で、山の途中に喫茶店があったの。そこにまたカギのついていない自転車が置いてあって(笑)」――それで、下り道ダーッておりて？「気持ちよく走って帰った。(笑) かなり歩いたから着いたときはもう限界だった。ボウ然としてたもん、意識ほとんどなくて。途中水も飲めなかったしね。"蛇口あったーっ"と思ったら古い昔の鐘式のヤツで、『あしたのジョー』の減量中の力石のようになってしまった。(笑) でも、あれ以来ね、"あ、やりゃなんでも出来るな"と思って」――なるほど。ところで今回のバイセクの旅、ステージで何でも"飛ぶ"んだって？「うん。ま、でもそれ出来るかどうかがね……。見てのお楽しみ、ってところでしょうか。そう、あとね、光るんですよ」――えぇ!? 飛んだあと光るの？「まぁ、まぁ見てのお楽しみ……フッ。オレ、自作でベースも作りましたからね」――モデル・チェンジですね。「そう。今回のアルバムのレコーディングで習得した音も出せるでしょう、きっと。(笑) でもね、このベースがいい音が出るんだ、本当に。電源入れないと弁当箱に弦張ったような音してるけど（笑)、でも軽いし、何かいいってストラップがいらないのがイイ。これで"飛ぶ"こともいっぱい出来たりするんですよ。んふふ」――"これで飛ぶこともいっぱい……"？「あっ、それとSHOやんにはうるさいくらいにこう言って下さい。"太るな、太ったら許さんっ"って（笑)、今みんなで言ってるところだから」――SHOが太ると飛べなくなるわけだ。「……えっ。さぁて、どうでしょう（笑)」

NAO

▲もしかしたらメンバーの中でいちばん旅行好きな人はこのお方かもしれない。「群れるのはイヤ」だから、たいていひとり旅もしくは2〜3人での旅。しかも、そのひとり旅初体験は小学校3年のときだとか。話はまず、ここからスタート。——いちばん始めに1人で行ったのはどこ？「……いくつだろう？ とりあえず小学校のときかな。大阪に引っ越したのが小学校3年のときで、それから毎年正月になると1人とか兄貴と2人で東京に戻ってきてたから。親せきの家に泊めてもらったりして。だから3〜4年のころから1人で……」——いわゆる子供VIPってヤツね。「ううん、普通だったよ。新幹線のチケット持ってひとりでタクシーで駅まで行って、東京へ着いてからも親戚の家の近くの駅まではひとりで行ってた。そのうち家まで直接ひとりで行ってたり……」——しっかりしたお子さんで。（笑）「（笑）。遠出は好きだったから、友だちと2人で遊びに行くのに電車に乗って遠ーくの方まで行ったりとかね。途中でお金がなくなっちゃったことがあって、梅田の“トレビの泉”でお金を拾って（笑）それを電車賃にして帰ったりとかしたこともある。小学校4年のときかな」——でもトレビの泉って待ち合わせの人でいつもいっぱいでしょ？「んー？ 魚が泳いでたりするところがあるんだけど、そこでこう魚に餌をあげるようなフリをして、バッバッとお金を取るっていう（笑）」——悪ガキだぁー。（笑）じゃあいちばん印象に残っている一人旅ってある？「一人旅!? ……ま、免許取りに大分まで合宿に行ったんだけど、そのときがいちばん面白かったかな。大阪だったらだいたいみんな鳥取とかに仲間2〜3人で行って、で、向こうでオンナでも引っかけてっていうのがお決まりパターンなんだけど、オレは友だちと行くのがイヤだったから大分にしたっていう。……だって、もしかしてオレが落ちて仲間が先に受かっちゃったら腹立つじゃないですか」——……（笑）なるほどねぇ。「まぁ、それだけじゃないですけど、なんかとにかく大分にしたんですよ。九州の方ってまだ行ったことがなかったしね」——で、そんな合宿に行ってまでも、毎日お酒飲んで酔っぱらってたそうじゃない？「そうそうそうそう（笑）」——みんなとすーぐ仲良くなっちゃって。「そうそう。でねぇ、オレら6人部屋か8人部屋だったんだけど、オレは2段ベッドの下で、新しく入ってきたヤツがその上のベッドだったのね。その人、40ぐらいのオヤジだったんだけどけっこうファンキーなオヤジでね。“なんでいまどき免許取りに来てるんですかー？”とかいったら、“いやぁ、昔ハワイで取ったんだけどさぁ。更新するの忘れてそのまま2〜3年ほっといたら免許なくなっちゃったんだよ”とかいって。（笑）そのオヤジといっしょに飲みに行ったりとかね。（笑）でも……ホントいろいろ行ってるな、こう考えてみると。沖縄の与論に友達と一緒に行ったり」——……ナンパ関係ですね？（笑）「と思ったんだけど、当時高校1年か2年のころだったから、女子大生には相手にされなかったんですね。（笑）あと、アメリカ行ったでしょ？ それから白浜……、若狭はけっこう行ってるな」——みんなの話に必ず出てくる若狭ですね。「うん。若狭はねぇ、仲いいヤツのじいちゃんが住んでて、じいちゃんの家の横に2DKくらいの離れがあったの。そこに毎年そいつと行って、リゾートをしてましたね。やっぱりどこ行ってもそうだけど、ボーッと出来るのがいちばんいいんじゃないですか、旅って。あんまり活動的になるのもイヤなんですよ、オレは。観光！ みたいな感じってイヤだなぁ。昼間はボーッとして、海行くんだったら海行ってビールでも飲みながらボーッとして。夜は夜で飲みにでも行って、ガーッと寝て。で、朝になったらメシ作って……っていうのがいいよね」——なるほど。ハイ、では秋のツアーについてひと言どーぞ。「んー、オープニングが楽しみかな？」——飛ぶんでしょ？「んー……んっ？（笑）わかんない。まぁ、強いて言えば“光る”とかね。“光るドラム”っていうのやるかもしれない（笑）」——ベードラの周り、電光が走るって？「そんな、クリスマス・ツリーじゃないんだから（笑）頼むよぉ」

協力●スーパーラバーズ☎03-3477-8722／ヌードトランプ☎03-3317-0261

# Manna

◉9月3日のパチパチ主催イベント「夏の終わりのフェアグランドアトラクション」に出演してくれたマンナ。出演してくれただけじゃなくて、その時のこと・楽屋裏をボーカルの梶原もとこちゃんに書いてもらいました。

PHOTO●SHINJI HOSONO　COPY●MOTOKO KAJIWARA (Manna)

さてさて、みなさん御承知の通り、パチパチ主催の大イベント〝夏の終わりのフェアグランド・アトラクション〟が9月3日に行われました。ものすごく暑い日で、全然夏の終わりなんかじゃないじゃない、なんて思ってたんですけど、次の日からまるで嘘みたいにスーッと涼しくなってしまったので、あの日は正真正銘、夏の終わりの最後の日だったんですね。場所はこれまたみなさん御承知の様に、東京は後楽園遊園地のルナパーク。仕事とはいえ遊園地に行くなんて何年ぶりのことかしら、そういえば大学の同級生だったLRの貴子ちゃんと4年前から何度となく遊園地行きの計画をたて、その度に計画倒れに終ったなぁ…なんてことを思いながら出演が決まってからずっと楽しみにしていたんです。

ところが、悲しいことに、当日私はたったひとつの乗り物にも乗れなかったんです。実は8月の終りに体調を崩し10日程入院しまして、病院の先生から退院後もしばらく自宅で安静にと言われてしまい、9月3日は外に出るのも久しぶりなら、ちゃんと歌うのも久しぶりという状態だったんです。まぁでもですよ、遊園地というのは不思議なところで、行きのタクシーの中で、グターッとなってた人(もちろん私のことです)をあの楽しい雰囲気ですっかり元気にしてしまったんです。これはもうホントに魔法のような作用で、びっくりしてしまったと同時に、自分の現金さを思い知りました。

ところでみなさんは〝フェアグラウンド・アトラクション〟ってどういう意味か知ってますか？　実は〝フェアグラウンド・アトラクション〟というのはニューオルリンズの広場のことで奴隷時代の黒人が唯一、歌ったり踊ったりすることが許されていた場所なんだそうです。そんなことを説明していただいて、好きなときに歌ったり踊ったりできる私は幸せだなぁなんて思いながら楽屋に入り、6時30分からの本番に備えてお弁当を食べました。何せ私は胃で歌ってるんじゃないのょ？なんて周りの人に言われてしまうくらい、御飯を食べなきゃまるでダメな人なんです。そんな理由でレコーディングやライブのリハーサルの度に体重が2・3キロ増えてしまうんですよね。そして、それらのプラスされたお肉がどこへ行くのか？というと、そのまま定着してしまうのです。恐いですねぇ……

まぁそんなことはさておき、マンナにとっては、これが初めての野外ライブ、しっかりやらねばと気合をいれて、ステージの裏にあった、ジュウレンジャーのポスターに囲まれた神棚に向って手を合わせた私です。

ガーランド、ミスター・チルドレン、ブリッジときて、いよいよ7時30分にマンナの出番。ロッテンハッツのメンバーに「がんばってね」と言われて、まかしといてよ、みたいな顔してステージに出ていったにもかかわらず、1曲目の「すいれんの花」の頭で声がひっくり返ってしまって自分でもびっくり仰天。きっとバックのメンバーもスタッフも、さぞかし驚いたことでしょう。でも一度失敗すると度胸も座って、お客さんの様子や周りの景色を見る余裕もちょっとだけ出てきました。それにしても野外のステージで歌うのって気持ちいいものなんですね。歌の合間に、乗り物で遊んでる人の「キャー」なんて叫び声が入ったりして、結構面白かったのです。あっという間に5曲が終って、マンナのステージは終り。

最後のトリはロッテンハッツ。客席に座って見ようと思っていたら、このページの写真の撮影ということで、ロッテンハッツのステージを横目でみながら広場の方へ移動。色んな乗り物の前で「ハイ・ポーズ」なんてやっていたら、ぐるぐる横に回る船の上から、悲鳴まじりの「マンナさ〜〜ん」という声が聞こえてスタッフ一同大ウケでした。そんなふうにして私たちが爆笑撮影大会をしていた頃、ステージ上のロッテンハッツにハプニングが……機材の調子がおかしくなってしまったようで一時演奏を中断、でも、そんなことがあっても、そこは楽しく上手なロッテンハッツ、しっかり盛り上がって無事演奏を終えたようです。その頃には私たちも撮影を終え、あとかたづけをして再びペコペコになったお腹をかかえ、そして、次回は秋の後楽園で今回乗れなかった乗り物に乗ることを胸に誓い、夜の街へと消えました。行き先？それはもちろん御飯屋さんです。たぶん私たちが立ち去った後も後楽園遊園地の楽しい夜はまだまだ続いたことでしょう。

夏の終りの夜を、こんなふうに楽しく過ごさせて下さったパチハチのみなさんと、見に来て下さった方に感謝の気持ちを込めて、♡を送ります。

おわり

# 杏子

# DISTANCIA

●8月1日にシングル「DISTANCIA～この胸の約束～」をリリースし、11月1日には、初のソロアルバム『Naked Eyes』をリリースする杏子さん。ソロボーカリストとして彼女の今の心境は？　今月は恋愛相談室はお休み。

撮影●三浦麻旅子　文●松野ひと実　スタイリスト●高橋美穂　ヘアメイク●栗山茂
衣装協力●リベラル／プリマクラッセ／クレイマンティーヌ　ジョヤ

# バービーがなくなったときには"もう歌うことはないな"って思った。職業のこともいろいろ考えた。

シングル「DISTANCIA～この胸の約束」で新たなスタートを切り、初のソロ・アルバム（11月1日発売予定）も作り終えた杏子。余計な力みもなく、今、じつにイイ状態で新しい道を歩き始めているということが彼女の話から、そして表情から伝わってきた。

――今、ソロになったという実感はある？

「何かあってもだいたいレコーディング・メンバーと一緒にいるんですよね。ちなみにそのバンド名、"ザ・バキューマーズ"って言うんですけど…。（笑）だからソロっていう自覚はあんまりないんですよ」

――どうしてそういうバンド名に？

「リハをやってるときに、"時間ばっかり食っちゃってしょうがねーなー"って話になったんですよ。で、ちょうど英語直訳が流行ったんで、ベースの谷ちゃん（谷崎浩章）が"これじゃタイム・バキューマーだよ"ってことを言いだして（笑）」

――じゃあ、ソロになったんだってことをいい意味で感じなくて済むというか。

「アッ、でもね、テレビ番組に数本出たんだけど、MC席に1人でポツンといるときとかに"ソロになったんだな"って初めて感じた。ヤでしたねぇ。本当に"ぽつねん"って感じで…。この間、山下久美子さんと一緒になったときに思わずインタビューしちゃった。"一人でずっとやってきてヤじゃなかったですか？"って（笑）」

――ソロになることの不安ってあった？

「もう、ありあり。だけど、やってみてコケたらゴメンナサイっていう、ダメもとの気持ちが強いんですよ。だって女性のソロ・ボーカルの人ってたくさんいるでしょう？アタシがそういうなかに入っていったって、スゴイことができるわけはないんだし…。アタシの場合、本当にマイナスからのスタートだなって思ってる」

――杏子さんの場合、バンドを解散したときに、絶対にソロでやってやろう、みたいな気持ちはなかったようですね。

「アタシはずっと"このバンドがあるからこそ歌えるんだな"って思ってたから、バービーがなくなったときには"もう歌うことはないな"って。職業のこともいろいろ考えた。何か資格を取ろうかな、とか」

――けっこう切実に？

「うん。ワープロの速記みたいなのを半年くらい勉強しようか、とか。でも、ディレクターのほうから"ソロやんないの？"って言われてて…。アタシ、バービーって、ずっと続かなきゃいけないバンドだと思ってたから、そういう必然性のあるバンドだと思ってたから、終わっちゃったときにはすごく不完全燃焼で、モヤモヤした気持ちがあったんですね。アタシ、レコーディングは昔から嫌いだったんだけど、ライブだけはまだやりたいなって思ってたんですよ。そんなとき"レコーディングをやればライブできるよ"って言われて。ちょうど目の前ににんじんをブラブラってぶらさげられてた感じ。（笑）それはオイシイと思ってレコーディングをやったら、これが楽しかったんですねぇ」

――以前のレコーディングでの杏子さんとどのへんが一番違ってました？

「前は、イマサっていうコンポーザーがいて、アタシとコンタっていう人間がいて…イマサのなかにある設計図に近づけて歌うことが、アタシにとってはおもしろいなって思ってた。でも、私は昔、バービーがまだ男子4人でライブをやってるのを見に行ったことがあって、彼らの完成形を知ってたわけですよ。だから自分がバービーに入ったことで、その完成形を崩しちゃいけないっていう脅迫観念がいつもあった。ライブではハチャメチャやっても、レコーディングとなると…アルバムはあとあとまで残るから、とにかく正確に、キッチリ歌うことを考えてたんです。他のメンバーのジャマになっちゃいけないって。でも、ソロになったら、今度は完成形を自分のほうに持ってこなくちゃならないっていう責任みたいなものはあったんだけど…前みたいな完成型を崩しちゃいけないっていう潜在意識がなかったことが、何をやってもいいんだってことにつながったみたい」

――先行シングルの「DISTANCIA」

# DISTANCIA～杏子～

（作曲は玉置浩二）の話を聞きたいのですが、この曲、歌ってみていかがでした?

「むずかしかった。正直言って。よく、いろんな人たちから〝変わった〟とか〝今までとは違う路線だね〟とか言われるんだけど、曲的にはアタシは大好きなんです。でもどんなふうに思ってもらってもそれはそれでよろしいかなって」

――杏子さん自身、今までとはイメージを変えたい、っていう考えはなかった?

「スタッフとの話し合いのなかでは、音に関してもビジュアルに関しても、ソロになるんだからバービー色は一切取ろうって意見もあった。でも、アタシがバービーをやってきたことは消せないわけだし、アタシの細胞は全部バービーで作られたものだから、消すのはヘンだと思うの。だからムリに変えようっていうのはないし、逆に同じ路線を引っ張ろうというのも全然ない」

**アタシの細胞は全部バービーで作られたものだから、消すのはへんだと思う。ムリに変えようっていうのはないし、同じ路線を引っ張ろうというのも全然ない。**

――ちょっとスパニッシュな感じのする、切ない曲ですよね。

「メロディとか、アコーディオンの感じとかが切ないですよね。でも、実は歌詞を読むと、この主人公、調子いいんでないの?って思う。（笑）だって、恋人と別れて、遠く離れたとき〝やっぱり彼が大事〟って思って、その人の家の留守電に〝帰るわ〟ってだけ入れて、勝手にその人の所に帰ろうとしてるんですよ。もし、その人に新しい恋人ができてたらどうするの!?って感じ。（笑）でもこういうメロディに乗ると切なく思えるんですねぇ（笑）」

――アルバムの曲も含めて、今回、詞はどんなことをいちばん意識して書いたの?

「最初は作詞家に頼んで、私は歌い手として120%の力を出せればと思ってた。でもプロデューサーが自分で書けって勧めてくれたんで、やってみてダメならプロにお願いしようってことで書き出したんだけど書くにしたがっておもしろくなってきたの。世界が開けてきたかなって。そのときに言われていたのが、〝詞を書く〟っていうよりは、日記から飛び出してきたような自分の言葉を書くのがいちばんだっていうことだったんですよ。正直言うと、このシングルの曲は1発目に完成させたものなので、まだ〝詞を書いてる〟って感じなんだけど」

――カップリング曲の「なし崩しの週末」の詞はかなり日記的って言えますね。

「そう。〝夜ふかしはお肌に悪いのよ〟とか、あと〝車庫入れ〟とか出てくるし。実際アタシ、車庫入れで苦労してるから（笑）」

――「なし崩しの週末」は「DISTANCIA」とガラリと雰囲気が変わってタイトな仕上がりになってますが、このシングル自体がアルバムの予告編にもなっているような気がする。いろんなタイプの曲が入ってるよな、みたいな。

「あいかわらずのアタシも、ちょっと違うアタシもいるって感じでしょうか。アルバムを作りはじめるとき、最初は曲も詞もどうしようっていう、手さぐりの状態だったでも、このシングルが完成したことで、アルバムもちゃんとできるかもしれないっていう兆しが見えた。アタシも一人でもできるかもしれないっていう安心感っていうか初めの一歩的な自信になった気がする」

――レコーディング嫌いは解消された?

「かなり!! だってアタシ、今回はレコーディング中、ずっとスタジオに通ってましたもん。なんて、当たり前のことなんだけど、以前はマイクの前に立つのが怖かったから、呼び出しがこないと行かなかったの。今頃何言ってんだ? って怒られるかもしれないけど、今になって当たり前のことがようやくできるようになったんですよ」

――充実してるって言えそうですね。

「レコーディングで自分の〝味〟みたいなものがちゃんと出せるってわかったし、あとアルバムのジャケットにしてもビデオにしても、すごく念入りに打ち合せしたりしてスタッフとの歯車がいい具合にまわってるって思えるから、充実感がありますね。緊張感もあるっちゃあるけど…やっぱりダメもとなんですよ。スタッフにも恵まれたから、任す所は任して、自分でできることだけをやっていこうって。今、楽しいですよ。もちろんウ～ッ！ て思うことも出てくるだろうけど、これからいろいろと楽しめそうな気がしてる」

epic

# 憶えてろよ。

## ロックの雄、"バービーボーイズ"の集大成
## 10月1日ここに発売。

2枚組34曲入り完全ベストアルバム。

BARBEE BOYS

## 「BARBEE BOYS」

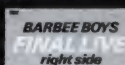
「表紙が3Dビジュアルの豪華52Pブックレット付き」

DISC 1
暗闇でDANCE／帰さない／もォやだ!／小僧／ふしだらVSよこしま／Shit! Shit! 嫉妬／midnight peepin'／負けるもんか／チャンス到来／タイムリミット／でも!?しょうがない／ダメージ／なんだったんだ? 7DAYS／ショート寸前／離れろよ／STOP!／翔んでみせろ／ラサーラ

DISC 2
C' m' on lets' go／あいさつはいつでも／女ぎつねon the Run／Dearわがままエイリアン／泣いたままでlisten to me／ナイーヴ／はちあわせのメッカ／ごめんなさい／chibi／目を閉じておいでよ／さあどうしよう／勇み足サミー／ノーマジーン／三日月の憂鬱／あいまいtension／おやすみよそもの

全34曲収録●CD：ESCB 1327〜8 ¥4,600税込定価(¥4,466税抜価格)

ファイナルビデオ ライヴ&ドキュメント2巻同時発売!!

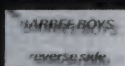
BARBEE BOYS FINAL LIVE right side

## 「FINAL LIVE right side」

「憶えてろよ!」の言葉を残して活動に終止符を打ったバービーボーイズ。FINAL TOURより、1月22日、23日中野サンプラザホール、24日渋谷公会堂でのライヴを収録。彼らの最後の勇姿をとどめるメモリアルビデオです。

収録曲：帰さない／あいまいtension／プリティドール／でも!!しょうがない／わぁい わぁい わい／小僧-cryin' on the beach／はちあわせのメッカ／STOP!／マイティウーマン／三日月の憂鬱／打ち上げ花火／ラサーラ／C' m' on let's go!／負けるもんか／さぁどうしよう／全15曲収録

68min.／COLOR／STEREO／hi fi ＊LDのみ11月1日発売。

VHS：ESVU-360 β：ESUU-3360 LD：ESLU-360 各¥5,500税込(各¥5,340税抜)

BARBEE BOYS reverse side

## 「FINAL LIVE reverse side」

FINAL TOURの楽屋裏からリハーサル、移動、打ち上げまで、とことん追いかけたドキュメント映像。超特価1,800円也。最後の瞬間を迎えるまでの彼らの息づかいが伝わってきます。ただしこれはあくまでもドキュメント・ビデオです。ライブを御覧になりたい方は"right side"をどうぞ。

52min.／COLOR／STEREO／hi fi

VHS：ESVU-373 ¥1,800税込(¥1,748税抜)

**「The Moment of Truth BARBEE BOYS COMPLETE BOOK」**

92年1月24日のFINAL LIVEをメインに結成から最後までの軌跡を追った待望のCOMPLETE BOOK!

●定価(税込)1,800円 ●B5判172頁 ●10月上旬ソニーマガジンズより発売

# Barbee Boys

Epic/Sony Records
Sony Music Entertainment (Japan) Inc.

ストレス解消
CDプレゼント付き

# 御多忙GALSのための
# ライフスタイル・セラピー!!

診断●浅野八郎事務所

●テストだぁ、体育祭だぁ、文化祭だぁ――と、なにかと御多忙なシーズン到来っ!! 楽しいけど、知らないうちにストレスもたまってるよん。そこで、あなたのストレスの傾向と、セラピーによく効く音楽を診断いたしましょうっ。肩の力をぬいて、まずはスタート。

A ──→
B - - - →

START

朝ごはんはどちらが好き？
(A)パン
(B)ごはん

おみくじをひいて凶と出たら気にする？
(A)はい
(B)いいえ

食事をする時、必ず誰かといっしょがいい？
(A)はい
(B)いいえ

どっちの映画が好き？
(A)コメディー
(B)ラブ・ストーリー

ファッション雑誌をよく見るほう？
(A)はい
(B)いいえ

明日はきっと、楽しいことがあると思う？
(A)はい
(B)いいえ

あなたはアダ名がある？
(A)はい
(B)いいえ

写真を撮られるのが好き？
(A)はい
(B)いいえ

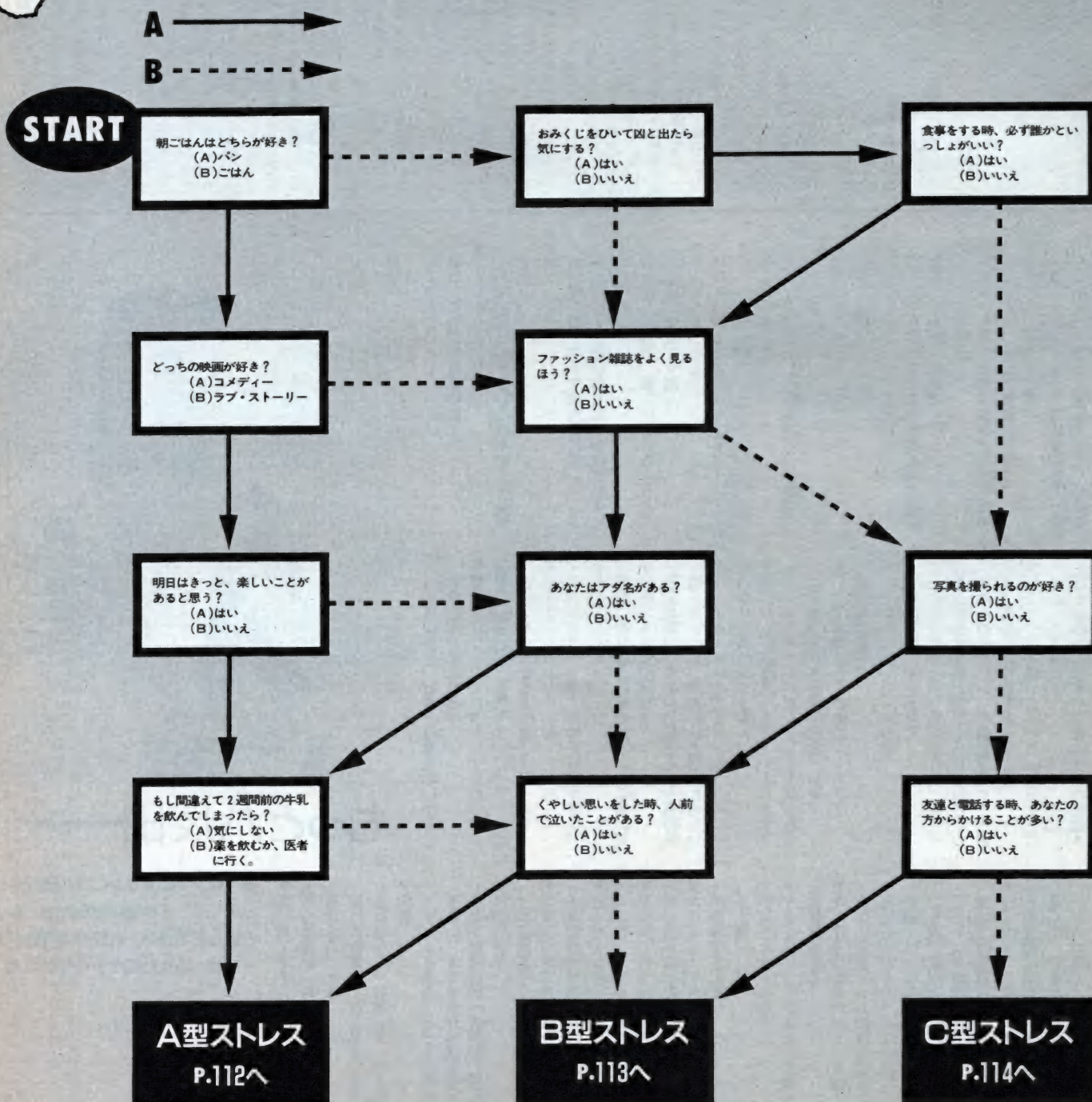
もし間違えて2週間前の牛乳を飲んでしまったら？
(A)気にしない
(B)薬を飲むか、医者に行く。

くやしい思いをした時、人前で泣いたことがある？
(A)はい
(B)いいえ

友達と電話する時、あなたの方からかけることが多い？
(A)はい
(B)いいえ

**A型ストレス**
P.112へ

**B型ストレス**
P.113へ

**C型ストレス**
P.114へ

A型のあなたは

# 八反田理子（はつたんだりこ）と踊ろうタイプ

**診断と解説**

●いろんなことに興味を持って、いつも輝いているあなた。バイタリティーあふれるあなたはサービス精神も旺盛ですから、みんなの笑顔が大好き。笑い声に応援されて何にでも挑戦してしまいます。ほんとは寂しがりやで傷つきやすいのですが、自分の涙にテレてしまって明るく明るくふるまうかわいい人。そんなあなたには、八反田理子がピッタリです。

## 宇都宮美穂の八反田体験

●八反田理子——ハッタンダ・リコと読むんだそうです。名前にすでにリズムが脈打ってるとゆー幸せな人。本人、なかなかちゃんと読んでもらえないってんで怒ってたりもしますが。

ほんで、この人はニック・ネームとして一時期"ダリ"と呼ばれていたとかで、それがちーともシャレじゃないのが、『たわ言』を聴けばよくわかる。詞・曲ともに本人作で、タイトルからして"ナメとんのかワレ"と叱りつけたくなるようなニュアンスがありますが、タイトルどころか、世の中ナメちゃってんだねぇ。もう、こんなギャルはイケナい、イケナい、イケナくってよーっ。なんちゃって、ううん、ホントはいいの。これからワタシが書くことは、バカみたいだけど、実はリッパなことなんです。だから、ようく考えて読んでほしい。

この人の歌ってゆーのは、たとえばオジサンとかが聴いたらとんでもない。なにしろ、♪どうなったっていいの なんだっていいの 今日で最後だっていいの いいじゃん どうなったって 大丈夫 今夜も世紀末にハロー(『Moon Night』)とか、♪開く耳なんか持たずに 盛り上がれ 盛り上がれ これを逃せば後はない これっきりだ これっきりかもよ(『ラッキイで豪華』)とか、ぶっちぎりなわけだ。なんつーか、ジュリアナお立ち台ギャル的開き直りの強さ? そーゆーのが暴走してて、ワタシはハタと思ったんですが、あの「だってアタシ、バカなんだもーん」てセリフ、よく考えるとスゴイ。でもって、深い。複雑な世の中を一瞬にして単純化してしまう機能美があって、それはバカボンのパパのセリフ、「これでいいのだ」に匹敵すまいかと。

なぁんかちょっとヤバイのよ。そんな気分のとき『たわ言』を聴く。スイッチを入れたみたいに、未来がパッと明るくなるのは、なぜ? その答えは、自分で考えよー。

たわ言

## もっと八反田——

●"ホントにワタシには八反田がピッタリ?"と半信半疑な方は、もっと読んで下さい。八反田の行動パターンは、あなたにそっくりなハズ。

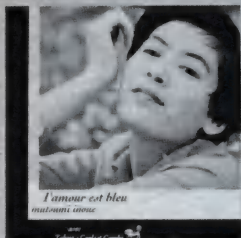
▼生まれ変わるとしたら?
・無駄にお金持ちな家の娘。
▼一番好きな本は?
・「子ねこのぴっち」という絵本がとても好きだった。
▼朝ゴハンは——
・パン党。朝、牛乳や100%果汁のジュースやコーヒーを飲むのでゴハンは合わない。
▼好きな街は?
・我が街・吉祥寺。難しいことさえ言わなければ、なんでも揃う。
▼100万円当たったら?
・ハワイに行ってのんびりする。
▼持ってる服の中でジーパンとスカート、どちらが多い?
・スカート。しかし稼働率20%。普段はパンツが多い。
▼好きな色は?
・上品な原色。
▼不意の「ゴキブリ」乱入に……
・行く末を見守って、次の日徹底的に退治する。バルサンなど。
▼朝型? 夜型?
・ロザンナが出てるモーニングショーを良くみるので、比較的朝型だと思う。
▼好きな花とその理由は?
・チューリップ。今までの人生の中で一番良く描いたと思う。すみません、花にはウトいです。
▼自分を食べ物にたとえるとしたら?
・くわい。正体不明だし、料理方法もよくわからないから。
▼好きなCMは?
・佐久間良子のアートネイチャー。とにかく全てが謎だ。好きとは言えないかもしれないが、気になる。
▼将来どんなアーティストになりたい?
・忘れた頃にやって来て、「こいつぅ〜〜っ」といつも思わせるようなアーティスト。
▼連想ゲーム➡おじいさん
・ショルダーバック。持ってる人が多い。
▼連想ゲーム➡電車
・階段。乗り換えの階段がホントに嫌いで。
▼自分の名前の由来は?
・新田次郎の小説の中に理子という名の登場人物がいて、母がいいと思ったらしい。
▼今、一番大切にしてるモノは?
・ハワイで買ったウクレレ。
▼通信販売で物を買ったことがあります?
・ソファーベット。ガーデンテーブル&チェアセット。木製収納付きベンチ。
▼信じてるおまじないやジンクスは?
・念じれば通ず。
▼カラオケに行ったら何を歌う?
・「人形の家」、弘田三枝子。
▼バーゲンでの今年一番の掘り出し物は?
・地元の丸井で買ったMr. SHINJIのタオル地の短パン。半額以下だったと思う。真夏にとても重宝しました。
▼好きなものと嫌いなもの、どちらから食べはじめますか?
・好きな物からですが、嫌いなものは食べませんよ。
▼今日してる腕時計は?
・今年の6月頃、3千円で買った。変わりデジタルもの。
▼直したいのに直せない「クセ」って?
・よく物や人にぶつかる。
▼誰に似てると言われたことがあります?
・熊谷美由紀、NOKKO、牧瀬里穂、杉田かおる、ナスターシャ・キンスキー。NHK教育の"ひとりでできるもん"のまいちゃん。四谷シモンの人形。
▼病歴。
・アトピーと鼻炎は子どもの頃から。虫歯も多い。5年位前から貧血気味。去年の今頃、胃潰瘍の一歩手前で倒れた。
▼得意の料理は?
・"日本海の月"という名のスパゲティー。
▼大親友の誕生日、何をあげますか?
・去年は手作りのハンコをあげた。
▼好きなマンガの主人公は?
・コロ助。(キテレツ大百科)
▼兄弟って自分にとってどういう存在?
・同じ血が流れた友人。
▼お母さんってどんな方ですか?
・所詮おばさんだが、わりと友達でいられる人物。
▼お父さんはどんな方?
・うまくコミュニケーションはとれないが愛情は感じる。
▼今、注目のお笑いタレントは?
・牧伸二のウクレレの技を盗みたい。
▼見るのが好きなスポーツは?
・体操、フィギュアスケート等。審査員がいる物。江川と桑田。早く次のダーティーヒーローが出てきて欲しい。そういう意味では鬼塚にちょっと期待してる。
▼今までやった中で一番「悪いコト」は?
・8年位前にボウリング場からシューズを盗んだ。ひもぐつですごく可愛いデザインだったので、つい。
▼使ってるシャンプーは?
・シュワルツコフのシルエタアミゾーネ。
▼今、一番気に入ってるおかしは?
・おっとっと、チキンラーメン味。
▼今年の年賀状は何枚くらい出す予定?
・50枚くらい?

B型のあなたは

いのうえむつみ

# 井上睦都実と食べようタイプ

**診断と解説**

●他人の迷惑を考えないようなヤツは大キライと考えるあなたは、常にまわりに気を使います。思いやりがあるとこが好かれてケンカの仲裁役をたのまれたりして、けっこう忙しい。でも自分自身のストレスの発散はヘタくそで、ついついヤケ食いしそうです。まじめなようで以外とミーハーなのも魅力。そんな、あなたには、井上睦都実をお推めします。

## 宇都宮美穂の井上体験

●えー、誰にでも自分の分野とか、領分とかゆーものがあるわけで、そこをハズれると、「ちょっと苦手かな!?」みたいな世界に突入いたします。ワタシの場合、特にそれを強く感じるのが、フランスの風が吹いているもの全般なんです。ファッションでもそうだし、音楽でもそうだから、フリッパーズ・ギターが解散してよかったなぁ、なんて思っちゃう。勝手にあーゆー人達は、フランスパンにマスタードつけて食べてんだろう、なんて想像してごはんにいくらをのっけて食べてるワタシはひがんでるのよ、なんだか知らないけど。

で、ホントは言いたくないけど、しょうがないから言うけど、ひがむってことは、憧れてるってことでしょう? 憧れてるのに、どこから手をつければいいのか、どうして入っていけばいいのかわからないからよけいにウジウジするわけで、ねえ?

そんなわけで、最初、井上睦都実ってゆー人は、聴くのヤだなぁと思った。『恋は水色』ってタイトル、シャンソンにあったもん。資料を開くと、これまた小西康陽サン（ピチカート・ファイブ）とか、田島貴男サン（オリジナル・ラブ）とかの、やっぱりフランスに通じるその道を行く人達の名前が作曲や編曲でズララーッとあって、ゲンナリよ。もう、泣きそうになりながら、聴いてみる決心をするワタシ。

すると、これはどうしたことか。アレ!? アレレレ!? なんかいいぞ!?

それとゆーのが、スタンダードをやさしくカバーしていたり、この曲にこの詞かい!? みたいな、意外に素朴な言葉で歌われていたからです。ワタシが、実はひそかに憧れるフランスのモダンな匂いをサウンドに濃厚にかもし出しつつ、でも決してすましちゃいない。水みたいに、透んだ声のせいもあるのかな。苦手だった世界から、「おいでおいで」されてるようで、嬉しくなったのでした。

恋は水色

## もっと井上——

● "えー、そうかなぁ?" なんて、御不満の方は、これも読んでみて。井上のライフ・スタイルのナチュラルぶりは、あなたの日々の鏡です。

▼心の師匠は?
・高3の時の担任の山下進先生。
▼好きな街は?
・国立。あと熊本。(←生まれた街)
▼小さい頃のあだ名は?
・ムッちゃん、ムツミ、ムツゴロウ。
▼一番旅行したい所は?
・ボストン。
▼ジーパンとスカートどちらが多い?
・ジーパン。
▼理想のプロポーズは?
・そろそろ一緒に暮らそうか? なんてね。
▼「秋」と言えば?
・食欲。
▼夢の中で一番逢いたい人は?
・お父さん!!
▼好きな色は?
・水色!! 他は白、グレーとか。
▼不意の「ゴキブリ」乱入に。
・殺虫剤を多量にまく。ちり紙を山ほどのせてすてる。
▼朝起きたらオトコになってました。どうする?
・今まで持ってなかったものを確かめる。
▼好きなCMは?
・サッポロ冬物語!! '92
▼街で宗教の勧誘にあったら?
・無視。またはやりかえす。
▼占いは信じますか?
・身近な人でそういう事がみえる人が言うこと。いい事だけ信じて忘れる。
▼好きな花は?
・朝顔。風流だから。家にあります。
▼自分を食べ物にたとえたら?
・アスパラ。
▼連想ゲーム➡恋
・は水色。(笑) 私のデビューアルバムだからっ。
▼連想ゲーム➡ドーナツ
・ミスタードーナツ。マネージャーとよく待ちあわせるから。
▼落ち込んだ時の解消法は?
・友達に会う。本を読む。
▼連想ゲーム➡スニーカー
・ぶるーす。(bYマッチ)
▼自分の名前の由来は?
・この名前になる前はすみれかさくらになるハズだったらしいけど、祖母が、「花の名前は散るからダメ」ということで、ムツミになった。
▼自分の音楽を季節にたとえると?
・秋冬もの?
▼一時間待っても彼が来ない時は?
・帰る。
▼今、一番大切にしてるモノは?
・両親や友達の写真。
▼好きな言葉は?
・自分の感受性くらい自分で守れ、ばかものよっ。
▼「男の子になりたい時」って?
・トイレができない場所でもようした時。
▼お風呂は何分?
・20分くらい。
▼これから寒いけど、秘密の防寒作戦があったら教えてください。
・ババシャツと靴下2枚ばき。
▼カラオケに行ったら何を歌う?
・「恋の季節」、ピンキーとキラーズ。
▼お母さんってどんな方ですか?
・人が良すぎて、私のやりたい事を結局ゆるしてくれる人。
▼お父さんってどんな方?
・もう亡くなったんだけど、キザでカッコつけ屋で気のやさしい人。
▼町中でキャッチセールスにつかまってる友人を発見、どうやって助ける?
・やっぱり、「待ったー?」と引っぱっていくでしょう。
▼遊園地のニューマシン、新しい水族館など、できたらすぐ行きたがる方ですか?
・行けたらいいな、ぐらいです。
▼見るのが好きなスポーツは?
・ナイターの野球を外で見ること。
▼家出しようと思ったことは?
・お母さんとケンカした時。瞬間だけで、そんな勇気ありませんでした。
▼ペットを飼ったことは?
・猫。しかも名前もネコ。
▼初めて自分で買ったレコードは?
・ピンクレディーのサウスポー。
▼毎日必ずやってる習慣みたいなものは?
・うがい。
▼友達になれるかどうかのキメテは?
・第一印象かも。
▼今日してる腕時計は?
・してません、ゴメンナサイ。
▼最近泣いたのはいつ?
・9月3日。父親がわりだったおじさんが亡くなった時。
▼許せない女ってどんなヤツ?
・聞こえるように悪口を言う人。
▼得意料理は?
・みそ汁。
▼あなたにとって「ごちそう」とは?
・気を許した仲間との食事なら何でも。
▼あなたにとっての「故郷」とは。
・生まれは熊本、育ちは福岡なので、"アツイ"ところです。

C型のあなたは

# たちばな 橘 いずみと考えようタイプ

**診断と解説**

**●なにごとにも真面目にジックリとり組むあなたは、物事を簡単に割り切るのが苦手です。なかなか妥協しないために、まわりとぶつかり、誤解されやすいのですが、それでも自分にだけは正直でありたいとガンバってしまう。そんな不器用な生き方を理解してくれる人が必ずいるのも、あなたの魅力のせいかも。そんなキミにこそ、橘いずみが必要なのです。**

## 宇都宮美穂の橘体験

●学校で勉強できた人、手をあげて。
ハーイ、ハーイ、ハーイ!!
あ、ワタシのことか。ワルいね、ウヒヒヒヒ。
勉強できたとゆーのかね、いわゆる二番手につけるってヤツ？　だから、委員長じゃなくて、副委員になって、調子よく責任は委員長になすりつけて、なおかつエバると、そーゆー悪いヤツだったんです。大体、委員長になる人ってゆーのは、人間がデキてて、文句も言わず、仕事をこなす、でしょ？　同い齢でもオトナっぽいから、ワタシなんて甘えちゃって甘えちゃって、大変よ。そしたらね、ある日のこと、委員長がホロッて涙をこぼしたんです。
「あなたはズルいよ」って言って。
ショックだったし、ビックリしたし、でも、やっぱりな、とも思った。つまり、委員長のことを「オトナっぽーい」と言いつつ、ホントにオトナなのは、このワタシなのでした。上手に立ちまわるテクニックを持ってたわけだからね。それに較べて課せられた仕事を精一杯やってた委員長はワタシより、うんとうんと純粋で、無欲だったんですね。強く生きている人の、ある瞬間に見せる弱さって、すっごくキレイだ。
長々とつまらんことを書いてきましたが、橘いずみとゆー人の Don't Worry You Can Do It！ を聴いて、そんなことを思い出したのです。会ったことがないから、どんな人かはわからない。けれど、歌の主人公は、ワタシの極私的な委員長のイメージにだぶる。いつでも背筋をシャキッと伸ばして、誰にもわけへだてなく優しく接する。自分の心の中には、本当は脆さや、繊細さがいっぱい詰まっているのに、だからこそ一生懸命頑張ろうとする。「大丈夫」って、簡単な言葉ですね。知ってはいても、その温かさが好きだから、大事な人に言いたくて、自分にも言いたいのでしょう。

ÍZUMI
Tachibana

君なら大丈夫だよ

## もっと橘——

**●ちょっとイタいトコをつかれて困ってるあなたは、橘のイサギヨサをもって読んでください。こういう人間がココにもいます。安心してね。**

▼あなたの心の師匠は？
・**ダイアン・アーバス。(フォトグラファー)**
▼生まれかわるとしたら？
・**今の自分。**
▼作曲する時はどのように？
・**楽器とたわむれつつ。**
▼小さい頃のあだ名は？
・**いーちゃん、いっちゃん、いずみ……**
▼今、一番旅行してみたい所は？
・**モンゴル。**
▼100万円当たったら？
・**一晩で使う。**
▼ジーパンは何本持ってますか？
・**いっぱい持っていたが、昨日ほとんど捨ててしまった。**
▼スカートは何枚持ってますか？
・**ない。**
▼理想のプロポーズは？
・**特にない。別に結婚したくない。結婚に意味を感じない。**
▼落ち込んだ時の解消法は？
・**時がたつのを待つ。**
▼好きなスポーツは？
・**水泳。水の泡がダイアモンドみたいだったから。**
▼「秋」といえば。
・**胸の奥がしめつけられる季節。**
▼好きな色は？
・**紫と深いブルーの中間色。**
▼街で宗教の勧誘にあったら？
・**どんなことを考えてるのか聞いてみる。**
▼好きな動物は？
・**馬。**
▼占いを信じますか？
・**ananのだけ信じる。**
▼好きな花とその理由は？
・**ガーベラ。作りものみたいに華やかな花だから。**
▼自分を食べ物にたとえるなら？
・**"人肉"としかいいようがない。**
▼長電話最長記録は？
・**長電話はきらいだ。しない。**
▼どんなアーティストと共演したい？
・**フォトグラファーやドローイングアーティストなど別フィールドで活躍している方達とのライブもいいのでは？**
▼連想ゲーム➡恋
・**もうたくさん。恋はもういい。**
▼連想ゲーム➡アメリカ
・**N.Y.にいた時はドーナツばかり食べてた。**
▼連想ゲーム➡宇宙
・**先進国の極秘フィールド**
▼連想ゲーム➡メガネ
・**コンプレックス。メガネをかけてるから、小学生の時はひっこみじあんだった。**
▼連想ゲーム➡音楽
・**よそゆき。普段は聞かないから。**
▼彼との待ちあわせ、1時間待っても来ない時、どうしますか？
・**まだまだ待ってる。**
▼ある日、彼がホモだとわかって一言。
・**そんなこと関係ない。愛してる。**
▼初めてステージに上がったのは何歳の時ですか？
・**7歳。ピアノの発表会。**
▼好きな言葉は？
・**信じる。**
▼通信販売で物を買ったことがありますか？
・**ない。信じられないっ!!**
▼文通、交換日記をやったことは？
・**ある。あまりいい思い出はない。**
▼「整形シンデレラ」についてどう思いますか？
・**それでその人が素敵な気分になれるのであれば賛成。うじうじ「自分は美しくない」と思ってるよりよっぽど前向き。**
▼バーゲンでの今年の掘り出しものは？
・**バーゲンは嫌いだから行かない。お金を出してでも普段買うようにしている。**
▼毎日必ずやってる習慣があったら教えて。
・**メディテーション。**
▼一番最近泣いたのはいつ？
・**昨日。**
▼直したいのに直せない「クセ」ってありますか？
・**クセも「個性」とあきらめている。**
▼許せない女ってどんなヤツ。
・**どんな人でも許せる……と思う。**
▼大親友の誕生日、何をあげますか？
・**その子が欲しがってるものを、五感を総動員して考える。**
▼家出しようと思ったことはありますか？
・**家出した。「逃げたい」と思った時。**
▼日本が誇る民族衣装「きもの」をどう思いますか？
・**いつかは似あうようになりたい。**
▼家を出ようとしたら今にも雨が……どこまで準備して出かけますか？
・**傘は持たないから特に考えない。**
▼学生時代のクラブ活動を教えて。
・**バスケ。軽音楽部。**
▼あなたのご自慢のダイエット方法を教えて下さい。
・**よく動く。よく食べ、また動く。**
▼「故郷」ってどんな所ですか？
・**イメージの源。**
▼最近、超ムカついた出来事ありました？
・**嘘をつく自分を再び発見したこと。**

眠れぬ森の子供達が今、動き出す

# WIZKIDS

## The New Lost Generation

**DEBUT ALBUM** TOCT-6618 3,000yen (with tax) 2,913yen (without tax)

## NOW ON SALE

**LIVE SCHEDULE**

11月12日木 名古屋クアトロ (お問い合わせ)サンデーフォークプロモーション 052-320-9100　11月13日金 大阪クアトロ (お問い合わせ)サウンドクリエーター 06-361-9900　11月19日木 渋谷ON AIR (お問い合わせ)ディスクガレージ 03-5704-3200

**WIZKIDS OFFICIAL FANCLUB** 〒100 東京都千代田区有楽町1-2-11 有楽ビル8F TEL 03-3595-1277

ぼくらはみんな、ユニコーン。

Sony Records
A Division of Sony Music Entertainment (Japan) Inc.
SONY

# FIRST SINGLE NOW ON SALE

# KIX-S

フジテレビ系ドラマ「君のためにできること」主題歌

## また逢える…

C/W: BE MY LOVE　また逢える…(オリジナル・カラオケ)

CD: APDA-70 ¥930(Including TAX) 作詞: 浜口 司/作曲: 安宅美春/編曲: 葉山たけし

Third Album Now On Sale

「ONE NIGHT HEAVEN」CD: APCA-54 ¥2,200(Including TAX)

また逢える… 他全7曲収録

**4th Album** 発売延期 12.14 On Sale

(2nd Single 11.21 On Sale)

APOLLON INC. Dreamix

10/21 3rd SINGLE RELEASE!

# 「君にゆられて」

ビートたけしの TV タックル

テレビ朝日系「ビートたけしのTVタックル」エンディング・テーマ

Words by GAO/Music by TAKASHI OHHASHI, GAO/Arranged by HIROSHI IMAIZUMI
C/W:空の話～for my father～/君にゆられて(Instrumental)
CD SINGLE:VPDC-20461/Including-Tax ¥930(Tax-Free ¥903)

Roba Rock

# GAO

3rd ALBUM 11/1 RELEASE!

## 「ロバロック」

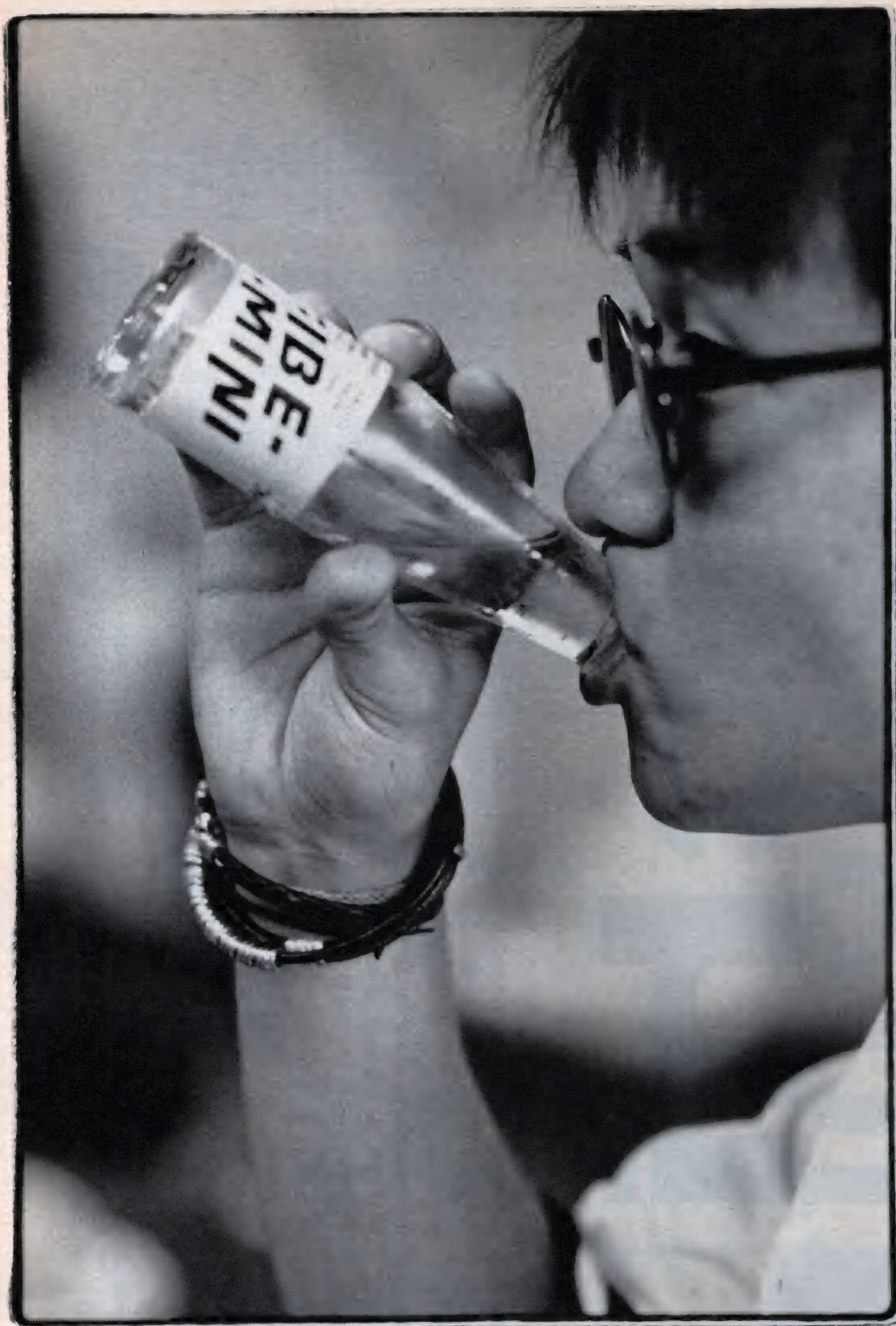
テレビ朝日系「ビートたけしのTVタックル」エンディング・テーマ「君にゆられて」収録！
CD:VPCC-80483/Including-Tax ¥2,800(Tax-Free ¥2,718)

**GAO LIVE/学園祭 スケジュール（問合せ：ビーシーエル 03-5570-0528）**

LIVE
11月13日（FRI） 新宿パワーステーション
11月24日（TUE） 大阪アムホール
11月25日（WED） 名古屋ハートランド

学園祭
10月17日（SAT） 拓殖大学
10月25日（SAN） 徳山大学
10月31日（SAT） 早稲田大学
11月 2日（MON） 東海女子短期大学
11月 3日（TUE） 神戸女学院大学
11月14日（SAT） 関西大学
11月15日（SUN） 島根県民会館
11月23日（MON） 滋賀女子短期大学

vap

# Soichi Taniguchi

●今、ソロ「谷口宗一」として、初めてのレコーディングを行っている谷口くん。詳しいことはまだわからないけど、みんなに早く伝えたくて、こんなページにしてみました。

Photo●Kenzi Tsukagoshi Text●Aki Ito

# It's so pleasure

# Soichi Taniguchi
## It's so pleasure

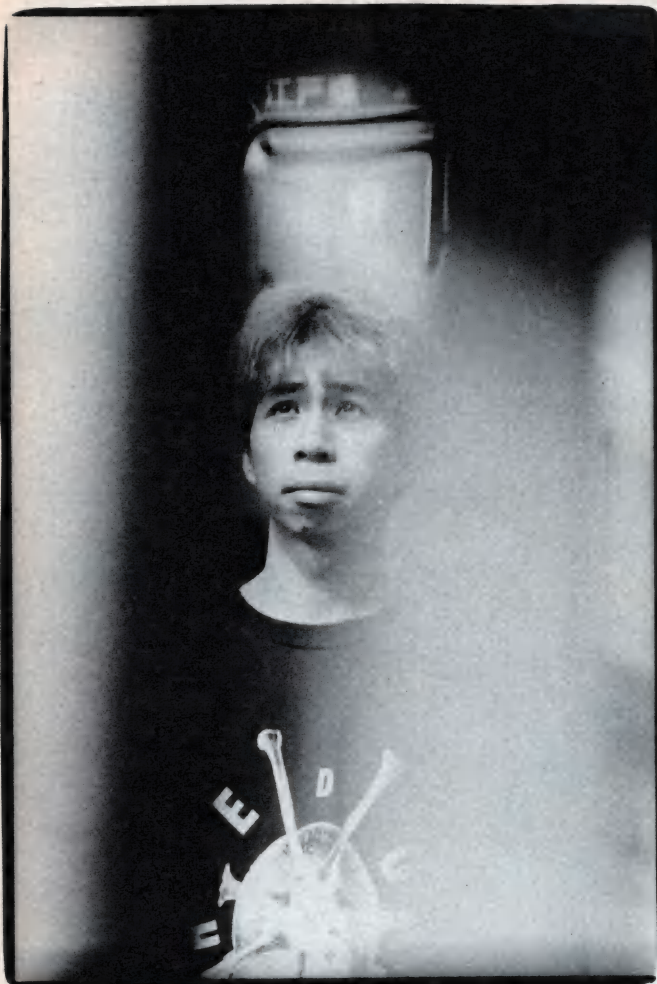
前略。お元気ですか。
あなたの姿をあまりみなくなってから、もう2か月も経つんですね。あんなに暑かった夏の日も、いつの間にかずっと遠くにいってしまって、涼しくなりましたが、風邪などひいていないでしょうか。そう言えば、サンフランシスコに行っていたとき、風邪をひいてひとりベッドの中にいたのも、ちょうど今頃でしたね。
体には気をつけてください。
なんて、体の弱い私になんか言われたくないですよね、きっと。(笑)
ま、そんなことはさておき。
青い色のCDシングル、聴きました。
今もこれを書きながら聴いています。
聴けば聴くほど、あなたのいろいろな思いが見えてくるようで、とても嬉しい反面、ちょっとだけ怖いような気もします。
そこには、優しさがあります。
そこには、素直さがあります。
そこには、強さがあります。
そこには、不安も見えます。
そこには、正直さもあります。
そこには、嬉しさが見えます。
そこには、憂いもあります。
そこには、とても丁寧に歌を歌っている、あなたの姿が見えてきます。
この間、お話をしたとき
「自分を表現するのはやっぱり歌しかないと思ったから、今、歌を作りたくてしょうがない」
って言っていましたが、その"歌"はたくさんできていますか。たくさん、歌ってますか。中にあるものを外に出すという作業は、とても大変で、自分を表すということは、身を削ってやらなきゃいけないことかもしれませんが、あなたの歌を待っている人は、それこそたくさんいるので、まずは、今やっているレコーディングをがんばって、たくさんたくさん新しい自分を私たちに聴かせてください。
たくさんの歌ができたら、またいろいろな話をしましょう。
シングルの話をしましょう。
アルバムの話をしましょう。
ライブの話をしましょう。
四方山話もしましょう。
シモネタだって、いいです。
あなた自身のことを、たくさんたくさん（あ、ちょっとでもいいんですけど）話してください。
そして、あなたの姿を見せてください。
笑顔でも、怒った顔でも、泣いた顔でも、寝ている顔でも、叫んでいる顔でも、かっこつけた顔でも、あっかんべーしている顔でも、それがあなたの姿なら、それでいいです。
ページあけて、待ってます。えへへ。
それではまた。早々。

●ラジオ・レギュラー決定！／ＭＢＳラジオ（大阪毎日放送）で谷口くんのレギュラーが決定！『ヤングタウン』（毎週月曜・22時～24時30分）で、スタレビの根本要さんや森高千里さんらと一緒にパーソナリティーを務めています。エリアの人はチェック！さらに、パチ▶パチＦＡＸサービスの早くも登場！詳しくは227ページを見るべし！

# CUTEMEN

女の子から「ピコさま♡」と熱い視線を集めるPICORIN。
２号連続企画の第１回目は、そんなPICORINの素顔にせまるべく、
小姑のCMJKもアシスタントインタビュアーとして参加。はてさて？

## Personal Vol.1 PICORIN

PHOTO●YOUSUKE KOMATSU TEXT●EIICHI YOSHIMURA COSTUME●DEGITAL&SIMON TAYLOR

## じゃあ、アメリカの首都は？（CMJK）
## ……シカゴ（PICORIN）
## はははは。いいコンビだな。（吉村栄一）

**──で、きょうは、知られざるピコリンの全貌を明らかにする会ということで。(笑)**

**CMJK** アシスタント・インタビュアーのCMJKです。よろしくお願います。

**ピコリン** え…。

**CMJK** じゃ、まず近況から。

**ピコリン** 最近は以前からやってた打ち込み系バンドのイベントを再開しまして、このあいだ原宿のルイードでやって、次回は11月13日です。

**CMJK** 出演バンドはどういう基準で決めてるんですか、ピコさん。

**ピコリン** まあ、心に伝わってくる音楽っていうか…。

**CMJK** またわけのわかんないこといいやがって。このバカ！(笑)

**──だけど、自分のバンドをやりながらイベントを主宰するなんて忙しいね。**

**ピコリン** いやあ。

**CMJK** ピコさん、それはおればっかりが忙しくて、同じ給料もらってるくせ1週間も2週間もスケジュールがなくて家でゴロゴロしている

ピコさんにも何かさせなきゃってことでやらされてるのとはちがうんですか。

**ピコリン** ちがいます。(笑)

**──ところで、小さい頃ってどんな子だった？**

**CMJK** 頭のとんがった子？

**ピコリン** 余計なお世話ですよ。あのう、けっこう1人で絵を書いたりするのが好きな子供だった。あと、工作とか。

**──どんなものを作ってたの？**

**ピコリン** そうですねえ…。お菓子の箱でドラム・セットを作ったりとか。ギターも作った。(笑)

**──スポーツ関係とかは？**

**ピコリン** 小学校の頃は町のソフトボール・チームに入ってて、けっこううまかったんですよ。ショートで3番だったし。

**CMJK** で、そのあとバスケットを始めたんだよな。

**ピコリン** そうです。中学校からずっとバスケ部で。もともと兄貴がバスケやってた影響で始めたんですよ。

**──そうかあ、ピコリンって根は体育会系だったんだ。**

**ピコリン** 性格はちがいますけど。

**CMJK** いや、お前けっこう性格も体育会だ。上の者にはペコペコして、下のやつには「おればさあ」とかエバって。(笑)

**ピコリン** そんなことないですよお。

**CMJK** まあ、エバってはないけど、自分のこと「おれ」って言うじゃん。でもおれとか、年上の人間に対しては「ぼく」だろ。体育会系の習慣でそうなっちゃってるんだよ。

**──それはあるよね。**

**ピコリン** あと、駅伝とかマラソンもやってたんですよ。けっこう何でもやってたな。

**──見直したよ、きょうは。(笑)勉強はどうだった？**

**ピコリン** まあ、そこそこ。

**CMJK** いや、こないだこいつの同級生だった人に聞いたんですけど、かなりいい進学校で成績もよかったそうなんですよ。

**──見直したよ、きょうは。**

**CMJK** でも、たしかにこいつは要領がいいから試験はできそうだけど、意外と常識的なことをわかってなかったりするんですよ。こないだも、「おい、ピコリン、キリストが生まれたのって何年前だ」って聞いたら、「え〜と、相当前ですよね」だって。(笑)このバカ！

**ピコリン** ちがうんですよ。それは、「何年前？」って聞かれたからシャレで「相当前」って。(笑)

**CMJK** 嘘つくな、お前。本当に知らなかったんだろ。じゃあ、アメリカの首都は？

**ピコリン** シカゴ。

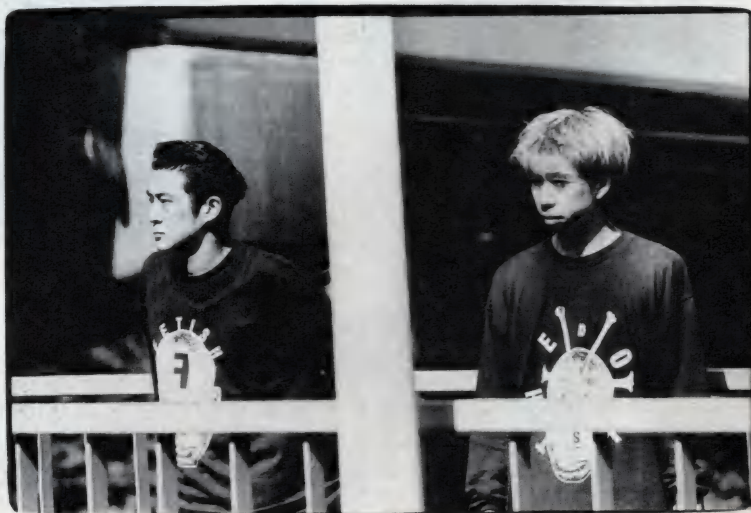
**──はははは、いいコンビだなあ。でも、成績がよくてスポーツ万能、おもしろいことも言うで、そうとうモテたんじゃないの？**

**CMJK** いや、こいつは男にモテたんですよ。バスケ部のユニフォームの短パンって、すごい露出度が高かったらしくて。(笑)これはピコリンから聞いたんですけど。

**ピコリン** いや、そんなこと言ってないですよ。

**CMJK** お前、そう言ったよ。

**ピコリン** 言ってないですよ。

**CMJK** そうかあ。

**ピコリン** あれと勘違いしてないですか。水泳のときの「モッコリ君」。

**CMJK** あ、そうかもしんない。でも、言われてることは変わんないんだから。(笑)

**ピコリン** モッコリ君は男から言われたんじゃないですよ。

**CMJK** なに！ 女につけられたの、そのあだ名。影の名前がモッコリ君！ あはははは。

**──だんだん「新婚さんいらっしゃい」みたいになってきたな。でも、おもしろいからもっと聞こう。(笑)東京に来るときって彼女を置き去りにして出てきたそうじゃん。(笑)**

**CMJK** そうなんですよ、田舎に。でも1か月ぐらいしかつきあってなかったって。な。

**ピコリン** 3月につきあい始めたから、1か月もなかった。(笑)もう、いいじゃないですか。

**CMJK** どんな子？(笑)

**ピコリン** ふつうの子。

**CMJK** 名前は？(笑)

**ピコリン** 忘れました。

**CMJK** 嘘つけ。言え！

**──どこで知り合ったの？(笑)**

**ピコリン** バイトしてたレコード屋さんで。レコード屋っていっても、ファンシーショップや服屋や本屋が一緒になってる店ですけど。

**CMJK** 地元の流行発信基地だよな。(笑)そこでナンパしたのか。

**ピコリン** ナンパじゃないですよ。

**──見直したよ、きょうは。(笑)**

**CMJK** どこでデートしたんだよ。

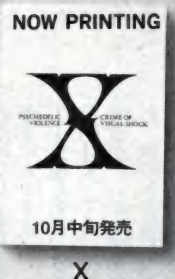
**ピコリン** デートとかそんな…。公園行ったりとかそんなもんで。

**CMJK** 手をつないでか。(笑)どんなこと話してたの？

**ピコリン** ……。

**CMJK** そんな目でおれを見るなよ。これも仕事なんだから。(笑)

**ピコリン** ……。

**──来月は一緒にCMJKを攻撃しよう。(笑)**

# 尾崎 豊 追悼フィルムコンサート

# Artery & Vein

## – OZAKI FILM 625 DAYS –

あまりにも早く伝説となってしまった尾崎豊。その彼が駆け抜けた十代の625日を描く「OZAKI FILM 625 DAYS」....。ファンの熱烈な「OZAKIコール」に応えて上映。新たに35ミリフィルムに再プリントし、映像、音声を大幅にグレードアップ！尾崎の残したメッセージを新たに加え、2時間45分一挙公開！

**[内容]**

- 新宿ルイード初ライブ
- 秋田市文化会館でのライブ
- 日本青年館
- 大阪球場
- 代々木体育館
- その他

## SCHEDULE

| 日付 | 会場 | 問い合わせ |
|---|---|---|
| 9月 24日(木) | 八王子市民会館 | ホットスタッフ |
| 25日(金) | 名古屋市民会館 | サンデーフォーク名古屋 |
| 30日(水) | 神奈川県民ホール | ホットスタッフ |
| 10月 3日(土) | 福岡電気ホール | くすミュージック |
| 8日(木) | 熊本市民会館 | くすミュージック |
| 10日(祝) | 名古屋市民会館 | サンデーフォーク名古屋 |
| 11日(日) | 宮崎市民会館 | くすミュージック |
| 11日(日) | 名古屋市民会館 | サンデーフォーク名古屋 |
| 14日(水) | 府中の森芸術劇場どりーむホール | ホットスタッフ |
| 15日(木) | 倉敷市民会館 | 夢番地岡山 |
| 15日(木) | 静岡市民文化会館 | サンデーフォーク静岡 |
| 17日(土) | 茨城県民文化センター | フリップサイド宇都宮 |
| 18日(日) | 香川県県民ホール | 夢番地岡山 |
| 18日(日) | 佐賀市文化会館 | くすミュージック |
| 21日(水) | 仙台サンプラザホール | G.I.P |
| 24日(土) | 久留米市石橋文化ホール | くすミュージック |
| 26日(月) | 大宮市民会館 | フリップサイド宇都宮 |
| 26日(月) | 大阪厚生年金会館 | 夢番地大阪 |
| 27日(火) | 大阪厚生年金会館 | 夢番地大阪 |
| 27日(火) | 岩手県民会館 | G.I.P |
| 29日(木) | 青森市文化会館 | コルクボード |
| 31日(土) | グリーンホール相模大野 | ホットスタッフ |
| 11月 3日(祝) | 磐田市民文化会館 | サンデフォーク静岡 |
| 4日(水) | 鹿児島県文化センター | くすミュージック |
| 5日(木) | 藤沢市民会館 | ホットスタッフ |
| 5日(木) | 大分文化会館 | くすミュージック |
| 11日(水) | 栃木県総合文化センター | フリップサイド宇都宮 |
| 11日(水) | 神戸文化ホール | 夢番地大阪 |
| 11日(水) | 長崎市公会堂 | くすミュージック |
| 14日(土) | 松山市民会館 | 夢番地広島 |
| 16日(月) | 徳島郷土文化会館 | 夢番地岡山 |
| 17日(火) | 和歌山市民会館 | 夢番地大阪 |
| 18日(水) | 静岡市民文化会館 | サンデーフォーク静岡 |
| 19日(木) | 広島厚生年金会館 | 夢番地広島 |
| 23日(祝) | 徳山市文化会館 | 夢番地広島 |
| 23日(祝) | 九州厚生年金会館 | くすミュージック |
| 24日(火) | 島根県民会館 | 夢番地岡山 |
| 27日(金) | 前橋市民文化センター | フリップサイド宇都宮 |
| 29日(日) | 高知県民文化ホール(グリーン) | 夢番地岡山 |
| 12月 1日(火) | 福山市民会館 | 夢番地広島 |
| 1日(火) | 秋田県民会館 | G.I.P |
| 2日(水) | 山形県民会館 | G.I.P |
| 3日(木) | 郡山市民文化センター | G.I.P |
| 5日(土) | 姫路市民会館 | 夢番地岡山 |
| 11日(金) | 岡山市民会館 | 夢番地岡山 |
| 12日(土) | 京都会館第一ホール | 夢番地大阪 |
| 14日(月) | 旭川市民文化会館 | ウエス |
| 15日(火) | 室蘭市文化センター | ウエス |
| 17日(木) | 札幌市民会館 | ウエス |
| 21日(月) | 北見市民会館 | ウエス |
| 22日(火) | 釧路市民文化会館 | ウエス |
| 23日(祝) | 福井市文化会館 | サウンドアーティスト |
| 24日(木) | 帯広市民文化ホール | ウエス |
| 25日(金) | 石川厚生年金会館 | サウンドアーティスト |
| 26日(土) | 函館市民会館 | ウエス |
| 26日(土) | 沼津市民文化センター | サンデーフォーク静岡 |
| 26日(土) | 新潟市公会堂 | サウンドアーティスト |

[問い合わせ先] ウエス 011-613-9000／G. I. P 022-222-9999／コルクボード 0177-35-9999／ホットスタッフ 03-3857-9999／フリップサイド宇都宮 0286-33-1009／サンデーフォーク静岡 054-284-9999／サンデーフォーク名古屋 052-320-9100／夢番地大阪 06-341-3525／夢番地岡山 0862-31-3531／夢番地広島 082-249-3571／くすミュージック 092-791-0999／サウンドアーティスト 0762-91-7800

※当日会場にてメモリアルグッズを販売致します。

企画：アイソトープ／制作：ドライブミュージック、コスモミュージック／後援：ソニーミュージックエンターテインメント／協力：Edge Of Street YUTAKA OZAKI OFFICIAL FAN CLUB

# To Be Continued

## [懐しきわが学園祭よ!!]

●今年の秋はトゥビコン学園祭に初登場!! ということで前号に続き、彼らの学生時代[学園祭編]をお届けしたいと思います。いやみなさん意外に地味な……しかし共学の佐藤さんはやはりオイシイ思いを…していますねっ。

PHOTO●NAOTO OHKAWA　COPY●YUKO NOHJI　STYLING●YOSHIKO KOSATO (ARISAKA STYLING OFFICE)　HAIR&MAKE-UP●JUNKO SASAKI

芸術の秋、食欲の秋、勉強の秋、男女交際の秋……。というわけで、To Be Continuedの秋は学園祭ライブにも登場中のTo Be。今月は3人それぞれの学祭にまつわる思い出などを。

**後藤**「学祭で、佐藤くんがいちばん思い出に残っているのは?」

**佐藤**「いきなりフラないでよ。(笑)うーんと、高校のときかなぁ」

**後藤**「好きなコと何かあったの?」

**佐藤**「また、そういう話ですかぁ(←先月号を参照のこと)」

**岡田**「エレクトーンを3階まで運んだっていうの、あれ学園祭だよね」

**佐藤**「そうそう、高校のとき。バンドやるのに、家にあったエレクトーンをわざわざ学校まで運んだという。(笑)今になって考えるとすごい話だよね」

——後藤さんの学園祭は?

**後藤**「僕はね、大学のときの学祭がすごかった。ウチの大学はその昔学園紛争というのがあって、その名残がまだ残ってたのね。だから、学園祭でパンタさんとか、アナーキーとか呼んじゃうの。他の学校だと、わりとニューミュージックっぽい人とかアイドルっぽい人を呼ぶじゃない? それがもう、異様に盛り上がる。面白かったけど、華やかさには欠けてたかもしんない(笑)」

——岡田さんは?

**岡田**「僕も大学のときがいちばん面白かったかな。あ、高校も面白かったな。仮装行列をやるんですよ、みんなで街中歩いたりして1等を決めるの。で、"戦国時代"っていうのをクラスでやったんです。みんなでお城とかデッカイの作って、馬も作って、ヨロイとかも着て。結果は2等だったんだけど、けっこうよくできててね。地元の子供会の会長さんか何かやってる人に、お城を譲ってくれって言われて。売れたんですよ、お城が(笑)」

**佐藤**「そのお金、どうしたの?」

**岡田**「みんなでヒレカツ食べに行きました。やー、おいしかったですね。ヒレカツ。思い出しますねー」

——学園祭で、淡い恋の思い出とか。

**後藤**「あるはずなんだけどなー」

**岡田**「うーん」

**後藤**「もう、あの日々のことを忘れてしまっている(笑)」

**岡田**「やはり、そのテの話と言えば佐藤くんでしょう」

**佐藤**「またですかぁ(笑)」

**岡田**「僕なんか、高校は男子校ですからね。女の子も一緒になって、夜通し何かを作ったりという経験がないですから。その点、佐藤くんは共学ですから」

**佐藤**「でも、文化祭のイベント性はさ、共学よりも男子校の方が高いんじゃない?」

**岡田**「うん。女の子たちが学校に来る、唯一の機会ですからね」

**後藤**「男子校の学園祭なんて、行きたいと思わなかったもんなー」

**岡田**「同じく。(笑)でも、僕らの高校はあんまり女の子が来なかった。もうさ、女の子が来てくれるようにって一生懸命に創意工夫するわけじゃない? 大変でしたけど、結果は芳(かんば)しくなかったですね(笑)」

**後藤**「男子校の場合は、女の子が来てくれないと始まりませんからねぇ」

——そうして男子校の男の子たちは、10代の頃から女の子に尽くすことが自然と身についちゃうんですかねぇ。(笑)

**岡田**「そうですッ。そう、絶対にそうだと思う。うーん、悲しいッ!!」

**後藤**「岡田くんが男子校でしょ、オレは共学でも女子は1割でしょ。(笑)やっぱりね、いちばん華やかなのは佐藤くんだよ。オレら、地味だもん」

**岡田**「そう、地味地味地味(←いばってる)」

**後藤**「後夜祭とかやったでしょ? オレなんか男同士でフォークダンスやって、みじめなもんだったけど(←前号参照)」

**岡田**「後夜祭って、なんか寂しいんだよね。お祭りの終わりって感じが」

**後藤**「うんうん、あるよね。独特のムードがさ。後夜祭の歌、書こうかなぁ」

——佐藤さんは、後夜祭で何かありませんでした? あったでしょ、あったでしょ?

**佐藤**「ああ、手紙とかもらいましたけど」

**岡田**「………さらりと言うな(←くやしがっている)」

**佐藤**「バンドとか、やるじゃん。前につきあってた子が、それ見て手紙くれたり」

——"ステキでした"とか?

**佐藤**「うん」

**岡田**「………共学はいいな」

**後藤**「オレだって、バンドやってたけど。"なんだコイツら?"で終わりだよ」

**佐藤**「どういうバンド?」

**後藤**「3人編成で、アコースティック・ギターと、タイコと、オレがフルート(笑)」

**岡田**「それ、編成に問題があったんじゃないのかなぁ?」

「バンドやってたけど…… 3人編成で、アコースティックギターと、タイコと、オレがフルート(笑)」(後藤)

★〈トゥビコン情報〉▼ただ今彼らは学園祭ライブ真っ最中! 10月9日:鹿児島短期大学、10月11日:早稲田大学、11月3日:東海大学、に3人が登場します。お問い合わせはオフィシャルファンクラブ「TBC-50300」☎03(3341)333-まで。▼12月には中野サンプラザを初めとする、クリスマスツアーも決定!! 詳しくは173ページのコンサートスケジュールをご覧下さい。★〈お詫びと訂正〉▼先月号のトゥビコンの記事中、佐藤さんと後藤さんの分の本文が入れかわっていました。お詫びするとともに訂正させていただきます。(編集部)

# LONDON DAYS M-age

●M-ageのロンドンレコーディング速報をお届けします。もちろんロンドン最新PHOTO。どんなアルバムになったのかな？

PHOTO●KAZUHIRO KITAOKA　COPY●EIICHI YOSHIMURA

「おれ、個人的には、こんどのアルバムってすごくいいと思ってるんですよ。いまね、ほんとにいい感じなんですよお」

とは、MIYO-KENの言葉。

おお、かつてマゾ・エイジ（©吉村栄二）とまで呼ばれた、自虐バンドがなんという変わりよう。

M-ageがロンドンにきて、いまちょうど一月。

彼らが滞在するフラットとホテルはチズウィックというところで、ロンドンであることは変わらないのだが、まあ、東京でいえば三多摩地区のようなところで、はっきりいって中心部から遠い。夜も寂しければ遊ぶところもない。

「おれら、もう、全然遊びにいってませんもん。来た最初っていうのはまだそれでも時間的な余裕がちょっとあって、買い物に行ったりコンサートを見に行ったりもしたんだけど、近ごろはずっとスタジオ」（KAJIWARA）という彼らにとっては、滞在場所が賑やかであろうとなかろうとどうでもいいことかもしれない。

しかし、

「でも、ロンドンっていいですね。なんとなく落ち着けるというか」とのPEAHの言葉に代表されるように、このロンドン・レコーディングは彼らにとって大きなプラスになったようだ。レコーディング開始当初こそエンジニアとの相性の悪さが表面化し録音が気分的にも物理的にも難航したそうだが、エンジニアをスチュアートというオジサンに変えてからうまくいくようになったという。

「とにかくアイデアが豊富というか、テクニック的にすごいことをやってるんじゃないんでしょうけど、ヘンなことをやるんですよ。日本でだったら絶対に考えられないようなことを。たとえば、ギターの音にしても、エフェクターを使うんじゃなしに、ワウ・ペダルだけでヘンな音を出してみたり」（MIYO-KEN）

その他、性格もいいそうだ。

「ノリがいいんですよ。ちょっとOKAZAKIタイプ。（笑）」（KAJIWARA）

歳がそう離れていないせいもあるのだろう。

「ただし外見はすごい老けてて、歳を聞いたときには笑っちゃったけど」（OKAZAKI）

このエンジニアと、EMFのプロデュースもつとめたという有能なプロジューサーに囲まれたM-ageの新譜は、ハッキリいってすごい。

この原稿を書いている時点ではまだ最終的なミックス・ダウンは終わっていないし歌入れがまだの曲すらある。それでいてすごいと書いてしまうのは無責任なようだが、実際、いい。どの曲もポップながら、重くてうるさい味付けがなされている。ヴォーカルはもちろん日本語だが、これまでのM-AGEの曲に顕著だった、メロディー・ラインの邦楽ロック的な印象が希薄だ。

とにかくロンドン・レコーディングの結果、M-AGEのなにかが確実に変わった。これまであったどこかひ弱なところが消えてきている。

「こっちに来る前は希望を感じさせる歌と、絶望の歌の対比っていうのをやりたかったんですけど、落ち着いたらなんか、急に前向きな気持ちになっちゃって。（笑）とにかくいままでだったらちょっと青臭くて恥ずかしいなって言葉をどんどん使って歌詞ができてる」（KOICHIRO）

アレンジが変更されて収録される「サムデイ・クローズ・ユア・アイズ」他一曲のほかは、まだタイトルも決まっていない曲群だが、メンバー全員が作曲をしている。

彼らの話を総合すると、今回のアルバムはとにかく自分たちのやりたいように、曲にも詞にも妥協せず自由に作ったアルバムだということである。

「とにかくいろいろあったけど、ロンドンに来てほんとうによかったと思う。すごく楽しみにしてたし、空港に一歩降り立ったときのあの感動ってのが、うまく雰囲気として残ってるんじゃないかな。今度のアルバムでは」（MIYO-KEN）

彼らは九月の終わり、日本への帰途につく。ニュー・アルバムとともに。

# C-LOVE KOME KOME CLUB

●今年も残すところあと3か月となりました。ガクゼンとする事実ですが、実はこの3か月、かなりおいしいのだ。今月はまだ発表できないことがたくさんある、ということだけお伝えしておこうと思う。まず、今月の情報をば発信しよう。

PHOTO by SHIN YAMAGISI/KENJI TSUKAGOSHI

# Merry Merry X'mas!! from KOMEKOME C-LOVE

## 米米CLUB初のクリスマス・アルバム 『聖米夜(せいまいや)』 が 12月10日に発売。

石井竜也氏が書き下ろす絵本とハンカチが付いた特別仕様のこのアルバム。完全限定生産のため、売り切れた時点で廃盤になる。……迷ってる暇はない。今年のクリスマスは米米をBGMに、それとも誰かにプレゼントする?

[収録曲] ❶ありがとうの星
❷Christmas Honeymoon
❸ORION
❹ガラスの月
❺夜はおシャレに
❻ごきげんよう! PARTY NIGHT
❼WITH YOU
❽スノー・ボール
❾PRAYER
❿しあわせになれ

## PATi▸PATi▸STYLE へ向けての大募集♥

### その1

恒例のパチ▸パチ スタイルが今年も出る。
そこで今年は皆さんからのベスト10を募集して発表したいと思います。はがきに次の項目にふさわしい米米の曲を1曲書いて、送ってください。
A.ライブで絶対に聴きたい曲
B.テレビで歌ってみてほしい曲
C.恋人とふたりで聴きたい曲
D.個人的な思い出がオーバーラップしてしまう曲
E.一番好きな曲

### その2

同じくパチ▸パチ スタイルで、メンバーに皆さんからの質問に答えて戴こうと思います。
普段から気になっていること、この際聞いてみたいことなどどんどん送ってきてください。
[お願いと宛先]
その1とその2は、別々のはがきに書いてくださいまし。
宛先は、〒102 東京都千代田区五番町6-2
ソニー・マガジンズ パチ▸パチ"米米CLUBに直撃"係
(10月末日までに到着するように出してね)

# N

AD PROJECT &
K2C PRESENTS

VISUAL ENTERTAINMENT MAGAZINE
vol.2 1992 AUTUMN ISSUE

## VISUAL ENTERTAINMENT MAGAZINE PART.2

●VISUAL ENTERTAINMENT MAGAZINE、1年ぶりの第2号"N"マガジン、9月26日に堂々発売となりました。米米CLUBの34ページ最新特写を始め、人気シリーズ世界幻想紀行、ジェームス小野田の顔面アート・パフォーマンス、そして石井竜也の誌上作品個展、そしてカールスモーキー石井の豪華対談、異色の新人アーティスト発掘、エッセイ、イラストレーション、取り揃えての、この充実した内容！ ハッキリ言って、普通の雑誌では絶対できない"N"マガジンだからこそのこのラインナップ。米米CLUBがここまでやるのは"N"マガジンだけ。本屋さんでシッカリ買っておくれ。第1号"E"マガジンも絶賛発売中だ。(A4判変形・2000円)

**NOW ON SALE**

A4判変形
オールカラー156ページ
定価2000円(税込)

Sony Magazines inc

N

| ●書店（番線）印 | ●注文伝票（注文は書店で） | | |
|---|---|---|---|
| | **K2C『N』MAGAZINE** | | ●定価2000円(税込) |
| | ●住所 | | ●TEL |
| | ●お名前 | ●年齢 | ●職業 |
| 書籍扱い | 〒102 東京都千代田区五番町6-2 TEL 03-3234-5811 株式会社ソニー・マガジンズ | | |

# KYOSUKE HIMURO

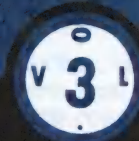
## N.Y

## 7つめの鐘を鳴らせ!

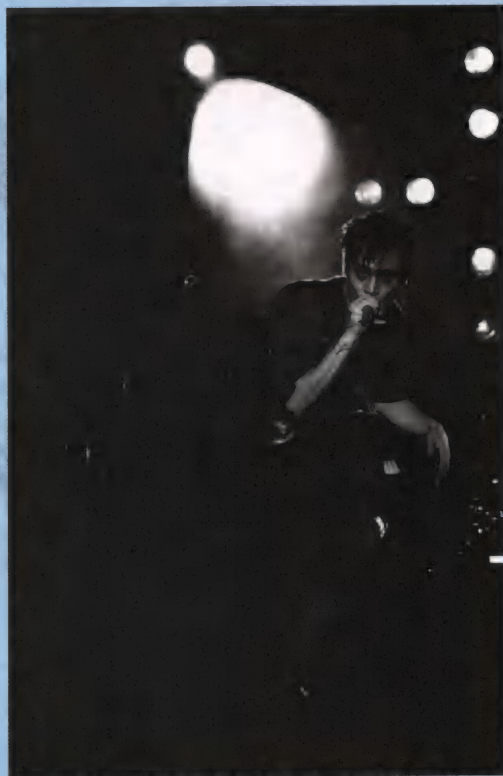
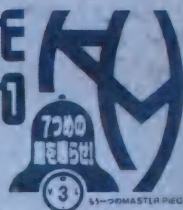
VOL.3

TVモニターで彼と会える!!　長い間途絶えていた彼の声が2枚のシングルとなって届けられる日も近い。この号を君が読む頃、彼はN.Yのスタジオにいる。アルバムも間近か!?

文●紺待人　協力●KING SWING

連載第3回

# SCENE 1990
# BIRTH OF LOVERS

●'90年初頭、「NEO FASCIO」ツアーを終えた彼は、そのアンコール・ツアーを行うことを決意する。4月3日に東京ドームを終えてからは、次の音を創造する為にバンドのライブ感を重視し、数々のオムニバス・イベントに参加。この彼の'90年の活動は、着実に翌年リリースされることになる『HIGHER SELF』へ向かっていたのだ。

KYOSUKE HIMURO
7つめの鐘を鳴らせ!
3
もう一つのMASTER PIECE

'90年7月7日「GOLDEN AGE OF R&R」でのステージ。夜の野音に登場した彼はとてもスリリングだった。

2000年まで、あと10年とカウントされた年——「1990年」。

テレビでは、様々な特集が組まれ、世紀末への予言、過去の確認と人類と未来についてのグラビアがヘッドラインを数限りなく飾りたてていた。

気が遠くなるほどのレンジで地球上、もしくは宇宙との関わりをひもとくと、様々な出来事には、それぞれの周期が認められ、ただし、その周期の果てに起こるであろう予言は、そのほとんどを不吉な事実へと結びつけてしまう傾向がすべての媒体の露出に共通していた。

地震・不況・火山爆発・彗星・環境破壊・戦争そして破滅——。

ノストラダムスにしても、又、科学的歴史的見地から見ても、確かに不吉な符号は様々なデータや事実から認められ、その事がひとつひとつ現実に変わってしまっても何の不思議もないような解説がそれぞれのストーリーには、バッグボーンとしてあった。

宇宙モノの映画は、すでに地球上に飛来している地球外生物をアメリカがいよいよ世界に公開する為のシュミレーションとして、利用されているという説（「E・T」や「未知との遭遇」は、確かにそう言われればって気もするし——）。

そして、その上映による人々の反応と、それから友好ムードを形成した後、それでも実はその宇宙人は、人類を破滅させてしまうだろうというストーリー……。

どれをとってみても、それらひとつひとつの話には信憑性を感じるし、発表される情報には何かの策略や嘘が見え隠れしているようにも思える。

ファッション・メーカーがTシャツやジャケットにデザインしてプリントした「1990」。

バンドや歌手が、楽曲のタイトルとした「1990」。

けれども、事実としての1990年は日本中のそんな予言者のストーリーを尻目に、ヨーロッパで、中国で、そして、この地球上で現実に起こっている事さえ、そんなストーリーのひとつとして錯覚させてしまうようなメディアとして個人個人の眼前にひろがっていた。

予測ではない、たった今の現実。

ここから始まろうとしている未来へのひとりひとりの責任や存在さえも、まるで、物語であるかのように——。

1989年にスタートさせた『NEO FASCIO』ツアーのアンコール・ステージを氷室は考えていた。

会場は、いずれの街においてもSOLD OUTし、ダフ屋と中に入れないオーディエンスが、まったく別の目的を持って会場のまわりにたむろしていた。

バンド解散後、初めて訪れた街もあった。ほとんどが男女半々で埋めつくされた客席には、あきらかにBOØWYを知らないジェネレーションも認められ、その年齢層の幅広さと男女比はあきらかにバンド時代とは異なっていた。

アンコール・ツアーは、'90年の2月26日をそのスタートとし、4月3日の東京ドームでのラストまでの間で7か所、そのすべての会場を体育館とした。4月3日には、フィルムによるムービーの撮影とVTRのパッケージ化を予定した。

——伝えたいことがどう伝わってゆくのか——

自ら設定したテーマ『NEO FASCIO』の行方に、氷室はステージにおいて一喜一憂していた。

振り上げた拳も、それから止まらない腰のダンスも、彼と共にどの街においても、再現され、ロック・コンサートとしてのクオリティは、客席の盛り上がりという点ではまったく問題点はないように思えた。

けれども、氷室京介、そしてバンドの内側のステージの上でのテンションの浮き沈みは、今までのどのツアーよりも日によって激しく、一定になかなか定まることがなかった。

『NEO FASCIO』は、音楽を仕事としてやっている人間として、みんなに何を伝えられるだろうということで選んだひとつの道なんだけど。例えば、天安門にしても俺なりに感じたことがあって、そのことで共鳴できたら、もう死ぬほど嬉しいなって。

正直言って、きつい部分もあることなんて、最初から分かってることなんだけど、作品を通じて皆が何かを考えてくれる……、醒めた言い方しちゃえば、もうそこまで、それまでのことかも知れないけれど、どうせ音楽やっていくんなら、もう一歩先まで行きたいって考えてみたいんだよね……。

聴いている人にそれぞれの人間性っていうのを、世界がどう動いているとかいうことだけじゃなく、それに対して何かを感じる自分を創ってもらう・見つけてもらう。このアルバムは、何かやみくもにそんなことだけを考えて創った作品のような気がする。

例え、自分自身の内に自己矛盾が生まれたとしてもね、今のこの感情にストレートに行こうって——」

作品完成直後に彼はこうコメントし、TOURへとむかった。

伝える側の苦悩。

ロックンロールとコンセプトの狭間の中で、彼はオーディエンスの振り上げた拳の行く先を憂いたのかも知れないし、しみついたバンドマンとしてのビート感と、SP』EEDとの間に起こる微妙なズレにほぞを噛んだのかも知れない。

ただ楽しいこと、ストレートに明るくなること、故に短命でしぼむしかなかったバンド・ブームの明るいビートが蔓延していくなかで、彼の魂はさらに本当のロックンロールを求めていた。

技術の問題ではなかった。

上手さという点では、確実に今まで彼が知っているバンドのなかでも三本の指に入るかも知れない。

スタジオ・ミュージックを支える彼らに、氷室は、もっともっとスタジオから出てきてほしかったし、譜面の確実な再現ではない、生き様の息づかいをステージの上で試してほしかった。

「こんなもんじゃないぜ」

例え、一本でもそう感じることの許せない彼はバンドとミーティングを持つ。

けれども、もはやそれは言葉でかたづける問題ではなく、又、そのことをメンバー達も分かりすぎるほど分かっていた。

彼らは優秀なミュージシャンである。

音楽を創る上で進行するスタジオ・ワークにおいては誰もが一流の者ばかりである。

けれども、氷室がここで求めたモノは、そこでのNo.1ではなかった。

予定調和をはみ出した、譜面とコンセプトを再現することを飛び超える為のライブ・グループであった。

彼はアンコール・ツアーを決意する。

コンセプトの為にも、それからの自分達の為にも、そして、それから見ることのできなかったオーディエンスの為にも、とにか

くもっと追い込まれたところから、自分を取り囲むすべてに向けて、自分らしいジャッジメントを貫くべきだと、ここでも判断する。

SPEEDは、彼の背中を飛び超える為にリハーサルを続けた。

「NEO FASCIO」はまるで生き物のように、彼とバンドと、そして客席を支配する。

1990年
1月10、11、12日　渋谷公会堂
1月17、18日　日本武道館

この2か所のファイナルをうけて、2月26日からアリーナでのTOURがスタートした。

2月26日　福岡国際センター
3月9日　広島サンプラザ
3月14日　大阪城ホール
3月19日　月寒グリーンドーム
3月21日　岩手産業文化センター
3月28日　名古屋市総合体育館
4月3日　東京ドーム

伝えたモノの行方を確認できないジレンマはやがて、ロックンロール・ミュージックの宿命として、彼をポジティブなマインドへと変えた。

たとえ、何をテーマにしようと、伝えきった満足感から先に、責任は持てないということ。

オーディエンスの満足感が、その先、そのことをどんなきっかけにしていくかということにおいて、きっかけたりえることがまず大切だということに、彼は確実に気付く。

より完璧な創造と再現を繰り返すとき、自分がまず自分らしく居続けること。

彼は音楽に殉じていくことを再び確認する。

「常に悩んでジレンマに陥っている自分が、だからこそパーフェクト。

自分はいったい何だろうと考えることが仮にいちミュージシャンとして不完全だとしても、人間としてはパーフェクトに近づいているような気がする。

例えば、10年前の自分が、今の自分を見たら、嫌なヤツって思うかも知れないけれども、それを分かった上で、やるべきことはコレなんだと――今、そのことをやらないと後悔するぞってね。たぶん、そういう自分にとっての最大の観客はきっと自分自身に違いないと思うから――」

「NEO FASCIO」は彼にとってのきっかけに、素晴らしい着地点を用意していた。

故にドームでのコンサートを撮影したフィルムの編集には、考えられないほどの時間を要した。

本編でやってきたTOURをどれだけ、このVTRが受けてたてるか。

彼にとっても、すでにこのTOURは、ひどく大切なモノになっていたから、映像においての忠実な再現には、これもナーバスになることは当然のことといえた。

彼にとっては2本目の、そして初めてのコンセプシャルな作品でもあるわけだから。

バンドからソロへ。

まるで運命のように用意された「NEO FASCIO」。その呪縛から解き放たれたとき、彼は確実に氷室京介を手に入れていた。

アーティストとしての宿命と十字架を、その双肩は抱えこみ、次なるステージに向けて、ゆっくりと新しい歯車を噛み合わせ始める。

1990年の3分の1は、こうして暮れ、'91年へと向けて、彼は、以降のステージ活動をイベントというカタチで始動する。

テーマは、バンドでのレコーディングに向けての、よりタフなスタイルの模索にあったけれども、今までのキャリアのなかで、力を借りてきたシーンへの、それは恩返しのような感のあるスケジュールだった。

●7月7日
日比谷野外音楽堂での「GOLDEN AGE OF ROCK'N ROLL」。

このイベントは新宿のパワーステーションと2元同時進行し、その模様をTVKが収録、TVKでのON AIRとなった。解散後、BOØWYのメンバーが参加するバンドとの初共演。野音でのオープニングをDe+LAXがつとめた。

●8月6日

真駒内陸上競技場でのJTイベント。

これはソロ一年目、地元群馬で嵐の中、進行し、同じ汗と雨にまみれたスタッフの企画したステージ。

このスタッフによるイベントには、彼は翌年も参加することとなる。

●8月12日
仙台での「ROCK'N ROLLオリンピック」。

シークレットで駆けつけた彼は、夕暮れの近づく時間に。むしろイベントとしてのトリを盛り上げるかのように参加。

まだまだBOØWYという名前が世に知れ渡る前から参加してきた、このイベントに、彼らしいやり方で花を添える。

●10月7日
前橋グリーンドームでの「GREAT DOUBLE BOOKING」。

言わずと知れた彼の地元の、このできあがったばかりの一万人収容大会場こけら落としに、彼は後輩でもあるBUCK-TICKに声をかけ、プロデュース。

10月6日にBUCK-TICK、そして彼のバースディでもある10月7日を氷室京介とし、地元の主催するイベントを成功に導く。

決して立地条件のよくないこの会場に2日間で2万人近いオーディエンスが足を運ぶ。BUCK-TICKとそのオフィスと共に、このイベントのポスターを古くからある群馬の「上毛かるた」の㋿というパー

'90年10月7日、彼の誕生日を記念して、前橋グリーンドームで行なわれた「GREAT DOUBLE BOOKING」。前日はB－Tのライブ。

'90年8月6日、仙台SUGOサーキットで行なわれた「R&R OLYMPIC」での氷室京介のステージ。

## 今、やらないと後悔するぞ。
## たぶん、自分にとっての、
## 最大の観客は自分自身に違いないから

トをビジュアルに使う徹底ぶりを見せつけた。

この一地方の風土をもり込んだ日本画風のかるた『ら』は、あっという間に全国に知れ渡るところとなるが、画面いっぱいに雷が空を舞う力強いビジュアルの、このかるたの文句が「雷とからっ風　義理人情」であることを知ると、誰もがニヤリとせずにはいれなかった。

●10月27日

代々木体育館におけるARB　LAST　CONCERT。

彼は新宿LOFTでARBを初めて見る。自らのバンドのビジョンも定まらなかった頃、ARBのそのGIGは、彼の内で、自らのビジョンを組み立てるうえで、最も重要なヒトコマとなる。

それは意識相手というよりも、当時は、憧れであったに違いない。

あまり他のミュージシャンとつるむことをしなかった彼も、唯一、後輩という自らのポジションも含め、ボーカルの石橋凌氏とは友好を深めていく。

シンガーとしての悩みを、誰にも打ちあけなかった苦悩を、氷室は、彼にだけは話した夜の事も否定はしない。

飛び入りも、セッションもパブリックな場所で公式に一度も立った事のなかった氷室も、この夜だけは違った。

電話を受けた彼が、ARBのステージに愛用のMICK（マイク）と共に立ったのは言うまでもない。

ARB最後のステージで、彼はその石橋凌と共に「東京CITYは風だらけ」を歌った。

その日以降、石橋凌は、自らの信念を貫き、一度もステージには立っていない。

そして'90年12月24日に10月7日のステージとソロになってからのプロモーション・ビデオ2本をパッケージした作品「BIRTH　OF　LOVER'S」を限定リリース。そこには、ロックンロール・バンドとして、よりタフになった彼とそれからSPEEDのメンバーが居た。

次の音を創造する為に、オン・ライブをテーマとして、オムニバス・イベントを制した彼らのGIGが1万人のオーディエンスとダンスしていた。

'91年の『HIGHER　SELF』へ向けて、確実に準備が整っていくなか、カップリングとしてリリースされた、オーディエンスのフェイバリット・ソングともなる「LOVER'S　DAY」が街のなかに溢れ始めていた。

雨にけむる
DOWN　TOWN　ROAD
はまりすぎの　LOVE　SONG
色あせた記憶に
また心がつまづくよ

抱き合って眠ってた
終わらない夢を見た
やさしさとぬくもり　重ね合って

oh　my　lover's　day
今も胸に残る
あどけない仕草に…
oh　my　lover's　day
もうあれ程誰かを
大切に想う事
二度とはないだろう…

遠回りの　MY　LIFE
いつもそばに君がいた
ただ微笑むだけの
優しさが痛かった

あの季節の中で
二人がみた夢は
止めたはずの時間と
傾いた　MOON

oh　my　lover's　day
もしも君が同じ
気持ちでいるとしたら…
oh　my　lover's　day
又　あの日の二人に
戻ることができたなら
二度と離さない……

「LOVER'S　DAY」

## 次の音を創造する為に、オン・ライブをテーマとしてオムニバス・イベントを制した

KYOSUKE HIMURO

7つめの鐘を鳴らせ! 3

# ジュンスカ変貌説の真相を追う!!

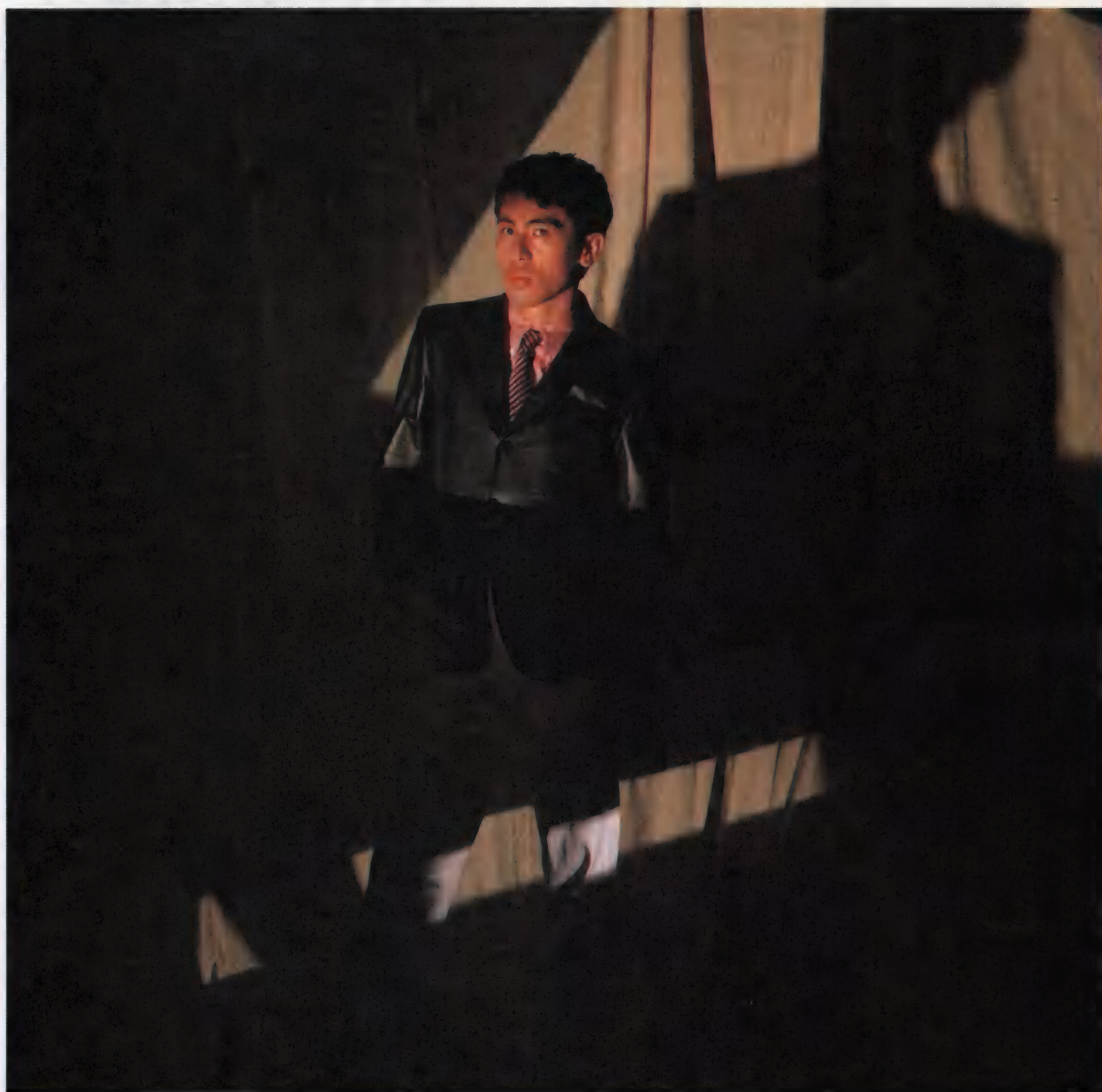
●最近の彼らのビジュアル等を見て〝ジュンスカは変わった〟と思っている人は少なくない。10月21日発売のシングル「メッセージ」を聞いて〝やっぱり変わった〟と考える人も少なくないだろう。でも本当に彼らは変わったのだろうか？　呼人くんにはシングルのこと、純太くんには最近の多様な挑戦ぶりについて、和弥くんにはラブソング、小林くんにはその変わらなさ(!?)と各々テーマを定め、真相を追ってみた。

撮影●おおくぼひさこ　文●森田恭子　スタイリング●小里幸子（有坂スタイリングオフィス）　ヘアメイク●横原義雄　衣裳協力●Time is on☎03(3464)8121、ＪＢスタイル☎03(5410)1096、ギャラモンド☎03(3405)6554

# JUN SKY WALKER(S)

# 寺岡呼人からの〝メッセージ〟

## でも変わらなきゃいけないと思う、僕は。

# JUN SKY WALKER(S)

ジュンスカイウォーカーズは果たして変わったのだろうか。いきなりこんな疑問を投げかけるのも変であるが、彼らのニュー・シングル「メッセージ」を聞けば、そんなクエスチョン・マークが頭をよぎる人も少なくないだろうという予想をもとに、まずはその作曲者、寺岡呼人のインタビューをお届けしよう。

——この曲は、いつ頃作ったんですか？

「いつもね、夏休みの宿題も期末試験も全部そうだったんですけど、ギリギリにならないとやらないんですよ」

——そうじゃないと力が発揮できない人もいますよね。

「だが。（笑）要するに、いつもだったらレコーディングの合宿が始まってもまだ曲を作ってるというのが今までのパターンだったの。でも合宿までに全部書いてた。しかも〝寺田〟で書いた曲が7曲あったんですけど、それも一切使わず」

——それをシングルにするようなことはせず、（笑）その後もどんどん書けたということですね。その理由は何でしょう。

「なんかね、家にいると何もできなくて、テレビ見ちゃったり寝ちゃったりして。でも今回は、敢えてピアノの前に自分を座らせて、鍵盤の上に指を置く、と。で、できなかったら、まぁいいや、みたいな。そうやってたら、自然に曲ができたんですよ。「メッセージ」はたしか、いちばん最初にできたんじゃなかったかな。ビートとメロディーが一緒に出てきたって感じ」

——寺田とか個人レベルのものと、ジュンスカの曲とでは作るときに分けて考える？

「僕なりに軽く、ね」

——和弥君が歌うということを設定して作るということ？

「ていうかね、僕の基本にあるのは、誰でも歌える、覚えやすい曲っていうことなんですよ。だから、こういう曲を歌ってもらいたいなっていうことかな、逆に言うと」

——和弥君に？

「ウン。そう」

——でも、誰でも歌える、覚えやすい曲っていうと、逆にオリジナリティがなくなるような気がしませんか？

「でも、宮田君自体が充分オリジナリティを持ってるから、敢えてそういう歌を彼が歌うことに意味があると思う。僕が好きなのは、なんか思い出せないんだけど懐しいメロディーとか、小っちゃい頃聞いたことあるかなとか、実はそういうことはないんだけど、そう思わせるような、曲と声と音のバランスが全部でそうなるのが僕の理想なんです」

——「メッセージ」ができあがった感じを聞いてみて、どうですか？

「わりと……理想的な形にできましたね」

——今までにないタイプの曲をやることによって、かえってジュンスカの特徴を引き出すことにもなるような気がするけど。

「この曲に関して何本か取材してきて、違うんじゃないかとか、軽くなったんじゃないかとか言われるんですけど、僕としては〝してやったり〟で。今まで聞いてくれた人には〝あれ？〟って思ってもらってもいいし、でもこの人たちのためだけに歌を作ってるわけじゃないし、多くの人に聞いてもらいたいなっていう気持ちが強いから。それで本当に変わったのかどうか、変わって本当にそれを自分たちのものにしたのか、それを全部飲み込んで自分たちの音にできたのかっていうのは、それは俺らのやることであって。だから挑戦って、いうのは、どんどんやった方がいいと思ってるんです」

——今日はマジメですねぇ。（笑）

「いつもマジメですよっ（笑）」

——じゃ、アルバムの方もけっこうバラエティーに富んだ曲調が聞けるんですか？

「ウン。だからけっこうこのシングルの延長みたいな曲とかも入ってますね」

——ジュンスカは変わったんでしょうか。

「どうなんでしょう。その答えが出るのはやっぱり、今度のツアーが終わってからじゃないかな。やっぱり前のツアーのビデオとか見てて思ったのは、次のツアーでこれと同じステージをやってたら、もう嫌だと思ったんですよ。今、自分たちのやってるアルバムはすごく前向きな姿勢で作ったから、よけいにそう思ったんじゃないかな。次のツアーが終わってビデオとか見たときに、その結果が出ればいいんだけど。でも変わらなきゃいけないと思う、僕は。自分を覆う殻はどんどん破って、どんどん脱皮していかないと。目に見えないものがいちばん大きいんだから」

——今度のアルバム、楽しみですね。

「もう、ラブソングばっかり。書けて書けてしょうがないの。——ウッソ（笑）」

# 森 純太のどこまでやるの!?

## 自分なりの基礎固めができたって自信があるから

JUN SKY WALKER(S)

ある日テレビを見ていたら、信じられない光景がそこにあった。音楽だけでなく、ビジュアルやパブリシティーにも絶大なこだわりを持つことにかけては、私の知っているミュージシャンの中でも5本の指には入るだろうという人が、テレビ番組で、早食い競争をしていたのだ。プールでは競泳、スタジオではクイズ、ときには体力測定ゲームにまで果敢に挑戦している。あっ、あれはっ、本当に森純太なのだろうかっ!?

——フッ切れたんですかね。（笑）

「ま、早い話、自分なりのこの世界での位置なり、自分なりの基礎固めができたっていう自信があるからじゃないかな。また昔よりは他人からどう見られてるかっていうのも、より理解したつもりだし。だからだいぶ変わってきたんですね、個人的にもね。明るくなってきたっていうか（笑）」

——イメージ的には、リーダーでもあるし、〝俺がしっかりしなくちゃ〟っていう気迫と緊張感に満ち溢れてたんですけど。

「それは今でもありますけど。でも、みんなと同じにバカやれたら楽しいから」

——前も実はやりたかった？

「前は、バカみたいだと思ってた（笑）」

——今は楽しい？

「楽しいですね」

——全然、抵抗感はなく。

「ほとんどないかな。自然に、いろんな意味で変わってきたというか。いい方向にやってきたから。だから前から裏表がないように公の場でもしてたのは、今も変わらないし。だから今は酒の席だけではずるいので、（笑）公の場でもいろいろやって、普段はこういう人なんです、って見せてる」

——でも、普段のそういうくだけた部分を見せてると、ステージで見せるりりしさとのギャップがますます大きくなりますね。やっぱりステージは神聖な場所ですか？

「っていうか、本当に好きな、聞きたかった音楽を自分で作って、演奏してるわけですから、何もいらないって感じですね。これだけあればいいや、っていう。だから神聖っていうほど大げさじゃないけど」

——むしろ当たり前？

「当たり前じゃないんですけど。（笑）中毒みたいなもんじゃないかな、ステージは。音楽自体もそうだけど。だから実際にいちばんやるべきことの音楽の基盤が自分なりにできてるから、あとは喜んで何やってもいいし、ってとこでしょうね」

——そうですよね。よーくわかりました。じゃ、これからも企画によってはいろんなことをやるわけですか。

「やりますよ（キッパリ）」

——やってみたい企画はありますか？

「次は、もうちょっとマニアックなイントロ当てクイズとか。あとは、ねるとん」

——ねるとんバンドマン大会？

「バンドマンと……」

——アイドルの？

「じゃなくて、ソロシンガーの。（笑）鈴木彩子ちゃんとか、KIX・Sとか。……冗談です（笑）」

——問題発言。（笑）

「半分冗談です」

——これからも、純太君のいろんな側面を見せていただきたいものですが。で、今回の新曲の話なんですけど、「メッセージ」については、どんな感想をお持ちですか？

「聞きやすくていいですね」

——あの曲を聞いて、ジュンスカが変わったと思う人もいると思うんですけど。

「ああ……。ま、たまにはそういうのもやらないと。別に全部そういう曲をやってるわけじゃないから。どれ、ちょっと結果を見てみたい、というような」

——カップリングされてる「夏の日の午後」は、小林君と一緒に作った曲ですね。

「そうです」

——これも、いい曲ですね。

「いい曲です。アルバムには入らないんですけど」

——アルバムはどんな感じになりそうですか？ 予告してください。

「ポップな感じですね。俺らなりのポップ。プロデューサーの佐久間さんの協力を得て、最大限にポップにしてみた。今までは結局やってるようでやってなかったからね。それもまた結果を見てみたいですね。力作に聞こえるんじゃないかな（笑）」

——ずいぶん客観的な言い方ですね。

「いえいえ。（笑）すごくプロデューサーが入ってよかったんですけど、彼が入ってる分、そういう言い方になっちゃう」

——でもプロデューサーがいることによって、今まで自分自身で気づかなかった力や才能を引き出せることってありますよね。

「もちろん。いろいろわかりましたね」

# 宮田和弥の声がなくなるまで…

## 純粋なラブソングの力……僕はそれを信じてる

# JUN SKY WALKER(S)

さて、近頃話題のこの人の登場だ。しかし世間が騒ぐほど、彼は何も変わっていない。話し好きで、好奇心旺盛で、やさしくて、椅子にあぐらをかいて座っている。

——いろいろと大変ですね。

「変わらないっすよ、俺は。何事も自分中心な人間だから。だから彼女も、それからメンバーもそうだけど、つまり僕を支えてくれる柱だったりするわけですよ。たぶん目に見えない安心感であったり、力になっていたりするんだろうけど、僕は気がついていないし、また気がついたことを、いちいち表現したりしないですよ。だからあまり、変わらないな」

——ウン、変わってないみたい。(笑)ラブソングを歌う気持ちも変わらない？

「もし、僕が誰かのために歌うとしたら、その人の前で1回だけ歌えば満足なんだよね。だけど僕はそうじゃない。そういう恋の気持ちを、いろんな場所でいろんな人たちに、いつも違う形で、どっか自分への言い聞かせとして歌ってると思うんですよね。常に自分へ向けてのラブソングであり、聞いてくれてるみんなへのメッセージなんだと思う」

——ジュンスカのボーカリストとしての意識は、やっぱりプライベートな出来事とは関係ないということですね。

「『声がなくなるまで』を出した頃、川崎のソープランド嬢の人から手紙が来たんですよ。自分は結婚して上京してきたんだけど、ダンナと別れちゃって、子供を育てながらソープランドで働いてるって。そこで愛のないセックスを1日に何回もして、すごく気持ち悪くなっちゃう、そういう精神状態のときに『声がなくなるまで』が有線で流れてきたのを聞いて、愛する気持ちを取り戻すことができた、っていう手紙だったんだけど、これが純粋なラブソングの力であり、僕はそれを信じてる。誰が誰とどうしたとかいう次元じゃなくて、もっと越えたところで、僕の歌が通じたからこそ、そういう手紙が来たんだと思う。そういう理解のされ方がいちばん嬉しいんだよね。俺個人のどうのこうのまで勘繰って聞いてもらったら、その時点でラブソングじゃないから。僕は歌を伝えるためにジュンスカイウォーカーズを組んで歌を歌ってるわけだから。だからきれいごとだと思うかもしれないけど、僕はその部分で勝負をしていたいし、みんなもそういう気持ちで僕たちのアルバムを聞いてもらいたいね」

——なるほど。正しい見解だと思います。

「もうね、何やっても結び付けられて考えられるからね。(笑)次のアルバムもそう思われるんだろうけど。それを気にしてたら僕もダサイですけどね」

——まぁ、もうちょっとほとぼりが冷めるまで待つしかない、と。

「でも、僕は一生、センセーショナルな恋をしていたいと思いますしね(笑)」

——(笑)気持ち的にはそうでしょうね。

「例えばファンの人がその歌を歌ってる人に疑似恋愛の気持ちを抱くというのも、僕はすごくよくわかるんですよ。それを壊したくないっていうのも非常によくわかる。だから、僕もそういうことに関しては悩んだ。僕の歌にどっぷり浸って聞いてほしいのに、僕のプライベートなことによってそれが少しでも消されてしまうんだとしたら、すごく悔しいからね。僕はファンの人たちが本当に好きですしね。……僕は愛してるという言葉をはかないんですよ。ジュンスカの俺の書いた歌詞の中に"愛してる"ってないでしょ。大好きっていう言葉は未来があるけど、愛してるっていうのは終わりが見える。だからそういう意味でファンの人は大好きですしね。これからも変わらずラブソングを歌い続けていたいなと思いますので、よろしくお願いします。……でもこんなことを言うと、また守りに入ってるとか言われるのかな(笑)」

——でも、新曲「メッセージ」では歌い方が変わってましたね。

「そう。俺の歌い方っていうのは、入口はシャウト気味に入って、出口はビブラートで出るっていう歌い方。それもいいんだけど、自己満足になるのはマズイなと思ったわけ。で、入口もジャストな音で入って、出口もジャストで出る。例えば♪タ〜タ〜、タタタ〜(←前の歌い方と今回の歌い方と両方をやってみせる)ねっ？ だから今回は僕のひとつの挑戦ですね。自分の自己満足の芽を摘むことによって、もっと新しい、生命力のある芽がそこには出るはずだから。それは自然体ということとは違うのかもしれないけど、自然体を自分でコントロールできる力がなければ、やっぱり持続は不可能だから」

# 小林雅之は全部このままだ!!

## 欲求というより、本当に自然に出てきたと思う

JUN SKY WALKER(S)

寺岡呼人が作ったシングル曲でジュンスカは変わったと評価され、森純太の最近の動向もそれを裏付けるものとなり、宮田和弥に至っては変貌の原因をしつこく究明される日々が続いている。……さて。

小林雅之の場合はどうであろうか。デビュー当時に会ったときと、今と、まったく変わらないそのふてぶてしい表情は、妙な安らぎを与えてくれるのだが。

——でも、……なんか太りましたね!?

「かもしれないです。(笑)夏はちょっと痩せてたんで、いい気になって食べまくってたんですよ。ちゃんと寝てると痩せるんです。不摂生して、酒飲んだり寝不足したりすると太っちゃうんですよ」

——小林君が変わったというと、太ったことぐらいかな、って。あんまり学生時代から変わっていないという噂ですけど。

「わかんないですねぇ。あんまり変わろうと思ったこともないですけど。いや、成長はしたいなと思ってますよ。でも気づくとわざとそういうふうにしたりするんですよ」

——そういうふうに、って?

「例えば、早寝早起きをしようとかって、たまに思うんですよ。それはなんでかっていうと、太ったりとか、気分的に疲れているときとかに、わざと規則正しく生活しようと思って2〜3日やるんだけど、やっぱりこんなことする必要ないな、って。自分がやりたいようにやって太ったんだからしようがない、っていう。それはただ欲望を叶えてるだけなんだけど、(笑)そういうふうに思うことはありますよ。わざと、アマノジャクなことをしたりしますね」

——でもそういうことをすることによって気分が新鮮になることも。

「バカじゃねーの、と思うんですけどね、最終的には。結局なすがまま(笑)」

——バンドとしては、変わったという実感はありますか?

「まぁ、作曲する欲求が起きたとか」

——小林君自身が。あの「夏の日の午後」はいい曲ですね。

「ありがとうございます。でも宮田のキーじゃなかったらしいです。そこまではまだちょっとわからないですね」

——その欲求はどうして出てきたの?

「欲求というより、本当に自然に出てきたと思うんですけど。だから作れと言われても作れないし、僕は。ただ、ここ何年か他の人のライブに行ったりとか、そういう人と話す機会がすごく増えたりとかして、それを刺激として活用させていただいてる形じゃないかなと思ったりもしますけどね。まぁ、(あの曲は)寝てたら浮かんできたっていうだけのことですけど。……かっこいいな、こう言うと(笑)」

——じゃ、自然にできた曲なんですね。

「呼人からギターを買ったんですよ。リッケンバッカー・モデルのやつを。それで寝る前とかに酔っぱらってフトンに横になって弾いたりしてるんですけど、よく。そういうときにパッと浮かんで。だから、俺も曲を作ってやるぜ、なんて、そんなの全然みじんも思ってないですよ」

——でもこれからも作ってみたいでしょ。

「それは、いいなと思えばやりますけど」

——アルバムはどんな感じなんですか?

「まぁ、一緒じゃないのかな、結局は。上辺だけ聞けばずいぶん変わってるかもしれないけど、いつもと一緒で、『START』のときの「留守番電話(に君の声を)」を人がそういうふうに言ったのと同じで、アレンジ面で佐久間さんが入ったことは大きい影響があったけど、全体的には、あんまり変わったとは思わないです。最初はちょっと思ったけど、聞いてるうちに全然、そんなことは思わなくなってきて」

——それと、小林君は、また大阪でも単独でライブをやったんですよね。

「取材に来なかったですね(笑)」

——そんな話があったの?

「僕は別に"寺田"を表紙にしたとか、そういうことは言ってませんから。あちこちで言ってませんから(笑)」

——(笑)でもそれも刺激になって。

「それは思いますね。絶対に。すごく楽しかった。あのバンドでもツアーやりたい」

——ボーカリストとして?

「そうです。一緒にやってくれた人がどう思ってくれたか知らないけども、自分が好きな人じゃないと一緒にはできないし、また違うバンドのよさがすごくわかった。そういう方がいいですよね? いろいろあった方が。レコーディングの合間のライブだったけど、すごい楽しかった。ジュンスカに帰ってきても、みんなの"どうだった?"って言葉にホッとしたり、"さぁ、やろう"って気持ちになったりしましたね」

ロッテンハッツ

ROTTEN HATS

# SEA LOVES YOU!

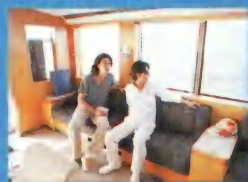
●2号連続で、写真が“海”な感じでスマンね。これじゃあ、ロッテンハッツの歌を聞いたことがないお方にとっては、チューブorサザン系のバンドに見えちまう。一応、彼らのデビュー・アルバムのタイトル『SUNSHINE』にちなんだつもりなんだが──でも、今月の“海”は、海は海でも、みんなと一緒の特別な海。

撮影●塚越健治 文●福岡久美子 協力●シーコムクルーズ

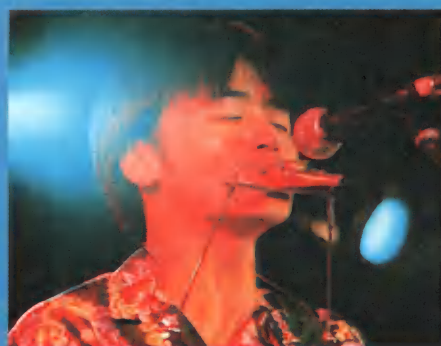
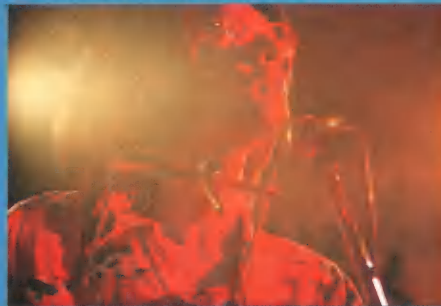
TONIGHT LIVE
PATI PATI PRESENTS
☆SEA LOVES YOU☆
ROTTEN HATS

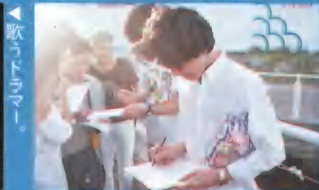
**SEA LOVES YOU!**

**1992·8·25 IN YOKOHAMA**

▲特製ビデオも上映。

▲くつろぐ同級生。

▲ムリヤリしゃべらされるシラキケンイチ。

▲高い声出す時の、コイツのこの顔ったらっ。

▲なぜか、本日、超人気者のナカモリさん。

▲実は、この人、案外ひとみしりしなかったの。

◀歌うドラマー。

▲なかなかお別れできず。

▲船までは遠かった!?

▲うまるカタヨセ。

▲キヨシ・オン・ステージ。

▲ちょっち、コワイかもね。

▲上船直後、既に青い。

# [加藤君、浪人中。ぜひ頑張って(ロッテンハッツより)]

**夏がくーれば思い出すぅ、毎年このテーマで原稿を書いてたことを～ぅおぅおぅ。と、あまりの字余り状態に、いったい何の替え歌なのかわからない人、または替え歌だったということにすら気付かずにいた人……、いろんな人がいることでしょう。さぁ、みなさんお元気ですか。夏を総決算し、思い出を語る初秋の季節。ロッテンハッツにとって、今年の夏はどんなシーズンだったのか、どのように過ごしていたのか。その、気になるところを、例によってメンバーのおしゃべりそのままを活かすカタチでお届けしましょう。**

**取材は渋谷クアトロのイベント・ライブに彼らが出演した日に。リハーサルを終えた本番前の時間、クアトロ近くの静かな静かなコーヒー専門店にはマシロさんの笑い声が天高く響き渡り、あまりの可笑しさにクツクツ震えるおなかを抱え、シーッと我が身を静止しながらの取材。ロッテンハッツと話す時はやはり場所柄を吟味しないと。思いっきり笑えないとフラストレーションたまるもんね。**

**——今年の夏は?**

**キヨシ** イベントですね、やっぱり。

**マシロ** 4本だっけ、全部で。

**カタヨセ** 地方3本、東京3本の6本じゃなかったっけ。

**ケンイチ** いや、でも大阪で1回やってるから……。

**——わからなくなっちゃった?**

**キヨシ** まぁ。(笑)ま、イベントの場合はだいたい20分くらいの持ち時間でまわってましたね。いろんな人達と共演できて、楽しかった。

**カタヨセ** 富山ではオリジナル・ラブいたしね。

**コグレ** スカパラと一緒になれたのが嬉しかったです。

**マシロ** 私は個人的にも、スカパラとゴンチチで夏中楽しんでしまいました。

**カタヨセ** それで今スカパラ中毒なんでしょ。

**マシロ** そう、スカパラ中毒。

**キヨシ** スカパラとはもうマブダチですから。(笑)

**カタヨセ** っていうか、(笑)いいアニキ達だよね。オレ達はいい弟達って感じで。(笑)

**マシロ** あとデ・ラルスを観れたのが良かった。

**——どこで一緒だったんですか?**

**マシロ** NKホール。

**——すごく大きいとこだ。**

**キヨシ** とにかく舞台がデカイ。野球でもしようかと思っちゃった。

**カタヨセ** でも今年の夏はアッという間に終わっちゃったね。遊びが少なかったのがちょっと悔やまれる。

**——海好きのカタヨセ君としては。**

**カタヨセ** たまらなくて、朝いちで海行って昼過ぎには帰って来たってこともあったな。イベント先には必ず水着持って行ってたんだけど、海があっても岩場で泳げないし。

**——プールは行かなかったんですか?**

**キヨシ** プールはコグレ。

**マシロ** そうそう、プールならコグレ。ひとりで行っちゃってさぁ。

**——泳ぎが好きなんですか?**

**コグレ** あ、まぁ、ちょっとだけ。

**キヨシ** 水死体のフリすんのがうまいの。(笑)

**マシロ** スルメのようにプカプカ浮いてたりして。(笑)

**コグレ** でもオレ、だってアレだよ、平泳ぎのコグレって呼ばれてたんだよ。

**マシロ** どこで。

**キヨシ** 誰に。

**コグレ** 小学校ん時に……。

**マシロ** はいはい。(笑)

**ケンイチ** でも今年はみんなイベント灼けしたね。

**カタヨセ** イベント灼けしたよー。

**ナカモリ** 野外はホントに暑かった。久しぶりに、夏は暑いんだってこと実感した。

**キヨシ** オレも。去年まではデザイナーしてたから、真っ昼間は外に出なかったもん。

**マシロ** でも楽しかったね。私達が出るのはたいていいちばん最初だから、後はずーっと遊んでいられて。寝っころがってさ、ビール飲んだりヤキトリ食べたり。

**キヨシ** 食べまくってたのはキミだけでしょ。(笑)

**カタヨセ** タダでライブ観られるのはイイ。

**マシロ** 後楽園(東京の遊園地)ではジェットコースターにも乗った。私とナカモリさんとコグレとで盛り上がってたらさ、ほら、

**ナカモリ** そうそう、オレ達リハーサルに遅れちゃって。あの時はマイッタ。

**マシロ** 一応リハの時間を気にしながら、でもまだ大丈夫と思って乗ったのね。で、そのコースターってちょうどライブ会場の上を通るわけ。私達、ウォーとか言いながら通ったら、会場でカタヨセが怒った顔して「リハだっー」って。(笑)

**ナカモリ** マズイ～って感じ。それまでの楽しさが吹っ飛んだ。もう早く降りたくて降りたくて。

**マシロ** カタヨセ、手を振っても振り返してくれないの。(笑)

**——みんな遊園地モノは好きなんですか?**

**ケンイチ** いや、だめな人もいるよ。

**マシロ** 最近のは結構コワイからねぇ。

**——でもジェットコースターって、ほとんど無事故なんですってね。**

**ナカモリ** 不思議だな。あんなの、事故起きてもしょうがないってもんだと思うけど。

**マシロ** 私が乗ったのなんて、落ちようと思えば落ちられる。

**ケンイチ** 誰も落ちようとは思わないけどね。

**ナカモリ** だけど、あの遊園地の日は暑かったねぇ。今年最高の気温。

**マシロ** 私なんて日射病になったもん。あんなに暑い経験は生まれて初めて。

**ケンイチ** でも、ツアー中にコグレが倒れるんじゃないかと思ってたら、コグレじゃなくてキヨシだったね。

**コグレ** 僕は大丈夫だったス。

**キヨシ** オレ大阪で熱出て、ホテルでひとりで大変だった。ずっと寝て

# 「今年の夏はアッという間に終わっちゃったね」

ました。
**カタヨセ**　キヨシ、バタンキュー。
**キヨシ**　冷房にやられたんだよ。カタヨセとかは普段から気を付けてコントロールしてるけど、オレは絶対大丈夫って自分を過信してたんだよね。クーラー、ガンガンで夜寝たら、次の日の朝寒くってさ。すごい熱出た。
**マシロ**　1日中寝てたもんね、あの日。
**キヨシ**　みんなオレのこと置いて遊びに行っちゃって。
**ナカモリ**　違うよー。電話したら、ほっといてくれって言うから。
**キヨシ**　まーね。次の日ライブだったし、とにかく治さなきゃいけないし、寝るしかないから。熱高くて、寒くてさ。でも着替えそんなに持ってないじゃん、長袖もないし。だからTシャツとかGパンとかみんな来て、腕にもTシャツ巻いて。
**カタヨセ**　あははは、サバイバルじゃん！
**キヨシ**　大変だったんだぜ。なのにカタヨセはさ。
**カタヨセ**　そうそう。夜中、スカパラの人達と飲んでて酔っ払って、みんなもキヨシを呼べって言うから電話したんだよね。そしたらキヨシ…
**キヨシ**「マジで言ってんのかよぉ」って。（笑）
**カタヨセ**　オレ、それでも「いいから来いよ」とか言っちゃって。（笑）
**マシロ**　カタヨセは酔っ払うと子供みたいになっちゃうの。
**ケンイチ**　子供みたいなんだけど、酒臭い。（笑）
**キヨシ**　まぁ、でもおかげさまで次の日には元気になりました。
——エライ。
**カタヨセ**　だけどキヨシがいなかった夜は静かで良かったよ。
**マシロ**　そうそう静かだった。（笑）
**ナカモリ**　次の日イキナリ治って、うるせーの。前の日の分まで騒いじゃって。オレなんて移動の時隣に座ったもんだから、うるさくってさ。
**マシロ**　キヨシってね、みんなが寝てると、自分でつまんないもんだから寝マネして騒ぐの。ガーガーとかスヤスヤピーとか大きな声で言うんだから、子供だよね。で、うるさくて誰かが目を覚ますと、嬉しそうにニヤッとするの。（笑）
——なんだか話を聞いてると、楽しい夏だったって感じですね。
**マシロ**　そうですかねぇ。（笑）
——あと、パチ▼パチのイベントもありましたよね。
**マシロ**　あれは面白かったよね。
**キヨシ**　ああいう感じのイベントって今までやったことないし、これからもないかも知れないって思うくらい、めずらしい経験だった。

ここで少し解説を。8月25日横浜にて行われたパチ▼パチ・プレゼンツのイベント『ロッテンハッツと船に乗ろう』は猛暑の中、楽しく無事に終了。ライブを観た後にクルージング、という前代未聞の催しは盛況の内に、そして船酔い人数10人未満の内に終えることができました。来てくれた人、ありがとう。

その日、横浜の老舗ホテルの隣にある、これまた年代もんの雰囲気漂うライブハウス〝ジェルガーデン〟に集合。まずはライブで盛り上がり。終了後、暑くてちょっと大変だったけど、みんな列をなして埠頭まで移動。いよいよ白い船での湾内クルージングを実現。船の中ではビデオを見たり、全員参加のゲーム大会に興じたりして、前々から船酔いに恐れをなしていたナカモリさんもなんとか無事安泰に過ごすことができたと、そういうわけなのでした。

**マシロ**　何人くらい来てくれたのかなぁ。
**編担**　200人近かったと思います。
**キヨシ**　すごいよね。あんなに来てくれるとは思わなかった。
**ナカモリ**　男がひとりだけ来てくれてね。
**カタヨセ**　そうそう、嬉しかったね、あれは。加藤君。
——名前、ちゃんと覚えてる。
**キヨシ**　加藤君。浪人中。（笑）ぜひ、頑張って欲しい！
（しばし、加藤君にエールを贈る、ロッテンハッツの面々）
**ナカモリ**　でも、ライブは緊張したね。みんなの顔がバッチリ見えちゃうし。
**ケンイチ**　そうそう。ライブハウスなのに、外はまだ明るくって。
**ナカモリ**　イベントだと、客席も遠い、だだっ広い場所でやるじゃない。だからちょっと勝手が違って面白かったな。

とまぁ、とどまるところを知らない感じで話はどこまでも……なのですが、ここでひとつお知らせを。9月21日にデビューアルバム『SUNSHINE』をリリースしたばかりの彼ら。今度は11月1日に「オールウェイズ」をシングルリリースすることになりました。そしてなんとカップリング曲「STAY」がTBS系で10月16日から始まる金曜夜9時のドラマ「ホームワーク」の挿入歌に使われることとなりましたー。
**キヨシ**　誰が出るドラマなんだっけ。
**マシロ**　唐沢寿明。あと、清水美砂、福山雅治。ねぇ私達も、どっかで演奏するシーンとかで出たいね。
**キヨシ**　そんなのねーよ。昔のドラマじゃないんだから。
**カタヨセ**「茜ちゃんのお弁当」には横浜銀蝿出てた。「時間ですよ」にはかまやつひろし出てた。（笑）
**ケンイチ**　カタヨセがギター持って流しの役っていうのはどお？（笑）

どこまでも盛り上げてくれるロッテンハッツのみんなでありますが、この日はライブ前ということもあって、実は、ちょっと緊張もしてたみたい。
「ライブの前っていつも、なんかこう、胸のあたりがキューッときてる」というカタヨセ君の言葉が印象に残ってます。
彼らにとって9月12日のクアトロライブは、この夏最後のライブであり、そしてアマチュア最後のライブでもありました。

# ロッテンハッツから
# X'mas for you
## [“SEA LOVES YOU”に続く第2弾]

### 初の全国ツアーに
### PATi▶PATi読者を無料御招待

**コンサート日程（一応予定）**

| | |
|---|---|
| 12月14日 | 札幌ペニーレイン21 |
| 12月17日 | 仙台ビーブベースメントシアター |
| 12月20日 | 福岡ビブレホール |
| 12月21日 | 広島ウィズワンダーランド |
| 12月23日 | 京都磔磔 |
| 12月24日 | 名古屋ハートランドスタジオ |

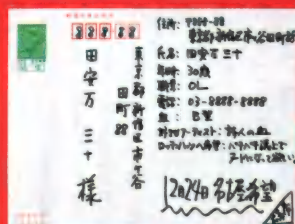
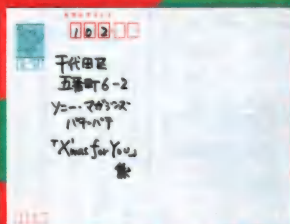
●前のページをご欄になるとおわかりのように、ロッテンハッツ㊗デビューっちゅーことで、お船を借りて、ドンチャンしてきましたっ。ワシらばっかり楽しんじゃってゴメンね。で、だ。やっぱり、関東地方の人だけぢゃなくて、みんなに会いたいねってコトで、遂に全国ツアーに出かけることにしました。やっぱり九州や北海道の方からも、たくさんCDの感想を手紙でいただいたりして、ホントにうれしかったんだ。今度こそ、あなたのその瞳で、ナカモリさんの若づくりぶりを確認してねっ！

**応　募　方　法**

●入場は無料ですが、当日会場までは自費で集合してくださいませ。
●開演は、各会場とも17時30分。21時には解散の予定です。高校生以下の方は、保護者の方に、ひと言相談してください。
●１枚の招待状で２名参加できます。
●各会場とも200名ずつ御招待できる予定ですので、今月号の応募券で応募された方は、来月は応募しなくても平気です。
●応募は往復ハガキで、㊟の白い面（裏面）に、あなたの〒住所・氏名・年齢・職業・電話番号・血液型・ロッテンハッツ以外に好きなアーティスト（1組）・ロッテンハッツに希望すること、そして希望会場名を書いて、右下の応募券を貼ってください。㊙の表面に、返信用のあなたの〒住所・氏名を必ず記入してください。(必ず“様”をつけてください)
●あて先は、〒102　千代田区五番町6-2　ソニー・マガジンズ　パチ▶パチ　ロッテンハッツ「X'mas for you」係まで。
●しめきりは、各開催日の２週間前まで。(たとえば札幌ペニーレイン希望の場合は11月30日しめきり）消印有効です。
●オメデトウ・ゴメンナサイ、両方の方に、１週間前までに返信します。

表

裏

ロッテンハッツ
応募券⑪
X'mas for you

# 大人の恋教えます。

●「次のアルバムは少し大人めのラブソング」〜取材テーマを思案中の(編)がキャッチしたこの情報。そうだ、以前尻すぼみに終わってしまった"愛について"の続編として、ニューアルバムの予告編として、今月のテーマは『大人の恋』よ!! 写真もシックにキメて…と今月は"アダルト"を意識してみるつもりでしたが……!?

Photographs:Shinji Hosono　Copy:Kyoko Morita　Hair&Make-up:Miyuki Watanabe

# Mr.Children

# この人たちのどこが〝大人っぽい〟のか、今月はとうとう迷宮に……本領はやはり音の中？

ミスター・チルドレン愛を語るパート2である。〝ちょっと大人の恋の話を……〟という編集キワキからの要望。この話は必ずや彼らの次回作を予感させるはずだと、彼女は確信しているのだ。では、〝こんな話は男が公の場でするものではないっ！〟と怒られそうなアノ人の許可を得た上でインタビューを始めよう。いいですか、田原君。〝ハイ〟という小さな声はもはや〝しょうがないでしょう〟と聞こえてくる。

——好きな女の子のタイプは？（←遠慮した態度を見せつついきなり図々しい質問）

田原「フフッ（←鼻で笑う）」

鈴木「美人でセクシー、だろ（笑）」

田原「聞かれたときはそう答えるように決めてます（笑）」

——田原君のアイドルは誰？

田原「興味ないんです、あんまり」

——テレビに出てる人って興味ないんだ

田原「そんなことないですよ、女優とか。俺、いしだあゆみとか好きですよ」

鈴木「シブいなぁ」

桜井「シブすぎるなぁ（笑）」

田原「演技とか、いいなと思うんですよ」

——ああ、女優として。

田原「そうそう」

鈴木「ひねくれてますね」

——そういう鈴木君の〝タイプ〟は？

鈴木「容姿だけを言うと、目がクリッとしてて、ナイス・バディーの人。（笑）でもその人なりの雰囲気があれば。昔は浅香唯が好きで、最近は一色紗英とか。女優の竹井みどりが好きなんですよ。いっぱいいるなあ、好きな女優は」

——許容範囲が広いんですね？

鈴木「基準があやふやだから。僕の場合。だから飲み屋とか照明が暗い所だったらこの人きれいだなとかすぐ思う（笑）」

桜井「バカ言ってるよ」

鈴木「あー、マズイ（笑）」

——生々しい発言でしたねぇ。（笑）

桜井「やだなぁー」

——じゃ、桜井君は？

桜井「僕を好きな人ですね」

——自分を好きになってくれる人？

桜井「そうそう」

——じゃ、片想いはしないってこと？

桜井「初めから無理だと思うと、それで好きにならないみたい」

——ズルイですねぇー。（笑）CHARAさんとはその後、どうですか？（←某雑誌で念願の対談を果たしたのだった）

桜井「全然デース！（笑）」

——他に好きなタイプは？

桜井「ルックルックのアナウンサー、米森麻美さん」

鈴木「俺も好き、あの人」

桜井「CHARAさんは、才能もふっくるめて好きなんだけど」

鈴木「ふっくるめて？ ひっくるめてだろ」

桜井「そう。（笑）だから、自分の彼女にしたいとは思わない。大変だと思うもん」

中川「赤くなってる（笑）」

——自分の手に負えなさそうな人はダメで、言うことを聞いてくれる人がいいんだ。

桜井「ハイ（笑）」

——では、中川君は？

中川「自分の理想のタイプと、実際に好きになる人には、けっこうギャップが。理想は頭の回転の速い人が好きですね」

——初めて内面的な話が出ましたね。（笑）

鈴木「でも本当は、（中川は）厚化粧でヒトクセありそうな人が好きなんだよ」

中川「好きになっちゃうのはね（笑）」

鈴木「キビシー」

中川「キビシー。（笑）いや、一緒に遊んでて楽しいとか、話してて楽しければ。それで結局は、自分を好きになってくれる人がいいんじゃないかな」

——そういう考え方ありますか、田原君も。

田原「あ、きたー（笑）」

鈴木「でもそれはあるよね」

田原「好きになってくれる人は好きですよ」

——皆さん、ずいぶん受け身ですね。

中川「でも、好きになってもらおうと思って、自分がよく思われるようにするわけじゃないですか。だから口では言わないけど態度では表してる」

——向こうから言わせるの？

中川「それはいろいろですよ（笑）」

桜井「でもあんまり〝好きだ〟って言わないでしょ。言わないで、今度どっか2人で行こうよ、とか言って、だんだん……」

鈴木「それで向こうも気づいたりするし」

——自然のなりゆきにまかせるわけですね。そういう話はメンバー同士でするの？

中川「隠します（笑）」

桜井「そういう話はしないですね」

——あのコ、いいとは思わない？ とかも？

鈴木「そういうのは毎日言ってる」

中川「移動中とかね」

——田原君も言うの？

鈴木「言わない。ムッツリなんですよ」

中川「胸の中にしまうタイプ（笑）」

——では、そういうことを踏まえつつ、次のアルバムのことも聞きたいんですけど、やっぱりラブソングが多いんですか？

桜井「そうですね。どラブソングばっかり。意識してなかったけど、結果的にそうなっちゃいましたね」

——この前より、大人っぽい雰囲気だという噂を耳にしましたけど。

桜井「そうですね。音のイメージもそうだし、歌詞も」

中川「大人っぽいっていう一言では表せないと思うんですけど」

桜井「成長した。（笑）アレンジとかも、小林（武史）さんが前回よりももっと深くバンドに介入してるんで、そういうところもあると思います」

——全体的な雰囲気は、自分たちではどんなふうに感じていますか？

桜井「もっと幅広くやってる感じですね。前作はアコースティックな部分が前面に出てたと思うんですけど、それが今回は1曲1曲、アレンジとかサウンド・スタイルが変化してきてると思う。ストレートだけじゃなくて、変化球も投げるという」

鈴木「敬遠もする。（笑）だからまた違ったバランス感覚があると思いますけどね」

田原「音だけ聞いてると、都会の洗練された感じの曲が何曲かあって……」

桜井「音だけ聞いてると？」

鈴木「ということは、ボーカルが入るとどうなるんだ？（笑）」

田原「（笑）でも歌詞に1つ、ハッとしたものがあってですね、意外だと思いました。こんなこと言っちゃうかな、っていう」

中川「お楽しみに、ということで」

鈴木「手応えあり、です」

桜井「釣りの新聞みたいだな（笑）」

アルバムの話は、次回にもっと詳しくお届けすることとして。

なんだかんだ言いつつも女の子の話になるといやがおうにも盛り上がる。好きなデートのシチュエーションは、田原君は〝人が集まらない場所〟。それに反して桜井君は必殺マニュアル男の異名のとおり、〝ツカミとしてディズニーランド〟。中川君はかわいく〝ついでに映画に行くって感じ〟。鈴木君にいたっては〝名所めぐり〟ときたもんだった。この人たちのどこが〝大人っぽい〟のか、今月はとうとう迷宮に入ってしまった。本領はやはり音の中!?

from left to right▶Nakagawa, Suzuki, Sakurai, Tahara

パチ▸パチ＆パチ▸ロクPRESENT

# Mr.Childrenの
# クリスマスイベント決定!!

★クリスマスへ向けてウォーミング・アップ！

（イベントタイトル未定）

## 12月19日(土)川崎クラブチッタ

◎OPEN→17：00予定
◎START→18：00予定

**スペシャルゲスト呼びまくり!!**

**応募者全員プレゼント、来場者全員プレゼントアリ !!**

▶そうです、クリスマス５日前！　イブ＆クリスマスへ向けてソワソワわくわく期待感が高まり、一番楽しいとき。そんなクリスマス気分をさらにパワーアップ、気分絶好調でそれぞれのクリスマス本番へ突入しよう!!　というイベントが決定しました。▶出演はもちろんミスターチ〜ルドレ〜ン!! キャーッ（←歓声）さらにすてきなゲストの方々もお迎えします。まだそのお名前は秘密ですが、ここでお１人だけ特別発表。そ、その名はＣＨＡＲＡちゃんよー!!　ウヒーッ！（←嬉しい悲鳴）▶内容としては、生ライブ、セッション、そして愉快なトーク・セッションなども計画中。▶残念ながらイベントには行けない…Ɒ　という人も泣くな泣くな。下記の通り応募してくれた人全員にミスターチルドレンのクリスマスカードをプレゼント！　会場に来てくれた人全員にも特別プレゼントあり。▶詳細はパチ▸ロク12月号、パチ▸パチ12月号、パチパチ読本No.10を見て下さい。

Mr.Children

CHARA

［出演］

**Mr.Children**

［ゲスト］

**CHARA**

**㊉まだ秘密の方**

**㊉まだ内緒の方**

（11月30日発売パチパチ読本⑩を見よ）

**㊦チケット購入方法・プレゼント応募方法**

●チケット購入方法

▶このイベントのチケットは、一般プレイガイド・チケットセゾン・チケットぴあで発売されます。▶チケットは3090円。(予価・税込)発売日は11月１日です。▶チケット㊐バッドミュージック☎03(3552)3779［平日13：00〜19：00］

●クリスマスカード応募方法

▶Ⓐあなたのクリスマスの悲惨な思い出と、クリスマスの夢を１つずつ教えて下さい。それを書いた紙に左下の応募券を貼って下さい。Ⓑタテ５cm×ヨコ８cmの白い紙に、あなたの〒住所・氏名(様をつけて)・ＴＥＬ(小さく)を書いて下さい。この紙が送るときの宛名書になります。Ⓒ62円切手を１枚用意して下さい。▶Ⓐ〜Ⓒのものを封筒に入れ、次の宛先までお送り下さい。〒156-91　東京都世田谷区千歳郵便局私書箱25号　㈱ソニー・マガジンズ「ミスチル・クリスマスカード係」▶応募は１人１通でお願いします。▶締切は11月30日必着。▶㊐パチ▸パチ☎03(3234)7906［月〜金　13：00〜18：00］

?
?

応募券
ＰＰ⑪
Mr.Children

# ムードだけですね。2人で車の中で聞くという感じで。

親しみやすいメロディに、誰もが感じたことのある恋のストーリーを乗せて、デビュー以来、数々の素敵なラブソングを生み出してきたMr.Children。その全作詞曲、そしてボーカルを担当している桜井和寿クンは、日常生活でも常に歌っているという、精悍な笑顔の似合う人です。彼が〝好きな女の子にカセットテープを送るとしたら?〟ラインナップはやっぱり、すべてラブソングばかりでした。

——これはどんなふうに選んだんですか?

「やっぱり、自分の好きな曲ですね。みんな〝せつない〟系かもしれないですけど」

——自分たちの曲は入ってないんですね。

「次のアルバムの曲だったらここに入れたいのがあるけど、(今までの曲は)ちょっと違うかな、と」

——まさかいちばん最後に自分の弾き語りを入れるとかいう必殺技は!?

「ああ……ないんですよ(笑)」

——やったことあるでしょ。

「やってないやってない(笑)」

——この、曲順には意味があるんですか?

「いえ、ないです」

——「男が女を愛する時」から始まるけど。

「そこだけは、意味があるかもしれない」

——ストレートですね。(笑)

「はぁ。もう、ムードだけですね。2人で車の中で聞くという感じで。パーシー・スレッジはラジオでこの曲を聞いたんですけど、曲の途中でこの詩を全部読みあげたんですよ、それがすごくいい詩で。それからすっごく好きになって、すぐベスト盤を買いに行きました。自分の親友に止められても、それでも好きだという……そういう詩でしたね、ラジオで聞いたのは」

——「ユーヴ・ガット・ア・フレンド」は?

「去年の寺岡呼人とヒズ・フレンズに参加したときに、坪倉唯子さんがこれを歌ったんですよ。それがすごくよくて。もちろんキャロル・キングのも好きなんだけど、やっぱり女の人に聞かせるということで、ジェームス・テイラーを選びました」

——男性ボーカルを。

「はい。で、クリス・レアの曲は季節柄。(笑) それから『恋のゆくえ』は、ものすごい好きな映画で、そのいちばん最後でこの曲をミシェル・ファイファーが歌ってるんですよ。そんなに歌はうまくないかもしれないんだけど、すごく映画のストーリーとダブって、いいんですよ」

——この曲自体は、ジャズのスタンダード。

「そうです。リンダ・ロンシュタットが歌うこの曲もすごくいいですよ」

——桜井クンはどちらかというと女性ボーカルの方が好きなんですか?

「そうなんですよ」

——コステロは、選曲に苦労しました?

「いえ、これは、こういう歌です、♪♪♪(と、歌う)……で、次は浜省さん。これは有名な曲です。僕もカラオケでよく歌いますけど。(笑)最初、聞いたのは、中学の頃で、『サンド・キャッスル』っていうアルバムのいちばん最後に入ってた曲です。スティングは、もろにジャズ。これはムードで」

——ここがクライマックス?

「(笑)……なんか、せつない曲ばっかりになっちゃったな」

——次はギルバート・オサリバン。

「すっごい好きなんですよ。でもこの曲はラブソングかどうかわからないんですけど。で、このスパイラル・スターケイツっていうのは、これもラジオで聞いていいなと思って探しまくったんだけど、この人のアルバムは日本でCDになってないし、アルバムはあってもすっごくプレミアムがついて高いって言われて、手に入れることはできなかったんだけど、でもこれはわりとヒットした曲らしくて、オムニバス盤に入ってたんです。これは、昨日より今日の方がもっと好きだと歌っていて、1日1日気持ちが好きになれたらいいなぁ、と思って。そしてっ。最後はこれでしょう(笑)」

——意外なラスト・ソング。(笑)

「好きなんですよ、槇原クン。ソングライターとしてすごいなと思う。この歌は、神様、もし僕が彼女といることを当たり前と思ったら、つねってください、っていう歌なんですよー、クサくないですよー、歌になるとクサくないんですってば(笑)」

ツアー中も、みんなで移動する車の中で聞くために自分でテープを編集して持っていくという桜井クン。どんな場所でも、どんなシチュエーションでも、安定したクリアな音のきけるCD'Sが、今後も彼の音楽ライフをさらに充実させてくれることでしょう。

## 桜井和寿の『抱きしめたい』

抱きしめたい / 桜井 和寿

maxell Metal CD's

A
DATE . . TIME
NOISE REDUCTION □ON □OFF

B
DATE . . TIME
NOISE REDUCTION □ON □OFF

| A | B |
|---|---|
| 男が女を愛する時 / パーシー スレッジ | 愛しい人へ / 浜田 省吾 |
| ユーヴ・ガット・ア・フレンド / ジェームス・テーラー | バーボン・ストリートの月 / スティング |
| ドライヴィング・フォー・クリスマス / クリス・レア | ナッシング・ライムド / ギルバート オサリバン |
| マイ・ファニー・バランタイン / ミシェルファイファー | モア・トゥデイ・ザン・イエスタディ / スパイラル・スターケイツ |
| ディープ・ダーク・トゥルースフル・ミラー / エルビス・コステロ | 君は僕の宝物 / 槇原 敬之 |

### ◎プレゼント

①桜井クンの選んだ曲を、CD'Sに録音して10名様に。上のインデックスを切り取って使えば、まるで桜井クンからプレゼントされたみたいだね!! ②Mr.ChildrenのシングルCD〝君がいた夏〟を10名様に。希望する番号を書いて、パチ▶パチ⑪『maxellプレゼント』係まで。

TOMOYASU,hotei

# TOMOYASU, hotei
# 布袋寅泰

してておきたい
の事柄

撮影／植田敦　Atsushi Ueda
インタビュー／金井覚　Satoru Kanai
スタイリング／馬場圭介　Keisuke Baba
ヘアメイク／川野晶子　Shoko Kawano

音楽誌の良心として、読者の皆さんにお知らせしておかなければならない事柄が2つあります。ますひとつめは『GUITARHYTHM Ⅲ』堂々完成──のニュースです。かつてない方法論、色濃いバンド・サウンドの成立が、布袋寅泰をストリートに帰着させました。そしてふたつめは、そのストリートに潜む“WILD”を体現するツアー、その名も“GUITARHYTHM WILD”のスタートです。本年度最大のロックンロール・ショウが皆さんの街で爆発します。本誌では、この2つの話題を中心とした彼の最新インタビューを入手。ここにその全容をお届けします。

# TOMOYASU, hotei

## 其ノ一 GUITARHYTHMⅢ堂々完成。

### ロックンロールにおける基本形態と、WILDという4文字の単語。

スパニッシュでけだるい「MILKBAR PM11:00」から「UPSIDE-DOWN」になるといきなりブリブリの"布袋節"で開始され、それは「MILK BAR AM3:00」に至るまで、全編にアッパーなロックンロールが展開されている。『GUITARHYTHMⅢ』は、今までの布袋寅泰の作品にはなかった、まさにストレート一辺倒のゴリゴリした作品である。

まず、この作品の着想、及び完成するまでに至ったきっかけは、やはり壮大なスケールの世界が展開された『GⅡ』と、そのあとに繰り広げられた"FLY INTO YOUR DREAM"という名のツアーを経た産物であることは相違ないだろう。彼がツアーを行う目的の中には"どれだけ自分を真っ白くできるか"というものがある。つまりバーン・アウト、完全燃焼ってヤツだ。彼はツアーの1ステージごとに、その真っ白くする行為を目指してプレイし、その瞬間に快感を得る。

真っ白になる瞬間——それはステージで披露される楽曲なりフレーズなりの最終的な完成を意味する。「何かね、1曲1曲に羽根を生やしてあげて、上まで飛ばしてあげるっていうカンジかな。自分の曲は子供みたいなものだ、って言うじゃない!? それが飛んで行ったりとかさ、もしくは完全にその曲とかが自分のものになった瞬間のエクスタシーがあるんだよね」～そういった瞬間を前回のツアーで体験し、彼に残った（もしくは得た）ものがバンドというロックンロールにおける基本形態、そして"WILD"という4文字の単語だった。

ツアーをこなしていくうちに、布袋自身の本質の一つ―WILDを再び思い出し、疾走することを『GⅢ』のテーマとした。いや、自然な流れによる結果という方が正しいのかもしれない。かつてないタフネスなパワーを誇るボーカルも、そのツアーを通じた結果として鍛えられて得ることができたもので、また今回のテーマを表現すべく鍛えられ、歌われる必然があるように思える。

そういったレコーディング前の心の遍歴に加え、そのスピード感は車の疾走感になぞらえることができる。事実、今回の各楽曲のテーマの根底には「車に乗っている自分が多くて、そのスピード感が全編にある」という発言もしている。『GⅢ』は、布袋自身のルーツをゴールとした、フルスピードのドライブでもある。

そのハードなドライブのために必要なのが、WILDという3Dグラスだ。これを装着して車を走らせなければ、彼のルーツを見つけることができないのだ。そのために、布袋は夜な夜なWILDを探しに、街に繰り出した。そうやって手に入れた3Dグラスをかけた時にだけ見ることのできた情景が『GⅢ』で展開される曲の数々ということになるのだろう。

さて、布袋が『GⅢ』において、「この4文字にすべてを賭ける」とまで言わしめたWILDとは何なのであろうか。名詞、形容詞によっても解釈が違うこの単語。『GⅢ』において彼が見つけたWILDは「乱暴」とか粗雑な、という意味よりはもっと直訳的な、「野生」だった。そして野生とは「暴れることではなくて、孤独を知ること」という結論にたどり着いたのだ。

先にシングルカットされた「LONELY★WILD」に"涙が出るほど痛いPUNK 聴くたびに信じられる"というフレーズがある。社会を威嚇するため、皮ジャンに埋め込んだ無数のトゲトゲしいビョウをすべて取り払ったときに現れる、皮ジャン本来の姿。そのときに流れるBGMが、かつて彼が愛したリアルなパンクロックなのだろうか。そして、その瞬間に孤独という意味を初めて理解することができるのかもしれない。

さて、『GⅢ』においても超豪華なゲスト陣が参加しているわけだが、そのメンツを深く考えてみると、そこから『GⅢ』の本質が見えてくるような気もする。『GⅢ』においても重要な意味合いを持つのがポップ・アート、そしてその代表的なアーティストであるアンディ・ウォーホール。

「前回のツアー中にアンディをテーマにした曲を作りたいという話をしてたんだけど、そのあとに『GⅢ』のレコーディングを始めて、最終的なマスタリングでNYに行ったときにアンディの個展をやっててさ。だから『GⅢ』は彼に始まって、彼に終わったとも言えるかもしれないよね」——『GⅢ』には「さよならアンディ・ウォーホール」という曲が収録されているが、そこでクリス・スペディングと共演している。

クリスは、布袋自身がコンサートを見始めたときに出会った「そのシルエットが忘れられなかった」思い入れの深いギタリストでもあった。思い入れのあるアーティストをテーマにした曲で、かつて彼があこがれたギタリストとギター・バトルを展開する、そんな意味で興味深い曲である。

もちろん、GUITARHYTHMというコンセプトに多大なる影響を与え、今や「他人とは思えない人」ニールX（ジグ・ジグ・スパトニック）や、布袋のルーツの1つでもあるロキシー・ミュージックの元メンバー、アンディ・マッケイという存在も見逃せない。

また、今後の方向性を占うと意味を考えると、ギターと打ち込みを初めて巧妙なバランスで取り入れたジーザス・ジョーンズのマイク・エドワーズや、テクノ・ロックを確立したアーバン・ダンスを率いていた成田忍、そして日本ハウス・シーンの若き重鎮・福富幸宏といった、現在のリアルな音楽をクリエイトする若手アーティストの血を導入することで、新たに生まれ出るものに向けての蓄えを行っているようにも思えるのだ。

原点に戻り、そこから未来を見据えている——『GⅢ』はそんな作品である。

## 其ノ二 ツアーGUITARHYTHM WILDスタート

[illegible]カンジになりますね。
[illegible]もカッコイイと思うし。

――『GUITARHYTHMⅢ』が完成して、いよいよ〝GUITARHYTHM WILD TOUR〟という名のツアーも間近となったわけですが、あれだけテンションの高い作品を作り、なおかつ全国各地で再現しなければならない部分も、当然出てきていると思うんですが。

布袋　ちょうどリハーサル中なんですけど、とにかくバンドの調子が良いんですよ。ツアーの成否はバンドの調子に困りますからね。あとはもちろん、スタッフもあるけど。

――基本的にはレコーディングメンバーと同じと。

布袋　うん。藤井（文司）さんがまだ調子悪いんで、代わりに梅崎（敏春）くんがオペレーターで付くけど、どっちかと言うと今回はコンピュータを抑さえめにします。

――それは『GⅢ』のテーマである〝ワイルド&ロックンロール〟が関係してくるから？

布袋　そうだね。全体の半分ぐらいは打ち込みも入るけど、いわゆるバンドサウンドでの〝1、2、3〟の世界というか、あんまり構築したものよりも、もっとフリーな部分も作っておいて、メンバーみんなで楽しめるというのもアリで。

――前にインタビューしたときに点滴ツアーになりそう、なんて話もありましたけど、やっぱり『GⅢ』的なノリで攻める？

布袋　でもね、ツアーというのはその時その時の集大成だから、作品と連動してっていうのもちょっとね。〝ベスト・オブ・ギタリズム〟ってカンジかな。前回のツアー（FLY INTO YOUR DREAM）を見てくれた連中とか、ライブアルバムやビデオを見て、あの重厚な感じを期待して来る奴もいるだろうけど、その辺は少しずつ交わしつつも、何か満足させて上げなきゃ、というのもあるよね。でも、ワイルドというテーマの元に選曲してあるから、必然的に『GⅢ』の曲が多くなるんだろうし、昔の曲もずいぶんリアレンジされてますよ。

――布袋さん自身としては、今回のツアーをどう考えてますか？

布袋　もう素直に言っちゃえば、今の自分を自分で楽しみたいし、ステージに上がった時点で自分をもう1回確かめたいし。今の自分にサッサとケリつけて、次に行きたいっていう。個人的にはそういう気持ちだけですよね。そこにファンの連中だったりスタッフの連中だったり、いろんなたくさんの人間がワーッて集まって、そういう時間を作るわけで。でもそれはそれで、もっと純粋なミュージシャンとしてすごく楽しめる場であり、すごく幸せな場でもあるわけだから、思いっきり幸せになりたいなっていうのもありますよね。今回すごく期待してもらってるみたいで、例えばチケットの売れ方を見ても、出たらすぐソールドアウトってカンジで、すごく調子が良いんですよ。その辺でも、俺を期待してい る重さも感じるし。絶対前回のツアーが良かったから、また来てくれるんだと思うのね。オレを見に来てくれる連中は結構シビアだからさ。

――前回のツアーのときも、ただコンサートに行ってワーワーやって、ああ良かったで終わるんじゃなくて、そのあとに家に帰って、布袋さんの作品を改めて聞くようなツアーにしたい、なんて発言もありましたが。

布袋　今回もそうですね。バカ騒ぎするための材料になりたくないし。でも連中の楽しみ方は自由だから。演ってる側としては、たとえ何十本あったとしても、1本1本が俺らにとって特別なものなんで、その辺の気持ちを言葉に置き換えるとああいう言い方になっちゃうわけだけど。

――でも、それはお客さんにとっても同じことが言えるはずですよね。

布袋　そうだよね。俺らだってさ、もしも好きな外タレのライブのときに胸ワクワクさせて観に行ってツマんなかったら、もう観るもんかって思うじゃない？　そのぐらい（ツアーは）シビアな場所だし、アルバムを出すのとはまた別のところで、目に見える勝負だったりするよね。

――前回のツアーがもう本当に現実と幻想の狭間を表現していたとするならば、今回は…。

布袋　あっちがプログレッシブだとしたら、もっとパキーンとしたモノクロームというか、アシッドなイメージかなぁ。でも俺が今までに演ってきたコンサートの中ではいちばん派手だな。セットというカタチではないんだけど、オブジェとしてはいちばん派手なものだし、かなり衝撃的になるんじゃないですか。

――1回見たら忘れられない…？

布袋　ショック療法的な。あと、一貫して持ってるテーマの一つに、ある程度クールにプレイしているうちにどんどん曲を消化していって、どれだけ真っ白になれるかというのもある。前回よりもリズムの中で白くなりそうだし、これぱかりは演ってみないとわからないけどね。

――それは一種、布袋さん個人としてのゲームのようなものですかね。でも今回の白くなり方、大変そうなきがしますけど。（笑）

布袋　ね。体に悪そうだね。（笑）ギター弾きまくって、歌もガンガン歌って。今回はアコースティックギターとかピアノみたいなロマンティックな解釈はかなり排除してるしさ、だから『GⅢ』のときにキミに話したように、エレクトリックなビリビリしたカンジになりますね。で、体力的には大変だと。でもま、倒れて歌ってもカッコイイ歌だと思うし。

――そういった部分で、『GⅢ』も含めて最近の布袋さんって、なんか自分の体削ってるような雰囲気が強いんですよ。

布袋　自虐的な（笑）？でも、そういうギリギリのところに向かうパワーも良いと思うけどね。一種破壊的に。腹八分目ほど気持ち悪いものはないし、とにかく強気に行こうと。もう、初日から倒れてもいいくらいのつもりでね。

TOMOYASU,hotei

# 美 SOFT BALLET

## RYOICHI ENDOH

●賛否の問題作『ミリオン・セラーズ』によって、ソフトバレエは何かが変わった。それは音だけに限定される変化ではない。遠藤遼一の内面に潜入し、構築された美、価値感に触れ、問題を究明してみたい。

撮影●北岡一浩　文●[illegible]　スタイリスト●忍田透
衣装協力●Thierry Mugler/Shibuya FRONTIER

# 今一番表現したいのは、とてもゆったりとした、安定した、安らぎの状態なんです。あるいは、誰もが持ってる大きな可能性だったり。

## SOFT BALLET
### RYOICHI ENDOH

ソフトバレエは変わった。世界中のすべての喜怒哀楽と美醜で組み上げられた巨大な万華鏡（どんなだ?）みたいな新作『ミリオン・ミラーズ』からもそれははっきり感じ取れる。しかし、遠藤本人によれば、それは表面的な音の部分にとどまらず、曲作りに向かう時の意識、価値観の時点で変わった部分が大きいというのだ。そこで今回はこの〝大きな変化〟の正体を説き明かすべく、ソフトバレエのルーツ・オブ・ルーツ、遠藤遼一の内側の世界（観）へジャック・インを試みた!

――遠藤さんが、自分の美意識に目覚めたのっていつ頃ですか。

「あの、そうですね、わりと小さい頃ですけど、美意識というよりは価値観だったりとか世界観だったりですね。道端に転がってる些細なことだったりとか。例えば笹の葉かなんかに夜露がたまってて、誰しもがあることだと思うんですけどそれをずうーっと何時間も見てたりとか、そういう子供ではあったんですけど。それはテレビの色だってそうだし、母親の持ってたレコードだったりとか、映画もすごく好きでしたね」

――それいくつくらいのことです?

「保育園くらいかな」

――（笑）普通保育園児はそんことしませんって。

「結構父親に対するコンプレックスみたいなものがあって。もう母親とは離婚してたんですけど。父親はオペラとかやっててドイツに行ってたんですけどね。で、なんかその辺に対しての憧れっていうのが。外国文化とは捉えてなかったと思いますけど、なんかその匂いだったりとか父親を追い求める部分で美的なものを求めてたっていうのもあったかもしれないです、今思うと」

――お父さんの記憶っていうのはじゃあ結構鮮烈にのこってるんですね。

「いや、ないですね、ほとんど。ただ、〝美〟の部分で問い掛けてくるものがあったんですよね、なんか。非日常的な人だったというのはうっすらとわかってるっていうところで。その非日常的な部分で」

――周囲のドロ遊びしてる友人たちに違和感みたいなものは感じませんでした?

「いや、もちろん僕もドロ遊びするんですよ。だけどそれが1人か2人でしかやらない。（笑）やっぱり内向的な子供だったですよね。友達はいましたけど、子供同志の集団的な遊びだったりとかって場面では、その中にはいるんだけどどうも場所が違うなって感覚はあったし。誰かに対して〝この子は違うな〟っていうより、あの雰囲気みたいなものが自分に合わないっていう」

――そんな時に、自分の感覚に会う他者の代わりになるようなものってありました?

「あの…いくつかあるんですよ。父親がドイツから送ってくれた絵本だったりとか。童話で、アフリカが舞台でお月さまの話だったんですけど全然覚えてない（笑）」

――自分の部屋に箱庭を作っちゃったりとかありませんでした?（笑）

「ありました。だからブロックとかで作りまくって。（笑）極端に内向きってとこあるんですけど、今も本当に変わってないな、みたいな。（笑）やっぱり母子家庭だったっていうのもあって、何についてもディスカッションから生まれてくるんじゃなくて、一人でものを書いたり絵を描いたりしながら内側に向かってって、そこでなにかを見つける感じでしたね、小学生の時もずっと」

――中学生くらいになると変わってきたりしないんですか。いわゆる思春期ってやつで。

「中学時代は……………うーん」

――もしかして思春期ってなかったんじゃありません? 声変わりするみたいに自分の価値観が大きく動くような。

「実は……あんまりなかったんです。（笑）小さい頃からそのまままったく同じ資質のまま今まで来てるって気もしますね」

――へぇ――。その頃になんか美意識や価値観に影響を与えた音楽とか絵画とか本とかはなかったですか?

「音楽だとクラッシックとヨーロッパ系のニューウェイヴとか。あと、ボードレールとかコクトーとか昔ながらの異端の人達…なんかある意味でパンクですよね。世間を呪ってやるみたいなパワー（笑）」

――今でもその影響っていうのはのこってます? 自分の価値観の中に。

「それがないんですよ。むしろ自分で詩を書いたり絵を描いたり、あと自分のことを探求してたことの方が大きかったです。自分を探ることにすごく時間を費やすんです」

――じーっと考えてる感じ? 一人で家で。

「小学生の時よりも暗かったです（笑）」

――ははは、歳を追うごとに。

「家庭環境もあったんですけど。再婚した義父とあんましうまくいかなかったんで」

――あー、なるほど。でもそこで家の外側でグレるって方にはいかないんですね。

「うん、でも……やっぱりニューウェイヴなりのグレ方っていう。（笑）よけい始末が悪い。それはソフトバレエ3人共そう」

――キケンですよね、外に向かわないと。

「でも、そこでいろんな感情とかが蓄積してく過程っていうのは実はクリアになってく過程だったんですよ。たまって見えなくなるんじゃなくて、逆に自分をよく観察することになって。だから自分が詩を書いたり、絵を描いたりっていう部分で、問題点がはっきりして、ってところはありました」

――なんかとても14、15歳のちゅー坊と思えない極北にイってますが。（笑）

「ただ、今の自分も内向的だと思うんですけど、18くらいまでの自分っていうのは基本的にポジティヴじゃなかったっていうのがあると思いますね。悩んだら悩みっぱなしっていうか、（笑）答えは出すんだけどそれを表現することの意義みたいなものが見つけ出せなかったんですよね」

――今は違います?

「今は全然違いますね。これは強く言いたいんですけど、自分の価値観とか、その表現とかの真意っていうのはものすごくポジティヴなんです、ほんとに。僕の作る音楽は表面的なカラーで言ったらやっぱりネガティヴな色だったり、内向的な色だったりとかっていうのはありますけど、それでなにが表現したいかっていったらやっぱりポジティヴなんですよ。そういう性質って小さい頃から持ってたと思うんですね。でもそれに対して絶対的な自信を持てたのはやっぱり18くらいからです、きっと」

――ポジティヴ…へえええええー。

「そんな意外でした? 僕そんなにあの……暗そうに見えますか（笑）」

「ほんとだから、その真意の部分を見せられないのは僕の実力不足だと思うんですけど、表現上のカラーはもう何色でもいいと思ってるんですよ。恐怖の色だろうと、弱々しさの色だろうと、明るい色だろうと。それは美意識でもあるんだけど、でも最近はどうでもいいと思ってます。というかもう、自分の価値観そのものが一つのカラーで表現できるような小さなものじゃないって気がついたというか。だから、今一番興味があるのは自分、っていうのが正直なとこかも知れない。で、僕にとっては自分＝他人なんです。自分の入り口に立つと、それは他人への入り口でもあるんですよね」

――じゃ今回のアルバムもハードな音の裏には本質的にすごく前向きなものがあると。

「全部そうです。突き詰めて行けば。今僕が一番表現したいのはとてもゆったりとした、安定した、安らぎの状態なんです。あるいは誰もが持ってる大きな可能性だったり。究極的には必ずそこに辿り着くんです」

# S O F T  B A L L E T

New Album "MILLION MIRRORS"
10/21 On Sale

## "東京 3 NIGHTS"
Tripple

1/7㈭NHKホール、1/8㈮NHKホール、1/19㈫渋谷公会堂

| 日付 | 会場 | 問い合わせ |
|---|---|---|
| 10/23㈮ | 札幌厚生年金会館 | WESS |
| 10/26㈪ | 栃木県総合文化センター | アクト |
| 10/27㈫ | 群馬県民会館 | アクト |
| 11/3㈫ | 長野県民文化ホール | FOB長野 |
| 11/6㈮ | 茨城県民文化センター | アクト |
| 11/13㈮ | 広島アステールプラザ | キャンディープロモーション |
| 11/14㈯ | 福岡市民会館 | キョードー西日本 |
| 11/16㈪ | 高知県民文化ホール | デューク高知 |
| 11/21㈯ | 大阪厚生年金会館 | グリーンズ |
| 11/22㈰ | 大阪厚生年金会館 | グリーンズ |
| 11/27㈮ | 新潟県民会館 | FOB新潟 |
| 12/6㈰ | 名古屋市民会館 | サンデーフォーク |
| 12/10㈭ | 仙台市民会館 | GIP |
| 12/13㈰ | 青森市文化会館 | コルクボード |
| 12/15㈫ | 京都会館第一 | J音楽企画 |
| 12/17㈭ | 静岡市民文化会館 | ビートクラブ |

総合問い合わせ:Bプロジェクト Tel:3779/2410

## "XEO"-FUTURAMA OF ROCK CAMPAIGN!

"XEO SPECIAL REMIX CD"を抽選で5000名様にプレゼント!

〈SOFT BALLET他XEO所属アーチストの、このCDでしか聴けないREMIX VERSIONを編集した8cmCD〉

応募方法:キャンペーン対象商品(SOFT BALLET/MILLION MIRRORS、
BRAIN DRIVE/完全驚異、M-AGE/11.21発売アルバム)それぞれに封入されている応募ハガキにてご応募下さい。
応募締め切り:92年12月10日〈消印有効〉＊詳しくは応募ハガキをご覧下さい。

ソフトバレエ写真集……完全予約限定生産　お問い合わせ:03-3234-7906

ビデオコンサート V-Cube「電脳流行音楽」
SOFT BALLET、Cutemen、M-AGE etc. 出演のビデオコンサートが11/9から全国80会場で開催されます。
日時、会場入場方法はビクター音楽産業 cube office 03-3746-5645 or 5690へ電話で問い合せてください。
お問合せ受付時間:AM10:00〜PM6:00(土、日曜日はお休みです。)

XEO
INVITATION

音楽が病気です。

MILLION MIRRORS

New Album 10/21 On Sale

3.A SHEPHERD'S SON 4.VIETNAM 5.INSTINCT

9.THRESHOLD(WHITE MIX) 10.THRESHOLD(YELLOW MIX)



予約特典:ミリオン・ポスター(B全サイズ)

# L↔R

## レコーディング調査報告書

◉11月リリース予定の2ndアルバムのレコーディングのため、山中湖で合宿中だったL↔Rの皆さん。傑作ができたみたいだけどその話は来月に取っといて、レコーディングの生態を互いに報告(チクって)してもらいました。

写真●奥山清紀　構成●能地祐子・編集部

### No.001

被調査者

**嶺川貴子**

調査者・黒沢健一

●レコーディング時によく飲んでいた物
リポビタンDスーパー
●レコーディング時によく聞いてた音楽
フランスのCD(字が読めなかった、ナントカ・ラ・カントカ…)
●レコーディング時によく読んでいた本
「ペーパームーン」のペーパーバック
●レコーディング時によく着ていた服
ボーダーのTシャツにGパン。何を着ても基本的にかわいい♡(←能地祐子風)しかし本人がボディコンを着たいと言い出し周囲が息を飲む瞬間も。
●レコーディング時に取った奇妙な行動
アイスに名前を書いて隠していた。自分の顔に犬の鼻をつけて動物になりきっていた。
●レコーディング時の平均睡眠時間
4時間位(頑張ってました)
●レコーディング時の余暇の過ごし方
花火で盛り上がる。連発花火で逃げまといみんなの失笑をかっていた。
●レコーディング時の特筆すべきミス
聞きまちがいが多い!
●レコーディング時・スタジオ内における奉仕活動の有無
ご飯をよそう。果物を洗う。
●レコーディング時の名セリフ
「私本当は力持ちなのよ」説得力なし。「いゃ〜〜〜ッ!!」僕が遠くから聞いたものですが、この叫び声のインパクトはJ・レノンの「マザー」に匹敵すると思う
●アルバムの聴きどころ
一曲一曲がこれほどまでに関連性のないアルバムが今だかってあっただろうか!?　パンクからクラッシック調まで壮大に繰り広げられるL→Rミュージックの金字塔(東芝風)
(黒沢健一)

### No.002

被調査者

**黒沢健一**

調査者・木下裕晴

●レコーディング時によく食べていた物
ふりかけごはん(本人談)
本当のところは犬と変わらなかった気がする(木下談)
●レコーディング時によく飲んでいた物
ポストウォーター
●レコーディング時によく聞いてた音楽
L↔R
●レコーディング時によく読んでいた本
PATi▸PATi(本当です)
●レコーディング時によく着ていた服
すぐに寝られる格好
●レコーディング時に取った奇妙な行動
彼が車の運転をした時、助手席に乗っていましたが、カーブの曲がり方の恐いのなんの まさに「公道のアイルトン・セナ」と呼んであげたい
●レコーディング時の平均睡眠時間
歌っている時以外はずっと寝てました。
●レコーディング時の余暇の過ごし方
寝ているか、お風呂に入ってました。
●レコーディング時の特筆すべきミス
お風呂が沸いてないのに飛び込んで「冷てぇ〜!!」と奇声を上げていた
●レコーディング時・スタジオ内における奉仕活動の有無
お茶くみ・コピーとりなど。新卒のOLと呼んであげたい。
●レコーディング時の名セリフ
「風呂わいてるよ」「風呂入ってくれば」
●アルバムの聴きどころ
これぞPOPミュージックの王道・素晴らしい楽曲と素晴らしいサウンド。ぜひ御一聴ください。(木下裕晴)

### No.003

被調査者

**木下裕晴**

調査者・黒沢秀樹

●レコーディング時によく食べていた物
カプリコ
●レコーディング時によく飲んでいた物
クスリ(イケないものではない)
●レコーディング時によく聞いてた音楽
L↔R
●レコーディング時によく読んでいた本
「いやぁ、パチパチに決まってるじゃあないですか!」ときーちゃんは言いそう。
●レコーディング時によく着ていた服
メガネとショートパンツ。(メガネはその日の目のスタイルに合わせてコンタクトと使い分ける)
●レコーディング時に取った奇妙な行動
時々真面目に仕事をした
●レコーディング時の平均睡眠時間
きっと少ない
●レコーディング時の余暇の過ごし方
趣味のバンド活動に励んでいた
●レコーディング時の特筆すべきミス
エリート・サラリーマンをやめてL↔Rに入った事以外に特筆すべきミスをあまりしないところが問題。
●レコーディング時・スタジオ内における奉仕活動の有無
ボーカル録音時に気合いを入れる。(イケイケ、ヒューヒュー、パフパフ等)
●レコーディング時の名セリフ
クリパ(クリスマスパーティーの略)
●アルバムの聴きどころ
全部

### No.004

被調査者

**黒沢秀樹**

調査者・嶺川貴子

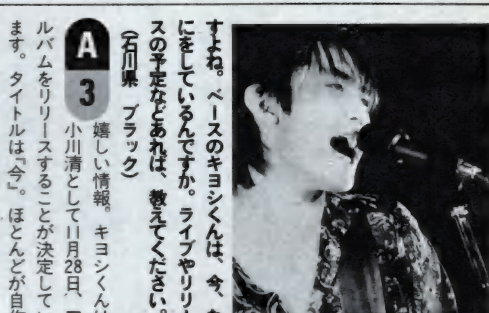
●レコーディング時によく食べていた物
差し入れのおいしいアイス(ドナテロウズ ホブソンズ・ハーゲンダッツ)を人より2個位多く微んで食べていた。
●レコーディング時によく飲んでいた物
バニラ牛乳(グー!)
●レコーディング時によく聞いてた音楽
ミレニウムのビギン
●レコーディング時によく読んでいた本
パチパチ
●レコーディング時によく着ていた服
白いシャツにジーパンに茶色の靴(さわやかな今井美樹風?)
●レコーディング時に取った奇妙な行動
体と頭の疲れもひどくなってくると「ミーッ」と消えそうな声で鳴きウサギのようになる。
●レコーディング時の平均睡眠時間
4〜5時間?　朝(5〜7時)に寝て、お昼過ぎに起きる。
●レコーディング時の余暇の過ごし方
さあープライベートですもの!　吉祥寺へよく行ってるらしい… あ、山中湖でのこと!?余暇なんてありませんよ。アイスクリーム食べてた
●レコーディング時の特筆すべきミス
お財布忘れの名人。1回だけ山中湖に花火大会(小さな小さな)をしに行った帰り「サイフを忘れた!!」と大騒ぎに。しかし見つかりました。なんと車のダッシュボードの上にありましたのです。
●レコーディング時・スタジオ内における奉仕活動の有無
まめにコーヒーを作ってくれます。
●レコーディング時の名セリフ
「貴子ちゃん、ソフトクリーム食べたくない?」外にお買い物に行った時など夏の客でにぎわう山中湖畔のおみやげ屋さんの横のソストクリーム屋さんの前を通りかかると、私のそでをひっぱり、ひとこと言う。
●アルバムの聴きどころ
全部…だけど。健一君のうたと秀樹君のギターと木下氏のベース。きれいな色とりどりの豆電球が100万個くらいピカピカしてる感じなので、耳をこらしてよーく聴いて下さい。
(嶺川貴子)

※お詫び　先月号の注釈で、間違いがありましたので訂正しておきます。●ブライアン・ウィルソンは現在50歳でした。●「グッド・バイブレーション」は「ペット・サウンズ」ではなく「スマイリー・スマイル」に入っています。すみませんでした。

# イトウアキ走る!!

**●あぁ、今日で何日目の徹夜だろう。栄養ドリンク片手に原稿を書く私っていったい…。あぁ24歳にしては哀しすぎる。編集部の人はリフレッシュ休暇とって、温泉とか海外とか行ってるし……。うらやましいなぁ。私だって終わったら絶対に休みとってやるっ……と、意気込んでいるのはいいのだが、いつになったら終わることやら……。見当つかず。(泣)**

**Q1** **小室哲哉さんのアルバムが待ち遠しい、彼の大ファンです。小室さんが最近、凝っているもの(集めているものとか)を教えてください。(埼玉県　てっちん)**

**A1** 今、私が最寄り駅として使っている京王線の駅にはデーンと小室さんの看板が立っているので、出社前には必ず彼と逢っている今日この頃。では質問の答えを。編集担当者の吉田ダーマン30様(ブヒ♡ブヒで新コーナー設立! 必見のおもしろさ?)に聞いてきてもらいました。それによると……小室さんが今、集めているものは帽子だそう。そうか、前の髪型(あの立っているヤツね)だったら、ちょっと被れないもんねぇ。ということでした。

**Q2** **TBSで放送されている「筑紫哲也のニュース23」のエンディングテーマを歌っているのって……忌野清志郎さんじゃあないですか? 絶対そうだよね。調べて調べて。(北区　こけないでね)**

**A2** まさにそのとおり。あれは清志郎さんの声です。あの曲を歌っているのは、忌野清志郎さん&2・3'Sという4人組。メンバーが…これがまたすごいの。清志郎さんに加え、山川のりを、中曾根章友、大島賢二。11月11日にデビューアルバム『GO GO 2・3'S』が発売になります。全14曲、トータル時間が64分という、かなり聴き応えのあるアルバムです。でも、聴き応えのあるのは、曲の多さと時間の長さだけじゃないのだ。ノリのいい曲も、バラードもすごくドキリとするものばかり。ドキリとする度にちょっと淋しくなったり、じんわり嬉しくなったりする、そんなアルバムです。うまく表現できないけど。(笑)なんか、ウォークマンでじっくり聴いて欲しいなぁ……。

**Q3** **この間、発売された『RED'S BOX』聴きました。やっぱりレッドウォーリアーズはいいですよね。ベースのキヨシくんは、今、なにをしているんですか。ライブやリリースの予定などあれば、教えてください。(石川県　ブラック)**

**A3** 嬉しい情報。キヨシくんは、小川清として11月28日、アルバムをリリースすることが決定しています。タイトルは『今』。ほとんどが自作の曲で、もちろん小川清、本人が歌っています。それからライブは11月14日、渋谷エッグマンにてアクト。ライブについてのお問い合わせは、渋谷エッグマン☎03(3496)1591まで。ちなみに曲はアコースティック色が強い曲が多いそうです。今のうちにチェックしておいたほうがいいかもっ。

**Q4** **電気グルーヴのファンなんですけど、電気のことなんでもいいので教えてください。(奈良県　ピンナップで泣きました)**

**A4** このペンネームって、どういう意味? 嬉しくて泣いたんだよね、きっとね。それともむかって一番左の人が怖くて泣いたのかな?(笑)なんでもいいって言うのなら、今月号の撮影のとき、卓球はてんぷらそば食べてたとか、瀧はなべやきうどん食べてたとか、この間、私鉄の某駅でまりんが人待ち顔で立っていました、とかこんなこと書いちゃうぞ。(笑)嘘。それでは電気のラジオとテレビの最新情報を。もう知っている人もいるかもしれないけど、10月20日からニッポン放送・オールナイトニッポン一部昇格! 苦節1年3か月(笑)での快挙です。パチ▼パチでのカラーページ昇格のときといい(ちなみにカラーページになるまで1年かかった)、結構地味な道を歩んでいるのね。そんな電気が好き。それからテレビ&ラジオでの特番のお知らせ。詳細はまだ決まっていないので、決まっていることだけをお知らせします。OAは10月中。中京テレビ、北海道放送、四国(どの放送局かは未定)の3局で流されることが決まっているみたい。テレビは30分、ラジオは60分の構成。お問い合わせはキューン・ソニー☎03(3796)3535まで。よろしく。

**Q5** **お、小山田くんがCMに出ているじゃないですか。びっくり。CMで使われている小山田くんの曲はCD化される予定はあるのですか。また、今後の小山田くんの予定なども教えてください。(福岡県　オレンジジュース、飲みたい)**

**A5** 予定はあるよ。11月26日にポリスターレコード・トラットリアレーベルから発売されるオムニバスアルバム『JAZZ JAZZY』に収録されているのだ。ただ、小山田くんとしてではなくて、バンドとして参加しているとのこと。(バンド名は未定さん す)ちなみに曲のタイトルは「Into Somethin'」です。他にビーナス・ペーター、ブリッヂ、サロン・ミュージックなどが参加しています。さて、今後の小山田くんなんですが、とりあえずトラットリアレーベルのプロデューサーとして活動していく予定だそうです。また情報入り次第っていうことで。あ、余談だけど、あの資生堂のCM。初めて見たとき〃あぁっ。小山田くんが、万引きしちゃうっ?〃って思ってしまったのは私だけだろうか……。それからというもの、小山田くんの姿をブラウン管で見かける度に、ひとりドキドキしています。あ、ぶたないで。

**Q6** **こんにちは。このコーナーで紹介されていた、ウルトラポップというバンドのライブに行ってみたいので、ライブスケジュールなどを教えてください。(千葉県　今、冬彦にちょっと夢中)**

**A6** おぉ。ペンネームの冬彦というのは、もしかして「ずっとあなたが好きだった」の、冬彦だよね。もちろん。ウププ。それは私も同じこと。最終回(この号が出る頃には終わっているけど)が気になる。同じ人に夢中ってことだけで(笑)質問にお答えします。(これってエコヒイキかなぁ……笑)10月16日・下北沢タウンホール、10月29日・下北沢シェルター、11月18日・新宿ロフト(ワンマン)です。

いきなりなんですけど。質問じゃないんですけど、こんなハガキが来ました。〃イトウアキさんが知らない、CutemenのCMJKの名前の由来、教えてあげます。あれは、カット、マスター、J、K(本名のイニシャル)です〃

実は、この内容のハガキは5〜6枚も来ました。結構、みなさんこのコーナー読んでくれているのですね。ありがとうございますです。あ、本当はJ、Kのところも完璧にCMJKの本名を書いてきてくれていたのだけれど、そこは内緒にしておいてくださいということでございました。ご了承くださいまし。

**Q7** **L↕Rのラジオを聞きたいんですが、私のところは田舎なので、彼らがパーソナリティーを務めるふたつの番組がラジオに入りません。でも、どうしても聞きたいです。なんとかなりませんでしょうか。(秋田県　貴子ちゃん可愛い♡)**

**A7** なんとかって……。だんだんお悩み相談所みたいになってきたような気が……。ま、いいか。(笑)家の2階の南の窓に塩をまくと、ラジオの電波が良く入るようになると言われています。……ウソです。(笑)気にしないでください。ここからが本当の答えです。L↕Rなんですが、10月5日と12日の深夜3時〜5時まで、ニッポン放送の人気番組「オールナイトニッポン・2部」でパーソナリティーを務めます。私の経験上、秋田では中国語か、広東語かわからないけど、そのような放送と戦いながらもニッポン放送はなんとか聞くことができたので、貴子ちゃん可愛い♡ちゃん、深夜がんばってみてはいかがかな。この号が出る頃には後1回しかOAが残されていないけど、11月16日に発売のニューアルバムの曲も聴くことができるかもしれないので、神経集中でレッツトライなのだ。

というわけで、質問は左記まで。また来月お逢いしましょう。バイバイ。

おはがき まってます。

あて先 〒102
千代田区
五番町6-2
ソニー・マガジンズ
PATi・PATi「イトウアキ走る」係

**ヒットしている実感が全然ないから<br>プレッシャーも感じてないです。（笑）**

# KIX*S
## レコーディングのおはなし

**◉KIX・Sはただ今レコーディングのまっただ中。デビュー以来、コンスタントに作品をリリースし、作り続ける彼女達は当然スタジオに入り浸りになっているわけなんだけど、そこでの生態とは一体……。**

写真●石渡憲一　文●伊藤あゆみ　衣装協力●ワークショップ（ワークス&フレンズ）

**KIX・Sはレコーディングがお好き♡**である。ヴォーカリストになること以外は考えられなかった、という司ちゃん。まるで我が子のように（？）ギターに愛情をふり注いでいる美春ちゃん。二人が大切にしているものが、レコーディングによって〝音〟となり、私たちに届けられる。だから、ふたりはレコーディングが大好きなのだ。

**というわけで、今回のテーマは〝KIX・Sのレコーディングを探る〟になった。まずは、作詞・作曲でのふたりのコンビネーションから。**

**美春**「デビュー・アルバムの頃からそうなんですけど、レコーディングに関係なく、常に曲を作っていて、できた順からベーシックを録音してしまうんですよ。で、アルバムを作るときに、そこからセレクトしていく。曲のイメージがはっきりしているときはそれを司ちゃんに伝えるけど、それ以外はおまかせです」

**司**「美春ちゃんから曲をもらって、作詞するんだけど。詞を書いているときは自分が歌うことを忘れちゃって、あとから〝どうしてこんな歌いづらい詞にしたんだろう〟とって思うことがよくある（笑）」

**美春**「自分では言葉で表現できなかったことを司ちゃんがぴったりのイメージで書いてくれたり。メロディに言葉がのることによって、曲のイメージがガラッと変わったりするんですよね。詞と曲を別々にやっていて、それがすごくおもしろいと思った」

**お互いのレコーディングが重なっていない時は、それぞれ現場に立ち会う。でも歌い方やギターに関しては一切口を出さないという。**

**美春**「お互いの分野にはあまり首を突っ込まないんですよ。プライベートでも一緒にいるから、やりたいことや求めていることがわかるんです」

深い信頼関係で結ばれているふたり。だから（？）レコーディングになると、いつも一緒に風邪をひいてしまう。オケの録音が始まると、生活が不規則になり、少しずつ少しずつ体調をくずしていく。そして、いざ自分たちの出番！というときに疲れがドーンと出てしまうらしい。

**美春**「風邪で熱があるから、かなりハイ状態になってるんですよ。それが、逆に気持ち良かったりして（笑）」

**司**「私も風邪をひいてしまうけど、いざとなるとちゃんと歌える（笑）だから、いままでやってこれたんだろうけど。

あと、スタッフと世間話をするのが好きなんですよ。歌入れで〝まだ、やりたくないな〟っていうとき延々と1時間ぐらいしゃべってる。ディレクターが〝そろそろ始めようか…〟って言うと〝ちょっと待って、この話だけ聞いて〟って。自分自身のなかで〝よし、やろう!!〟っていう気持ちになるまで、ひたすらしゃべり続けています（笑）」

**ところで、レコーディング中の食生活はどうなってるの？**

**美春**「私は食欲がなくなって、コーヒーばかり飲んでますね。食事は出前が多いけど夜になると出前が限られてしまって、焼き肉や中華みたいな油っこいものになってしまうんですよ。だから、夜食べて朝方帰って寝て、次の日スタジオに入るという。レコーディング中は1日1食だから、どうしてもやせてしまいます」

**司**「私は出前が嫌いだから、ケンタッキーとか買ってからスタジオに入るんです。デビュー・アルバムのレコーディングのときはお菓子をいっぱい持ち込んで、死ぬほど食べてたな～。ポテトチップスやスナック菓子を両手に抱えてたという（笑）それでけっこう肥ってしまったから、これはいかんぞって。最近は食べなくなりましたね」

**ロンドンでのレコーディングでは免税店で香水を買いまくり「うれしくって、毎日大量につけてた」という。美春ちゃんはブ**アゾン、司ちゃんはジバンシー、ほかに女性スタッフが違った香りの香水をつけていたから、スタジオはなんとも言えない〝異様な匂い〟に包まれた、とか。でも、なんだか可愛らしいエピソードだ。

**さて、現在KIX・Sはニュー・アルバムのレコーディング中。シングル「また逢える…」が大ヒットしただけに、プレッシャーもあるのでは？**

**美春**「ヒットしている実感が全然ないからプレッシャーも感じないですね。（笑）今度のアルバムはKIX・Sの新しいスタートになるんじゃないかな。いままで吸収してきたものが、うまい具合に出せるようになったから、これから新しいKIX・Sの世界が拡がっていくと思います」

**司**「ヒットによって新しい発見があったし、感動することも多かった。その思いを今度のアルバムに入れようと思っています」

# GAO

## 君にゆられて

●11月1日に待望のニューアルバム『ロバロック』をリリースするGAO。またしても素晴らしい出来なのだ。どうしてこんなに気持ちいいんだろう。思わず口づさんでしまうからね。しかも、このアルバムには、今までとは違う新しいGAOがいる。シングル「君にゆられても」もいいぞ。

撮影●青木太伸　文●河合美佳

先月もお伝えしたように、GAOは新作のレコーディングに入っていた。ちょうど、みんなが夏休みを満喫している頃に山中湖へ行き、ボーカル・ダビングを行い、そして東京へ戻るやいなや、2月に続いてまたまたトラック・ダウンのためにニューヨークへ飛び、1週間後にはハワイへ出かけプロモーション・ビデオ撮影と……。空間移動だけでも疲れてしまいそうな、そんなハードなスケジュールをこなしていた。

そして届いたサウンドは……。もちろんスゴイ。10月21日にシングル「君にゆられて」(これは〝ビートたけしのTVタックル〟テレビ朝日系のエンディング・テーマとして流れる）をリリースし、11月1日にはアルバム『ロバロック』がリリースされる。（前号で、ミニ・アルバムと書いてしまいましたが、なんと届いたアルバムは9曲入りのフルでした。でも、あのときの取材では6曲ぐらいになるかな!?〝なんていってたんだよ〟でも9曲、フルになかなか味わい深い歌が入っています）

2月のニューヨーク話もお届けしたが、今回は、前回にも増していろいろなことがあったようだ。

「私、秋に花粉症になるんですよ。いわゆるブタ草といわれる、あれの花粉アレルギーでね。そんなことをウッカリ忘れていてニューヨークに到着したわけ。それで、2、3日するとなんかクシャミは止まらないし、鼻はグズグズするしで……。そしたら9月中旬までニューヨークは、ブタ草の真っ盛りというじゃないですか」

ジェット・ラッグ（時差ボケ）に加えて花粉の応援。今回はマウンテン・バイクを買って（到着初日に買ったそうだ）アクティブに街の中を探検しよう!!と意気込んでいたのに、結果、必要以外には外へ出られない状態になってしまったという。

「時差ボケも直って元気が出た頃には、もうニューヨークお別れパーティーの日が来てしまい、という状態でね。夏のニューヨークは熱い、臭い、うるさい、おまけにハリケーンの影響で風も強く、ホコリが舞い、〝バア、すさんでる!!〟とあまり良いイメージではなくなってしまった」

というものの、良い体験もシッカリとある。もちろん今回のTDのエンジニアは前回同様ジェイソン・コーサロ。今回はもうジェイソンにおまかせ状態でミックスしてもらった。

「そんなモウロウとした意識の毎日が続きながらも、2曲、ボーカル・ダビングをしたんですよ。不思議なことに、ボーカル・ダビングになると鼻も止まりシャキッとするのね。で、今回はなんとジェイソンと2人きりだったんで、言葉の問題も含めて不安だったんだけど……。これが上手くいったんですよ。あえて詞の内容はもちろん、テーマみたいなこともいわずにまかせたの。どんなアドバイスをしてくれるのかな？　と思うと、〝そのBメロのところ力入りすぎて気持ちよくない〟とかね、〝確かに〟とうなずいてしまう適確なアドバイスをくれてね。この人は音楽の感じを感じとるのがスゴイんだな、と」

ちなみにニューヨークでボーカル・ダビングした曲は、シングルの「君にゆられて」と「おもいでの扉」だ。

「ヘッドフォンをつけて歌うと感覚がわからなくなるから、嫌いなんだとジェイソンにいったら、マイクの横に小さいスピーカーを置いてくれてね。ヘッドフォンをつけないで歌うという方法でこのボーカルは録ったのね。すごい新しい経験だったり、けっこう気に入っちゃった」

この他にもニューヨークではボイス・トレーニングを受けたりと、ホーッとした中でも、たくさんの経験をしてきた。それにしても〝ロバロック〟とは!?

「なんかね、すごい突然に思っちゃったんですよ。ロバって……。馬でも牛でもない、ロバをね。ただひたすら労働力というか、パワーを黙々と私たちに与えてくれて、それでいてとてもやさしく、哀愁のある目をしている。そんなカンジなんですよ」

GAOが描こうとしている歌をロバのその存在が、今回のレコーディングの中で言ったという。このキーワードはGAOのベーシックに……

# LADIA

**◉9月23日、シングル「BLIND」・アルバム『Year of 1989』を引っ下げて、女のコ、3人のバンドがデビューした。名前は〝LADIA〟。ボーカルとツインギター。ポップな楽曲に、本格的な演奏力、女のコらしい・だけど真摯な詞。彼女達って、何？**

## Year of 1989

PHOTO●NAOTO OHKAWA
COPY●RIEOUBA

**突然だが、この3人はよくしゃべる。いや、本当によくしゃべるのだ。昔から女3人寄ればかしましいとは言ったものの、それを実証するかのようにしゃべりまくる。でも、そこにはひとつの話を展開させていくギターのKUMIこと中嶋久美。それに相づちを打って言葉を付け加えていくボーカルのYOKKOこと原屋佳子。あまり多くを語らないが、重要なポイントを話すギターのYUMIこと佐野由美。と、いったぐあいにちゃんと役割りがあるようだ。**

**LADIAが結成されたのは、5年前。彼女たちがまだ高校1年生、金沢でのことだ。中学の後半からハード・ロックに興味を示した彼女たちは、それぞれ高校に入ったらバンドを組むゾと決意。同じ中学だったYOKKOとYUMIが、メンバーを集め始め、当時キーボードだった友人の高校にいたKUMIを誘って6人編成のハード・ロックバンドを結成した。**

**YOKKO**「で、ライブが決まったからバンド名を考えなきゃと思ってパラパラと雑誌をめくっていたら、そこに〝LADIA〟という文字があったんですよ。これいいなぁということになって、ちょっとだけ拝借するつもりで、それにしたの」

**変えるきっかけのないままその名前でライブを重ねていくうちに金沢ではちょっとした有名バンドになっていき、出場するコンテストでは特別賞やら準優勝やらを取るまでになっていた。**

**KUMI**「ちょっと拝借のつもりでつけた名前でデビューしちゃうんだから、不思議なもんですよね。今じゃ、思い入れたっぷりだし（笑）」

**高校を卒業する年にキーボードが抜け、それがきっかけとなってアレンジも大幅に変わり、それぞれが聴く音楽にも幅がグーンと増えてきたという。**

**KUMI**「例えば、ビートルズみたいな王道ものもハードロックって枠の中にいた私たちには違うものだったのよ。それが、ひとつ枠をはずして聴いてみたら、〝えっ！こんなに良かったの!〟って感じで、改めて驚いて……。それからはジャンルってものに全くとらわれずに〝いいものはいい〟って感覚でいろんなものを聴いてる」

**そして、すでにみんなの手元に届いているであろうデビュー・アルバム『Year of 1989』。これはシングル「BLIND」のカップリングの曲と同じタイトルであり、彼女たちが高校を卒業した年のことでもある。**

**YOKKO**「当時のメンバー5人に恋愛、友だち、卒業……なんでもいいから〝さよなら〟というテーマで言葉を箇条書きにしてきましょうって宿題を出したの。その言葉を集めて作った詞が、コレなの」

**KUMI**「その時は特別意識してたわけじゃないんだけど、今から考えるとこれまでの自分たちが凝縮されてる曲だなぁと思って。それに、ファーストにしかつけられないタイトルだしね（笑）」

## スタジオにのべ600時間！ ゼイタクなデビュー・アルバム

**生まれて始めてのレコーディング。緊張と不安の連続、さぞかし胃の痛くなるような思いをしたのであろうと思いきや。**

**KUMI**「不安はなかったよ。リハーサルの時点で、すごく信頼できるスタッフとめぐり会えたってことがわかったから。自分たちを変えられちゃうってことはナイって安心して、自分のフレーズを弾くってことだけに専念できたし」

**YOKKO**「レコーディングを二行程にわけたんですよ。昔からライブでやってる曲を最初にやって、レコーディングの進め方みたいなのを感覚的につかんだの。それから、1ヶ月間リハをして、またレコーディングに入って……。期間にして約5ヶ月」

**YUMI**「のべ600時間！ 時間を思いっきりゼイタクに使いましたよ（笑）」

**YOKKO**「だから、すごく満足のいく出来になってるし、自分たちを出せたって感じがしてる」

**ハードなフレーズを残しつつ、ポップでつい口ずさんでしまいそうな曲を奏でる彼女たち。詞の面から言えば女の子にしか書けないせつない気持ち、優しい思い、がんばる強さを表現している。**

**YOKKO**「でもね、私もレコーディングし終わってから女の子っぽいなぁって気づいたの。それは〝あー、やっぱり私も女の子なんだなぁ〟って思った部分と〝私ってこんな部分もあったのね〟っていう両方だったのね。だから、女の子っぽいと思ってくれるのはすごく嬉しい。でも、それだけじゃないと思ってるから、聴いてくれる人の受け止め方にまかせたいとは思ってるよ」

**よくしゃべる彼女たちの言葉の中には、人なつっこさ、強がり、さみしがり屋。そんなとても人間っぽい感覚を素直に感じることができる。そこが魅力いっぱいでたまらない。こんな個性的で魅力あふれる3人が揃っちゃうんだから、ほんと世の中は不思議なもんだ。**

*YOKKO HARAYA*

*YUMI SANO*

*KUMI NAKAJIMA*

# おなじ空の下で

# JIGGER'S SON

PHOTO●YASUO NANBU　COPY●EIKO FUJISAWA

●10月21日に待望のセカンドアルバム『おなじ空の下で』、シングル「顔を上げて」を同時リリースするジガーズ・サン。まじめに、マイペースに、ゆっくりと、だけど確実に前進している彼らを見ていると、何か応援したくなるんだよなあ。坂本さとるくんは、いつも陽気で、ぶっきらぼう……いい奴なんだ。

いよいよ、私が「半年はライブ見ないからね」とサトルクンと公約した半年の期限が近づいてきましたが、いやいや半年というのは、早いもんだ。光陰矢の如し、でありますなぁ。その間、ライブに新しいワザなどを導入したらしいし、2枚目のアルバムもできて、レパートリーも増えたことだし、本人は自信満々だし、おおいに期待してしまうわけだ。それでも進歩の後がみれなかったら、これはもう、見放すしかないってことだ。

坂本さとる　それがですねぇ、前号で、次は違うことで煮詰まっていたりして、と冗談いってましたが、実は……。

——エッ、もう、煮詰まってるの？

さとる　煮詰まってはいないんですが、これまで、前半はお客さんから距離おいた曲から始まって、中盤でメンバー個々のルーツを演奏しつつのメンバー紹介があって、そこらへんでひと山あって、最後はしっとり終わるというパターンができあがっていたんですが、マンネリになるのが恐くて、新しい方向を探しているんですよ。

——フゥーン、たった半年でマンネリねぇ。アキっぽいのかも。

さとる　いやぁ、新しいアルバムも、この前は120点のデキといってましたが、今になると98点くらいになってる。（笑）

——それ、来月になったら、78点だったりして。

さとる　いや、でもね、絶対値として、1枚目より2枚目のほうがいいというのは変わらないんですけど、2枚目がいつまでも絶対最高ですといっていちゃマズイなと。だから、98点に思えるようになった自分が嬉しいんですよ。

——ナルホド。

さとる　楽曲に関しては、正直いうと、1枚目のほうがシングル集みたいなところがあって、上かなと思うんです。でも、2枚目は、楽曲のクォリティを補う、メンバー個々のプレイの良さだったり、アレンジの練り、グルーヴだったりが上回っていると思っているんです。

——そのアレンジなんだけど、今回古いという感じもするんだけど。

さとる　そうですかぁ？　僕等としては92年最新音楽と思ってますけど。使ってる機材なんかすごいハイテクなんですよ。ま、出てるものはそうでもないけど（笑）いってみれば、僕のヘアースタイルみたいなもんですよ。

——何、それ。

さとる　僕のカットしてくれている人は、古くはCCBのヘア・スタイルを考案したすごく有名な人なんですよ。でも、その最新の人が切ったとは思えないでしょ？（笑）まさにこれといっしょですよ。世界中のコンピューターを駆使して、世界一うまい目玉焼きを作るようなもんですよ。（笑）

——すごく分かりやすい。つまり、イモっぽいんだ。（笑）

さとる　ガクッ！　ま、気取りきれないんですよ。ヒューマンとでもいいましょうか（笑）カッコ良さでも、カッコをつけないカッコ良さがいちばんカッコいいんではないかと思ってるわけです。

というわけで、なんだかおもしろい例えにダマされた気もするが、彼らは年内に2枚のアルバムをがんばって作り、ライブも大阪でウケてるのが気になるけど（お笑いに走らなければいいのだけど）ま、奮闘しているみたい。まだ知名度も人気もハガキも少なくて、これだけのスペースしかもらえないので、何も伝えきれないのが残念。最後にホメておくと、今度のアルバム、ヨイヨ！

王様だったんだ、僕は。

KING MASTER GEORGE
FISHMANS

税込定価￥3,000　税抜価格￥2,913
MRCA-10001

# Fishmans

フィッシュマンズ　ニューアルバム

## 92.10.21 ON SALE "KING MASTER GEORGE"

**ライブスケジュール**

11/10　東京＝日清パワーステーション　ソーゴー東京 03-3405-9999
11/16　名古屋＝ハートランド スタジオ　ハートランド スタジオ 052-202-1351
11/17　大阪＝心斎橋クラブ・クアトロ　サウンドクリエーター 06-361-9900

**Now On Sale**

ファーストアルバム"チャッピー・ドント・クライ"　VJCA-00004　税込￥2,800
ミニアルバム"コーデュロイズ・ムード"　VJCA-10001　税込￥1,500

下記各レコード店にて、フィッシュマンズのニューアルバム「KING MASTER GEORGE」の曲を収録したスペシャル・サンプラーカセットを9月末より無料で配布します。数量に限りがありますのでお早めに。　問い合せ：株式会社メディアレモラス Tel.03-3356-0361

〈札幌〉玉光堂四丁目店、玉光堂オーロラ店　〈青森〉ジョイポップス、ビーバップ古川店　〈仙台〉スーパーレコード、タワーレコード仙台店
〈東京〉WAVE渋谷店、CDぴあ、ディスクユニオン渋谷2号店、山野楽器池袋パルコ店、帝都無線新宿ミロード店、新星堂国分寺丸井店
山野楽器吉祥寺サンロード店、池袋五番街、HMV原宿店　〈横浜〉山野楽器横浜そごう店　〈厚木〉新星堂本厚木ミロード店　〈静岡〉すみやSBS通り店
〈大宮〉山野楽器大宮そごう店　〈春日部〉新星堂ロビンソン　〈川越〉エイブル第一家電　〈船橋〉ヤンレイ　〈千葉〉ラオックス　〈水戸〉フジディスク　〈高崎〉新星堂高崎店
〈前橋〉新星堂前橋店　〈新潟〉ツモリレコード　〈名古屋〉ヤマギワメルサ店、太陽サウンドオン　〈京都〉JEUGIA河原町店、JEUGIA四条店、ビーバーレコード四条京極店
〈大阪〉WAVE梅田店、ワルツ堂梅田店　〈神戸〉星電社三宮本店　〈広島〉メイソングレイ、カワイショップ　〈福岡〉サウンドベスト　〈熊本〉マツモトレコード

# HALHIKO ANDO

幸せは追いかけてくるものじゃなくて
例えばほら君が笑うそれだけのこと

# 安藤治彦

東京学園グループCFソング

## ありったけの愛をこめて

作詞:青木せい子 作曲:安藤治彦 編曲:鳥山雄司

c/w 愛を逃げないで

PODH-1092 ¥930(税込)

**FM REGULAR**

●Kiss-FM「ポップ・スクエア～KISSING MISSING」
(毎週火曜日21:15～21:45)

●FM秋田・FM岩手・FM山形・FM青森「ウィークエンド・ラッキー」
(毎週土曜日7:00～8:00 FM岩手のみ7:00～7:55)

**ALBUM DISCOGRAPHY NOW ON SALE**

Halhiko Ando
LOST ANGEL

### LOST ANGEL

1st ALBUM

1 PARADISE
2 ありったけの愛をこめてKISS
3 Rainydayはスローモーション
4 Now I'm Here(君のそばでずっと)
5 もう一度、もう二度と
6 IRONIC LOVER
7 ラインのない地図
8 Merry X'mas Time
9 Promise
10 やせっぽちの天使達

POCH-1001

Call it love

### Call it love

2nd ALBUM

1 Monkey See, Monkey Do
2 君にあいたくて
3 誰かが君のことを
4 RomanceとBalance
5 今夜エスケープ
6 1/2の影
7 Anytime
8 ポスト・モダン・パラダイス
9 Love is blind
10 Stay

POCH-1066

安藤治彦テレフォン・サービス HALHIKO TELEPHONE ☎03-3477-2576
安藤治彦ファンクラブ・会員募集中/ 〒150-91 東京都渋谷郵便局私書箱76号
㈱オフステーション内 ☎03-3402-8395

Presented by
POLYDOR K.K.
A PolyGram Company

ドリッピーといっしょなら、英語なんてヘッチャラ。成績も面白いように上がるぞ。ハラハラ、ドキドキ、そしてチョッピリ涙の英語の冒険に、キミも、さあ出かけようぜ！

DRIPPY

# 98点！英語はドリッピーに

## 秘密の合言葉『ドリッピー』

「ドリッピーって、ホントにカワイイ！　今月はねぇ……」

「なあんだ、オレはもっと先のストーリー、知ってるゼ」

「エー、ウッソー、ホント！」

「しー！　ミンナにばれるじゃないか」

なーんて言うヒソヒソ話をキミは耳にしたことはないかい。

ドリッピーっていうのは、めちゃめちゃ面白くて、一度始めたらやめられなくなっちゃう英語教材(信じられないかもしれないがホントウだ)、イングリッシュ・アドベンチャー（EA）の初級編『家出のドリッピー』の主人公。「ドリッピーの声もイラストもかわいらしくってしょうがありません」

「次はどんな物語なんだろうと、心が躍っちゃう♡」

と、全国のミンナのハートをしっかり射止めちゃってるんだぜ、セニョリータ！

## ハラハラ、ドキドキ。ドリッピーに夢中！

ドリッピーは、その名の通り(dripを辞書で引いてみな)ちびっちょい雨粒小僧。コイツが、まだ生まれたばかりで英語もよくわかんないのに、家出をしてしまうんだ。そして、ハラハラ、ドキドキの冒険を続けながら英語を覚えていくっていうストーリー。このドリッピーといっしょに英語の世界に入っていくんだから、英語はちょっと苦手なキミや英語好きくない少年少女たちも安心でしょ。

ストーリーを書いてくれちゃったのは、『ゲームの達人』『真夜中は別の顔』などの小説で超ベストセラーを記録しているシドニィ・シエルダン。キミも本屋さんで見たことあるでしょう。この大先生の面白さは保証付。しかも、胸キュンの物語が、映画マッツァオ、大迫力サウンドのCDやテープで送られてきちゃうのだ。出演者は、名優オーソン・ウェルスを始めとする一流のラインナップ。だから、らくらく、すいすい耳から単語や文が頭に入っちゃうというワケ。おまけに発音もガイジンサンミタイニナーリマース。

## ドリッピーと一緒に冒険しちゃおう

「前回のテストではななななんと、学年トップの98点をとってしまった。これもＤｒｉｐｐｙのおかげです」と感謝状を書いた高田君のように、最近急に英語の成績が上がっちゃったクラスメイト、発音イイジャン、なんてコは、きっとドリッピーとゴキゲンな時間を過ごしているはずだ。なんてったって、ＥＡの会員は、中学生から70代の人まで、百六〇万人もいるんだからね。でも、「みんなに知られたくないから、雑誌で宣伝するのをやめてください」なんてお便りが来るぐらいだから、教えてく

### 中級・初中級編も大好評

イングリッシュ・アドベンチャーには、下記のコースがそろっています。どれも、このページに付いているはがきで試聴してみることができます。

初級用『家出のドリッピー』

初中級用『コインの冒険』

中級用『追　跡』

# な，なんと学年トップの

れないかも……。キミも仲間はずれにならないうちに、早くドリッピーとフレンドになった方がモアベターかもよ。

『家出のドリッピー』は12章、1年で完結する。2年目は自動的に初中級コースの『コインの冒険』に進級するが、途中退会は常に自由。受講会費は教材費、送料込みで、カセットの場合は4，000円（税別）、CDは月4，500円（税別）。不要なら返品できる無料試聴制度があるぞ。つまり、第1回目を聴いてみて、これを続けようと思う場合はそのまま使っていると会員として登録され、翌月には第2章が送られてくる。入会したくない場合は第1章を受け取ってから10日以内に返品すればよい。「自腹切ってるんで、元はとらんと、という関西人根性で、1年間絶対続けさせてもらいまっせ」というヤツもいるが、この金額なら安心だね。

# まかせよット

## みんなドリッピーのおかげなのだ

★おかげさまをもちまして、志望大学に現役合格することができました。本当にありがとうございました。

★偏差値39→55。志望大学合格ありがとう。

★評判通りとてもおもしろくて、夜遅くまでのめり込んでしまいました。何故もっと早く入手しなかったのかと悔やまれてなりません。

★ワクワクドキドキストーリーに美しいナレーション、ＢＧＭ、とにかく楽しい２年間でした。

★このような素晴らしい教材と出会えたことは、私にとって本当に幸運でした。

★学校の授業よりたくさんの文法や表現を覚えられ、米国人の先生と話せるようになりました。本当に感謝!!です。

★高３になっても絶望的な成績だった英語を、なんとか受験に対応できるようにと始めましたが、たいして勉強をしたという感覚もないまま、いつのまにか偏差値を20も上げていただきました。そればかりでなく、大嫌いだった英語が非常に好きになりました。私は英語塾にも行ってないし、学校の授業もいいかげんにしてきたタイプ。１年間でこんなに成果がでた事にびっくりしています。この春からは大学生です。

★本当にＥＡの教材はすごい！　英語ってこんなに楽しいものだったかな？と思わずにはいられません。

★噂通り素晴らしい教材だと思いました。

★この１月にも海外旅行に行き、大いに役立ちました。

★すばらしい教材に出会えて本当に感謝しています。

試聴の申し込みは、このページに、アカデミー出版から申し込み用はがきが提供されているので、それを利用しておくれ。一日も早くドリッピーに会いたい！っていう人はＥＡ事務局に電話してみてね。

電話でのお申し込みは、

東　京03(3464)1010
東　京03(3496)6666
札　幌011(631)7777
仙　台022(265)5555
名古屋052(971)2222
京　都075(701)6666
大　阪06(452)2222
福　岡092(831)3333
日本全国フリーダイヤル
0120-077077
電話は休日も受け付けています。

◇　◇　◇

〒150 東京都渋谷区鉢山町15-5
アカデミー出版

## ドリッピーの5つの秘密

一、ミスター・ベストセラーのときめきストーリー
テキストを書いてくれたのは、全世界で1億人以上の読者を魅了してしまった、シドニィ・シェルダン。『ゲームの達人』は、日本でも500万部を突破。これは日本新記録。最近の『明日があるなら』『時間の砂』『真夜中は別の顔』もそれを上回りそうな勢いだから驚きだよね。

二、ハリウッド映画もビックリの大迫力サウンド
CDやテープから飛び出してくる、ステキな音楽や臨場感あふれる効果音が、キミを英語の世界に誘いこむ。

三、シビレル！　名優たちのナレーション
『市民ケーン』『第三の男』の名優、オーソン・ウェルス、喜劇の大スター、ジェリー・ルイス、世界的人気DJ、ケーシー・ケーサムなど一流ぞろい。

四、かわいいイラストに、もう夢中
よその教材では、こんなイラストは絶対にお目にかかれないぞ。

五、やさしい英語から、自然に上達
英語があんまりよくわからないドリッピーといっしょに勉強していくので、赤点ぎみのキミも絶対にだいじょうぶ。

# CONCERT SCHEDULE

## コンサート・スケジュール

▼チケット発売日の表示について
一部地区では電話予約日とプレイガイド発売日が異なっている場合がありますが、このページでは原則として電話予約日を表示してあります。各公演の残席など詳しいことに関してはイベンターに直接問い合わせてくださるようにお願いします。なお、発売日を過ぎたものは全て「発売中」の表示になっています。ご注意ください。

## UNICORN

"UNICORN TOUR 1992 S.F.W."

10月15日(木)尼崎アルカイックホール　18:30/発売中　問20
16日(金)尼崎アルカイックホール　18:30/発売中　問20
18日(日)広島厚生年金会館　18:00/売切れ　問37
19日(月)倉敷市民会館　18:30/売切れ　問27
21日(水)松山市民会館　18:30/発売中　問27
26日(月)渋谷公会堂　18:30/発売中　問67
27日(火)渋谷公会堂　18:30/発売中　問67
29日(木)市川市文化会館　18:30/発売中　問67
11月1日(日)群馬音楽センター　18:30/発売中　問13
4日(水)浦和市文化センター　18:30/発売中　問67
7日(土)名古屋センチュリーホール　18:30/発売中
8日(日)名古屋センチュリーホール　17:30/発売中
以上の問〈サンデーフォーク〉☎052(320)9911
16日(月)石川厚生年金会館　18:30/発売中　問18
22日(日)北海道厚生年金会館　未定/未定　問83
23日(月)北海道厚生年金会館　未定/未定　問83
26日(木)青森市文化会館　18:30/発売中　問145
27日(金)岩手県民会館　18:30/発売中　問145
30日(月)山形県民会館　18:30/発売中　問145
12月1日(火)仙台サンプラザ　18:30/発売中　問145
2日(水)仙台サンプラザ　18:30/発売中　問145

## JUN SKY WALKER(S)

10月17日(土)中国短期大学学園祭　18:00/発売中
問〈白鷺祭実行委員会〉☎0862(93)6498
30日(金)足利工業大学学園祭　18:00/発売中
問〈学園祭実行委員会〉☎0284(62)0605
31日(土)常盤大学学園祭　17:30/発売中
問〈ときわ祭実行委員会〉☎0292(31)9104
11月6日(金)群馬県立女子大学学園祭　18:30/発売中
問〈錦野祭実行委員会〉☎0270(65)0355

"JUN SKY WALKER(S) TOUR '92～'93 STAR Blue"

13日(金)浦和市文化センター　18:30/発売中　問111
16日(月)市川市文化会館　18:30/発売中　問67
17日(火)八王子市民会館　18:30/発売中　問67
19日(木)姫路文化センター　18:30/発売中　問27
21日(土)和歌山市民会館　18:30/発売中　問27
24日(火)函館市民会館　18:30/発売中　問83
25日(水)北海道厚生年金会館　18:30/発売中　問83
27日(金)仙台市民会館　18:30/発売中　問73
29日(日)渋谷公会堂　18:30/発売中　問67
30日(月)渋谷公会堂　18:30/発売中　問67
12月1日(火)渋谷公会堂　18:30/発売中　問67
4日(金)大阪厚生年金会館　18:30/発売中　問78
5日(土)大阪厚生年金会館　18:30/発売中　問78
9日(水)神奈川県民ホール　18:30/発売中　問142
10日(木)大宮ソニックシティー　18:30/発売中　問111
11日(金)京都会館第一ホール　18:30/発売中　問74
15日(火)静岡市民文化会館　18:30/発売中　問15
16日(水)名古屋センチュリーホール　18:30/発売中　問16
17日(木)名古屋センチュリーホール　18:30/発売中　問16
19日(土)神戸国際会館　18:30/発売中　問27
21日(月)徳島市文化会館　18:30/発売中　問27
22日(火)倉敷市民会館　18:30/発売中　問27
24日(木)島根県民会館　18:00/発売中　問27
26日(土)福山市民会館　18:30/発売中　問27
27日(日)広島厚生年金会館　18:00/発売中　問27
1月9日(土)熊本県立劇場(演劇ホール)　18:30/10月25日　問29
10日(日)宮崎市民会館　18:00/10月25日　問29
11日(月)鹿児島市民文化第一ホール　18:30/10月25日　問29
13日(水)大分文化会館　18:30/10月25日　問29
14日(木)福岡市民会館　18:30/10月25日　問29
16日(土)長崎市公会堂　18:30/10月25日　問29
17日(日)佐賀市民会館　18:00/10月25日　問144
19日(火)高知県民文化オレンジホール　18:00/10月25日　問37
21日(木)松山市民会館　18:30/10月25日　問37
22日(金)徳島市文化センター　18:30/10月25日　問27
24日(日)高松市民会館　18:00/10月25日　問37
27日(水)長野県県民文化会館　18:30/10月25日　問54
28日(木)新潟県民会館　18:30/10月25日　問54
30日(土)富山県民会館　18:00/10月25日　問54
31日(日)石川厚生年金会館　18:00/10月25日　問54
2月2日(火)福井市文化会館　18:30/10月25日　問54
4日(木)浜松市民会館　18:30/10月25日　問21
5日(金)四日市市民文化会館　18:30/10月25日　問16
7日(日)下呂観光会館　18:00/10月25日　問16
8日(月)岐阜市民会館　18:30/10月25日　問16
11日(木)郡山市民文化センター　18:00/10月25日　問145
12日(金)岩手県民会館　18:30/10月25日　問145
14日(日)青森市文化会館　17:30/10月25日　問145
15日(月)秋田市文化会館　18:30/10月25日　問145
17日(水)山形県民会館　18:30/10月25日　問145
19日(金)茨城県民文化センター　18:30/10月25日　問13
22日(月)宇都宮市文化会館　18:30/10月25日　問13
23日(火)群馬音楽センター　18:30/10月25日　問13

## BY-SEXUAL

"4D live TOUR"

10月24日(土)大阪厚生年金会館　18:30/発売中　問78
11月15日(日)松本文化会館(中)　18:00/発売中　問107
17日(火)新潟PHASE　18:30/発売中　問107
23日(月)NHKホール　18:30/10月25日　問67

## LINDBERG

"Magical Dreams Tour '92～'93"

12月8日(火)倉敷市民会館　18:30/発売中　問26
9日(水)広島厚生年金会館　18:30/発売中　問26
11日(金)新潟県民会館　18:30/発売中
問〈サウンドアーティスト〉☎0762(91)7800
16日(水)静岡市民文化会館　18:30/発売中　問15
18日(金)宮城県民会館　18:30/発売中　問143
20日(日)北海道厚生年金会館　18:00/発売中　問83
25日(金)名古屋レインボーホール　18:30/発売中　問16
1月4日(月)大阪城ホール　18:30/発売中　問20
8日(金)福岡サンパレス　18:30/発売中　問133
12日(火)日本武道館　18:30/発売中　問79
13日(水)日本武道館　18:30/発売中　問79

"LINDBERG 学園祭スケジュール"

10月18日(日)米沢女子短期大学体育館　17:30/発売中　問77
24日(土)島根歯科大学体育館　18:30/発売中
問〈大学祭実行委員会〉☎0853(23)2111
25日(日)九州国際大学体育館　17:00/発売中
問〈大学祭実行委員会〉☎093(671)1317
27日(火)群馬音楽センター　18:30/発売中
問〈高崎経済大学園祭実行委員会〉☎0273(44)3591
31日(土)日大農獣医学部体育館　16:00/発売中
問〈学園祭実行委員会〉☎0466(81)6241・内線393
11月1日(日)明治学院大学'92白金祭☆　17:30/10月10日
問〈'92白金祭実行委員会〉☎03(3445)0331
3日(火)立正大学体育館　17:00/発売中
問〈星霜祭実行委員会〉☎0485(36)5789
6日(金)福島市公会堂　18:30/発売中
問〈福大祭実行委員会〉☎0245(48)5151・内線3670
10日(火)大分文化会館　18:30/発売中　問133
14日(水)橘女子大学体育館　17:30/発売中　問78

## PRINCESS PRINCESS

"結成10周年記念　吉例　謹賀新年プリンセス²'93～お正月だよ～"

1月2日(土)日本武道館　未定/11月8日　問67
3日(日)日本武道館　未定/11月8日　問67
6日(水)日本武道館　未定/11月8日　問67
7日(木)日本武道館　未定/11月8日　問67
8日(金)日本武道館　未定/11月8日　問67
15日(金)名古屋レイボーホール　未定/11月8日　問16
16日(土)名古屋レイボーホール　未定/11月8日　問16
25日(月)大阪城ホール　未定/11月8日　問20
26日(火)大阪城ホール　未定/11月8日　問20

## 米米CLUB

"SHARISHARISM DECADENCE"

10月9日(金)浦和市文化センター①　18:30/売切れ
10日(土)浦和市文化センター②　18:30/売切れ
12日(月)府中の森芸術劇場①　18:30/売切れ
13日(火)府中の森芸術劇場②　18:30/売切れ
15日(木)市川市文化会館①　18:30/売切れ
16日(金)市川市文化会館②　18:30/売切れ
以上の問〈キョードーロッケン〉☎048(648)1691・〈ディスクガレージ〉☎03(5704)3200
19日(月)九州厚生年金ホール①　18:30/発売中
20日(火)九州厚生年金ホール②　18:30/発売中
以上の問〈キョードー西日本〉☎092(715)8800
22日(木)愛媛県民文化会館①　18:30/発売中　問3
23日(金)愛媛県民文化会館②　18:30/発売中　問3
26日(月)鹿児島市民文化ホール①　18:30/発売中
27日(火)鹿児島市民文化ホール②　18:30/発売中
以上の問〈キョードー西日本〉☎092(715)8800
29日(木)倉敷市民会館①　18:30/発売中　問26
30日(金)倉敷市民会館②　18:30/発売中　問26
11月2日(月)北海道厚生年金会館①　18:30/発売中　問83
3日(火)北海道厚生年金会館②　18:30/発売中　問83
9日(月)新潟県民会館①　18:00/発売中　問107
10日(火)新潟県民会館②　18:30/発売中　問107
12日(木)石川厚生年金会館①　18:30/発売中　問18
13日(金)石川厚生年金会館②　18:30/発売中　問18
16日(月)仙台サンプラザホール①　18:30/発売中　問145
17日(火)仙台サンプラザホール②　18:30/発売中　問145
19日(木)郡山市民文化センター①　18:30/発売中　問145
20日(金)郡山市民文化センター②　18:30/発売中　問145
26日(木)大阪城ホール①　18:30/発売中　問78
27日(金)大阪城ホール①　18:30/発売中　問78
29日(日)大阪城ホール②　18:00/発売中　問78
30日(月)大阪城ホール②　18:30/発売中　問78
12月3日(木)名古屋レインボーホール①　18:30/発売中　問16
4日(金)名古屋レインボーホール②　18:30/発売中　問16
8日(火)福岡国際センター①　18:30/発売中
9日(水)福岡国際センター②　18:30/発売中
以上の問〈キョードー西日本〉☎092(715)8800
12日(土)横浜アリーナ①　18:30/売切れ　問67
13日(日)横浜アリーナ①　18:00/売切れ　問67
15日(火)横浜アリーナ②　18:30/売切れ　問67
16日(水)横浜アリーナ②　18:30/売切れ　問67
☆以上①は"魅惑の歌謡ショー素顔のママ"②は"疑惑の多様ショー素直なパパ"の別メニューです。

## 福山雅治

"'92秋の学園祭"

10月17日(土)岐阜女子短期大学　16:30/発売中
問〈チアリングハウス〉☎03(5466)6505
18日(日)北星女子短期大学　17:30/発売中
問〈学園祭実行委員会〉☎011(561)7156
24日(土)北陸学院大学　14:00/発売中
問〈Gプランニング〉☎0762(32)3122
25日(日)帝塚山女子短期大学　未定/発売中
問〈学園祭実行委員会〉☎0742(43)4433
31日(土)戸板女子短期大学　17:00/10月18日
問〈学園祭実行委員会〉☎03(3452)4161
11月7日(土)尾道短期大学　17:30/発売中
問〈学園祭実行委員会〉☎0848(22)8311
8日(日)中村学園　13:30/発売中
問〈学園祭実行委員会〉☎092(851)2531
15日(日)成徳短期大学　16:00/発売中
問〈学園祭実行委員会〉☎03(3906)0576
21日(土)同志社女子大学　未定/10月12日
問〈学園祭実行委員会〉☎075(251)4267

## 吉川晃司

"KOJI KIKKAWA CONCERT TOUR '92"

10月11日(日)沼津市民文化センター　18:00/発売中　問2
14日(水)神奈川県民ホール　18:30/発売中　問67
15日(木)名古屋センチュリーホール　18:30/発売中　問2
16日(金)静岡市民文化会館　18:30/発売中　問2
19日(月)茨城県民文化センター　18:30/発売中　問59
20日(火)山梨県民文化ホール　18:30/発売中　問67
26日(月)千葉県文化会館　18:30/発売中　問67
27日(火)神戸文化ホール　18:00/発売中　問23
28日(水)岡山市民会館　18:30/発売中　問27
30日(金)神戸文化ホール　18:00/発売中　問23
11月17日(火)広島厚生年金会館　18:30/発売中　問26
19日(木)長崎市公会堂　18:30/発売中　問28
21日(土)福岡サンパレス　18:30/発売中　問28
22日(日)鹿児島市民文化ホール　18:00/発売中　問90
25日(水)京都会館　18:30/発売中　問19
12月1日(火)山形県民会館　18:30/発売中　問143
3日(木)宮城県民会館　18:30/発売中　問143
4日(金)岩手県民会館　18:30/発売中　問143
9日(水)日本武道館　18:30/発売中　問67
10日(木)日本武道館　18:30/発売中　問67
15日(火)金沢市観光会館　18:30/発売中　問54
17日(木)長野県民文化会館　18:30/発売中　問44
22日(火)新潟県民会館　18:30/発売中　問45
27日(日)大阪城ホール　18:30/発売中　問23

## 槇原敬之

"君は僕の宝物"

10月9日(金)浜松市民会館　18:30/発売中　問55
10日(土)宇都宮市文化会館　18:30/発売中　問13
20日(火)熊本県立劇場　18:30/発売中　問28
22日(木)福岡市民会館　18:30/発売中　問28
28日(水)静岡市民会館　18:30/発売中　問55
29日(木)NHKホール

●いろんなことに、やたら意欲的になってしまう…それが秋。むくむくと食欲がわきととまる所を知らず、普段はちーとも本など読まんくせに、ここぞ！　とばかりに文学をひもといたり、無理矢理ジョギングを始めて筋肉痛に苦しんだり…秋ってひとり上手♡

●ここに掲載されている情報は9月20日現在のものです。

18:30／発売中 問71

11月5日(木)新潟県民会館 18:30／発売中 問45
6日(金)長野市民会館 18:30／発売中 問44
11日(水)名古屋市民会館 18:30／発売中 問55
13日(金)金沢観光会館 18:30／発売中 問57
16日(月)群馬県音楽文化センター 18:30／発売中 問13
23日(月)大宮ソニックシティ☆ 18:00／未定 問
24日(火)神奈川県民ホール☆ 18:30／未定 問
26日(木)茨城県民文化センター 18:30／発売中 問13
29日(日)大阪厚生年金会館 18:00／発売中 問20
30日(月)大阪厚生年金会館 18:30／発売中 問20
☆印は追加公演です。

## 大江千里

12月24日(木)横浜アリーナ 18:30／10月25日 問79

## SOFT BALLET

"SOFT BALLET 1992 MILLION MIRRORS"
10月14日(水)市川市文化会館 18:30／発売中 問67
15日(木)大宮ソニックシティ 18:30／発売中 問67
23日(金)札幌厚生年金会館 18:30／発売中 問83
26日(月)栃木県総合文化センター 18:30／発売中 問13
27日(火)群馬県民会館 18:30／発売中 問13
11月3日(火)長野県民文化ホール 18:30／発売中 問44
6日(金)茨城県民文化センター 18:30／発売中 問13
13日(金)広島アステールプラザ 18:30／発売中 問26
14日(土)福岡市民会館 18:30／発売中 問100
16日(月)高知県民文化ホール 18:30／発売中 問24
21日(土)大阪厚生年金会館 18:30／発売中 問105
22日(日)大阪厚生年金会館 18:00／発売中 問105
27日(金)新潟県民会館 18:30／発売中 問45
12月6日(日)名古屋市民会館 18:00／発売中 問16
10日(木)仙台市民会館 18:30／発売中 問143
13日(日)青森市文化会館 18:00／発売中 問64
15日(火)京都会館(第一) 18:30／発売中 問19
17日(木)静岡市民文化会館 18:30／発売中 問61

## 電気GROOVE

"全国鼻毛あばれ牛"

---

10月28日(水)名古屋ダイヤモンドホール 19:00／発売中 問55
29日(木)静岡GIZE 18:30／発売中 問55
11月2日(月)日本武道館 18:30／発売中 問67
9日(月)仙台ビーブベースメントシアター 18:30／発売中 問145
13日(金)札幌ペニーレイン 18:30／発売中 問83
19日(木)福岡IMSホール 19:00／発売中 問100
20日(金)熊本Feelingホール 19:00／発売中 問100
23日(月)大阪I.M.P.ホール 18:00／発売中 問78
25日(水)神戸チキンジョージ 19:00／10月25日 問78
26日(木)広島ウッディストリート 19:00／10月18日 問26

## 詩人の血

"Flowers Dreams&Love Poem"
11月15日(日)福岡Be-1 19:00／発売中 問133
17日(火)広島ウッディストリート 19:00／10月18日 問26
18日(水)名古屋クラブクアトロ 19:00／発売中 問55
21日(土)渋谷クラブクアトロ 19:00／発売中 問67
22日(日)渋谷クラブクアトロ 18:00／発売中 問67
24日(火)大阪ウォーホール 19:00／10月11日 問105

## VENUS PETER

"SPACE DRIVER TOUR~FROM VENUS WITH LOVE~"
10月15日(木)渋谷ON AIR 19:00／発売中 問85
17日(土)名古屋クラブクアトロ 19:00／発売中 問16
19日(月)大阪クラブクアトロ 19:00／発売中 問78
20日(火)広島ウッディストリート 19:00／発売中 問27
22日(木)博多ビーベン 19:00／発売中 問29
11月6日(火)札幌ペニーレイン 未定／未定 問83

## To Be Continued

"To Be Continued 学園祭"
10月9日(金)鹿児島市民文化第一ホール 18:30／発売中 問〈K&Mコーポレーション〉☎092(23)7710
11日(日)市川市文化会館 18:00／発売中 問〈W・S・Sプランニング〉☎03(5396)1471
☆問い合わせ受付は午後3時~6時までですので御注意下さい。
11月3日(火)東海大学内大教室 17:30／発売中 問〈東海大学祭実行委員会〉☎0463(58)1211・内線4995
☆永井真理子のオープニングアクトです。

"To Be X'mas~愛がまちがえるなんて"
12月7日(月)札幌道新ホール 18:30／発売中 問11
9日(水)仙台市青年文化センター 18:30／発売中 問143
15日(火)広島アステールプラザ 18:30／10月10日 問26
16日(水)福岡都久志会館 18:30／発売中 問100
18日(金)大阪厚生年金会館(中) 18:30／発売中 問23
22日(火)中野サンプラザホール 未定／未定 問67
23日(水)名古屋クラブダイアモンドホール 18:00／10月18日 問16

## CHARA

10月23日(金)名古屋クラブダイアモンドホール 19:00／発売中 問55
24日(土)大阪IMPホール 18:30／発売中 問20
29日(木)渋谷公会堂 18:30／発売中 問67

## SPARKS GO GO

"Jingle Jangle Tour"
10月10日(土)日比谷野外音楽堂 18:00／発売中 問67
11月1日(日)十文字女子学院学園祭 未定／発売中 問〈クラフトワーク〉☎03(5489)7538

## スピッツ

"惑星のかけら"
11月14日(土)仙台ビーブベースメントシアター 19:00／未定 問101
15日(日)札幌メッセホール 19:00／未定 問83
19日(木)名古屋クラブクアトロ 19:00／未定 問16
30日(月)福岡Be-1 19:00／未定 問29
12月1日(火)広島ウッディストリート 19:00／未定 問37
3日(木)大阪厚生年金会館(中) 18:30／未定 問23
7日(月)よみうりホール 18:30／未定 問79

## 佐久間学

12月8日(火)大阪ミューズホール 19:00／10月10日 問78
11日(金)日本青年館 18:30／10月11日 問67

## WIZ KIDS

"The New Lost Generation"

---

11月12日(木)名古屋クラブクアトロ 19:00／発売中 問16
13日(金)大阪クラブクアトロ 19:00／発売中 問20
19日(木)渋谷ON AIR 19:00／発売中 問67

## 16TONS

"パワステ・マンスリーライブ"
10月16日(金)新宿日清パワーステーション 19:00／発売中 問67
11月16日(月)新宿日清パワーステーション 19:00／10月18日 問67
12月16日(水)新宿日清パワーステーション 19:00／11月21日 問67

## bad messiah

"deep white"
11月2日(月)大阪クラブクアトロ 19:30／発売中 問78
4日(水)名古屋クラブクアトロ 19:30／発売中 問16
16日(月)渋谷クラブクアトロ 19:30／発売中 問71
17日(火)渋谷クラブクアトロ 19:30／発売中 問71

## THE BLANKEY JET CITY

"地獄はトカゲの夜"
10月26日(月)札幌ペニーレイン 18:30／発売中 問83
27日(火)札幌ペニーレイン 18:30／発売中 問83
29日(木)仙台青年文化センター 18:30／発売中 問145
11月1日(日)愛知県勤労会館 18:00／発売中 問16
4日(水)福岡都久志会館 18:30／発売中 問133
6日(金)広島アステールプラザ(中) 18:30／発売中 問37
7日(土)大阪厚生年金会館(中) 18:30／発売中 問78
9日(月)渋谷公会堂 18:30／発売中 問82
15日(日)専修大学生田校舎第一体育館 16:00／発売中 問〈専修大学学生プロダクション〉☎044(922)6678
22日(日)岡山理科大学体育館 18:00／発売中 問〈半田山祭実行委員会〉☎0862(52)5060

## 谷村有美

"CONCERT TOUR '92 秋の味覚ツアー"
10月9日(金)高松市民会館 18:30／発売中 問5
11日(日)桐生産業文化会館 18:00／発売中 問65
13日(火)八王子市民会館 18:30／発売中 問67
19日(月)神戸国際会館 18:30／発売中 問78
22日(木)茅ケ崎市民文化会館 18:30／発売中 問〈茅ケ崎市民文化会館〉☎0467(85)1123

---

10月28日(水)新潟PHASE 18:30／発売中 問107
29日(木)長野県民文化会館(中) 18:30／発売中 問107
11月2日(月)札幌市民会館 18:30／発売中 問83
9日(月)イズミシティ21 18:30／発売中 問145
10日(火)盛岡劇場 18:30／発売中 問145
12日(木)大阪厚生年金会館 18:30／発売中 問78
13日(金)大阪厚生年金会館 18:30／発売中 問78
18日(水)福岡メルパルクホール 18:30／発売中 問100
19日(木)メルパルク熊本 18:30／発売中 問100
26日(木)名古屋市民会館 18:30／発売中 問16

## 岡村靖幸

"YASUYUKI OKAMURA TOUR'92"
11月27日(金)名古屋市民会館 未定／発売中 問16
12月4日(金)仙台サンプラザホール 未定／発売中 問145
6日(日)大阪フェスティバルホール 未定／10月11日 問78
8日(火)福岡サンパレス 未定／発売中 問28
11日(金)広島アステールプラザ 未定／発売中 問26
16日(水)北海道厚生年金会館 未定／発売中 問11
26日(土)NKホール 未定／未定 問79
27日(日)NKホール 未定／未定 問79

## 布袋寅泰

"GUITARHYTHM WILD TOUR"
10月12日(月)渋谷公会堂 18:45／発売中 問67
13日(火)渋谷公会堂 18:45／発売中 問67
18日(日)日本武道館 18:45／発売中 問67
19日(月)日本武道館 18:45／発売中 問67
22日(月)大阪城ホール 18:45／発売中 問23
25日(日)宇都宮市文化会館 18:15／発売中 問79
27日(火)仙台サンプラザ 18:45／発売中 問143
30日(金)福岡サンパレス 18:45／発売中 問133
31日(土)福岡サンパレス 18:45／発売中 問133
11月17日(火)名古屋市民会館 18:45／発売中 問16
18日(水)名古屋市民会館 18:45／発売中 問16

## お問い合わせリスト

1 名古屋ELL ☎052(201)5004
2 ブレーントラスト ☎052(263)9115
3 デューク松山 ☎0899(47)3535
4 MUSIC ギルド仙台 ☎022(222)2033
5 デューク高松 ☎0878(22)2520
6 キョードーP ☎03(3407)8240
7 ホットスタッフ ☎03(3857)9999
8 ステージフライト ☎03(5489)2222
9 GAKUON ☎0985(29)2751
10 ジョイナス ☎052(962)1207
11 ユアソング ☎011(271)7301
12 松本レコード ☎096(352)5671
13 ACT ☎0286(21)2241
14 高崎音協 ☎0273(22)9999
15 サンデーフォーク静岡 ☎0542(84)9999
16 サンデーフォーク名古屋 ☎052(320)9100
17 ピッツバーグU ☎096(356)1808
18 キョードー北陸・金沢 ☎0762(60)0999
19 J音楽企画 ☎075(231)7776
20 サウンドクリエーター ☎06(361)9900
21 遠文連 ☎0534(54)9999
22 マーマレード ☎03(3496)7449
23 夢番地・大阪 ☎06(341)3525
24 デューク高知 ☎0888(31)2020
25 ノースロード ☎0188(33)7100
26 キャンディ・P ☎082(249)8334
27 夢番地・岡山 ☎0862(31)3531
28 BEA ☎092(712)4221
29 くすMUSIC ☎092(791)0999
30 BGプロ ☎0764(92)4400
31 スワット ☎03(3463)6100
32 サウンドウエーブ ☎092(713)8275
33 サーパス・ツー ☎03(3711)5647
36 KMミュージック ☎045(201)9999
37 夢番地・広島 ☎082(249)3571
38 横浜ビブレ21 ☎045(314)1003
39 福岡ビブレ ☎092(714)2121
40 ユニオン音楽 ☎082(247)6111
41 A・R・G ☎03(3770)6371
42 エムズコーポ秋田 ☎0188(34)8558
43 ルックスリーグ ☎03(3498)5258
44 FOB長野 ☎0262(27)5599
45 FOB新潟 ☎025(229)5000
46 アームホール ☎06(316)1777
48 シンコーミュージック ☎03(3292)7911
49 アワーズ ☎011(521)2588
50 ビッグバン ☎075(255)1596
51 ワンダーランド ☎0263(36)4850
52 フリーウェイ ☎022(222)2021
53 キョードー札幌 ☎011(221)0144
54 サウンドソニック ☎0762(91)7800
55 ジェイルハウス ☎052(936)6041
56 メロディパーク ☎0138(53)9787
57 FOB金沢 ☎0762(32)2424
58 CLUB CITTA'川崎 ☎044(244)7888
59 フリップサイド宇都宮 ☎0286(33)1009
60 フェスティバル札幌 ☎011(251)8870
61 ビートクラブ ☎0542(73)4444
62 大阪ミューズホール ☎06(245)5389
63 スクランブル ☎0988(63)0217
64 コルクボード ☎0177(35)9999
65 桐生音協 ☎0277(53)3133
66 ベイシティ・クラブ ☎045(201)8888
67 ディスクガレージ ☎03(5704)3200
68 バナナホール ☎06(361)6821
69 CAT KIDS C ☎0888(72)5900
70 チャンプ ☎03(3505)4656
71 キョードー東京 ☎03(5237)9000
72 藤沢BOW ☎0466(27)5520
73 フライングハウス ☎022(297)6304
74 スタックO ☎075(721)4402
75 U・D・O ☎06(341)4506
76 ユイ音楽工房 ☎03(3404)6881
77 エムズコーポ ☎022(222)4000
78 キョードー大阪 ☎06(345)2500
79 フリップサイド ☎03(3770)8899
80 H・I・P大阪 ☎06(362)7301
81 SOGO大阪 ☎06(344)3326
82 SOGO東京 ☎03(3405)9999
83 ウエス ☎011(613)9000
84 前橋ラタン ☎0272(34)2365
85 H・I・P ☎03(3475)9999
86 大阪バーボンハウス ☎06(372)1018
87 渋谷LA MAMA ☎03(3646)0801
88 クラブクアトロ ☎03(3477)8750
89 キティサークル ☎03(3770)9355
90 K&Mプロ ☎092(23)7710
91 MUSIC WAVE ☎03(3583)6766
92 FMサービス ☎0958(26)1333
93 タイトプランニング ☎03(3836)3820
94 福岡Be-1 ☎092(481)7881
95 Mギルド秋田 ☎0188(32)1511
96 サモンミュージック ☎06(252)5635
97 ハートランド ☎052(202)1351
98 Jプランニング ☎052(937)6651
99 オフィスW ☎03(3352)7706
100 キョードー西日本 ☎092(714)0159
101 ノースロード仙台 ☎022(222)0700
102 KGサウンド ☎078(751)3582
103 神戸チキンジョージ ☎078(392)0146
104 VIPS大阪 ☎06(312)5000
105 グリーンズ ☎06(454)8834
106 CADホール ☎022(261)8638
107 キョードー北陸 ☎025(245)5100
108 R・C・C ☎03(3496)3482
109 Tオフィス ☎06(241)6138
110 キョードー横浜 ☎045(252)9999
111 バックステージP ☎048(866)3888
112 ミュージカルS ☎03(3341)3111
113 横浜7thアベニュー ☎045(641)2484
114 大宮フリークス ☎0486(42)3315
115 スタッフギャング ☎03(3496)1199
116 PMエージェンシー ☎0988(64)1616
117 H・L・M ☎06(454)8281
118 渋谷Egg-man ☎03(3496)1561
119 秋田新音 ☎0188(33)9314
120 スターライト ☎06(533)6699
121 栃木音協 ☎0286(22)4101
122 アーリータイムス ☎025(241)9999
123 ハンズ ☎03(3470)3601
124 シャム猫カンパニー ☎0465(24)1208
125 ウッディーストリート ☎082(242)8187
126 京都音協 ☎075(211)0261
127 大阪音協 ☎06(341)8638
128 カレイド ☎03(3486)9670
129 福岡エジソン ☎082(245)3692
130 神奈川音協 ☎045(641)1649
131 札幌ペニーレーン24 ☎011(644)1911
132 ユニオンプレス ☎0836(32)0457
133 ブレインズ ☎092(771)8121
134 ビックショット ☎03(3479)3271
135 鹿児島音協 ☎0992(26)3465
136 ダストC ☎03(3780)0504
137 フォーラス ☎0188(36)2884
138 茨城音協 ☎0294(22)5330
139 VSS ☎0862(25)8325
140 フリップ ☎092(522)7025
141 キョードー名古屋 ☎052(962)0511
142 たむとむスコープ ☎045(251)6848
143 G・I・P ☎022(222)9999
144 佐賀労音 ☎0952(26)2361
145 キョードー東北 ☎022(223)2188
146 ソールドアウトM ☎0886(22)3488
147 ジャンクボックス ☎025(229)1494
148 VANVANV4 ☎0762(23)7567
149 CMC ☎03(3405)3601
150 MEX ☎03(5389)4007

## はみだし情報

●TALKING GUITARと題して、超有名ギタリスト愛用のギターが公開されます。
日時▼10月7日~10月13日／10時~19時
場所▼新宿コニカプラザ(新宿アルタ横)
展示予定ギタリスト▼TESSY・今井寿・森純太・布袋寅泰他。入場無料。
問〈新宿コニカプラザ〉☎03(3225)5001

●2丁目元気バンド大募集 あの吉本興業が新しいロックシーンをプロデュースするDRプロジェクト発足にあたりバンドを募集します。デビューのチャンス!!
問〈心斎橋筋2丁目劇場〉☎06(211)1621

# いつまでも心に君の歌。

いつか機会があったら、彼のためにセッションでもやろうか——。
彼に別れを告げるために、久しぶりに集まったツアーメンバーの誰からともなく出たこの言葉から、このアルバムは実現しました。
——（サウンドプロデュース・西本 明）

ここにあるのは、ソングライターとしての彼が残したメロディーだけだ。
しかし、彼が何かを伝えたいと思っていたとしたら、
きっとこのメロディにもその〝何か〟はあると思う。——
（sax, key：関誠一郎）

91.2.2 Y.O

尾崎 豊・追悼アルバム

# NO ONE IS TO BLAME

ジャケット・イラストレーション：尾崎 豊

## THE BIRTH TOUR BAND

滝本季延(ds)/渡辺茂(b)/長田進、鈴木真樹(g)/西本明(key)/関誠一郎(sax, key)/里村美和(perc)/岩本章江、山根えい子(chorus)
GUEST：山根麻衣(chorus)/八木のぶお(hca)/金子飛鳥(vln)

I LOVE YOU/街の風景/シェリー/虹/卒業/OH MY LITTLE GIRL/ドーナツ・ショップ/ダンスホール/Mama, say good-bye/NO ONE IS TO BLAME＊ 全10曲
作曲：尾崎 豊（＊作曲：Howard Jones） 全曲編曲＆Sound Produced by 西本 明
CD：SRCL2456 税込定価¥2,800（税抜価格¥2,718） 好評発売中

キラメクようなオルゴール・サウンドに想い出をたくして。

## オルゴール仕掛けのファンタジー ～尾崎 豊 作品集～

演奏：ザ・ワールド・ミュージック・ボックス・オーケストラ ●十七歳の地図/ダンスホール/自由への扉/街の風景/ドーナツ・ショップ/卒業/失くした1/2/黄昏ゆく街で/シェリー/汚れた絆/Mama, say good-bye/I LOVE YOU 他全14曲 作曲：尾崎 豊 編曲：西脇睦宏
CD：SRCL2483 税込定価¥2,600（税抜価格¥2,524） 10月21日発売

Sony Records
Sony Music Entertainment (Japan) Inc.
SONY

# パチ・パチ・ランド

●涼しくなって来たことだし、夜遊びもほどほどにして、家でゆっくりテレビを観たり、ラジオを聞いてみたりしてはいかがかな？　10月は、多くの番組がリニューアルするよ。どの番組も、ますますおもしろくなるから、見のがす、聞きのがすなんてことがないように、このページを参考に、しっかりチェックしてね。

## 今月のアーティスト　小室哲哉

●残念ながら小室哲哉さんは現在のところテレビ、ラジオ共に出演の予定はありません。とにかく忙しくて海外と日本を行ったり来たりの先生だから、スケジュールの調整が大変なのかもしれませんね。

けれどももちろんそれは今のところのお話。突然の御出演！　などということもあるかもしれないので、新聞のテレビ・ラジオ欄は毎日チェックされることをおすすめします。

音楽番組はもちろんだけど、小室さんはあのとおりのお話上手。なので、これまでにも「徹子の部屋」「笑っていいとも」「おしゃれ30：30」「ものまね珍坊」etcに出演しているし、V2では「なるほど！　ザ・ワールド」に出たことがあるという数々の実績の持ち主。それゆえ今後も意外な番組に出演！　の可能性があるかも……　保証はできませんが。

ところで10月24日には小社より写真集が出る予定。担当編集者である岡村にその内容についてきいてみました。なんと、全てがフロリダでのロケによるオリジナル写真集。OFFショットのみを収録した最初で最後の完璧なるプライベート写真集だそーです。その名も『HIT FACTORY』10月24日は書店へ走れ!!

## WOWOW

### ●衛星テレビ

【今月のおススメ番組】

★ビーナス・ベーターライブ　10月15日(木)16：30～('92年6月9日　ロンドン、マーキー・クラブにて収録)

★NOKKOライブ　10月17日(土)16：00～('92年8月11日～20日　東京晴海、東京国際見本市会場西館にて収録)

★THE RECORDING#2　出演：EPO、坂崎幸之助、楠瀬誠志郎　10月17日(土)12：00～

★バービーボーイズ　ファイナルドキュメント　10月18日(日)16：00～

★THE RECORDING#3　出演：白井貴子、TOSHI(X)、青木秀一(ナイトホークス)　10月24日(土)12：00～

★THE RECORDING#4　出演：泉谷しげる、どんと(ボ・ガンボス)　10月31日(土)12：00～

★長渕剛ライブ　10月15日(木)21：30～

※WOWOW(衛星テレビ)に加入を御希望の方は、WOWOWに加入している、お近くの電気店へ御相談ください。

## CHARA

### ●新番組スタート

▼セカンドアルバム〝SOUL KISS〟も大好評のCHARAちゃんがパーソナリティをつとめるラジオ番組が、10月5日(月)からスタート!!　番組名は『横浜チャラ町8-4-7』です。(FM横浜・毎週月曜日・19：30～20：00)

▼毎回、CHARAちゃんが、町の中へ出て、いろいろな人や物を観察。アベックや、車や人物を見て、その場で楽しいトークを聞かせてくれます。日常の町中でふと思うことを、台本もなしで話してくれるから、とってもウレシンよね。選曲も、その日のその町の雰囲気や天候や……と、その時の気分で選んでくれるそうです。そんなCHARAちゃんのトークが毎週聞ける私達はシアワセだねーっ!!

## VIDEO JAM

### ●新コーナーあり

▼10月からVIDEO JAM新装開店!!　1週目はバラエティに富んだ情報週。濱田マリちゃん(モダンチョキチョキズ)の1分間コーナー(この人の1分間はタダモノではない)やオーディション、アルバムの最新情報コーナーなど新コーナーも続々と登場!!　司会は、ローリー寺西とCHARAでーす。

【今月のLINE-UP】

●スタジオゲスト＝ス

●ピックアップアーティスト＝ピ

※「　」内はON AIRビデオ曲名。

▼10月第1週

★松田聖子『きっと、また逢える…』★NAHKI『SOMETHING SPECIAL』★久宝留理子『GO! Everyday』★爆風スランプ『友情Ⅳ愛』★X『Endless Rain』★THE BOOM『星のラブレター』★PRETTY MAIDS『Please Don't Leave Me』

▼10月第2・3週

月間号(テレビ朝日はお休み)

▼10月第4週

ス詩人の血

ピりんけんバンド

▼10月第5週

ス杏子『DISTANCIA～この胸の約束』

ピTHE REBELS(レブルズ)『予定』

【ON AIR日時】

テレビ朝日(第2・3週休み)　土曜日26：35～(ただし、10月3日のみ27：05～スタート)

※現在のところ、テレビ朝日以外の放送局のスケジュールは未定です。新聞などでチェックしてくださいね。また、〝第○週〟の日にちは各局の放送日によって変わりますので、十分注意してください。

## SPACE SHOWER

### ●ケーブル・テレビ

《BOOING》

【今月の出演者予定&内容】

10月26日　ZELDA　3年ぶりのアルバムをリリースするZELDA。昨年1年ぶりに活動を再開した彼女たちの復活への軌跡をたどる。

10月26日以外は未定。

(初回放送　毎週月曜日18：00～19：30)

(再放送　木曜日20：00～21：30／金曜日23：00～24：30／土曜日14：00～15：30／翌週日曜日12：00～13：30)

《LIVE SHOWER》

【今月の出演者予定&内容】

10月10日　ZELDA

10月17日　THE PRIVATES

10月24日　DE+LAX

10月31日　お休み

(初回放送　毎週土曜日18：00～20：00)

(再放送　翌週日曜日23：00～25：00／火曜日20：00～22：00／木曜日12：00～14：00)

## eZ

### ●タイトル変更!!

▼4年も続いている音楽番組〝ez〟'92年からは、歌ありトークありダンスありの憧れのアーティストを間近で見ながら一緒に楽しんで、その模様が翌月にON AIRされる、そんな嬉しい公開TV-SHOWが生まれました。

▼コレを機に、番組名が〝ez〟から〝TV-SHOW ez a Go! Go!〟に変更。そしてテレビ東京でのON AIR時間も、毎月最終金曜日の夕方5時からに変わります。

▼全く新しいスタイルで始まる〝TV-SHOW ez a Go! Go!〟これからの展開を期待していてね。

【今月のLINE-UP】

★FENCE OF DEFENSE・遊佐未森・L.S.D.P.(詩人の血)badmessiah・CHARA。

【ON AIR日時】

テレビ東京　10月30日(金)17：00～

※現在のところ、テレビ東京以外の放送局のスケジュールは未定です。新聞などでチェックしてくださいね。

## LIVE TOMATO

### ●ソフトバレエだよ

【今月のLINE-UPアーティスト】

10月15日　DE+LAX(7月25日　後楽園ホールにて収録)

10月22日　喜納昌吉&チャンプルズ

10月29日　神内大蔵(クラブチッタにて)

11月5日　ソフトバレエ(10月14日　市川市文化会館にて収録)

【ON AIR局】

| 局 | 放送日時 |
|---|---|
| テレビ神奈川 | 木曜日22：00～22：55 |
| テレビ埼玉 | 木曜日23：45～24：40 |
| 奈良テレビ放送 | 金曜日25：05～26：00 |
| テレビ和歌山 | 金曜日26：00～26：55 |
| 北海道テレビ | 月曜日24：30～25：25 |
| 山形放送 | 木曜日24：55～25：50 |
| テレビ新潟 | 土曜日27：20～28：15 |
| 静岡第一テレビ | 木曜日25：15～26：10 |
| サガテレビ | 土曜日25：20～26：15 |
| 長野放送 | 木曜日25：10～26：05 |

▼本文中のひにちはテレビ神奈川での放送日です。他局でご覧の方は、10月から放送日や放送時間が変わることがありますので、間違えないよう、新聞などでチェックして下さい。

## MUSIC GUMBO

### ●リニューアル!!

★MUSIC GUMBO FRIDAY
――D・J森田恭子――

【今月のLINE-UP】

Jun Sky Walker(s)

大沢誉志幸

L.S.D.P.(詩人の血)

小室哲哉

▼出演日は全て未定です。ラジオでチェックしてくださいね。

FM802(80・2MHz)22：00～24：00

▼10月から、番組が少しリニューアルします。今までと、ちょっと違った感じでやりますのでお楽しみに。

▼森田さんが書かれた『君だけにラジヲ』ただ今、好評発売中!!

¥1300(SSコミュニケーションズ刊 問03-5276-2200)

# My Favorite Things VO.1
# FAN

# 鈴木彩子

SAIKO SUZUKI

# 私の大切なもの

第　1　回

新連載
スタート

●今月号から新連載〝私の大切なもの〟がスタートします。
SABOにとって大切なものとは？　それは形のあるものだけではない。
彼女の心の世界があふれている読み物連載の１回目は〝FAN〟。

PHOTO●HIROYUKI TANEDA　COPY●HITOMI MATSUNO

〝会いたかったよ、こんな気持ちにはほかじゃなれなかったよ、信じていい〟

これは、SABOがライブで必ず1曲目に歌う曲、「COUNT DOWN」のワン・フレーズだ。

「ステージに出て行って、ファンの人たちに会えた瞬間って、本当にその詞のとおりの気持ちになる。もうステージからみんなの上にパーッて飛び下りたくなるくらい（笑）」

SABOにとってはファンの人たちこそがいちばんの宝物なんである。

「最初の頃はまだ、ライブに来てくれた人たちを見て〝これがファンっていうものなんだ〟って思うくらいだった。でも、それからファン・レターをいろいろもらうようになって、SABOのことをこんなに思ってくれてんだなとか、みんなもSABOと同じで悩みを抱えてんだなとかがわかって…。そうしたら2ndツアーくらいから、SABOもみんなに心を開けるようになった。SABOが歌を歌っていくうえで、みんなの存在がいちばん大事だなって」

その気持ちは募る一方だと言う。

「SABOはファンの人たちを〝一生の友達〟のように思ってしまってるんです。友達同士でも自分を全部さらけ出して、ケンカして、お互いのいい所も憎い所もわかったうえで付き合えたら、それは本当の友達って言えるでしょう？　SABOもファンの人たちとそういう関係でいたくて。ファンとアーティストっていうよりも、人間同士の付き合いがしたい。じゃないと、本当の絆は感じられないから…。本当ならファンにとってのアーティストっていうのは〝強い〟とか〝カッコイイ〟って思える存在なのかもしれない。だけどSABOはそうはなれない。感動したら涙出ちゃうし、〝今日はダメだ〟と思ったらそれも隠せないから」

SABOってヤツは不器用なほどに正直だから、自分を取り繕うなんてことができない。先頃、こんなことがあった。4thツアーにおける札幌のライブ・ハウスでの出来事だ。

「あのとき、歌いながらすごくイヤな自分がいたの。〝未来は自分の手で開け〟って歌ってるくせに後ろを向きな自分がいて…。そのまま乗り切っちゃえば良かったんだけど、自分にウソついて歌うのがイヤで、SABO、アンコールのときにみんなの前で泣いて叫んじゃった。〝SABOは強くないし、意地悪だし、どうやってみんなを包み込んだらいいんだって〟。みんな黙りこんで、まずい雰囲気になったんだけど、そのとき、みんなの前で10コの約束をしたの。〝意地悪をしない〟とか〝メンバーを大切にする〟とか〝ウソは歌わない〟とか。その約束を守るって、泣いてみんなに誓ったんですよ」

自分さえもっと強ければ、もっと温かいライブになるはずなのに——そんな気持ちが強いがゆえに、SABOは自分に対する悔しさや情けなさを感じ、思わずさらけ出してしまったのだろう。でもファンのみんなも、SABOがさらけ出した弱さを正面から受け止めてくれたようだ。

「そのあとで手紙をもらったんです。〝僕たちは完璧なSABOを求めてない、ガンバってるSABOが好きなんだから、もっと自分を信じることだよ〟って書いてあって…」

そんなふうに、みんなに支えられることもある。多分、一緒に泣き、笑い、感動することのできるみんながいるからこそ、SABOは愛や勇気を歌う鈴木彩子になれるのだろう。

SABOとみんなが実際に会えるのはツアーのときだけ。だからSABOは自分とファンを「織姫と彦星みたい（笑）」と言う。でも〝次にSABOに会うときまでにはもっと自分は大きくなるから〟と、会えるその日を目指して頑張ってるファンも少なくないそうだ。「ファン・レターを読んでると、すごく感じるんです」

SABOとみんながシッカリとした絆でつながっている証拠だと思う。そして、SABOもみんなと同様に少しでも人間的に成長しようとひたむきに頑張っている真っ最中。「みんなの力になれるよう、もう少し頼り甲斐のある自分にならないと」

〝会いたかったよ～〟というフレーズを、SABOは今後、ますますリアルに感じるようになるだろう。

# ありがとう。大江千里

●11月6日にリリースされる千里くんのニュー・シングル「ありがとう」は、千里くん自身が出演するドラマ〝十年愛〟の出題歌でもある。(10月16日より毎週金曜夜10時〜 TBS系)
〝ありがとう〟という言葉を、〝さりげない言葉〟の達人、千里くんはどんなふうに歌にしたのだろうか。アルバムのレコーディングも続行中の彼にインタビュー。

撮影●大川直人　文●天辰保文　ヘアメイク●中村裕美子

# アルバム全体を包みこむような、暖かい曲にしたいなって

ストリングスが静かに滑り出し、それに乗せて、〈ありがとう　今年さいごに　ありがとう〉と、歌いだされる。大江千里のニュー・シングルである。タイトルも、そのまま「ありがとう」。ソーッと目を閉じる。すると、家路へと急ぐ遊び疲れた子供たちや早めに帰宅するサラリーマンたちが、夕日の沈む川っぺりをすれちがっていく。そういった夕暮れ時の何気ない光景が浮かんでくるような曲でもある。あまりにも当たり前に存在しているものだから、忙しい毎日の中で見過ごしてきた大切なもの、それに気が付いたときに込み上げてくるなんとも言えない情感がうまくでていて、この曲が放つさりげなくて、ある種の郷愁にも似た独特の空気感がぼくは好きだ。

――この曲は、テレビ・ドラマの主題歌ということですが、その為にお書きになったんですか。

**「いえ。アルバムのポジションで言えば、さりげない位置に持ってこようと思って書いたんですけど、今回のドラマの内容にすごくあってて、みんなこれがいいんじゃないかってことで決まったんです」**

――ドラマには、千里さんも出るんですよね、内容について教えてくれますか。

**「田中美佐子さんとダウンタウンの浜ちゃんが出るドラマで、現在から10年前まで遡りながら、毎回、1年ごとの男女の奇妙な友情を描いていくという内容なんですけど、ぼくは、田中美佐子さんと両想いで結婚する……という設定なんですけどね」**

――10年と言えば、この曲を聞かせていただいて、「HONEST」のときにも思ったんですけど、一区切りでもないけれど、活動10年という漠然としたものがあって、その辺を意識しているのかなと。

**「ぼくは、日々殻を脱いでいるような感覚でやっていますんでね、とくに10年一区切りっていう感じで自分の中で大袈裟には考えず、淡々とハードルをクリアしていければいいなと。ただ、10年という日々の中で、自分で育てた部分、逆に育てられた部分が目に見えないところにあって現在の自分がいてというようなことを、ぼんやりと、それは頭で考えるというよりは体感みたいな部分で細胞がひしめきあっていて、自然体で曲を書こうとすると、やっぱりどこかに、行間なのか、言葉じりなのか、音のひとつなのか、そこら辺を連想させるものが出てきてしまうんですよね」**

――ストリングスが綺麗な曲ですね。

**「これは、一発録りでやったんです。10年間で初めての体験で、結構キマシタね。ブースの中で、ピアノの人が隣にいて、それで向こう側がガラス張りになっていて、それ越しに、弦の人の背中とか、指揮の人の手とかが見えて、そんな中で、ピアノの人の手を見ながら歌う。自分のブレスの音ひとつで弦が入ったりする、そういう緊張感の中で一回合わせて、そこで詞が浮かんで、ババッと書いて、3回くらいでOKだったんですよね」**

――「HONEST」のときには、〈ハロー〉、今回は、〈ありがとう〉というように、さりげない言葉の使いかたが印象的ですよね。

**「小さい頃から使っている言葉ですからね、使いかたによっては陳腐にもなれば素敵にもなる。そういう意味では非常に危ない言葉で、いままでも使おうと思ってもなかなかね……」**

――曲のアイディアみたいなものは具体的にあったんですか。

**「アルバムの最後に入れようと思ってた曲なんで、アルバム全体を包みこむような、暖かい曲にしたいなって。ラブ・ソングでもいろんな曲があると思うんですけど、どうしても、愛の激しさとか、自分の熱が上がってきた分を相手に伝えようと躍起になる歌が多くて、そういうことを、個人が自分の中で積み上げて、フッと愛する人と向かいあったときに、そういうことを一言も言わずにさりげない空間で歌えるような歌……、君の為に戦うのさ、じゃなくって、戦ってきている部分などもありつつ、それを口にしない空間で書ける歌っていうのを模索してて、それで、出来た歌ですね」**

――〈オリンピック〉という言葉がでてくるんですが、この言葉ひとつで歌の背景や状況みたいなものがスーッと出来るあたりが面白いですね。

**「時間や場所の設定がしてなくて、そうやって最後に〈オリンピック〉ってところで、ハッキリしますからね。ここで、私小説だってとらえる人と、まったく違ったラブ・ソングとしてとらえる人と別れると思うんですけど、この曲を聞いたある人に、『結婚するの?』って言われて、書いた本人がビックリしちゃった。(笑)思いもよらなかったから(笑)」**

――ただ、結婚式なんかでよく歌われる歌ってあるじゃないですか、そういう曲になるかもしれないなとは思いましたよ。(笑)

**「そうですね。妹が今年結婚して、その結婚式で『きみと生きたい』を歌ったんですけど、実は、この曲を歌いたいところだったんですよ。ただ、詞が最終段階まで出来てなくって(笑)」**

――最近、テレビ・ドラマの主題曲とか、その関連でヒットが生まれることが多いですよね。ヒットが生まれる形が少し類型化され過ぎて、偶発性に欠けるきらいもあるんですが、その辺に関してはシンガーとしてどういうふうにとらえてるんですか。

**「一シンガーの立場からみれば、状況はあまり問題じゃないんですよ。むしろ、自分が何処へ行きたいのか、そういうことであってね。例えば、今回の『ありがとう』は派手じゃないし、その辺がどう受け止めてもらえるか蓋を開けてみないとわからないんですが、『格好悪いふられ方』じゃないけれど、テンポがあって、キャッチーなメロディーがあって、というものを持ってくる方法もあるだろうし、結局、自分が何を選んで、何処に行きたいかだと思うんですよね。出す以上は多くの人に聞いてもらいたいという気持ちはありますけど、ヒットするとかしないとかは結果でしかないという気持ちと、それ以上に何を出していくかってことがぼくにとっては重要なんです。ぼくのファン以外の沢山の人が耳にする機会を得る訳ですから、そういう意味でね。だから、自分にとって、ここに行きたいっていうのがあって、そこに行く為の、乱暴かもしれないけれど、そういうトライをする為のいい機会ではあるんですよね」**

――アルバムのほうの進行状況について教えてくれますか。

**「現時点で8割5分くらいだと思います。今年はわりとゆっくりと構想に時間がとれたので、足かけ5か月っていう曲もあります。(笑)最初の音をとってから最後の音被せが終わるまで、5回しかレコーディングしていないのに、5か月かかったりとかね。そうかと思えば、1日徹夜でアッというまに終わったのもあれば、この曲のようにオーケストラを使ったのもある。それに、オールデイズっぽい曲って、やりそうでいて、ぼくはいままでやったことなかったんですけど、杉真理さん、須藤薫さんと3人でやった曲とか楽しかったですよ。麗美とデュエットしたりとかね」。**

ちなみに、アルバムの発売は12月2日の予定だそうである。

募集！　千里くんの全曲の歌詞の中で、「この一節が好きでたまらない！」という一節とその理由を教えて下さい。曲名、その一節、好きな理由や、それにまつわる思い出話などを書いて、必ずハガキで次の宛て先まで送って下さい。あなたの住所、氏名（ペンネーム希望の方はペンネーム）年齢、電話番号も明記して下さいね。[宛て先] 〒156-91　世田谷区千歳郵便局私書箱25号　ソニーマガジンズ　パチ▶パチ「千里くんのこの一節」係。

ありがとう。大江千里

ありがとう。大江千里

# T BORAN
## SO BAD

●11月11日に3rdアルバム『SO BAD』をリリースするT・BOLAN。全曲作り終えたというまさに、その当日、森友嵐士は、いつになく熱く語ってくれた。"自分達が憧れていた大人になりたくて……"前作までの"時代への語りかけ""共感"といった方法論とは、又違った形で彼は何かを伝えようとしている。

PHOTO●HIDEO KANNO　COPY●MIKA KAWAI
STYLIST●ICHIKO YASUI　THANKS●DOUBLE DECKER

「前回の『夏の終わりに〜Acoustic Version』は、"夏の終わりにずっと聞いていたいアルバムを作りたい"というコンセプトを持った作り方をしたけど、通常のアルバムって、アルバムを作るというよりも、一曲一曲の楽曲を作り上げていくという気持の方が強いから。その集合体となったものが、T・BOLANのひとつのアルバムとなっていくという考え方なんだ」

というわけで、なんと3rdアルバムを作り終えたばかりという。3日間くらい徹夜状態で、けっこう森友嵐士のテンションは高く、作り終えたという手応えも手伝ってか興奮気味の中のインタビュー。とにかく早く今回の大きな声のひとり言を聞いてほしい、という感じで森友嵐士は話始めた。

「"So Bad"というタイトルを見たら、ある種、ものすごい否定的なイメージ、たとえば時代に対する否定とか、大人たちに対する否定とかね、あると思うんだ。でもオレの中では"Bad"という言葉は、オレ流のスラングとして"GOOD"という逆の意味を持っているわけなんだ。だから時代や大人たちを否定しているのではなくて、自分があこがれていた大人になりたくて……、なれたら最高だよね、So Bad、という、そういう意味合いなんだ。つまり、自分自身に向けて発しているんだ」

今回の大きな核のひとつのテーマとして、世の中や、時代、大人たちを否定することよりも、自分がたどってきた日々の中で、憧れたり、好きになったりした大人たちもいたことや、そういう大人になりたいと思った自分の気持をもう一度、自分の中によび戻し、自分自身が憧れられる大人になっていきたい、というそうな思いも込められている。

"大人になることを否定するよりも憧れられる大人になりたい!!"

デビュー以来ずっとポジティブに歌を作り、うたい続けてきた森友嵐士だが、ここにきて（前作のアルバムもそうだった）そのポジティブさと、ボーカルの持つエネルギーがとても変化を始めてきたように思う。そう、まるで赤い熱い血が、メロディーやボーカル、もちろんメンバーのプレイも含めて、すべてに通い始めた感じがするのだ。

「"BOY"という曲があるんだけど作り終って思ったことは、この曲、いままでの自分たちの中で、本当に今回一番新しく出てきたものじゃないかなと思う。サウンド的にとか、うたい方がとか、歌詞の内容がとか、そういった具体的なことじゃなくて、なんか、レコーディングをしているときに、何かが何処かから入ってきて、それこそ血というか、魂を吹き込まれたみたいな、そんな曲になったんだよね。ディレクターは[illegible]スし終ったこの曲を聞いて、"讃美歌みたいだ"といってたけど、なんか聞いていると、ありがたくなってくるというかね、変な話……」

この曲は森友嵐士と青木和義の2人の手によって作られた。その発端は、デビューをし、2枚のアルバムがリリースされての1stツアーのとき。ライブが終了した後の打ち上げのときに、森友、青木、そしてマネージャーの吉田氏の3人で、"T・BOLANをやめないでよかった"という話から、これまでの感慨に興奮をし、そこから発展して子供の話になっていったという。

「マネージャーの吉田が、子供が生まれたときから、すごい変わったというんだ。ひとつの命が誕生すると、そのまわりにいる人々にものすごいエネルギーを与えるんだな、と感動してね。それを歌にしたいなと思ったんだよね。でオレも子供を持ったことないし、これはひとりより2人の方がと、青木と作ったんだ。作ったときは、ある種、自分が親になったら、こういう愛情がもてるんだろうな、という感覚を想像しながら、作ったし、うたったんだ。ところができ上がって聞いていたら、自分の親のこととかを思い始めてね。自分も親にきっと、こういう風に愛されてきたんだな、と……」

森友嵐士は無意識の中で、命そのものの尊さと、それを生み育ててくれた親、大人たちの尊さを実感した。

NEWS●11月18日、6thシングル「Bye For Now」をリリース。
ファンクラブ●T・BOLANファンクラブ「TEARS INFORMATION」現在会員募集中!!　03-3479-6231まで。

# Breakfast at Tiffany's

*tomoko*

## 自分にないところを持ってるから好き

●日本の婦女子ときたら、オードリー・ヘップバーンが好きで好きで、その情熱ときたら、オードリーが登場した日から現在にいたるまで変わることなく、今野さんの場合も「お母さんがファンで、一緒に観に行ったりしてた」ことが、きっかけなのでした。世代を超えてファンを持つとは、このとこなり。

「すごい好きでねぇ。なんで好きかっていうと、自分にないところを持ってるからだと思うのね？　まぁ、ホントの性格は知らないけど、映画のオードリーは、すごいキュートでかわいくてね。憧れますね」

それのどこが今野さんの持ってないところなの？　と聞くと、「憎たらしいじゃん、アタシ(笑)」

加えて「オードリーって、華奢でしょ？　アタシどっちかっていうと、大柄で骨太って感じだし」と、ミもフタもないことを次々と。それにしては、できすぎと思われるくらいに美しい〝ティファニーで朝食を〟のホリー・ゴライトリー役の今野さん。

「いやぁ、おこがましくて(笑)ホントは〝麗しのサブリナ〟みたいに、スパッツをはいてやろうかなと思ったんだけど、スタイルが違いすぎるから、やめたんですよ、今回(笑)」

そんなことを言うと、お母さんが泣くぞ。

ちなみに、メンバー中いちばん女優願望が強いと思われるのが今野さん。演技力もまた、いちばんあると思われる。

「でもね、ちょっと挫折してるんです。その気持ちはいまんとこね、飛んじゃったの」

なんで？

「んー……いろいろ（笑）なんか女優さんってさ、早起きして、時間待ちして、で、上下関係とかあったりしてたんへんそうでしょ？　アタシ、ラクな生活をしてきてしまってね、ワガママっていうか横柄だから(笑)きっと耐えられないんじゃないかなぁって思うの、いまのままじゃね。もうちょっと歳を取って、それで話があればやるけどもいまはちょっと無理かな」

あまりにも自分を厳しく見すぎているきらいもあるけれど。

「だって、女優さんっていうとさぁ、〝憧れてる女〟だからね。役者っていうのは、また別でしょ？　で、自分が役者になれないのはわかってるから。うん……やるからにはね、〝すごい〟って言われたいわけよ、やっぱり。だから、いまはちょっと自信がないなって感じなの」

### ティファニーで朝食を

ヘプバーンの愛くるしい微笑、細い体にフィットしたファッションetc、彼女の魅力満開のおしゃれで都会的センスあふれるラブ・ストーリー。ニューヨークの宝石店ティファニーを観光名所にしてしまった作品でもある。'61年のアメリカ映画。音楽はヘンリー・マンシーニ。

ncess

●芸術の秋です。今月は格調高く、プリンセス²の案内による名画鑑賞などいかがでしょうか。案内役の５人には銀幕のヒロイン（ヒーロー!?）に扮していただきました。……あーあー、まったく、それにしても。どうしてこうまで個性的なんでしょうかね!?

撮影●ZIGEN　文●宇都宮美穂　スタイリング●前原都子　ヘアメイク●横田八重
衣装協力●ヒステリックグラマー☎03(3478)8471 (P.188)

# 映画を観に行っても耳は音楽を聞いてる

●常々思っていたことではありますが、この際に言わせていただくと、あれほどサバサバしていて、隠し事などまったくないかのように思われる奥居さん——なのに、なぜか生活感がない。いわゆるドロドロ、ジメジメしたところがまったくなくて、スターの必須条件とも思われる、不思議なベールを持っている人ではないでしょうか。こういう人が何かを演じるとなれば、どうなるか。

やっぱしね。"ピーターパン"に出てくるティンカーベルなわけだ。ティンカーベルといえばアナタ、妖精なわけで、それなのに奥居さんはちーとも異和感がない。まぁ、本人はそこまで考えてはいないようで、ティンカーベルを選んだのは、「映画っていうと、やっぱディズニー系が多いかなぁっていう」

「全部観てるわけじゃないんだけど、アレ音楽が楽しいじゃん。特に"ピーターパン"は好きなんだよね」

あくまでも音楽でしか世間を見てないあたりが、どうも浮世離れした印象を与える一因か。

「音楽がすごくいいと、映画の印象って変わるでしょ？　ディズニー系の映画音楽の他には、スピルバーグのをやってるジョンウィリアムスっていう人の音楽が好きで、このまえオーケストラを書いたときなんかずいぶん参考にした」

と、ちっとも演技面での話は出てこないわけです。ハハハ……。

奥居さんてやっぱり、演技したいとかいうより……。

「あ、全然(笑)」

映画音楽をやりたかったりするのよね？

「絶対そっち。うん。映画に出たいなんて、思ったことないなぁ、生まれてこのかた」

極端といえば、極端ではありますが、この人の場合、映画を観に行っても「耳は音楽を聞いてる」

ゆえにそのとき、映像と音楽は切り離されていると。

「女優さんとか、ちょっと興味ないなぁ、(笑)もう別世界のような気がしてねぇ」

名曲を数多く残すディズニーのサントラ。それらを有名ミュージシャンがカバーしたアルバムがいくつも出されているほど。

「ああいうの、いいよねぇ」

こちらにこそ憧れがあるようで、「アタシがカバーやるんだったら、"星に願いを"をやってみたい」なのだった。

PETER PAN
*kaori*

## ピーターパン

奥居さんが扮しているのはもちろん妖精ティンカー・ベル。背中のちっちゃな羽根にも御注目ください。ジェームス・バリ原作の「ピーターパン」を、ディズニーが夢いっぱいのアニメ・ファンタジーに仕上げた、'53年のアメリカ映画。音楽はオリバー・ウォーレスが担当。

*Princess Princess*
**Cinema Prin**

atsuko

# 極道の妻たち

## こういう格好すると自分がどんどんハマッていく

●御覧下さい、この見事なまでのなりきりぶり。

「似合ってますか？(笑)」

もちろん、もーちろんっ、似合ってますとも!! 粋な着物の着こなしといい、キリリとした鋭い目の表情といい、ぜひとも五社監督に推選したいところだが、惜しくもこの夏、故人となってしまわれた。

「"極道の妻(おんな)たち"は、チラッと観たことがあるだけで、ちゃんと内容を知ってるわけではないですよ。だからもう、単なるイメージで決まったという」

みんなで相談していたときに、他のメンバーから、あの"エマニュエル夫人"をやれと言われたそうな。いきなり、性の冒険者になるのもあんまりなので……という、妥協案から"極道の妻たち"が選ばれたわけですが、それにしてはあまりにピッタリ。ふたつのサイコロが指に吸いつくよう。

「ギャンブル大好きだし(笑)もう、ここまでやっちゃったら、イレズミとかもね、やりたくなっちゃいますよね。エスカレートして」

そこまで行けば、それは暴走。

「不思議なもので、こういう格好すると自分がどんどんハマッていくんですよ。だから、アタシは全然演技はできないから、よけいに役者さんとかって、すごいなぁと思うのね。自分では"ああなりたい""こうなりたい"って願望を持ってても、なかなかそうできないもんね」

誰にでもある変身願望を、絶えずかなえているのが役者なわけで。

「うらやましいよねぇ」とは思うものの、女優になりたい的な気持ちはあまりなし。

「いまでこそ、人前に出てライブとかやってるけど、昔から引っ込み思案だったんですよね。すぐに"え、アタシなんて……って言っちゃうようなタイプで。だけどそれって、恥ずかしいって意識と一緒に、うらやましさもあるわけだし……ねぇ？ そう考えると、なりたいっていうよりは、憧れの気持ちが強いんでしょうね」

もしも、何かを演じるとすれば、渡辺さんがやってみたいのは「SFもの」。

「"ターミネーター"とか"エイリアン"とか、ああいうの。自分で観るのが好きだからね、ちょっと憧れたりする」

要するに、強い女。でもワタシに言わせてもらえば、小津安次郎の作品に出てくるような、古風な、そして芯の強い女が似合うと思うのだが、いかがだろう。

### 極道の妻(おんな)たち

東映の大ヒットシリーズで、'91年までに5作制作されている。原作は女性ルポライター、家田荘子が28人の"極道の妻"に密着取材したベスト・セラーのルポルタージュ。毎回、人気、実力ともに充実した女優をヒロインに迎えている。彼女たちの着物の着こなしは、まさに"粋"。

*Princess Princess*

# Cinema Princess

## すごい好きだからね、30回以上観た

●従来のイメージと違わないという意味では、この人がいちばん。〝ロッキー・ホラー・ショー〟のフランケンに扮してみても、グラマラスな雰囲気はもともと中山さんが持っていたものと言えましょう。逆にいえば、なりたいものに、普段から近づく努力をしているとも言えますが。

「もう、真っ先に〝ロッキー・ホラー・ショウ〟をやりたいって言って(笑)」

その気持ち、たとえばローリー寺西様などにもようくわかるはず。〝ロッキー・ホラー・ショー〟は、ロック・ファンなら一度は通過すべき聖書的存在で、ミュージカルのスタイルを取りながら、音楽、ファッション、思想、その他モロモロのロックのエッセンスがギュー詰めにされた映画なのでした。

「すごい好きだからね、30回以上観た」

凝り始めると止まらないのが中山さん。〝ロッキー・ホラー・ショー〟には、劇場編もあって、こちらはロンドンにおいて、70年代の頃からいまもって続けられているロング・ラン。トーゼン、劇場にも「行った、行った」

「お客さんが先に台詞を言っちゃったりして、そういうかけ合いも面白いよね」

「最初に観たときはね、21歳だったのかな!? あんなヘンなものを観たのは生まれて初めてだったから、アタシの知らない世界だと思って、そこにまず魅かれたのね。で、あとから考えると曲がよかったりとか、いろいろ好きなものが入ってたんだろうなと思うんだけど、当時はそのワケのわかんなさに魅かれた。ケバいっていうか、エグいっていうか、妙に好きだなっていう」

いわゆるロックの匂いを嗅いでしまったと。

「で、何度も観ると、あ、〝タイム・ワープ〟という曲がいいんだなとかね、化粧が好きだとか、ファッションがいいとか、だんだんわかってくるんだけどね」

それにしても30回以上も観るというのは、マジに〝ロッキー・ホラー・ショー〟の世界が好きなのでありましょう。

「飽きないんですよね、しかも、(笑) 意味がわかんないっていうのがいいんだろうな。いまでもまだわかんないしね。で、フランケンのこの顔が好きとかいうのもあるから、いちいち止めて見たりしてね」

彼氏にあきられませんか?

「あきれられない。一緒に観てくれる(笑)」

……幸せなのね、アナタって。

### ロッキー・ホラー・ショウ

73年にロンドンで初演されてヒットしたR・オブライエン原作、作詞、作曲のロック・ミュージカルの映画化。全編に有名なＳＦ映画、怪奇映画のパロディーが散りばめられている。主な曲は「タイム・ワープ」「好きだよ／ジャネット」「汚れなくワイルドに」など。'75年イギリス。

## THE ROCKY HORROR PICTURE SHOW

*kanako*



8月号［あら？カルトＱの答え］Ｑ１・恵比寿ファクトリーII　Ｑ２・武道館　Ｑ３・VIVA YOU　Ｑ４・よりぬきキクニさん　Ｑ５・ハードロック（ヘヴィヘタル）　Ｑ６・サイちゃん　Ｑ７・アリサちゃん　Ｑ８・リサ　Ｑ９・エースコックのワンタンメン　Ｑ10・体操部　演劇部、ブラスバンド部から２つ　Ｑ11・ホンダ　Ｑ12・ディスティニー　Ｑ13・カオリプリンセス　Ｑ14・坂本みつわさん　Ｑ15・友達のまま／Moon Light Story　Ｑ16・ベアデッド・コリー　Ｑ17・植木ばち　Ｑ18・天むす　Ｑ19・７台　Ｑ20・紅白まんじゅう　Ｑ21・日比谷野外音楽堂　Ｑ22・満月　Ｑ23・フィル・コリンズ　Ｑ24・ハートブレイカー　Ｑ25・詞を書き始めた　Ｑ26・魅せられて　Ｑ27・えっちゃん　Ｑ28・ササジーズ「パピヨン」　Ｑ29・小林麻美さん　Ｑ30・武道館（当選者の発表はＰ.223を見て下さい）

# 友達にも〝あ、チャッキーが来た〟とか言われる(笑)

Child's Play

Kyoko

●絶句。富田さんがこの、〝チャイルド・プレイ〟はチャッキー役の装いをして我々の目の前に現れたときの、その衝撃をなんと書いてお伝えすればわかっていただけるだろう。スタジオに一瞬水を打ったような静けさが訪れ、そうして後に、爆笑が渦巻いたあの雰囲気を。悲しいのか、嬉しいのか、ああキョンちゃん。いったいなぜ、そうして、よりによってチャッキーなのか。

「チャッキーが好きなんです」

ええ〜〜〜!? (←浜ちゃん口調)

「好きなのよ、昔から〝オーメン〟のダミアンとかが。(笑) で、友達にもね、なんかイタズラしようと思って企んでると〝なにチャッキーみたいな顔してんだ〟とか言われたりね、待ち合わせしたりしてると〝あ、チャッキーが来た〟とか言われる(笑)」

……そうか、そこまでわかっているなら、ワタシも言わせてもらおう。富田さんは要するに、不二家のペコちゃん、あるいは象のサトちゃん的な、モニュメントとしての雰囲気がヒジョーに漂うキャラクターなのでしょう。

「そう。だから、チャッキーにも親近感持ってるの(笑)」

〝チャイルド・プレイ〟は、人形(チャッキー)が実は悪霊だったという、オカルト映画なのだが、あまりのアホらしい脚本に大笑い。作り手の意図とはまったく別の、コミック映画として受けてしまったというヒサンな映画であります。

チャッキーに対して持っている印象を。

「トボけたいい野郎だな(笑)」

これですよ。

「ドジでしょ? そして(笑)」

ああ、チャッキー。しょせん人形のやることはたかが知れてると笑われて……(泣く)

(髪を引っぱりながら)「これ、自毛ですよ」

ウソー!?

「ズラじゃないの」

心なしか、自慢気ですらある富田さん。ひょっとしてアナタは……。

「いや、気に入りましたね、この格好。次のツアー、これで廻りたいぐらい」

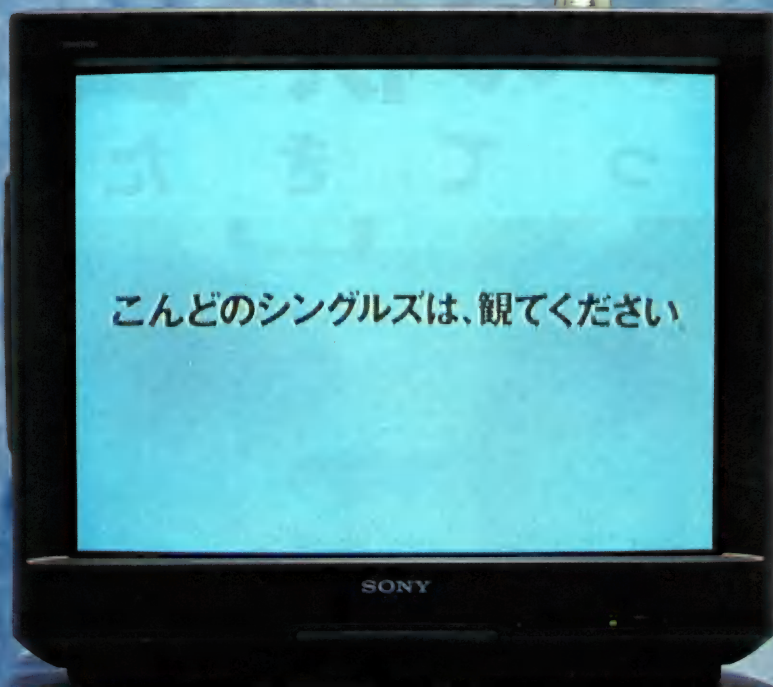
ガーンッ。全国百万人のキョンちゃんファンの皆さま、それでもいいっすかぁー!?

「でも、今日は集合写真がなくてよかった。(笑)オードリーや、ティンカーベルにはさまれてこれはないもんね(笑)」

ちなみに次回のツアーに向ける第二案として亜土ちゃんもあるというが、さて……

## チャイルドプレイ

現在チャイルド・プレイ3まで作られている。プリンセス[2]もツアー中に見て大ウケしているシリーズ。言葉を話す「グッド・ガイ」人形を9歳の誕生日のプレゼントにもらったアンディの周辺で、奇怪な殺人事件が次々と発生して……という本来は怖いはずのホラー映画なのだが…。

こんどのシングルズは、観てください

# PRINCESS PRINCESS

VIDEO SINGLES 1987-1992 PRINCESS PRINCESS

あの「シングルズ」の完全ビデオ化、実現しました。

**NEW VIDEO 10・21 ON SALE**

## VIDEO SINGLES 1987-1992

⊙VHS:SRVM326 ⊙Beta:SRUM3326 ⊙LD:SRLM326 ⊙8mm:SRWM6326
¥5,500(税込)〔¥5,340(税抜)〕 COLOR/STEREO/72min

〈収録曲〉★未発表映像
★THE PRIVATE FANFARE
・19 GROWING UP -ode to my buddy-
・世界でいちばん熱い夏(昭和ヴァージョン)
・OH YEAH!
★KISS
・ジュリアン
・恋はバランス
・GO AWAY BOY
・GET CRAZY!
★M
★MY WILL
・ジャングルプリンセス
・SEVEN YEARS AFTER
・パイロットになりたくて
・DIAMONDS
★晴れた日に(撮り下ろし)

［ **INFORMATION** ］ 現在メンバーはレコーディングの真っ最中。シングルは12月上旬に、そしてアルバムは'93年1月に発売予定です。お楽しみに。

結成10周年記念
吉例、謹賀新年プリンセス$^2$'93~お正月だよ~
●日本武道館 '93・1・2(土)3(日)6(水)7(木)8(金) 問ディスクガレージ03-5704-3200 チケットぴあ03-5237-9911(特電)チケットセゾン03-5990-9911(特電)丸井チケットぴあ03-5385-9911(特電)
●名古屋市総合体育館レインボーホール '93・1・15(金)16(土) 問サンデーフォークプロモーション052-320-9100 チケットぴあ052-320-9911
●大阪城ホール '93・1・25(月)26(火) 問サウンドクリエーター06-361-9900 チケットぴあ06-363-9999チケットセゾン06-308-9999

チケット'92・11・8(日) 東京・名古屋・大阪…一斉発売
料金:全席指定¥4,326(税込)

※各日ともOPEN p.m.5:30
START p.m.6:30

こちらのシングルズは、聴いてください。
**「SINGLES 1987-1992」**
好評発売中。
⊙CD:SRCL2435 ⊙CA:SRTL1822
各税込定価¥3,000(各税抜価格¥2,913)

SINGLES 1987-1992 PRINCESS PRINCESS

Sony Records
Sony Music Entertainment (Japan) Inc.
SONY

THE CHECKERS

# MASARINA

# スポーツの秋・芸術の秋

## 続・帰ってきたMASARINA

●アルバム出してツアー回って、もう一段落ついてたと思ってましたよねぇ、MASARINAに関してはっ。(笑)ところが、ひそかにレギュラー番組を持ちつつ、活動は続いていたのである。更に、秋には学園祭から御指名がかかり、もちろん喜んで出かける2人。紅白ねらってます。

撮影●田中和子　文●根田美聡

マサリナがパーソナリティを務めるスポーツ・バラエティ番組『GIANTSの勝ち』を御存知だろうか。この番組、土曜深夜の午前2時40分オン・エアなのをいいことに（?）かなり大胆なのだ。タイトルからわかるように巨人軍を応援するわけで、選手1人1人をクローズアップしてくれるのはもちろん、ファーム・サポート、東京ドームのグッズ紹介、視聴者参加のバス・ツアーなどなど、15分枠のわりには企画充実。

えっ、これのどこが〝大胆〟かって?

フフフ。それでは〝大胆の素〟を教えよう。

フフフ。それはナニを隠そう〝マサリナ〟の2人に他ならない。

野球ツウのマサハルに野球知らずのリナちゃん。絵に描いたようなツッコミとボケのカップリングのおかげで、この番組はスポーツ番組というワクを超えてしまったんである。『ナイスプレー!ライオンズ』なんて目じゃないっすよ、ホント。

で、今月はマサリナの密着取材ってことで話題の『GIANTSの勝ち』のロケに同行。デーブ大久保がゲストと聞いて「ワーイ」とはしゃいでみたものの、緒形もいればよかったなぁ。(次点・木田)

※

午前9時、日本テレビ前集合。

深夜番組のくせに朝が早い。

そこから四ツ谷のスポーツ・ジム、スダッツに移動。選手が筋トレしてるのかと思ってワクワクしたのも束の間、そこにはインストラクターの先生しかいなかった。ガクンッ。

ここでは番組のオープニング・コーナーを収録。白いパーカーに白いスエット。白いシューズのリナちゃん登場。あーっ、もぉッ、リナちゃんカワイイッ!! あーッ、なれるものならリナになりたい。(ジタバタ)マサハルは、スダッツ・オリジナルのTシャツにグレーのジャージ。腕と手の甲の色が違うところがオトナっぽい。(㊟いわゆるゴルフ焼け)

まずは2人でラジオ体操しながらトーク。体育の授業中なら、「そこの2人!　もう少

協力●日本テレビ『GIANTSの勝ち!』/竹書房/読売巨人軍

▶オセワニナッタ、スタッフト。

▶イツノマニカ〝リーダー〟ニナッテタ、リナチャン。

しシャキッとせんかい！」と喝を入れられるに違いない。エアロバイクで軽く汗をかいたところで、インストラクターの先生と一緒にエアロビにトライ。
マサハル「おなかとヒップと太ももに効くやつを教えて下さい」
先生「ハイ、わかりました」
　腹筋まではよかったが、太ももを細くするためのスクワットになると、リナちゃんの様子がおかしい。太ももが下がらないのだ。
マサハル「キャッチャー座りもできんのか」
リナ「カラダ、カタいんです」
マサハル「アタマもカタいんです」
　余裕のマサハル、四苦八苦のリナ。
　ああ、どこまでも好対称な2人。
　10時30分、日本青年館へ移動。
　ここでは2本分収録するそうで、ひとつはハガキの紹介、もうひとつがデーブ大久保のインタビュー。（←大久保博元っていう名前があるのに、みんながデーブデーブと呼ぶ。田村亮子のことを「ヤワラちゃん」と呼ぶのと一緒だな。まったく）
　大久保選手の入りが午後1時ということで初めにマサリナによるハガキのコーナーから。
あっ、もちろんこの時は2人ともジャージ姿じゃありません。マサハルはスーツ、リナちゃんは白いシャツに黒いスパッツ。2人してカワイイわ。スポーツ番組というより『おしゃれ30・30』といった感じだわ。
　カルーく打ち合わせをして、すぐ本番。
　ポンポン飛び出すマサハルのアドリブに、スタッフから笑いが起こる。いやあ、実になごやかだ。本番特有のピリピリしたところがまったくナイ。さっきのスポーツ・ジムといい、この場面といい、心身共にくだけきっている。これが〝マサリナ・パワー〟なのだろうか。恐るべし、マサリナ。
　NGなしで本番終了→即行で昼食タイム。

※

　昼食後、マサリナの楽屋でインタビュー。

# ［なんでもアリだから、いーや、やっちゃえって］

　部屋に入ったとたん落ち着いてしまうのは畳のせいか、それとも2人の笑顔のせいか……足、くずしちゃってもいいですかぁ？
——9月いっぱいで、この番組終わっちゃうんですね。で、今日が最後の収録。
リナ　そうなんですよ。マサハルさん、知ってた？
マサハル　うん。大昔から知ってる。
リナ　そうでしたか。野球は10月まで続くんですか？
マサハル　野球と番組は違いますからね。番組は2クールということで9月まで、と。いいでしょ、このかた。天然の……。（笑）
リナ　ドラマやってる時は、スタッフにシャキシャキしてるねって言われるんですよ。
マサハル　誰だよ、そんなこと言うの。（笑）
リナ　ドラマになると私、ノホホーンとする時間がすごくもったいないと思うんです。でもこの番組はね、ドラマとは全然違うし……
マサハル　コメントも全部世間話みたいなノリだし。別に笑かそうとか、マジメにやろうとか思ってないもんね。
リナ　そうですね。野球番組なのに、それっぽくないし。
マサハル　リーダー、野球知らないですから。
——それ、本当なんですか？
マサハル　本当ですよ。だからスタッフに支えられてるんです。スタッフ悪くて野球知らなかったら苦痛になるだけでしょう？　この番組、スタッフの人がいい人ばかりで。
リナ　そうですね。あとは、マサハルさんがすごく野球のこと詳しいですし。
マサハル　それで余計に俺がダメにしてるって？（笑）飼い殺し状態。（笑）
——いろんな選手に会ってみてどうでした？
マサハル　面白いですよ、試合以外は。ヘラヘラしてるもんね。コンサートと一緒で、あんまり早い時間から集中して気合高めると、やっぱり疲れるんじゃないですか。本当は緊張してるんだけど、人と喋って冗談言って自

▶ボノボノタケショボウサン、アリガトウ。

▶ビシット、ウチアワセ。ジカンニハセイカク。

▶マサハルサンハ、ヤキュウハカセ、シカシ、リーダーハ。

▶ケッコウ、ジツハ、スポーツマン。

分なりにごまかして。でも気持ちの中は燃えてるぞ！　みたいなノリが、コンサートと似てるなって思いましたね。

**――印象に残ってる選手とかは？**

**マサハル**　みんなそれぞれですけど、一軍の中でも名前が売れて一流の人っていうのは、まったく格が違うね。

**リナ**　空気が違いますね。

**マサハル**　伸びる選手は一軍に上って、たまに捨て試合みたいなのにポッと出されてヒット打って、そのまま一軍で活躍するんでしょうね。ダメな人は一軍に上っても、またすぐ二軍に落ちて、そのうち歳取ってクビになって地元でスポーツ店始めて、みたいな。1年に10人近く新人が入ってくるから、それぐらいクビになる。厳しいですよ。

**リナ**　だからみんな大人になるのが早いんですよね、年の割には。

**マサハル**　で、勝負事じゃないですか。だから同じ歳でも、ちょっと顔がキツい。キツいっていうか風格があるっていうか、ヤクザの親分系の顔の風格がありますよね。

**リナ**　年齢はマサハルさんより、うんと下の人がいっぱいいるのに、ファッションにしても金のネックレスとかポロシャツとか……

**マサハル**　スラックスに柄の派手なシャツね。それにロレックスの時計と、何故か白い靴。でも、ユニフォームに着替えた瞬間っていうのが、カッコイイんですよ、またこれが。

**リナ**　やっぱりユニフォームが一番っていう。

**マサハル**　あれもカッコよかったな、練習終わると自分のベンツでスーッと帰っちゃうところ。俺より年下なのに、すっごいデカいベンツに乗ってる。プロですからね。頑張った分だけ何かが返ってくるっていう、厳しい世界だけど、そこが面白いですよね。

**――マサリナとしては、そういう厳しさをのどかなムードの中で伝えてきたと。**

**マサハル**　そうですね。なるべく野球野球してない部分をピックアップしていきたいっていうのがスタッフの意向でしたから。

**リナ**　夜中ですし、マサリナが出て堅い話をしてもねぇ。私、野球知らないし。

**――10月には学園祭に出演するそうですが。**

**マサハル**　なんかあるみたいですねぇ。

**――あるみたいって、そんなノリ？（笑）意気込みとかは……**

**マサハル**　全然ない。（笑）

**リナ**　私はすごく嬉しいんですよ。今年はもうシングル出す予定もないし、とりあえずマサリナの活動は終わりかなって思ってたらイベントが増えてきて。嬉しいなあ。

**――どんなステージになりそうですか。**

**マサハル**　曲がないんですよ。（笑）アルバム1枚ですから、やりようがないんですよ。振り付けも決まってるし、曲順が決まると大体それなんですよ。変えようがないから、染之助・染太郎みたいに、どこへ行っても同じことしかやらないっていう。

**――おめでたいじゃないですか。（笑）**

**リナ**　楽しいことは、どんどんやりたいですよね。

**マサハル**　そういうことやると、またそういうところから話がくるんですよ。でも、学園祭とかイベントっていうのは、お互い全然やってなかったんで面白いですね。

**リナ**　マサリナのおかげで、世界が広がりました。

**マサハル**　マサリナは、より一層近寄りやすいっていうか、親近感があるっていうか。これがソロとなると自分のイメージがあって、肩ひじ張っちゃう時もあるけれど、マサリナだったら笑いながらやれる。冗談に取られても恥ずかしくないっていうか。

**リナ**　なんでもありだから、やっちゃえって。

**マサハル**　逆にそれがいい方に転がって、シングル売れたり、有線ドッと行ったりとかしたから不思議だなと。だから、あんまりこだわり持つよりも、そういったラクな気持ちの方が大事な時もあるかなって。歌にしても、いちいち理屈つけなくても聞いただけでノれて歌える曲、ヘンにカッコつけた歌よりも覚えやすい曲の方が、いろんな人に好かれるんだなってことがわかったたし。ホント、いい勉

▶シロイスーツガグー。リナニナリタイショーコーグン。

▶オトコブシ。

強になりましたね。マサリナやって。
**――じゃあ、マサリナの思い出っていうと？**
**リナ**　いっぱいありますよ、キャンペーンとかね。（ニコニコ）
**マサハル**　キャンペーンだからコンサートに比べると、あまり仕切られてないんですよ。だから、より身近に感じるというか、ファンの人の感じが直にわかる。この曲はキライなんだな、この曲は売れてるんだなっていうのがハッキリわかる。
**リナ**　コンサートだと、どの曲でも盛り上がるけど、キャンペーンだと反応がハッキリしてるんです。
**マサハル**　タダでやってるから、むこうもハッキリ自分の意見をアンケートに書いてくるんですよ、こわいぐらいに。
**――ホントの生の声が返ってくるんですね。**
**マサハル**　そう。だから勉強になるんですよ。
**リナ**　それから、いきなりデパートの屋上に行ったこともありましたね。
**マサハル**　アジのフライとか並んでる脇を歩いてステージに行くわけですよ。チェッカーズじゃ考えられないことですよ、あんなの。最初はギャップありましたけど、やりゃできるなって。
**リナ**　そう。そういう状況でも楽しみながらやれちゃうんですよ、マサリナは。だから、世界が拡がっていくっていうか。
**マサハル**　そして年末は紅白出場ですよ。
**――いきなりの発言。（笑）**
**マサハル**　僕の予想じゃね、有線大賞の新人賞もらうつもり。で、紅白に出る。NHKの中にウケ狙いで、「デュエット・ソングはどうだろう」っていうヤツが絶対いるはずなんです。そうすると選ばれるのは我々でしょ。
**リナ**　マサハルさんの言うことって、本当に実現するんですよ。
**マサハル**　そう。絶対紅白ですよ。（キッパリ）
**リナ**　紅白か……ワクワクするなあ。（その気）
**――紅白、楽しみにしてます。（半信半疑）それじゃあ、おじゃましましたぁ。**
**マサハル**　ホントにおじゃまだったよ。

※

**しかし。デーブはなかなかこなかった。どうしたデーブ、暑さのために歩けないのか。はやくこーい、カモン、デーブッ！**
**午後2時30分。予定より1時間半遅れて、デーブが現れた。開口一番。**
**「今日は暑いなあ」**
**さっそくマサリナを混じえてトークが始まる。ほとんどぶっつけ本番なのに、ツルツルと進んでいく。しかも、ギャグが冴えている。すごいぞデーブ、さすが巨人軍一のオチャメさんだ。桑田選手が買ってきてくれたというユルユルブカブカズボンが眩しいぜ。**
**マサハル「試合中、マウンドに行ってどんなこと話してるんですか」**
**デーブ「次はどんなタマでいこうか。とか」**
**マサハル「例えば？」**
**デーブ「宮本さんだったら、今日は〝もつ鍋ペロンチョ投法〟だ！とか（笑）」**
**リナ「ああ、そうなんですかあ（クスクス）」**
**デーブ、試合中ギャグかます余裕があったら、チャンスの時にキッチリ打てよォ。（苦笑）**
**15分ぐらい、バーッと一気に喋りまくったデーブは、「ハーイ、OKでーす」との声がかかるや否や、とっとと帰っていった。**
**お疲れ、デーブ。水、飲みすぎるなよ。**

※

**この日最後のロケ、『パロ野球ニュース』編集部にて。午後4時から5時まで、という予定通りにビシッと終了。**
**「お疲れさまでしたぁ――っ」**
**番組最後ということで、スタッフと一緒に記念撮影。**
**「ジャイアンツが優勝すれば、『GIANTSの勝ち！スペシャル』ってことで、また仕事ができるなあ」**
**マネージャーK氏の頭の中では、着々と次なるマサリナ計画が立てられているようだ。**

## ［ドラマの時はシャキシャキしてるって言われます］

**【MASARINA学園祭情報！】**
**●あのMASARINAが、学園祭でお手軽に見れちゃうっ！**
**①10月30日は名古屋・金城学園。17時30分開場。料金は前売2,000円、当日2,500円。問いあわせは、実行委員会まで。☎052-799-1924。**
**②11月3日は京都外国語大学。（会場は森田記念講堂）開場17時30分。料金は学内販売1,500円、外部前売は1,800円。こちらはチケットぴあで扱ってます。**

▶リーダーハテンネンノ……。

▶ティーシャツガポイント。

THE CHECKERS
MASA RINA

▶アセ、カキマクリッ。

▶マチニマッタ、〝デーブ〟サンジョウ。

●槇原くんは現在全国ツアー中。9月5日、我々パチ▼パチ取材陣は、神戸国際会館を訪れた。予想通りの心温まる、素敵なライブ。歌っている時の槇原くんは本当にカッコイイ。編集&ファンによるライブレポート2本立でおおくりいたします。

PHOTO●KENICHI ISHIWATA

## 槇原くんのライブを見た編集M
## 精いっぱい歌っているのが伝わってくるから精いっぱい応援する。

きっと、コンサートはチケットを買った瞬間から始まるんだと思う。CDを聞きながら公演日を指折り数えて待っている時はワクワクするし、静かに僕を待ち続けているコンサート会場のシートのことを考えたりするのも楽しい。なんとなくデートの前日の気分に似てるんだよなあ。ちなみに、槇原くんのライブを見るのが初めての僕は、知人に聞いた「ライブの途中で、女の子はみんな泣いちゃうのよ」という噂のせいでかなり期待に胸をふくらませていた。

当時、観衆でふくれあがった神戸国際会館は、立見席まで発生して開演前から熱気に包まれていた。

ピアノとストリングよる静かなSEが消え、両手をいっぱいに広げて槇原くんが登場した。

彼は、本当に一生懸命歌をうたう。それが観衆の一人一人にしっかり伝わっているのがわかる。〝精いっぱい〟が伝わってくるから、〝精いっぱい〟応援する。そんな対話があるからこそ、みんなわかりあえるのだ。その瞬間、いつもCDで聞いていたラブソングも、違ったものに聞こえてくる。彼の描く恋物語が、まるで観衆の一人一人の恋物語になったかのように。

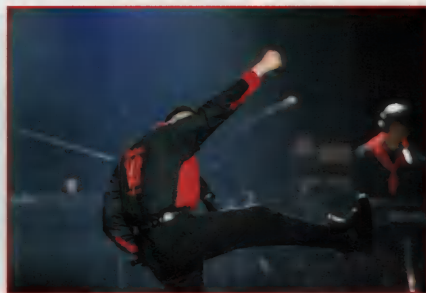
槇原くんは、MCで「僕のライブは、映画を見るようなつもりで楽しんで欲しい」と言っていた。それぞれの人が、それぞれのシーンを思い浮かべながら楽しんで欲しいと。

僕達は、ワクワクしながらコンサートにやってきて、彼に出会い、一緒に盛り上がり、そしてサヨナラする。そんな一つのストーリーが存在する。その一つ一つのシーンをドラマチックに感じることができるのは、彼の歌、人柄がいいから、信頼できるから、好きだからだろう。だからこそ彼の歌の世界に入り込み、ひとりひとりが主人公になって、それぞれのストーリー、シーンを楽しむことができるのだと思う。素敵なことだよね。

エンディングに「ラストシーンは、帰り道に見付かるかもしれないね」と言っていた槇原くんの笑顔が、とても印象的だった。不思議なくらい優しい気持ちになれたし、元気が出た。観衆の一人一人が、それぞれのシーンを胸に、それぞれの生活に戻っていった。でも、みんな素敵な宝物をひとつ手に入れたんじゃないかな。

# 槇原敬之

CONCERT TOUR '92.9.5 神戸国際会館

## 君は僕の宝物

槇原くんのライブを見たファンM

ステージで歌っているトキのマッキーが一番好きです。

マッキーのコンサートに行ってきました。とっても良かったです。すごく楽しかったし、すごく感動しました。

私はマッキーのコンサートを見るのはこれが初めてではなかったのですが、コンサートが始まるずっと前から胸がドキドキしてしまって、最初に幕が開いてマッキーの姿が見えたときには、涙が出るくらいにうれしくなってしまいました。だって、本当に本当に早くマッキーに会いたいヨ――って思っていたから。

マッキーの歌って、CDでもそうだけど、生で聴くとよけいに温かくて優しいんですよね。それにやっぱり声がすごくステキです。マッキーって本当に心のこもった歌を歌ってくれるだなァって、しみじみ思いました。私はかなり後ろのほうで見ていたのですが、歌をとおしてマッキーの気持ちがちゃんと伝わってきました。

もちろん私はどの曲も大好きなのですがとくに「NG」を弾き語りしてくれたときはジーンとしてしまいました。あと、「遠く遠く」もすごく感動的でした。「遠く遠く」を歌うマッキーを見ていたら、私もいろいろあるけどガンバろうっていう気持ちになれました。

私は、マッキーが有名になってどんどん大きくなっていくたびに、なんだか遠くに行っちゃうようで、少しさみしいっていう気がしていました。だけど、コンサートをみたらマッキーのことをすごく身近に感じることができたんです。もしかすると、当たり前のことなのかもしれないのだけれどたとえどんなに大きくなったって、マッキーはマッキーなんだよなぁってことがわかったので、本当にうれしかったです。

これで、大好きなマッキーのことが、もっともっと大好きになってしまいました。私はどんなマッキーも好きなのですが、やっぱりステージで歌っているときのマッキーがいちばん大好きです。だってステージで歌っているときのマッキーってめちゃめちゃカッコいいんだもん。

本当にアッという間に過ぎてしまったという感じなのですが、大好きなマッキーと同じ場所で、同じ時間を過ごせたっていうことが、今の私にとっての「宝物」になっています。

マッキー、すばらしいコンサートをどうもありがとう。

ふあ――っ

いいのができたよ。坂本さとる

なぐさめるより勇気づけたい

離れていてもおなじ空の下いるから。

# JIGGER'S SON

SATORU SAKAMOTO Vocal, Guitar
YOUICHI WATANABE Guitar, Chorus
MASATO SAKAMOTO Bass, Backing Vocal
SHINYA SUZUKI Drums, Chorus

**2nd Single 顔を上げて** Coupling with:迎えに行くよ　CD:CODA-59 ¥1,000(Including Tax)

**2nd Album おなじ空の下で** 1.大丈夫 2.コーヒーをいれよう 3.君の詩～きみのうた～ 4.顔を上げて(アルバム・バージョン) 5.ルビー 6.雨の音を聞いている 7.月 8.大丈夫～おなじ空の下～ CD:COCA-10179 ¥2,600(Including Tax)

## 10/21 Release!

Presented by NIPPON COLUMBIA

JIGGER'S SON〈ジガーズ・サン〉
おなじ空の下５つの町ツアー

10・21(水)東京・渋谷エッグマン"ぴあデビュー・レビュー"
問い合せ:ぴあ(Tel 03-3265-1423)/IT-TO(Tel 03-3796-8823)

11・12(木)名古屋・ハートランド"ぴあデビュー・レビュー"
問い合せ:ぴあ(Tel 052-953-0888)/ブレーントラスト(Tel 052-263-9115)

11・19(木)大阪・AMホール
問い合せ:グリーンズ(Tel 06-454-8834)

11・22(日)東京・渋谷エッグマン
問い合せ:チケットぴあ(Tel 03-5237-9999)/エッグマン(Tel 03-3496-1561)/IT-TO(Tel 03-3796-8823)

11・28(土)静岡・すみや本店オレンジホール
問い合せ:すみやソフトクラブ本部(Tel 054-251-1866)/コロムビアレコード第1レコード営業部第2販売課(Tel 03-3584-8237)/ビートクラブ(Tel 054-273-4444)

12・1(火)仙台・イズミティ21小ホール
"エフエム仙台開局10周年記念イベント"
問い合せ:エフエム仙台(Tel 022-265-7711)

「JIGGER'S SON TVスペシャル」
～ジガーズ・サンの全てがわかる30分特番～

【青森放送】11・9(月)25:55～26:25【山形放送】放送予定【秋田放送】11・8(日)25:21～25:51【岩手放送】11・2(月)25:24～25:54【仙台放送】10/28(水)25:35～26:05【福島放送】10・26(月)25:30～26:00【テレビ東京】放送予定【静岡第一テレビ】11・2(月)25:15～25:45【テレビ愛知】放送予定【テレビ大阪】11・4(水)25:40～26:10【長崎文化放送】11・5(木)24:55～25:25【熊本県民テレビ】11・5(木)24:55～25:25
※放送日時の変更の可能性が有る為、御注意下さい。(問)コロムビアレコード(Tel 03-3584-8220)

# 吉川晃司写真集

# A MAN IN TROUBLE

**All Photograph by Yorihito Yamauchi**

## 12月5日店頭発売予定

今夏、予約限定注文生産として通販で発売された『A MAN IN TROUBLE』(9800円)の本体写真集のみ、通常版写真集として書店発売決定!!

●B４判　●並製　●予価3800円(税込)

これは彼自身の虚像なのか、実像なのか。
本人すら気付かない吉川晃司のすべて――
その圧倒的な存在感を凝縮して今ここに…

▶この写真集では吉川晃司という人間の、誇り、虚飾、艶、痛み、切なさ、夢…それらすべてを具像化。▶パリの裏道、海、古城、クラブ、カジノ、砂漠、密室……時の流れを内包かつ超越した場所に、吉川晃司は存在している。そこにはあなたの見たことのない彼の姿が、必ずある。あなたの目で実感してほしい。▶撮影は山内順仁。デビュー当時から吉川を撮り続け、吉川を見せることに関しては本人が最も信頼をおいている人物。山内氏が現在持つすべてのテクニックとセンスを投入したというこの１冊、アーティスト写真集の域を超えて――そのクオリティには絶対の自信を持ってお届けする。

### ご予約いただいた方の中から抽選で500名様にSPECIAL PRESENT!!

●この写真集をご予約いただいた方（※夏に発売された特別予約限定版ご購入者含む）の中から、抽選で500名様に、この写真集の中で吉川が着用した衣装の一部（パジャマ・ガウン・シャツ等）／使用小道具（ナイフ・カード等）／ポラロイド写真（直筆サイン入パリ風景ポラ・サインなし本人ポラ）／その他／をプレゼントします。

●予約＆プレゼント応募方法

▶下の予約カードに必要事項をご記入の上、お近くの書店にて通常の予約手続きを行って下さい。その際、右側のプレゼント応募用紙の応募券にも書店印を押してもらって下さい。▶このプレゼント応募用紙は書店に渡さず持ち帰り、住所・氏名・郵便番号を明記の上、官製ハガキに貼り、次の宛先までお送り下さい。▶〒156-91　東京都世田谷区千歳郵便局私書箱25号　㈱ソニー・マガジンズ「吉川晃司写真集予約係」▶締切は92年11月末日消印有効です。▶抽選の結果、当選者は写真集発売後、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。

※限定版ご購入者は応募の必要はありません。自動的に抽選の対象者の中に含まれます。

*"Remember that the most beautiful things in the world are the most useless; Peacocks and lilies for instance."*　　*John Ruskin: The Stone of Venice*

この世で最も美しいものが、最も無益であることを忘れるな。例えば、孔雀や百合のような。

〔写真集に関するお問い合わせ〕　〒102　東京都千代田区五番町6-2　㈱ソニー・マガジンズ　パチ▶パチ編集部　☎03-3234-7906　(月～金 13:00～18:00)

Sony Magazines Inc.

| 書籍(番線)印 | ●注文伝票(注文は書店で) | | |
|---|---|---|---|
| | 吉川晃司写真集『A MAN IN TROUBLE』●予価3800円(税込) | | |
| | ●住所 | | ●TEL |
| | ●お名前 | ●年齢 | ●職業 |
| 書籍扱い | 〒102 東京都千代田区五番町6-2 ㈱ソニー・マガジンズ TEL03-3234-5811 FAX03-3234-6753 | | |

➡プレゼント応募用紙

| 吉川晃司 | □□□-□□ |
|---|---|
| 書店(番線)印 | 住所 |
| | |
| 書籍扱い | 氏名　　様 |

応募券

▶この曲をどんなイメージでとらえていますか？

ビジュアル的なベクトルは、近未来（マードマークスとかブレードランナー）だネ。
物質文明にばかりエネルギーをくちずけた
愚かな俺達ヒューマンが、代わりに手に入れた
精神文明の崩壊。
もう、誰も未来を照らしてはくれない。
闇っ
皆、それぞれが自分自身の瞳で夢のベクトルを描いてゆかなければならない。

▶この曲を歌っているとき頭に映像が浮かびますか？　浮かぶとしたらどんな絵？

錆びたナイフがアドレナリンのpoolで溺れている。

▶曲中の「破壊」「裁き」という語句、曲のスピード感・重さなどから、全体に〝罪〟のイメージがこの曲には漂っているように思います。〝罪〟という言葉からどんな行為を思い浮かべますか？　また吉川さんの考える〝最も深くて重い罪〟とは何でしょうか？

とても短かいセンテンスでは表現しがたいが
例えば
罪にも two way あって
ポジティブCRIMEとネガティブCRIMEがあると考えてるよ
法的に罪になるからといって
それらが100% 悪なわけでは無いんだからネ

俺の考えから言うと
〝罪〟＝〝傷つける〟
重い罪＝人の真心を犯す事　かな？！

▶連想ゲーム的に。吉川さんが法的な罪を犯してしまうとします。それはどんな罪ですか？ そう考えた理由も教えて下さい。

モラル暴行罪。
法的モラルなどいったい何の意味があるというのだ！？
キレイ事とタテマエだけで固められた存在など
俺にはいらないからネ

▶吉川さんにとっての「ほんの夢」「消えない夢」は何ですか？

「ほんとの夢」
「消えない夢」
世の中で一番高価なGameだネ

## 最後に一言

tourで皆にあえるのが嬉しいネ。
元気な顔をみせてくれよ。
そして、とびっきりの微笑みもネ。
Love you.

# KOJI KIKKAWA
## Truthful WORDS

Photo: Yorihito Yamauchi　Word: Koji Kikkawa

**●アルバム『Shyness Overdrive』はチャート初登場第1位。10月14日にはアルバムから「Brain SUGAR」がシングル・リリースされる。現在ツアーに突入したばかりの吉川氏へ、ツアー、シングルに関する質問をぶつけてみた。答えは勿論彼の直筆だ。**

## TOUR '92

**▶今回のツアーはどんなステージになりそうですか？　ステージの見どころ、ポイントなどもあれば教えて下さい。**

Shyness Overdrive を中心に
ランニングボーダーを走らせてゆく
欲望の対象は　宇宙または存在の総体である　ポイント
ステージとは　俺達と客とのコミュニケイションで成長してゆく
生き物であるらしく
完成型は毎日ちがう

**▶また、ステージを何か1つのキーワードで表すとしたら、どんな言葉になるでしょうか？**

「幸せの異次元空間」とでも言おうか?!

**▶今回のツアー・メンバーはどんな方々ですか？**

G：原田喧太

これからが本当に楽しみな
youngサラブレッドだネ　美形だしネ
（飲み過ぎると顔がフクロウになるんだけどネ）

G：ブラボー小松

「SEX」とゆうBandのレコードを聞いて
すばらしいと思い　ラブコールしてたんだ
先鋭で前衛的なギタリストで
アイデアとギミックのつまったパンドラの箱を持ってるんだ

B：山本秀史(DOVE)

広島時代　アマチュアBandの同級生でネ
10年以上ぶりの再会なんだ
カーコいいベース弾いてくれるし
彼はシンガーでもあるから
詩の「心」知ってて　SEXY Guy（DOVEも素敵だぜ!!）

Key：山崎透(キーコ・PaPa)

6年間もステージLIFEを共にして来た人なのに
3年ぶりに再会した時には
初めて会ったような感触があったよ
プレイスタイルが全く変わっててネ
すごく新鮮だったんで嬉しかった
やっぱりいいネ　musicianってゆうのは　キザで

Dr：矢壁篤信

pinkの頃から注目してたplayerでネ
今回やっとセッションができたんだけど
Greatだよ　keep coolがいいネ

Manu：桑島幻矢

Shyness Overdriveのプリプロでも　ずっと　そして去年のツアーから
コンピューターで協力してくれた　Brainなんだけど
今回のステージでは表に出てこないので
皆には　遠い存在になってしまうけれど
街で見かけたら　よろしくなっ!!　good Guy

Per：スティーヴ衛藤

ロマンティーク1990から　ランデブーしてくれてる人でネ
ルックスは外人でキツいけど　いい奴です
Rockのパーカッションやったら　他の誰もが暴走だネ
ステージングも派手でFunkyだしネ　カーコいいよ

## SINGLE「Brain SUGAR」

**▶「Brain SUGAR」というタイトルはどんな意味を含んでいると解釈されますか？**

正体は貴方の心の中に存在してるよ
聞く側の精神状態や　おかれているシチュエイションによって
グニャグニャ変わってゆくんだ　奴は

輪郭の無いドカめき
答えは　皆が各自それぞれに見つけて欲しいんだ

# LINDBERG

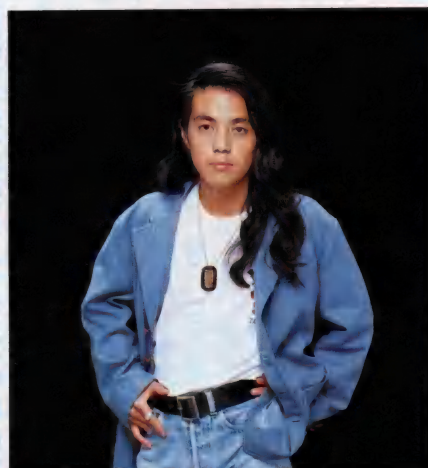
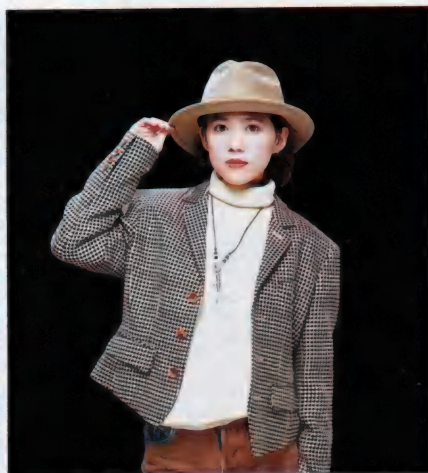
# Band

# SINGLE, SINGLE ALBUM

## ~3週間連続リリース計画　そのいち~

●11月６日・シングル、11月13日・シングル、そして11月21日・ベストアルバムをリリースするリンドバーグ。何と３週連続である。今回はその第１弾「さよならBeautiful days／千年たっても」のお話を。

PHOTO●HIDEO CANNO　COPY●MIHOKO TETSUISHI

MAKI WATASE　TOMOHISA KAWAZOE　TATSUYA HIRAKAWA　MASANORI KOYANAGI

## 最初は"百年たっても"やったんですよ。
## でも、どうせやったら"千年"と思って(笑)

LINDBERG

**——まず「千年たっても」ですが、こちらは川添さんの曲ですね。**

**川添**　ハイ。この曲はLINDBERGの一週間のころに作って、お盆のころに録ったんですよ。こういうロカビリーっぽいものがやりたいなと思って、他にも何曲か作ったんだけど自分の中ではそれはいわゆる今までのタイプの曲だったりして、それより今までにないパターンのものを……と思ってね。ロックン・ロール・パターンっていうのが、うちはまずなかったんですよ。

**——ありそうでない。**

**川添**　そう。で、そんなにミディアムでもないし、今までとは違う感じで曲調も持っていこうかなと思って、ギターでリズムを弾きながらメロディー、コーラスとだいたいのアレンジを自分で作ってデモ・テープにしてそこからまたみんなで変えていったんですけどね。

**——この曲にしても、また小柳さんの作曲による「さよならBueatiful days」にしても、なんだか今までのLINDBERGのシングルというイメージをキレイに払拭した感の強い作品ですよね。**

**小柳**　ハイ。それは、あえて。

**——あえて、ですか。(笑)**

**川添**　うん。アレンジも曲調も作る段階で普通にいけばいわゆる王道にいくところを、ひとつおいてみてるところはあるよね。

**小柳**　うん。この曲に関していえば、リズムにしてもデモの段階でもう出来てたから、いき過ぎじゃない程度にちょっと戻して抑えてって感じで。デモを聞いたときのイメージしかなかったからね。

**——「さよなら——」もやはりこの夏に作った曲ですか?**

**小柳**　やっぱりツアー中に出来たものです。ずっと作ってたんだけどなかなか形にならなかったんですよ。それがある日、夜眠る前に突然出来た。それもサビのところから。

**——この曲を聞いて特に、『LINDBERG V』以降はなんだかますますリズムが厚い方向にいってる気がしました。**

**小柳**　(笑) それは本当によく言われます。タイム感とかね。リズムのタメというか、そうなるタメるとかタマるとかじゃなくて♪ドン　っていう音符が長いって言われるんですよ、やっとこの年になって。(笑)

**平川**　音色でそういうふうに聞こえるところもあるのかもしれないけど。

**小柳**　でも、そういう音色の中で演ってるから、かもしれないしね。

**——なるほど。バンド内でのノリというかグループそのものも変わってきてますね。うねっているとうか、やけに気持ちいいんですけど。(笑)**

**小柳**　あっ、それは嬉しい。うねってる……いいなあぁ。(笑)

**川添**　ノリは確かに変わってきてるよね。重いかどうかはわかんないけど、すごいノッてる。でもやっぱりね、音色ってすごく影響するなって思う。

**——そのうねりをのっけから感じさせるあのコーラス・ワークはライブでも聞けるんでしょうか?(笑)**

**川添**　やります！　大変だったんだ、あのレコーディング。ひとりで何回も重ねていって……。ライブでは絶対やってみせます。

**——力強いお言葉。(笑) 平川さんは今回のレコーディング、いかがでしたか。**

**平川**　ギターはね……。

**川添**　南国なんです。(笑)

**平川**　(笑) そう。「千年——」はとにかく南の島フレーズです。

**小柳**　南の島リリースするんでしょ?

**平川**　(笑) そうそう。

**——……(なんだかみなさん、レコーディングの合間のインタビューなだけに極度のハイ状態)……ハイ、じゃ、マキちゃん。**

**平川**　あれ? (一同、笑い)

**渡瀬**　この夏、バルセロナ見ました?

**——オリンピック……?**

**渡瀬**　そう。あそこに出てた人も出てない人だって、あのためにずっとやってるんやって今さらながら気付いてしまったんですよ。マラソンでもなんでも、選手の人は何年間も毎日やり続けてるわけでしょう。あとんねるずの憲武さんがサッカー選手の現役とOB混ざったチームで試合をやったのを見たんやけど、試合の合間に今はもう30歳つのおっちゃんの昔のVTRとか出とったりして、要するにその人はそのVTRに映ってる若いころから今まで、ずーっとサッカーをやっているわけで。

**——そのあたりの続けていくことの凄さ、続いていくことの素敵さを歌ってるわけだ。**

**渡瀬**　そう。こういう人もおるんやっていうところから、「千年たっても」は出てきて。"今も君は走りつづける"、高校生のころから走ってる男の子のことを見とって、ずっとずっと"5回目の秋がきて　ハイヒールの高さのぶんだけ"、ただの憧れじゃなくてその日々の練習の辛さであったりとか自分との戦いであったりとか、そういうのもちゃんとわかってずっと見とるわけで……。今でもいっつも"夢"って言葉を簡単に詞の中に入れとったんやけど、じゃあその夢は一体何なんかっていうと、サッカーであったりマラソンであったりするわけで。そこを一歩こうちょっと……。

**——夢の中を具体的に描いてみた、と。**

**渡瀬**　うん。で、この千年は最初"百年たっても"やったんですよ。でもあり得んもんやといわれてもこれ気持ちの問題やし、どうせやったら千年！と思って。(笑)

◇◇◇◇

大判ぶるまいで(笑)ついたタイトル「千年たっても」は、厚いサウンドの上にのっかってやはり爽快に歌うマキちゃんやメンバーの姿が浮かんでくるLINDBERGらしい楽曲。そして、もうひとつの曲「さよならBueatiful days」は、もしかしたら、今までならアルバムの中でのみ脚光を浴びたかのようなこういうタイプの曲がシングル・リリースとなるのは実に進化かもしれない。そしてそして。この曲につけた詞に関して、マキちゃんは今はまだ何も語れないでいる。

「『千年——』のことはあんなにベラベラしゃべっておいて、こっちは何もないゆのもヘンやと思うかもしれないけど、でも本当に……ない(笑)」

きっかけもエピソードもネタもない。本当に自然にこぼれてきた言葉を音符にのせるとこうなった——作詞をめぐって、渡瀬マキに訪れたある変化。次号、11月リリース第2弾(ということは、第3弾もあるんだな、これがっ)インタビュー篇でそのあたりのことをさらに詳しく。お楽しみに。

# LINDBERG

リンドバーグ・ストーリー **番外編**

文●岡高志　イラスト●小柳昌法

◉リンドバーグ・ストーリー番外編も、今回の渡瀬マキで終了。"夢"を歌い続けてきたリンドバーグ。そんな彼女が、自分自身の"夢"を実現させるための苦闘の歴史。ここに完結します。

## その時の勘違いがなければ、全然違う道を歩んどった……

渡瀬マキが意識的に歌い始めたのは中学一年生になった頃である。軟式テニス部に所属し、『エースをねらえ！』のお蝶夫人を目指していたという彼女は、練習が休みの日などにひとりで歌い始めた。

「だれにも聞かれへんように、雨戸とかも閉めてひとりで歌っとった」

彼女の家は、三重県の鳥羽市にあった。市営住宅の庭につくられたプレハブの子供部屋。そこが彼女のレッスン場であった。

「歌手になりたいという気持ちはその頃からあったんです。なりたいというか、なれればいいな、と」

そこまでは、日本中どこにでもいる中学生である。歌うことが好きな女の子が、歌手に憧れる。その心の動きはあまりにも素直であり、微笑ましいとさえ言える。ただ、彼女はほんの少しだけ、一般の中学生とは異なる行動をとった。

「オーディションに応募しとったんです。明星とかに載ってたでしょ。歌手を募集する広告。それを見て、友だちとふたりで手当たり次第に写真を送っとった（笑）」

彼女はその頃から友人とともにオーディションに応募していたのである。

「五つは送ったと思います。友だちの家でお互いに正面とか横顔とかの写真を撮り合って。（笑）履歴書書いて送っとった」

しかし、彼女たちのもとに合格通知は一通も来なかった。

「落ちたからといって落ち込むことはなかったんです。また送ればいいんやから……」

渡瀬マキの中学時代は、そのように過ぎていった。

●

やがて高校受験が目前に迫ってくると、彼女はオーディションへの応募を中断する。

「まず高校。だからひとまず応募を置いといて、受験勉強です」

彼女は三重県立鳥羽高等学校を受験し、合格した。

「高校二年の秋やったと思います。名古屋の歌謡学院に入学願書を出したんです」

彼女のオーディション応募は、その時に再開された。

「中学の時と同じように応募したんです。広告を見て、歌謡学院に……。もちろんそれはレッスンですから、受かってもすぐに歌手になれるわけではないんです。ただね、私はそこにもチャンスがあると思ってた」

彼女は「チャンス」を求めていた。直接プロダクションに応募することも、また歌謡学院に入学することも、歌手になるためのチャンスをつかむことだと考えていた。

入学願書を出してから数日後、彼女のもとに一通の封書が届いた。それは歌謡学院の書類審査の合格通知だった。

「初めてやったんです。合格したのが。（笑）これはすごいチャンスやと思った」

封書には書類審査の合格と、入学試験の案内が同封されていた。試験は面接と、審査員の前で歌うことであった。

歌手へとつづく道の、最初の扉が開かれたのだ。

「その頃の私って大勘違い野郎でね。（笑）歌には自信がなったんですよ。そこに受けにくる誰よりも私がうまいと思ってた（笑）」

●

試験の日、彼女は鳥羽から名古屋まで近鉄特急に乗ってひとりで出てきた。めざすは『ジャパンアーティスト』。彼女は大きく深呼吸して、試験会場に乗り込んだ。

会場は広いレッスン場であった。目の前にはズラリと審査員たちが並ぶ。彼女は他の書類審査合格者とともに一列に並べられた椅子に座って順番を待った。

「ひとりずつ歌っていくんです。目の前で。別室じゃないんです。一緒なんです」

順番が近づいてくるにつれて、緊張していた彼女の表情に余裕が出てくる。

「勝った、と（笑）」

彼女は他の受験生の歌を聞きながら、実はますます自信を深めていったのだ。

「あぁ、もう全然大丈夫やんって感じで……。すっごい大勘違い野郎でしょ？　今考えればすっごいうぬぼれ野郎……（笑）」

彼女が歌う番になると、彼女は胸を張り、精一杯堂々と松田聖子の歌を歌いあげた。

「どうや？っていう気持ちが審査員に対してあった。これが渡瀬の歌や…と（笑）」

彼女は気持ちよく歌い、さらに胸を張って会場を後にした。

「ただね、その時の勘違いがなければ、私は全然違う道を歩んどったと思うんです。自分はうまいんやっていう勘違いが、とっても気持ちよく歌わせてくれたし、その時の自分を助けてくれたように思う。私ね、審査員はそういうところも見とると思ったんですよ。歌だけじゃなく、物怖じせぇへん気持ちとか、パワーとか。だからとにかく堂々としてようと思ってたところもある」

彼女は意気揚々と鳥羽に帰ってきた。

●

その翌日の夜のことである。彼女のもとに一本の電話がかかってきた。

『ジャパンアーティストの居村ですか……』

それは歌謡学院の校長からの電話であった。

『実は今度、東京に生徒を連れていってプロダクションやレコード会社の人たちを集めてお披露目会のようなことをやるんですが、渡瀬さんも行きませんか』

校長はそう彼女に話したた。

「ハイ！行きます」

そう言って電話を切った彼女は、もう跳び上がらんばかりに喜んだ。その電話は自動的に彼女の合格を伝えていたのである。

高校二年の冬から、彼女の本格的なレッスンが始まった。毎週土曜日の午後、高校の授業を終えると彼女は近鉄特急に乗って名古屋に向かった。

「ホントの基礎から教わるんです。腹式呼吸や発声練習。もちろん最初は何もできひんわけで、とにかく毎回それを先生とマンツーマンで一時間……」

東京での発表会は六月と決まっていた。その日に向けて彼女は約半年間、そのようなレッスンをつづけた。

「一週間ごとに顔が変わっていくんですよ。自分でもわかるし、校長先生も言ってくれる。顔つきがどんどん変わってきてるぞ、とね。そのくらい密度の濃い半年だった」

そして六月がやってくる。渡瀬マキは高校三年生になっていた。

●

新宿文化会館で開催された『ジャパンアーティスト』の発表会には大勢のプロダクションやレコード会社の関係者が詰めかけていた。その中に、エステー企画（現・リンドバーグの所属事務所）の社長・豊島誠蔵もいた。

豊島はすでに渡瀬マキのことを知っていた。ジャパンアーティストの居村から送られてきた資料の中から、すでに彼女をピックアップしていたのだ。だから豊島は、渡瀬マキだけに照準を定めて、会場に足を運んでいた。つまりその時、すでに歌手への道の第二の扉が開いていたのである。

「新宿で歌って、鳥羽に帰ってきて、その次のレッスンの時やったと思います。校長先生が私に教えてくれたんです。東京に行くことが決まったよ、って。プロダクションの社長さんが名古屋にみえて、お父さんと会うことになってるから、って」

彼女はその時、あっさりと答えている。

「そうですか。ありがとうございます」

あまりにもあっけない東京行きの決定に彼女は混乱していた。

中学時代、何度応募しても合格させてくれなかった東京のプロダクションが、今度は向こうから預かりたいと言ってくれている。歌手になりたい、と思いつづけてきた夢が実現する寸前まできた。彼女にとってこれ以上の朗報はないはずであった。

しかし彼女はその夜、鳥羽に帰る近鉄特急の中で泣き始めた。ウォークマンで尾崎豊を聞きながら、渡瀬マキは泣き始めた。ぬぐってもぬぐっても涙は溢れてきた。

「なんで泣いたんやろ。うれしいはずやのに……」

●

彼女の父親は豊島と会い、上京することが正式に決まった。

その夜、父親は彼女を前にして一言、こう言った。

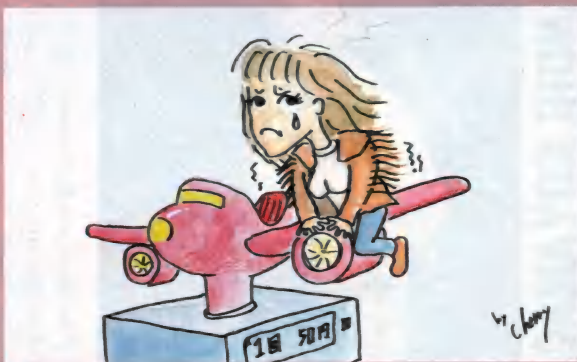
「東京へ言ったら絶対に途中で諦めて帰ってくるなよ。帰ってきても家には入れへん」

それが唯一、両親が彼女の進路に関して発した言葉であった。

「夫婦でとっても悩んだと思いますよ。何時間も、何日もかけて話し合ったと思います。十七歳の女の子をひとり東京へ出すんですから……。もし私が親やったら、そんなことようさせへん。絶対許さへんと思います。でも、両親はそんな素振りは一切、私には見せなかった」

渡瀬マキはこうして、歌手になるために東京へ出てくる。レコードデビューは翌年の六月。歌謡学院に合格してから約一年半という短期間であまりにも簡単に、そして慌ただしく歌手への道が開かれていった。

その経緯を『幸運』という一言で言い捨ててしまうこともできるだろう。また『才能』という言葉で納得するのも容易である。

だが彼女にとって本当の困難は、実はその後にやってくる。当初『アイドル歌手』としてデビューした彼女は、『リンドバーグ』を結成するまで約一年を費やした。そしてその一年間の葛藤や試行錯誤から、渡瀬マキの本当の人生が始まるのである。

# LINDBERG STORY

好評連載
リンドバーグ・ストーリー

## 単行本発売決定！

●お待たせしました。皆様の熱い要望に応えて、リンドバーグ・ストーリーがついに単行本化！　単なるサクセス・ストーリーでは終わらない４人の音楽への想い、出会い、苦闘と栄光の歴史です。

◎定価1500円（税込）▶四六判上製ハードカバー▶カラーポートレイト48ページ含む272ページ

**おもな内容**
▼撮りおろしメンバーポートレート▼デビューから現在に至るまでの各種データ・写真等マニア必携の資料▼膨大な量の再取材による、ストーリーの大幅が加修整。（ほとんど書きおろし）音楽ノンフィクション

## 12月8日発売予定
## 予約受付開始！

**予約特典●パチパチ特製“クリスマスカーズfromリンドバーグ”、を全員に**

●予約＆予約特典の御案内●

この本を予約して頂いた方には、本の発売日の月の12月に「リンドバーグの特製クリスマスカード」をお届けします。予約しないと手に入らないし、締め切りもあるので、お早めの御予約をオススメいたします。で、その予約方法はと言いますと…▶左の注文伝票に必ず必要事項を記入して、近くの書店に出して予約手続きをして下さい。その際、応募券を持参して書店印をもらい、切り離して持って返って下さい。▶その書店印をもらった応募券と一緒に、左側の住所ラベルに62円切手を貼り、必要事項（あなたの郵便番号、住所、氏名）を書き込み次の宛先まで送って下さい。▶〒156-91　東京都世田谷区千歳郵便局私書箱25号　ソニーマガジンズ　リンドバーグ単行本・予約係・締め切りは11月20日の消印まで有効です。▶お問い合わせは、パチパチ☎03（3234）7906まで、わからないことがあったらお尋ね下さい。

切手を貼って下さい

住所

氏名　　　　様

LINDBERG
書店印
応募券

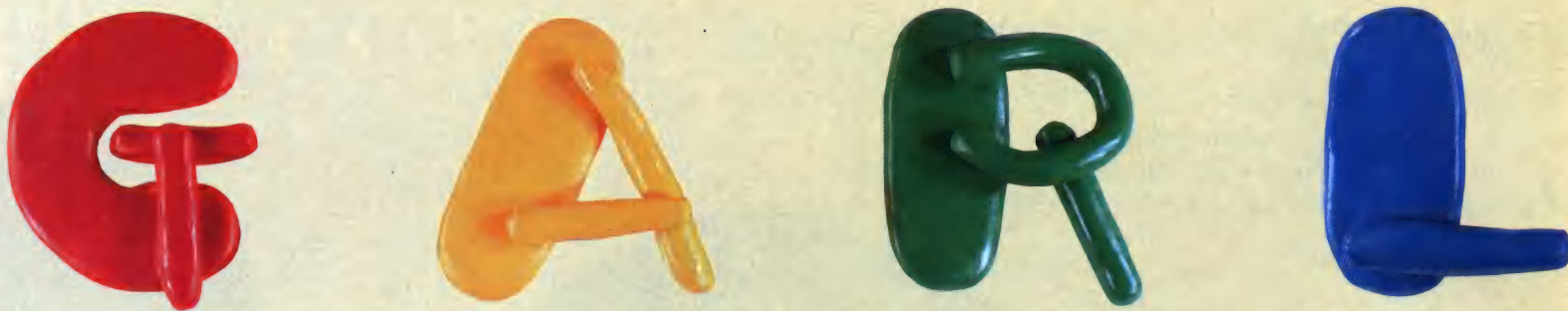
Sony Magazines Inc.

●注文伝票（注文は書店で）
**LINDBERG STORY（仮）**
'92年12月発売予定
●予価1500円（税込）
●住所　　●TEL
●お名前　　●年齢　　●職業
〒102 東京都千代田区五番町6-2 TEL03-3234-5811 ソニー・マガジンズ
書店（番線）印
書籍扱い

※書店様へ：このカードがまいりましたら、台帳にお控えの上、お取引の販売会社へお早めにご注文ください。
▶この注文書は切り取らないで、コピーして使ってくれてもOKだ。お友達にもあげよう。

# AND

難しくて解からないからこそ、歌になるんです

# GARL

# FUNNY HOW LOVE CAN BE

## ♡♡♡ガーランドの恋のお話♡♡♡

●今回のテーマは『愛』。カナちゃんの愛というより恋の思い出を語ってもらいました……が。もちろんチャタロウくんも登場します。白熱する異種格闘技選手権大会の第2回はボーリングだ。盛りあがってます。

PHOTO●MIHOKO ISHIGURO　COPY●DAI SATO

アイ・アイ・アイ・アイ・お猿さんだよォ……失礼。じゃなくて今回のインタビューのテーマは『愛』について語ってもらおうと思っていた。
駄菓子菓子、いつもの様とにというか話題の列車はソコノケ脱線ゲーム状態のお猿な会話になってしまうのだ。まっいいか。アイって英語で『私』って意味だからサ……。
というワケで……『愛』についてなんだけど。
興宣　やはり愛と言えば、加奈子でしょう。
加奈子　えぇ！　愛は苦手だな……やっぱり人間が出来てこないと語れるもんじゃないでしょう。恋の方がまだいいな。
—『恋』でもいいけど……。
加奈子　恋はアレですね。瞬発力ですね。その場の勢いっていうのが結構大事だと思うんですね。恋が長引けば長引くほど想像の世界に入ってしまうという感じで。
—なんか、ある瞬間に言えないと一生言えないで、友達で終わっちゃうっていうのありますよね。
興宣　うーん。
加奈子　チャタロウくんも何か言ってください。（笑）うなってばかりいないで。
興宣　いや。そうだなと思って聞いてたんだけど。
—ナンパってした事あります？
興宣　ナンパらしいナンパってないですね。
加奈子　え。じゃあ。ナンパらしくないナンパはあるんですか！
興宣　いやや。何となくそういう意味じゃなくて……。
加奈子　あ。誰か別の人が声かけたらちゃっかりその後ろにいたりするんでしょ。集団同士で声かけて……でも、そういうのが一番もてたりするんですよね。
—そうそう。声かけるヤツってピエロ状態で、場を盛り上げるけど気がつくと一人なんですよね。キューピット役というか、それで女の子から電話かかってきて「やった」と思ったら「誰々くんの電話番号おしえて」なんてガクぅって感じで……。
興宣　なんか実感こもってますね。
—ええ。そりゃいつも。（笑）って何言わせるんですか！
加奈子　……うーん。やっぱりなかなか恋と愛は両立が難しいですよね。
—うん。故意に恋してるってパターンが多いからなぁ。
加奈子　違いって何でしょう。
—……深いなぁ。難しい。
加奈子　でしょ。だから、語るのって難しいですよ。
—でも、ガーランドって恋とか愛の歌が多いですよね。というかテーマ的には全部そういう要素があると思うんですけど……。
加奈子　ええ。そうですね。でも、難しくて解らないからこそ、歌になるんですよね。簡単で誰にでもすぐ答えの出ることを歌ってもしょうがないから。
—なるほど。で初めて男の子意識したのっていつくらいでした。（なんだか芸能レポートみたいだな）
加奈子　えっ。なんか男嫌いと小学校ぐらいの友達からは言われていたんですよ。……でもそれは嫌いじゃなくて興味がなかっただけなんですけどね。で中一になって初めて男の子とつきあってからは、とき放たれて。（笑）そして、悪魔よばわりされて。
『崖っぷち女』とアダナされてました。（笑）
—……崖っぷちですか。
加奈子　いや。自分から好きだと言って付きあったクセにすぐに飽きて、もうヤダとか言って別れる。（笑）みんなに言わせると向こうは幸せの絶頂の時に突然別れを告げるから、崖の上からつき落とす様なことばっかりするということで……。だって、そんなに好きじゃないのに付きあっているなんて不自然じゃないですか。だったらちゃと言った方がその男の子に失礼じゃないでしょ。
—怖いなぁ。でも、中学くらいの恋ってエゴの塊で残酷なんだよね。ま。恋は付きあうまでが華と言いますし。
加奈子　そうそう。（笑）
そうか解らなく難しくて言葉に出来なくて、だから一生飽きないテーマなんだよね。恋と愛は……うん。

## 第2回　ガーランドVSパチ▶パチ　異種格闘技選手権大会　ボーリング大会

| 団体戦 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| GARLAND | X<br>18 | 7 1<br>26 | 4 2<br>35 | 9 –<br>44 | 8 1<br>53 | X<br>72 | 7 2<br>81 | 9 /<br>99 | ⑧ 1<br>108 | 8 –<br>116 |
| PATi² | X<br>19 | 9 –<br>28 | X<br>46 | 6 2<br>54 | 9 /<br>74 | X<br>93 | ⑦ 2<br>102 | 8 1<br>111 | 3 5<br>119 | X X 7<br>146 |

| 個人戦 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| チャタロウ | ⑦ 2<br>9 | ⑥ 1<br>16 | ⑦ /<br>35 | 9 /<br>51 | 6 2<br>59 | ⑧ 1<br>68 | ⑦ 2<br>77 | 9 /<br>94 | 7 2<br>103 | 9 –<br>112 |
| カナコ | X<br>28 | X<br>47 | 8 1<br>56 | X<br>76 | 9 /<br>94 | 8 –<br>102 | 5 1<br>108 | 8 /<br>127 | 9 /<br>145 | 8 / 6<br>161 |
| ライターシュガー | 6 /<br>20 | X<br>39 | 7 2<br>48 | 4 5<br>57 | X<br>76 | 6 3<br>85 | ⑦ –<br>92 | 9 /<br>110 | 8 –<br>118 | 3 3<br>124 |
| パチパチ(編)M | 7 –<br>7 | 7 /<br>27 | X<br>47 | 9 /<br>59 | 2 7<br>68 | X<br>88 | 9 /<br>105 | ⑦ /<br>123 | ⑧ 1<br>132 | 9 –<br>141 |

## カナコ優勝
## パチ▶パチチーム団体戦勝利!!

日時・場所
8月8日
恵比寿ボウル

というワケで第2回異種格闘技選手権。今回の種目はボーリングだぁ。パチパチチームの二人は実は趣味で前回の雪辱をはたすぜ！……と恵比寿ボールにやってきてまず個人戦だ。うう。自信があったのにいざ試合が始まると、加奈子選手いきなりダブルストライクそんなうますぎる……。でも前回の優勝者チャタロウ選手は、スペアがとれない。何やら『スプリット』の連続。ふふ。まだチャンスはあるぞ。しかし、個人戦の優勝者は161というハイスコアで加奈子選手の優勝。まだ団体戦がある。チームワークで勝負だ。そして、やった。奇跡の大逆転10フレでダブルストライクを決めたパチパチチームは初めて勝利したのだぁぁぁぁ。（ディレイ効果）この勢いで次も勝つぜ。

●アルバム収録曲「うしろの正面」はＴＢＳ系「さんまのからくりＴＶ」のエンディング曲だ。

TRIAD

# REPLICA

岐路(クロスロード)にさしかかったすべての人達に…

NEW SINGLE
同時発売!
愛のかけら
C/W My Daddy's Car
CODA-103 ¥900
(Including Tax)

## REPLICA NEW ALBUM 10.1 ON SALE CROSSROAD

COCA-10185 ¥3,000
(Including Tax)

## REPLICA LIVE SCHEDULE

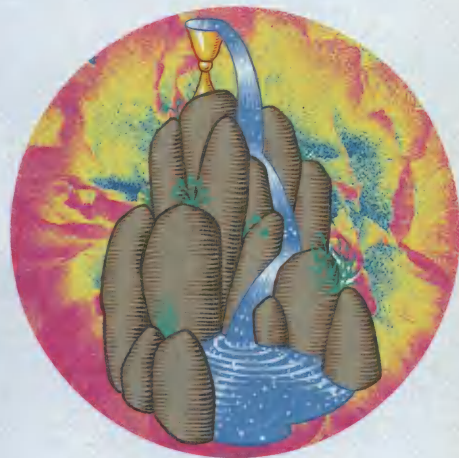
10. 7(WED) 新宿パワーステーション(イベント)
(問)キョードー東京 03-5237-9000

10.13(TUE) 名古屋クラブクアトロ
14(WED) (問)ジェイルハウス 052-936-6041

10.21(WED) 神戸チキンジョージ
(問)SOGO大阪 06-344-3326

10.23(FRI) 大阪アムホール
(問)SOGO大阪 06-344-3326

10.24(SAT) 京都ミューズホール
(問)SOGO大阪 06-344-3326

11. 4(WED) 新宿パワーステーション
(問)キョードー東京 03-5237-9000

Newよりエレガント
ヌーベルポップ。

# PLUS

*"First Album"*

## cross power flower

**Now On Sale**

GREENWICH-New Version-(Remix;寺田創一)を含む全18曲収録

BRCA-1001　税込定価¥3,000(税抜価格¥2,913)

発売元／株式会社ウバール

販売元／polydor ポリドール株式会社

デビュー曲でテレビのエンディングに起用された<GREENWICH>は
一種独特なサウンドで私達を魅了してくれた。
そんな2人の1stアルバムは、誰のものでもないPLUSオリジナルの
世界を作り上げるだろう。この1stアルバムは、期待大!!

WAVE池袋店/J-マーケット　古川

不思議な魅力のポップ・デュオ、PLUSのファースト・アルバムが
ついに登場。1stシングル<GREENWICH>を聴いて
彼らの心地よいキャッチーなメロディに注目した人も多いはず。
今回のアルバムもポップセンスあふれる楽曲ばかりで
楽しめること間違いなし!! 必聴の一枚です。

HMV横浜店/JP部　海保竜平

PLUSの情報をキャッチしよう
UBAR HOT LINE:03-3400-4800

PLUSの二人に接近しよう～PLUS FM特別番組
10月16日(金)FM大阪 17:00～18:00

PLUSファンクラブ「Plustic」会員募集中
入会希望の方は62円切手を同封し、住所・氏名・
年齢・職業を書いて、下記の住所まで郵送して下さい

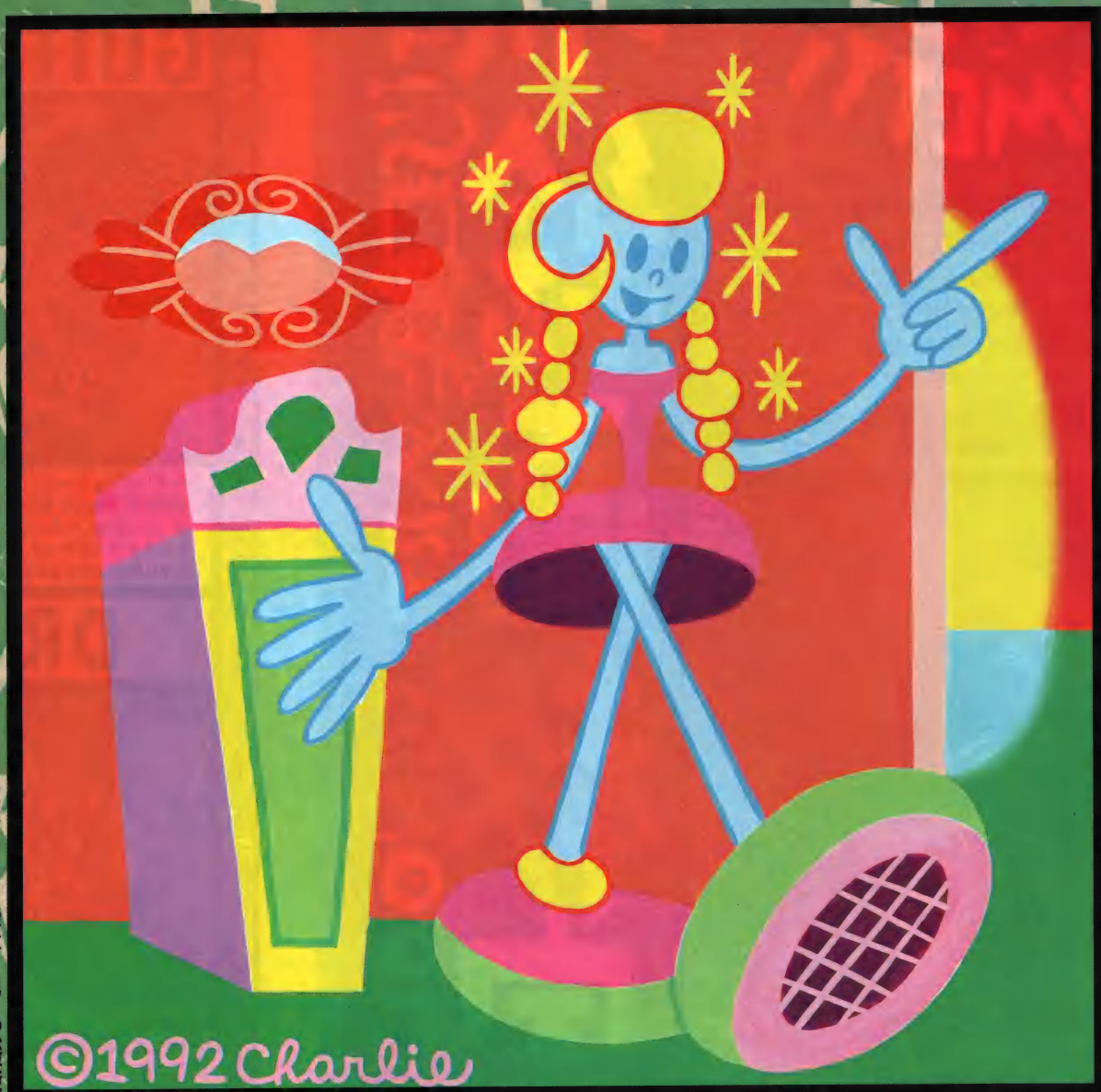
株式会社ウバール
〒107 東京都港区南青山5-1-2 青山エリービル6F

UBAR RECORDS

# BUHi・BUHi

©1992 Charlie

扉イラスト●原"チャーリー"美恵子　カット●松原裕美

BUHi・BUHi

●10月号のつまらなかった記事「BUHi$^2$」理由「今月はダーマン攻撃が少ないから」（兵庫県　ひみつのようこちゃん　16歳）――そうか、そうだったのか。読者の方々にこれほど㊞ダーマンが求められていたとは…。ダーマンがらみのお便りが妙に増えてきた今日このごろ。編集部はついに新コーナー設立を決意!!　今月もイクわよ〜ん。

▶各コーナーへのご意見、文句、感想etc何でもアリのお便りは、〒102 東京都千代田区五番町6－2　㈱ソニー・マガジンズ　パチ▶パチ「BUHi$^2$○○コーナー係」まで。官製ハガキでお願いします。みんなのお便りがBUHi$^2$の活力源なのよ。

# ソメッチ流絵画教室。

SOMETTI'S ART SCHOOL

SOMETTI

●今月は「これが初投稿です」って描いてきてくれた人がたくさんいて、ソメッチうれしかったなぁ。やっぱり涼しくなってくると頭も筆も冴えてくるのかな？　食べ物もおいしい秋だし、モリモリ食べてモリモリ描いてくれ。モデルもいろんな人に挑戦して描いてごらん。新発見がきっとある！

EBI

TAiSHOW

▲広島県　うにころん
んーこの何とも言えないあったかい味。鮮やかな青があったかさをひき立ててる。

# おまえのココが嫌いじゃ。

今月も"憎まれっ子世にはばかる"このコーナーがやってまいりました。10月号のつまらなかった記事、トップバッターはこのお方!

●つまらなかった記事「小室哲也」理由「そんなに髪のばして……。あなたはだぁれ?」(静岡県 さんたちやん 15歳)「カッパ?」(香川県 いい日旅立ち 17歳)「MIAMIをミアミと読んでしまった」(茨城県 ♪にぎりめし〜く〜 16歳)「可愛さ余って憎さ100倍(すきよぉ〜)」(兵庫県 壬生塚亜紀 19歳)

いやしかし、インパクト的には大江千里さんのヒゲものより弱かったような印象が、ね。見慣れてしまえば、ス、ス、ス、♪スキスキスキスースキスー♪(←ごまかす…細川ふみえちゃん調で歌ってね)

そして、初登場のインパクトでドカーンときたのはこの方。

●つまらなかった記事「槇原敬之」理由「ビビッタ」(群馬県 DEN蒸$^2$し♡ 13歳)「ちびまるこちゃんのはまじかと思った」(静岡県 タミモ 17歳)「ページを開いた瞬間血圧が上昇してしまった」(静岡県 大庭葉蔵 19歳)「えっ!? うっちゃんじゃないの?」(島根県 小川雅子 17歳)

なーんて言っちゃってみんな1人で家で聞いて、ジーンとしたりしてるク・セ・に♡(特に男のコに多い)

新しめの方たちの中からはこちら。

●つまならかった記事「シャランQ」理由「くやしいけれどおまえに夢中」……はぁ……。

●つまらなかった記事「T-BOAN」理由「蟹江敬三」

やっぱり似てる……。のね……。

そしてっ。10月号の記事でこれに触れないわけにはいきますまい。

●つまらなかった記事「B'z」理由「下から写真撮るのはやめた方が……だって稲葉さんのあそこがすごい目立つ」(神奈川県 次郎 17歳)「浩志くんのモッコリ姿に思わずショック! しかぁーし生で見てみたいと思うのは何故!?」(千葉県 福山ましゃ子 22歳) ライブの姿を生で? それともモッコリの……生??

「178さんの短パンがいやです〈1年6組一同〉」(宮城県 たかこ 15歳)

ま、♬イヤよイヤよも好きのうち〜♬ってことですな。㊊もスパッツ・コーシの腰フリを生でみたいわぁ。ムフフ♡んじゃまた来月!!

# Darman Comes True

これはドリカムのコーナーではありません。も一度よく見て下さい。そう、ここはダーマン・ワンダーランド『ダーマン・カムズ・トゥルー』なのですっ。気さくにダーカムと呼んで下さいね。なぜこんなコーナーが出現したかと言いますと……

●ダーマンって何ですか。(秋田県 挫折 16歳)

●あのねー1回ダーマン30(サーティ)こと吉田よし見さん(30)(←漢字がわかんない)のかおみたいのーそんでーダーマン30さん(ダーマン30さんとよばしてもらいます)のとくしゅーしてほしいなーっとおもってんのよ。「びじん」だってきくしー。うんうん1回みてみたいもんじゃ! ダーマン30さんを!! よろしく!!(広島県 おくダーマン27 14歳)

●「ダーリン」(THE BOOMの曲)と書こうとして気付いたら、ダーマンと書いていた♡(千葉県 Tea or Coffee 13歳)

●なぜ10月号のトゥビコンの佐藤さんと後藤さんの記事が入れかわっているのだ。(怒)この責任はダーマン様(30)にとっていただきましょう。結婚すれば許します。へっへっへ。(大分県 はぎ 15歳)

他にもこのような㊊ダーマンネタのハガキが続々と届いています。

なぜか。

他人の不幸は蜜の味、というように、みなさんは㊊ダーマン30の"暇ない男ない眉毛ない"の3ない、"プライド高い理想高い年齢高い"の3高などに楽しさを感じてしまうのでしょうか? いえ、これを書いているワタクシはそんなことちっとも思ってません。ダー様は素晴しい先輩だ。

さて。

「ダーマン30特集への道」を拓(ひら)くために、今後いろいろ企画を募集したいと思います。その①ダーマン想像図コンテスト/ダーマンの姿を想像して下さい。イラストでも1コママンガでも何でもOK。どれが最も本人像に迫っているか編集部全員で審査します。②あなたの身近のダーマン/ダーマンっぽいと思われる人、ダーマンっぽくて笑える話等々、ダーマン度数を計ってさしあげます。

抽選で何かあげます。(←いい加減)いずれ"ダー"のつく人々(ユニコーンマネージャー原田(ダ)ーさんとか)もゲストにお迎えしてみたい。(野望)

お便り待ってます!!(宛先はP209)

◀茨城県 牟田和泉 11歳。色も線も元気! 見立ても楽しい。

◀石川県 田奎亜希子 カッコよさと面白さ相乗効果バッチリ。

◀山口県 どうせオイラは サラサラ髪にマイアミの風、感じるよ。

# SOMETTI SHOW

▲宮城県 三浦加奈子 シルクスクリーン。荒いタッチや空間の生かし方が大人。

▲兵庫県 石原奈央子 なんかこの手作り感。いいねー。キュートだよ。

◀福島県 平野世亜留 常連平野くん。こりゃ艶っぽい絵だね。

◀千葉県 柿沼大生 きれいだ。澄んだ瞳にクラクラッ!

◀大阪府 永田智子

# 今月の課題 松岡英明

●1枚ごとに違うイメージの松岡くんが描かれてて感心したよ。次の課題は氷室京介。

◀神奈川県 伊藤寿美

◀千葉県 わたこちゃん

◀大阪府 中島佳子

◀石川県 水口照代

◀大阪府 THE FACE

◀広島県 ヨウコ

◀兵庫県 Chizu

◀愛知県 平沢多映子

●うちの父ちゃんははなくそほじるためにわざわざ小指のつめをのばしている。頼む!! 父ちゃんやめてくれぇ。はずかしいよ、あたしゃ。(福岡県　チャイナタウン　16歳)

⊙編吉田チュー(20)も小指のつめをのばしている……そ、それは、耳くそをほじくるため……(本人談)

もう誰もチューを救えない……。

●ハガキ1枚と62円切手1枚を買おうとしたら「1003円です」と言われた。(千葉県　宮澤章人　16歳)

⊙ガビ〜〜〜〜〜ン。

●今日電気のCDを予約しに行ったら店員の2人が「電気グループ」か「電気グルーヴ」かでもめていた。しかも予約NO.1だった。(9月12日現在)(北海道　死にかけ　16歳)

⊙そーなのよ、電気って、ホントは全然人気ないかもしれないのよ。(笑)

●面白い話も何も持ってません。ヒマなので家に居ます。面白いことは有ります。それは私の顔です。送ってあげたいのですが顔は1つしかありません。あしからず。(大阪府　めぐっぺ　16歳)

⊙じゃあ、パックのはがしたヤツ送って来てみろよっ。ピロリンチョー。

●この前私がレジを打っているとき20歳くらいの男の人がSEVENTEENを買いにきた。私がふつうにレジを打っていたら男の人はわざわざ「こ、これは妹に頼まれて……」と言った。そんなこと言わなくても……と思いつつ「あ、そうですか」と冷静さをよそおっていたが、その人が出ていった後みんなで爆笑してしまった。(大阪府　福山さん大好き　16歳)

ためいきアベニュー

**犬の鼓動はdog、dog。**
〔シャレ〕(東京都　GUILE　13歳)

⊙私(28歳)はガイチ見たさに某S誌を買うときは10代っぽくふるまう。じゃあ、コイツは女装すればOKだ。

●国語表現の授業で「福山雅治」を使って言葉をつくるのをやりました。"ふしぎな／くにから／やってきた／まんとひひに／またがって／さっそうと走る／はんさむボーイ／るびーの瞳でほほえんで♡"※注 内容にあまり深い意味はありません……。(京都府　福ちゃんLOVE　18歳)

⊙これ、みょーに、自分もやりたくなるやね。ヨシ、今月の課題「福山雅治」で、うちにも送ってきてちょ。

●この前学習国語辞典で「やじうま」を調べたら例文に「やじうまたちは少しでも中を見ようと縄が切れそうになるまで前に出ていった」と書いてあった。一体何が起こったんだろう。気になる————ぅ。(福岡県　ドラえもんすけ　13歳)

⊙ところで、やじうまの"やじ"ってのは一体なんだ？　やじ？

●となりの犬は"ぎんちゃん走り"をするらしい。(山形県　谷口裕美　15歳)

⊙ぷぷぷ。欽ちゃん走りする犬ゥ。サイトウセイロクはいないのかな？

●この前生まれて初めてバンドのライブへ行った。言葉が出なかった。野口英世物語を読んだとき以上に感激しまくってしまった。(静岡県　BERRY　14歳)

⊙この愛、とどきますか……以上の感動を与えるバンド、その名は？

**ZARDの坂井さんは私の知**っている人のお姉さんなんだよ。坂井さんは弟もいるんだよ。(東京都　EBIざんす　19歳)

●WANDSの上杉昇さんは私の日舞の先生のお友達の息子さんです。ホント。(埼玉県　中村はづき　16歳)

⊙友だちの知り合いのお姉さんのダンナさん……↑そりゃ他人ちゃあ！

●"私はダイヨゲンシャ"と心の中で思い空を見たら飛行機が飛んでいたので"あの飛行機には何かが起きる！"って小声で言ったら、自転車をこいでた私は壁にぶつかった。トホホ……。(千葉県　グレムリン　17歳)

⊙アン、ビリーバボー!!(↑聖子風)

●うちの母はなんと福山雅治のファンだった。この15年間いっしょに暮らしてきて全然知らなかった。10月号の福山サンのポスターを勝手に自分のものにして壁に貼った。が、寝るときに見られないといって、寝る場所のすぐ正面の壁に貼り直した。この歳になってここまでする母って……。(千葉県　光路郎　15歳)

⊙多分、福山さんの方は年上OKだよ。そーゆーヤツだよ、あの男はっ。

●パチ▼パチの表紙で手切ってもた。ヒリヒリ痛むけど友情(パチ▼パチと私)のあかしじゃ。いつもなら本ぶちまわすけど、どうもパチ▼パチには手があがらん。愛しとんかもしれん。(広島県　CHILD　16歳)

⊙なにバカ言ってんだよ。(↑龍二風)

●うちの猫が犬のう○このにおいをかいでいて、私が「そんなものにおったらいかん!!」と地面に手をついたとき、う○こをさわってしまった。私って……　ルルル〜〜♪(愛知県　UNICORNだよ　14歳)

⊙う○こ……大丈夫だよ、きっと君の明日は幸せさ。るるる〜〜〜♪

●職員室を出るとき「失礼しました」と言うところを「シツレンしました」とキッパリ言い切ってしまい、先生たちに大笑いされてしまった……。(三重県　谷口SAN LOVE♥　13歳)

⊙おお！　そりゃなつかしのドリフネタ！　しんつれーしました↑加藤茶。ちがうの？　歳がバレるね。

●いとこの高校の夏休み前の注意事項は「もし車にひかれた場合は1cmでもいいから舗道に近づくこと。5m以内に入ればOKです」の1つだけだったそうです。(宮城県　私が都沢由美子だ　27歳)

⊙"OK"って？　手ブレもオッケー、16倍ズームだっ。(意味ナシ)

●私の友達NちゃんはPAT-i▼PAT-iのことをビビンチョと言った……。(和歌山県　EBIフライ　16歳)

⊙ビビンチョ？　びびんちょって何だ？　何なのだぁーNちゃぁーん！

●うちの鳥は私がそばに寄ると、ドタッと落ちて死んだふりをする。よほどきらわれているのだろう。私を見るたびに落ちるのはとても痛くてつらいことだと思う。しかしわざわざ痛い思いまでして鳥に避けられている私の立場は……。(東京都　まあくんLOVE　17歳)

⊙秋は食欲の秋ねぇ♡　焼き鳥で一杯なんてイイわねぇ♡　秋鳥♡

●友達のFちゃんはついこの前までジッタリン・ジンをジッタリン人という人種のことだと思っていたという。(高知県　日本人　16歳)

⊙ふぉふぉふぉお、ワタシはバルタン星人。モデルはシルビーバルタン。

**今年の夏の出来事。豊島園の**プールのハイドロポリスをすべった後、水着がおしりにくい込んだので水中で直そうとしたら、監視のお兄さんは溺(おぼ)れたと思ったらしく、くい込んだまま私はお兄さんにかかえあげられ、どうしていいかわかんなかった。(東京都　あんずちゃん　14歳)

⊙そっかー、その手があったかぁ。ダーマン30(サーティ)様、来年の夏は、ハイドロポリスっすよっ。

# 清水ミチコのスピークイージー

最終回

## 編村 村田茂

●清水ミチコのスピークイージー・最終回。10月23日には、このコーナーのダイジェスト版として、12の対談を取り上げた単行本『読むがいいわ』も発売される。あーめでたい。そこで、最終回は、コーナー担当の編集村との対談ということで、この2年間を振りかえろうと思う。

編村「長い間ごくろうさまでした」
清水「いえいえ、面白かったですよ」
編村「丸2年間やってきたんですよねえ。20回以上ですよ」
清水「えーそんなに。そっかあ、そんなに来てるのかあ」
編村「はい――」

清水「コーヒー飲んで」
編村「はい――」
清水「私の特徴って、会話がはずまないと、コーヒーガブガブ飲むんだよね。まさに、タモリさんのテレフォンショッキングの汗と同じ」
編村「そうでした（思い浮かべる）」
清水「1回目のあのバンド…」
編村「ジッタ…」
清水「コーヒー飲んだよー。（笑）でも、対談20数回やったのに、単行本に出てるのって12人でしょ」
編村「そうですね。だって、例えばBOOMのMIYAさんとか、甲府の超ローカルな話しかしなかったり……そういう理由です」
清水「（笑）あっそうか、すまん、すまん」
編村「この対談がキッカケで交際が始まった人っています？」
清水「YOUちゃん（フェアチャイルド）は、電話くれるし、ライブにも出た。あと、久本と飲みにいったりとかね。でも、それくらいかな」
編村「やっぱり、同じ初対面でも、お笑いの人とミュージシャンってちがいます？」
清水「うーん、そうだね」
編村「でも清水さん、ピアノ弾くし音楽詳しいでしょ」
清水「いやー、ちゃーんと、私じゃお笑い芸人でっせ。（笑）テレビ局の楽屋とかでね、〝お笑い〟〝ミュージシャン〟〝俳優〟って別々なのね。そうすると、お笑いって心ハダカでワイワイしてるんだけど、ミュージシャンってピリピリって感じだからね。俳優になると、もう他人を黙殺してるって感じ。役柄あるからかなあ」
編村「ふーん。そういうもんですかねえ」
清水「サンプラザ中野さんなんか、ヘルメットかぶってきたしね。でも、やっぱり、こういう対談ページがないと、ミュージシャンの人としゃべれないからね。うれしかったよ」
編村「それは僕も同じですよ。いつもとは、やっぱりノリの違う会話になってましたからね。かなりプライベートよりのネタとかね」

清水「それで、ここに仕事の合間とかヌッてくるでしょ。だから、ちょっと昼休みに遊びに行くって感じで、（笑）ゴメンネ。ダレてて」
編村「ハハハハ――」
清水「そうそう、尾崎亜美さんには曲書いてもらったしなあ」
編村「へえー。そういえば、単行本発売日の2日後、10月25日にアルバムをリリースするんですよね？」
清水「そうなのよ」
編村「ネタものですよね。半分がスタジオで、半分がライブ収録。そのライブ見ましたよ。生で」
清水「そうそう、毎回ライブを見に来てくれたんだよね。偉い。（笑）でもさあ、ライブだとOKでも、CDだとダメっていう放送禁止用語がいっぱい入ってるのね。それが残念」
編村「例えば？」
清水「〝無言電話〟がダメとか〝レッカーすりゃスッとする〟はダメとかねえ。軽犯罪にちょっとでも触れるとダメみたいねえ。あと、〝銭形平次のテーマソング〟は断られたのよ。〝戦メリ〟はよかったのに。さすが世界の坂本ねぇ」
編村「へえ。基準がよくわからないですね。でも、〝鳳蘭のマンボ〟はがんばりましたねぇ（笑）」
清水「そう。よく許可して下さったと思う」
編村「だって、歌詞すごいですよね。〝鳳蘭のマンボ、鳳蘭のマンボ、鳳蘭って何でも、やたらにデカイ〟ですからねぇ」
清水「（笑）そう。偉大な人だわ」
編村「タイトルが『飴と鞭』でしたよね」
清水「そうです。私がネタを作れないときに、ダンナが、ネタを書いたらどこどこへ連れてってやるっていうまさに、[illegible]と鞭状態で作ったから、ピッタリかなって」
編村「いい言葉ですね。（笑）また、僕も単行本になるような企画を考えますから、出て下さいね」
清水「（笑）」

ミっちゃん、本当に長い間ありがとうございました。又、どこかで…。

**長い間、このコーナーを応援してくれてありがとう。**

## ぼくはやっとサザエさんにじ

ゃんけんで勝ったぞーー！（愛知県 大天才光弘君 14歳）

おめでとぉーうっ!!（←力強く）

●体育のバレーのサーブのテストで、私の成績にいつも"I"をつける先生めがけて打ったら見事命中。母に言ったらほめられた。（北海道 私血うすいんです 15歳）

そのコントロールと松平会長のコネがあればアトランタは君のもの。

●先日電車に乗っていたら途中の駅から、なっなんとツタンカーメンのようなメイクのおかまが乗ってきたんです！ 私は好奇心旺盛のため何度も目が合ってしまいました。そして私が降りるとき、そのおかまは私にスーッと寄ってきて耳元で「ブス」とつぶやきました。コワスギーーッ。（埼玉県 民生くん助けて〜 13歳）

うっわーっ、そりゃコワすぎるぜえ〜！ ツタンカーメン……カメ。

ためいきアベニュー

「トマト」……シェー！

〔回文〕（大阪府 いつまでもくるちゃん 15歳）

●私の友人は好きな人に"あっぱれ"と書いてある日の丸ふんどしをプレゼントして気に入られた。（東京都 森田純弥 18歳）

最近の18歳ったら、こんなに大人ですよ。どうします、ダーマン様？

●恥ずかしい話だが、私はつい最近まで"だめいきアベニュー"の中に〔回文〕と出てくると"あぁきっと不幸の手紙と同じように10人くらいに見せなきゃいけないんだろうなぁ…でもなんであんな文を"と思っていた。（富山県 ヤンヤヤヤヤ 18歳）

あるよね、そういうカンちがい。たけやぶやけた、北の滝。

## 近所のスーパーに行ったとき

レジのおねえさんに「ありがとうございませー」と言われた。（大阪府 電気ブリブリ 17歳）

ぷっ「ございませー」←言った方も、きっと恥ずかしかったと思うぞ。

●ファミリーレストラン・Sラークでバイトしていた友人の話。オートミールセットのサラダをテーブルに持っていき「オートミールセットのサラダです」と言おうとしてつい「お待たせしました、オートミールセットの渡辺です」㊮「へー、あんたがついてくるんか」もちろん友人の名前は渡辺です。（東京都 BLOWN、21歳）

あーゆートコの名札の名前って、芸名ぢゃないんだ……。

●私はふだん「みっちゃん」と呼ばれている。ある日家に男の声で電話がかかってきて「み〇〇さん（←私の名前）いますか？」と言うので"おっラッキー♡"と思い「はい、私ですが」と言ったら突然相手が「♪みっちゃん道みちうんこたーれて〜♪」と歌い出し、歌い終わったらすぐ切ってしまった。コノヤロ〜〜〜ッ!!（大分県 うんこたれの私 13歳）

この手でいぢめられてる全国のみっちゃん『読むがいいわ』買ってね。

●うちの学校にはすごく無表情な先生がいる。あだ名は"ダーミネーター"。その先生に「おまえ表情ないな」って言われた私って一体……♪（埼玉県 中西有紀子 16歳）

能面？ ねぇ能面なの？ 喜怒哀楽っスよ、能面!!

さてどっちが

# 田沼功の頑固な若者

J(S)W&Mr. Childrenマネージャー

最近どうなのよっ！ うりうり。ってな調子のお調子者たぬまくんです。

先日、やっとの思いで、ジュンスカイウォーカーズ『Star Blue』とミスターチルドレン『Kind of Love』が完成しました。いやあ、どちらも道のりは長かったので、感無量の胸いっぱいってな感じです。どっちもものすごくポイントとなる作品になるので、頑張って宣伝しないといけません。うりゃあー。

近頃あんまり面白いことがないから、昔の面白いことを書きます。小さな頃、某菊池桃子さんがひっかかってしまったという噂のギョウ虫検査というものを学校でやったんです。あのキューピーちゃんがモデルをやっていて、弓矢の的みたいなシールをおのれの"菊"に貼りつけたのち、ひっぺがすという電撃ネットワークのネタのような世にも恐ろしい検査です。それを、学校で保健係という、人が具合が悪いというだけで授業をさぼれる役得な人が集めるわけです。ちなみにウチのクラスでは"ゲンベンさん"と親しまれていました。

ある日の夕方、ホームルームの時間、先生が1人の生徒の名を呼びました。続けて「だめだゾ、ちゃんと注意書きを読まないと。あれじゃ汚いじゃないか」としかりました――そうなんです。その人はなんとあのシールに"うんこ"を真空パックして、餃子のように包んでいたのです。あーあ、きったない。あんまり面白くないなあ。でも、もともと僕は笑いをとるためにこのコーナーを始めた訳じゃないんだってことに、今気付いた。でも真面目なことって何があるんだろう。

ついこの間まで宮田和弥結婚事件で大騒ぎだったけど、一体何だったんだろう、あれは。前から一部の追っかけ的なファンには割と知られていたみたいで、けっこうヒドいイヤがらせとかをされたりしてたんですよ、ずいぶん。そんなこともあって発表の仕方を考えてた矢先の出来事だったから、本当に迷惑したよ。あーいう芸能チックなマスコミはね、ほんとハイエナのような人たちだったよ。「そこんところを何とか教えてくれませんかねぇ。結婚したいきさつとか式の様子とか、2人の生活とか……」もう、イヤだって言ってもしつこいんだよ。まったく大きなお世話だこのぞうのフンにたかるハエ野郎ども。新聞に載っちゃったのは『笑っていいとも』に出た日なんだけど、その翌日にも別の新聞にいくつか出て、そんでもってタモリさんが『いいとも』で「昨日の宮田さんは結婚してたんですねぇ」と言ったとたん、問い合わせ150本ですよ。やっぱりすばらしい影響力ですな。何にせよ、根本的にとてもおめでたいことなので、みなさんあたたかく見守って下さい。本人宛や僕宛に、おめでとうの手紙をくれる人がたくさんいてうれしかったです。和弥の気持ちも含めて、ありがとうございます。

そういえば、今頃はもう、ミスターチルドレンの東名阪ライブが終わってるんですねぇ。全部売り切れでうれしい限りです。しかもパワステは2時間ソールドアウトという快挙。すばらしいです。ちゃんといいライブだったかなぁ、とっても心配ですが、とても期待しております。

ってな調子でスペースも少なくなってきました。この頃はよくお笑い番組をビデオに録って見てるんだけど、みなさんも面白い番組を知っていたら教えて下さい。地方のやつとか。アイキャンストップ！ ザ・ロンリーネース。それじゃまた次の機会まで。シーユーネクストマンス。

▶お調子者たぬまくん（←自称）への熱烈な感想のお手紙他、何でもよいので、209ページの宛先「最近どうなのよっ！ 田沼くん係」まで送って下さいねー。

●私はどうもボーッとしているらしく、よく柱やタンスにぶつかりアザをつくる。母は私に「そんなアザばっかりつくるとアザラシになっちゃうぞー」と言う。ご心配どうもありがとう。（東京都　アルマジロってなに？　17歳）

㊖雅功の部屋に板尾さんが遊びに来てるときのおかあちゃんみたいやで。

## さつきトレイに行ったら何年

かぶりにおケツが便座のところにはまった。なつかしい空気を感じた。（広島県　サマービーチ・お魚・白い雲　17歳）

㊖あるある、なつかしい空気。そのまま流れちゃったりしないでね♡

●ある日、先生が「砂糖が含まれている食品には何がありますか」って聞いたら、C君が「しゅがー」と言った。その後みんな、静かになった。（北海道　狂ったピエロ　14歳）

㊖好きだぞC君!!　しゅーがねー。

●改札口で駅員さんが手を出すので思わず持っていた定期券を渡してしまった。駅員さんも困っただろうけど、追いかけられた私はもっとびっくりしたでぇ——。（大阪府　5月12日生まれの私　17歳）

㊖うーむ、やっぱり大阪はワンダーゾーンだ。㊝吉田様は神戸の人よ。

●このハガキを書いてるとき友人が来て言った。「あんた頭よさそーな顔してるけどこのハガキ見ると頭悪そうだね」……オイ。（栃木県　あゆさわ㋕　16歳）

㊖頭悪そうな顔だけどハガキは天才的↑どっちが良いと思うかなん？

●このハガキに貼ってある切手、実はツバをつけて貼ったんです。あっコラコラハガキから手を離したな。安心しろ、のりだよ。（群馬県　よみうりランドEAST　13歳）

㊖AIDSへの理解度を探る高度な心理作戦だ。（怖）

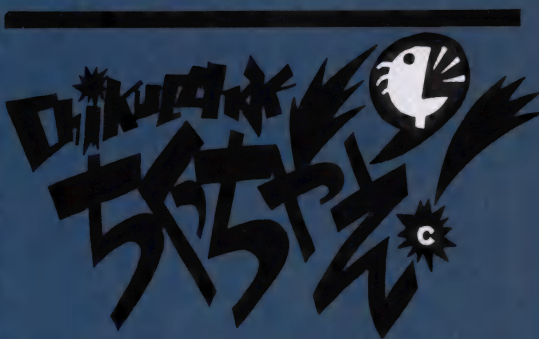
●私は、あの萩原君のファイバードリンクのCMで、つりをして帰るとき歌ってる歌を、ずっと"大塚製薬"というバンドの曲だと思っていた。だって画面の下に書いてあんだもん。そーとも知らずCD屋に行って一生懸命「お」の段を探した私はいったい♪　大塚製薬のバカー♪（岡山県　早崎雪子　15歳）

㊖そして、あのCMの女、誰？

●本屋でバイトをしています。パチ▼パチを買うお客さんがいるのはもちろんだけど。"600円です"とか言いながら"あ！パチ▼パチだわ、お客さんエライ、来月も買うのよ"とか思っちゃいます。売れ残るのがキライなので「パチ▼パチ入ってるよ！」とか言ってすすめてます。（北海道　ろーず　17歳）

㊖オレは好きになったら口に出さずにはいられない男なんだ。by貴明。

さぁ、今月はBAKUスペシャル。まずは典型的BAKUネタのコレ。

●91年12月21日のライブで宗ちゃんは"師走"を「師匠の師に忙しいと書く」と言い太田さんに「師匠の師に走るだよ」とつっこまれていた。懐かしいなぁ（新潟県　私が行った初めてのLIVE）

BAKUはこのテのネタが多かった！　最近だとラジオで加藤くんが勝投手のことを「しょう投手」と言ってしまったというのがいっぱい来てました。でも間違いをつっこまれたときの笑い顔とか笑い声とか、ちょっと慌ててて楽しげで、よかったー。

●3月29日広島のイベントでのこと。「加藤、何か一言くらい喋れよ」と言われた加藤くん。喋った一言が「あ」「せっかくだからギャグ言えよ」と言われて言ったギャグが「ふとんがふっとんだ〜」その日は加藤くんそれだけしか話さなかったんです。（広島県　上村亜希子）

アハハ加藤くんらしい。オヤジギャグぶりがイカしてます。加藤くんは原稿書きにうちの会社に来てることが何度かあって、会うと「こんにちは〜！」って照れくさそうにでもすごくちゃんと頭を下げて挨拶してくれるんですよ。3人ともたまーにしか会うことのない㊝にも、会えばニコーッと笑って「あっ、こんにちは〜！」って。よい青年なのよう。

●8月16日広島ライブでの車谷くんのMC。㊟「俺ってお世辞言うの嫌いってわかってると思うけど、今日眩しいんだ。照明さんのせいじゃないよ」「ほんとに光って見えて、こんなに1人1人の顔が見えるときもあるんだなぁって思った」みんな感動……。でも次の一言で「別にお前らのこと言ってんじゃねーよっ（笑）」——そんな冷たいKURUちゃんが好きよ。（広島県　ハローグッバイ）

そうなのそうなの。ジン、とさせといて冷たくするのが車谷くんなのよねー。わざとぶっきらぼうに見せるその純なとこ、男気なとこ、にまいってしまうもんだった。

あー、ほんとはいっぱいハガキもらったんですけど、狭い紙面では中途半端になってしまうので、1人1ネタにさせてもらいました。ゴメン。ハガキの中にみんなのBAKUが息づいてました。ありがとう。イトウアキもみんなの想いをもらって本の原稿書いてます。じゃ最後。……さよならBAKU、楽しかったよ！

## BY-SEXUALの今月のGOISU

NAO「まず1枚目は大阪府・寛子の作品——おーい、フッオ!!（笑）」
SHO「これ、ウーロン茶のCMの"アーサンもごいっしょに"の楽符」
DEN「（歌い出すが、うまく行かず）〜〜まぁまぁやな」
NAO「じゃ、次、DENさんが待っていた人魚もの。静岡県・光」
DEN「（笑）おい、ブロンズじゃないのか？　小学生の夏休みの宿題？」
SHO「かわいいなぁ♡」
DEN「だから、魚に喰いつかれてない？」（↑全員無視）
NAO「100円札と、50円札が来た。GOISUなのは、印刷がズレてるんです（笑）」
DEN「昭和18年。まさに戦争中」
NAO「俺の友だちの岩田くんがね、そのころ500円で家買ったって」
DEN「じゃあ、この410円で3LDKのマンション、余裕で買えるな」
NAO「"たずね人"です。新潟県・美由紀より。"彼の名前は梶山啓史くんです。2週間前から自宅に帰ってません。DENさん、この写真で彼の行方を透視してください"」
DEN「——今、気持ちいい思いしてますね」
SHO「じゃあ、いいじゃないか。次。オカルト自慢。福井ゆかちゃんより。"カベに貼ってあるポスターをカメラで撮ったら、家の写真が写り込んでます。この花は6月に咲いてたもので……キミ悪いでしょ？"」
RY:Ö「フィルム古いんちゃうか？」
（ここでカメラマン杉山氏登場）
杉山「これはネガの段階で重なったりすると、よく、こうなるよ」
RY:Ö「オォ。次もオカルト。新潟県・恵里。"お盆にお墓で撮ったら、弟の後ろに、くっきりと顔が……"」
DEN「わ、いっぱい、いる」
RY:Ö「お盆だから不思議はないし」
DEN「パチンコ屋で、パチンコの玉、撮ってるようなもんだからな」
SHO「そして、オカルト自慢のMVP。足がホントにない」
再び杉山「これはドキュメントじゃないから、やっぱり霊だよ」
RY:Ö「本職は説得力があるよな」
DEN「マジで足に注意しよう」
SHO「でね。最後は、今月のグランプリ。宮崎県・乱真留より、馬油。何でも効くそうなんで」
RY:Ö「じゃ、いってみよう。アトピーに効くかな」（↑ぬりぬり）
DEN「人生、カケも必要、と。（笑）ほんとに何にでも効くらしいぞ。ハゲとかな。」
RY:Ö「俺ら、ためしてるんで、結果報告します」

※（←次の課題）
DEN「今月ぜんぜん来なかった、オッパイ自慢をひとつ、たのむ」
RY:Ö「あと、秋といえば——」
DEN「君の街のちょんまげ自慢」
NAO「桂小枝のように、ナスを頭にのっけた程度でも可」

## 今月のばいちゃん!!

ILLUSTRATION SARU

▶"今月のGOISUくん"のコーナーへ、とにかく「GOISUだ」とメンバーをうならせる物（または写真）を送ってください。（宛先は209ページ）初心者の方のために毎月「今月の課題」が出されます。（今月は"ちょんまげ自慢""オッパイ自慢"です）しめきりは次号の出る前日。彼らの会話の真意をヨめばステッカーは君のもの。

BRIDGE

◉パチ▸パチ&パチパチ・ロックンロール主催の読者招待オンリーのイベントが9月3日にありました。オススメのフレッシュなアーティストを一同に集めてのポップス・ショウは92年の夏の想い出になったでしょうか？

Manna

GARLAND

Rotten Hats

Mr.Children

# 3 SEPTEMBER (THURSDAY) 夏の終わりの

REPORT

# フェアグランドアトラクション

9月もはじまって3日目に行なわれたパチパチ主催のイベント『夏の終わりのフェアグランド・アトラクション』のレポートだい。というワケで夏の終わりとは、秋の初め……まさに涼しげな楽しい音楽との夕べ（夕べってなんかほのぼの）的なモノを想像して東京ドーム横の夕方5時から『ルナパーク』と言われる「君と握手！」でおなじみの『ジュウレンジャー・ショー』でおお忙しの後楽遊園地に向かった。しかし、ナントその日は今年の夏最高気温を記録した日だったのだ。夕方も6時だというのに汗ダラダラ状態で始まったイベント。500組1500名様のラッキーボーイ&（実はほとんど）ガールのみなさま達もそろい、アトラクションたちの派手なイルミネーションとジェットコースターの悲鳴をバックに最初に登場したのは『ガーランド』ラフなスタイルで登場したヴォーカルのカナちゃんを中心に短いライブでアイサツ。そして、次に登場したのは最近人気アリアリの『ミスターチルドレン』。カンゴール&アニエスbガール達も総立ち（古い表現）で盛り上がってました。そういえば、来てくれた人の何人かは気づいたかもしれないけど、ライブの合間に流れていたBGMの選曲は、それぞれのバンド自身がやっていたのでした。そこらへんにそれぞれのルーツとセンスがちょっと見えた気がしたね。ですから、まだデビューしていないのにその手の人達（だから、カメラカメラな彼らのプロデューサーでもある人が好きな人達）には有名な『ブリッジ』登場、地味なMCだがほのぼのとしたイイ曲が「夏休みはもう終わり……」という感じでした。そして、続いて登場したのもフンワリという感じの楽曲が多かった『マンナ』。当日は体調が悪かったというボーカルのもと子ちゃんだけど、しっかりと彼らのミントでグリーンな世界にみんなを連れてってくれました。そして、『ロッテンハッツ』いやいやおいしいトコみんな持っていったという感じでお盛り上がり大会だったはいいんだけど、この会場、近所がビル街という関係か8時半までしか音が出せないという決まりだったのだ。ただでさえ押していたのにアンプがトラブル（涙）焦るパチパチ編集をよそになんとか盛り上がりのうちに彼らのライブも終わり、これでやっとイベント三昧だった今年のパチパチの夏も終わったのでした。ところで来年もやるんでしょうか？

（文●佐藤大）

※お詫び　告知で、ブリッジのプロデューサー・小山田圭悟氏出演とありましたが、これは㈱ポリスターと編集部の連絡不徹底のために起きた誤りでした。小山田ファンの皆様、本当に申し訳ありませんでした。

## こんなクツが欲しかったよね!!

▼新宿タナカヤ靴店の完全オリジナル・ハンドメイドの『TAXMAN』(タックスマン、黒オイル・茶オイル・14800円 税別)▼今や定番となったおでこ靴、とってもカワイイ!! Gパンにも似合うし、タイトミニのスカートに、黒いタイツではいても似合うよ。ライブに行く時には、絶対に、はいて行きたい靴です。それに、何て言ったって、ハンドメイドがウレシイ!! もちろん、はき心地は抜群です。色は黒と茶。最新のオイルレーザーで作りました。▼なんと!! 今回、この『TAXMAN』を3名様にプレゼント。ハガキに、住所・氏名・フリガナ・年齢・職業・靴のサイズ・どちらの色かを明記の上、左記の宛て先まで応募してください。11月9日消印有効。

PRESENT

## サントリーのコーヒー

▼サントリーが、今までの缶入りコーヒー「ウエスト」の中味・デザインを一新させて、新しくコーヒー豆のブレンドにこだわった『BOSS(ボス)』ブランドを採用して新発売。▼今回新発売するのは『サントリーコーヒー BOSS』(スーパーブレンド190g・ブレンド250g・ミルクテイスト250g・カフェオレ190g 4種類 全て税別)▼〝飲めば飲むほど味わい深いコーヒー〟をテーマに開発。コーヒー豆のブレンドにこだわって、500種類以上の試作品の中から選び出されたのが今回の4種類の『BOSS』です。▼缶に詰められるまで、細心の注意を払っているので、おいしさがいつまでも持続します。▼新発売を記念して、読者10名様に1ケース(30本入り)をプレゼント。左記のあて先までご応募ください。11月9日消印有効。

PRESENT

## バギーなジーンズ

▼レディス・ジーンズは今、スリムからストレートへ。今回発売するSOMETHINGの『レ・アール・ヌーボー』(EDWIN 7900円)はライトオンスのバギータイプ。全体を自然に見せる嬉しいタイプです。

## CDにはCD'S

▼日立マクセルから新登場するカセットテープ『CD'S』(20分~80分 ノーマル・ハイポジ・メタル 300円~710円 税別)の主な特徴は3つ。▼まずは何と言っても長さが豊富。▼次は、省電力を意識したので電池がとっても長持ち。▼サウンド・クオリティにこだわったから音がゆれない、こもらない。▼CD'Sを使えばシアワセ気分だね!!

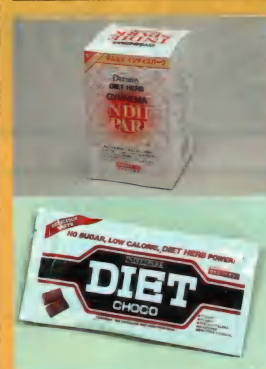
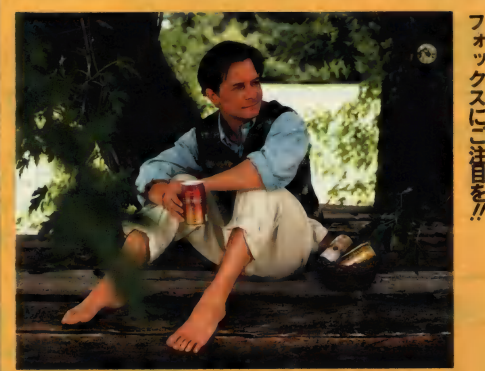
## 日本名湯・入浴剤

▼JTB中部エース事業部では、自然と温泉を愛する人の為のツアー『JTBお湯自慢の旅ーゆ』の申込み受付中。▼このツアーにちなみ、日本5名湯の入浴剤を10名にプレゼント。左記の宛て先まで送ってね。

PRESENT

## 簡単ダイエット!!

▼インドからやって来た『インディスパーク』(30ステック入 2800円)と『ダイエットチョコレート』(共にエアプラント 20個入り700円 税別)は、食べずにがまんする必要はありません。ゼヒお試し下さい。

## 最長74分のデジタル録音がO.K. 録音用ミニディスクついに新発売!!

▼新世代のパーソナルオーディオ〝ミニディスク(MD)〟システム専用の、録音用ミニディスク『MDW-60』(60分 1400円)『MDW-74』(74分 未定)が、ソニーから11月1日より新発売。▼録音用MDは、民間用として初めて、光磁気ディスク(MO)を用いて録音・再生ができるディスクメディアです。▼カートリッジに収納された直径64㎜の小型光磁気ディスクに、なんと最長74分のデジタル録音が可能。▼ディスクは、オーディオカセットの約3分の1と、コンパクトなカートリッジに収納されているので、持ち運びにはとっても便利。また、ホコリがつきにくく、取扱いが容易です。ひねりにも強い構造になっているのでアウトドアでも気軽に持ち出しO.K.▼一番大きな特徴は、なんと言っても〝オーバーライト方式〟の実現。(前のデータを消さずに新しいデータを書く、消去過程のいらない重ね書きのことだよ)これによって、オーディオカセットと同等の使い勝手を実現させました。▼ディスクには様々な技術が結集されているので、音質が変化することなく100万回以上の録音が可能。▼とにかく特徴をあげて行くとキリがないほどの『MDW-60/74』発売が待ちどおしいね!!

## マイケル・J・フォックス

▼キリンビバレッジでは『午後の紅茶』『午後の紅茶ファインエステート』のテレビコマーシャルに『マイケル・J・フォックス』を起用しています。もう見た人も多いのでは? ▼マイケル・J・フォックスといえば、映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」シリーズがあまりにも有名。▼親しみやすい笑顔で世界中のファンを魅了している彼が繰り広げるこのCFは2種類。『キリン午後の紅茶』では、マイケルが自然の中でくつろぎながらティータイムを楽しみ『キリン午後の紅茶ファインエステート』では、気品ある紳士に扮したマイケルが本格的な紅茶の味わいをアピール。▼『午後の紅茶』のおいしさを演じ分ける、マイケル・J・フォックスにご注目を!!

## アウトドアタイプ

▼〝スポーティー・タイプ・ヘッドホンステレオ〟に大きな支持を得ているKENWOODが、その上級タイプ『ヘッドホンステレオCP-K7』(26000円 税別)を新発売。▼音質重視のハイ・クォリティー設計だから、自分の好きな音楽が安心して聞いていられるよ。

## リニューアルだよ!

▼「CDを手軽にいい音で録音できる」と大好評のオーディオカセット『CDing』(TDK 40~120分 ノーマル・ハイポジ・メタル 340円~880円 税別)が10月21日からリニューアルして登場だよ。▼80分以上のカセットを用意してタイムバリエーションが充実。▼パッケージにレイアウトされているCDの絵が目印です!!

応募先住所▼156-91 東京都世田谷区千歳郵便局私書箱25号 パチ▼パチ⑪ 〝プレゼント商品名〟係


雑誌公規約の定めにより、この懸賞に当選された方は、この号のほかの懸賞に当選できない場合があります。

# 小室哲哉写真集

# HIT FACTORY

## SOUTH BEACH WALK SESSION

## ヒット・ファクトリー

ソロ・アルバム『HIT FACTORY』をリリースする小室哲哉のオール・フロリダ・ロケによるオリジナル写真集、緊急発売決定!!
強い日差しが降り注ぐ真夏のマイアミ。"アーティスト・小室哲哉"とは違った、
ノー・スタイリング、ノー・メイクによる素顔の彼を初めて特写!!
雑誌等でも未公開のOFF TIMEショットのみを厳選収録した、最初で最後の完璧なるプライベート写真集!?
〔初版限定特典/綴じ込みオリジナル・ポストカード〕

# 10月24日(土)緊急発売予定!!

A4ワイド判/予価3,200円

いま買って、お支払いは
らくらくクレジット。
お申し込みは
電話でもOK!

# ロック伝説始まる。

カラー仕上げのフェンダータイプ

月々
3,560円
×
6回

**わずかな予算で買えるエレキ入門セット！**

上級モデルなみのサウンドを追求した格安のエレキ入門セット。ギターは、ビギナーにも使いやすい1ボリュームコントロールを採用。アンプはミニでもビッグな3Wの出力と、電池でもACアダプターでも使える2電源方式だから、野外でも迫力のサウンドが楽しめます。

バッチリ学べる入門カセット

ヘッドホンも使える高性能ミニアンプ

| ●バースKY-Cセット | |
|---|---|
| 現金価格 | 19,800円 |
| 分割価格 | 21,360円 |
| 荷造り送料 | 1,700円 |

〈セット内容〉①ギター（オリジナルストラト/色:黒）②アンプ(最大出力3W/サイズ:幅114×高さ144×奥行73㎜）ACアダプター付③シールドコード④エレキ入門カセット⑤オンサ⑥ストラップ⑦ピック×2

## あっぱれ！アンプ内蔵ギター。

アンプ内蔵だからいつでもどこでもうたって踊れる。チューニングメーター付でお買い得なのだ。

**●フェルナンデスZO-3セット**
本体価格29,800円 送料1,200円

〈仕様〉ネック：ショートスケール／アンプ部パワー：5W／ピックアップ：ハンバッキング×1／パーツ：クローム／カラー：グリーン、ブルー、ピンク、イエロー、グレー、レッド〈付属品〉専用ソフトケース、シールドコード、ストラップ、チューナー、ピック

## 幅広いサウンドを生む、SSH

スムーズなアーミングを可能にした、2点支持ナイフエッジトレモロは定評があります。

**●フェルナンデスVSSH-40**
定価40,000円→V特価 送料1,200円

〈仕様〉指板：ローズウッド／ネック：メイプル／ボディ：バスウッド／ピックアップ：シングル×2、ハンバッキング×1／パーツ：クローム／カラー：BL、SW、RED、BBS〈付属品〉シールドコード、トレモロアーム

## 強力なトレモロユニットがうれしい。

ナチュラル感覚のアーミングB'zの「松本孝弘」モデル。テクニック派必携の一本。

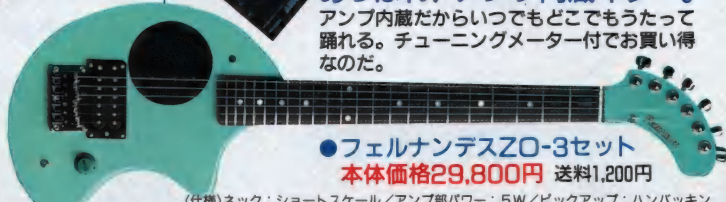
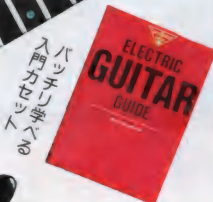
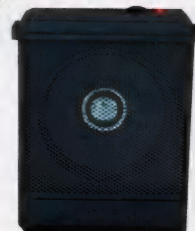
**●ヤマハMG-MIIG**
定価85,000円→V特価 送料1,200円

〈仕様〉指板、メイプル／ネック：メイプル／ボディ：バスウッド／ピックアップ：ハンバッキング×2、シングル×1／パーツ：ブラック／カラー：BSB〈付属品〉トレモロアーム、シールドコード

## エックスになりきれ！

パワフルなホワイトボビンのハンを搭載したゴキゲンのモデル。

**●ブローズBMG-X（ケース付）**
特価39,800円 送料1,200円

〈仕様〉指板：ローズウッド／ネック：メイプル／ボディ：プライウッド／ピックアップ：ハンバッキング×2／ポジションハーク：パールクラウド／カラー：白、黒〈付属品〉ショルダーケース、シールドコード

# VIVA

■営業時間AM10：00▶PM7：00

## お申し込みは電話かハガキ又は現金書留でどうぞ

●お届けは商品お申し込み受付から10日前後です。●電話又はハガキでの注文は代金引換（お届け時払い）と分割払いです。※島しょ・沖縄は代金引換は出来ません。●現金書留（前払い）で送る場合は商品名・数量・金額と名前(フリガナ)・電話番号を書いて代金を近くのビバへお送り下さい。●万一商品に故障・破損等があった場合は交換致します。●現金価格＋送料に3％の消費税が加算されます。●島しょ・沖縄の送料については、ご注文の際にお問い合わせ下さい。●ご注文以外の質問もお気軽にどうぞ。親切なビバスタッフがやさしくお受けします。

（ハガキのお申し込み）
- ●商品名(色)
- ●支払い方法
- ●〒・住所
- ●氏名(フリガナ)
- ●生年月日・年齢
- ●電話番号
- ●保護者名（18歳未満の方のみ）
- ●ご覧の雑誌名

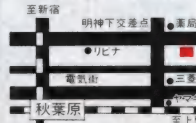
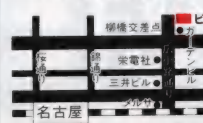
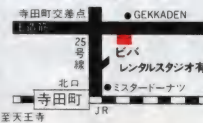
最新楽器情報誌「ハンド・ギア'92」
話題のニューモデルをはじめ人気LM商品を約200点紹介しています。お申し込みは商品と同じ方法でハガキでお申し込み下さい。
無料

## 商品とカタログの申込先

★いちばん近い店にお送り下さい。

〒980 仙台市青葉区中央4−9−13……ビバ仙台店…942係★
〒101 東京都千代田区外神田3−1−3……ビバ秋葉原店…942係●
〒450 名古屋市中村区名駅南1−3−15……ビバ名古屋店…942係★
〒543 大阪市天王寺区寺田町2−1−2……ビバ大阪店…942係●

★ビバ仙台店 ☎022(262)0025

●ビバ秋葉原店 ☎03(3253)0675

★ビバ名古屋店 ☎052(563)2202

●ビバ大阪店 ☎06(779)9209

⬆定休日…●印の店は木曜定休、★印の店は水曜定休。

## 人気を二分するエレ・アコ

●今、人気の絶頂のエレアコ。付属のアンプにつなげれば追力のエレクトリックサウンドに変身／教本とカセットテープ、コードを一発で覚える㊙カラーシートが付いているのですぐに上達できます。

**●エレ・アコ入門セット**

| | |
|---|---|
| 現金価格 | 39,800円 |
| 月々3,980円×11回 | (実質年率 19.50%) |
| 分割価格 | 43,780円 |
| 荷造り送料 | 1,700円 |

〈セット内容〉エレアコ、カセットテープ4巻、教則本、ピッチパイプ、ピック

←3バンドイコライザーで幅広い音域をコントロール

←今や主流のカッタウエイシェイプ

屋外でも使える高性能ミニアンプ

コード1発マスター㊙カラーシート付
㊙カラーシートはいわば"アンチョコ"。これなら誰でも弾けます。

1フレット
2フレット
3フレット
指板と弦の間にさしこむ

▲わかりやすい教本とカセットテープ付

## マーチンモデルでフォーク入門

●マーチンD−18をモデルにしたシンプルなアコースティック。必要な小物をすべてそろえたお買得の入門セット。

**●D-47フォーク入門セット**
特価19,800円
送料1,200円

〈セット内容〉①フォークギター②ソフトケース③教本④カポタスト⑤ピッチパイプ⑥ピック×2

## 初心から本格派ギターを選べ

●〈SSH-FX-V8点セット〉ギターは人気抜群のストラトタイプ。ピックアップには、どんな音楽ジャンルにも対応できる2シングル・1ハムバッカーを搭載しました。アンプは音質重視設計の2ボリューム3トーンの本格派。届いたその日から追力のサウンドが楽しめます。

**●SSH-FX-V8点セット**

| | |
|---|---|
| 現金価格 | 39,800円 |
| 分割価格 | 43,780円 (実質年率 19.50%) |
| 荷造り送料 | 1,700円 |

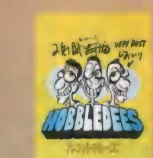
〈セット内容〉エレキギター(ストラトタイプ/色:黒、白、青、赤)
高性能ミニアンプ(最大出力10W／ボリューム×2、トーン×3
ヘッドホンジャック付／サイズ:幅30×高さ28×奥行17㎝)
ショルダーケース、ストラップ、チューニングメター
ピック×2、入門ビデオ

月々3,980円×11回

パワフルなハンバッキングピックアップ

●ドレミ出版と共同開発したレッスンビデオは、納得するまで何度でも目と耳で立体的にレッスンでき、ピックの使い方から音の合わせ方、そして必殺ワザのチョーキングに至るまで簡単にマスターできます。

## 真心ブラザーズ　6名

⑭うちわ（提キューンソニー）

## BAKU　110名

⑧ラストライブで飛ばした鳥の羽（1名）⑨ラストツアーメモリアルチケット（2名）⑩ポラロイド（103名提以上編集部）⑪ポスター（2名提ポリスター）⑫Tシャツ⑬うちわ（各1名提以上クリアスカイ）2年間分のポラ大放出。1枚だけサイン入り。

## T-BOLAN　3名

③ポラロイド（提編集部）11月11日3rdアルバム『SO BAD』発売。

## 小室哲哉　13名

①ポスター（3名提EPICソニー）②砂（10名提小室哲哉さん）"砂"は、バハマとフロリダの海の砂を小室さんが取って来たものだよ。航空便でこれから届くので写真がないけど、お楽しみに。10月21日にアルバムリリースするよ♡

## CHARA　3名

⑮ポスター（提EPICソニー）"SOUL KISS"良いよねー。

## Mr.Children　4名

④サイン入りポラロイド（提編集部）

## ホブルディーズ　3名

⑯サイン入りミニパンフ（提ソニーレコード）

## B'z　3名

⑦ポスター（提BGMルームズ）10月28日にニューアルバム『RUN』がリリースします。もう、待ちどおしいったらないよねー。早く聞きたいよぉ。

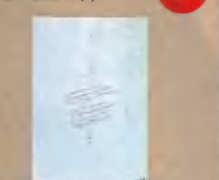
## THE Because　3名

⑤Tシャツ（提VAP）10月16日ライブあり。

## UNICORN　10名

㉒サイン入りポラロイド（5名）㉓撮影使用小道具ポール・スミスのハブラシ（5名提共に編集部）原田さんが勝ってきたハブラシよ。

## FAIR CHILD　3名

⑳Tシャツ（提キャニオン）

## 井上睦都実　3名

⑥パンフレット（提ソニーレコード）

## スピッツ　4名

㉑ポラロイド（提編集部）ニューアルバム、もっのすごく良いよ。

## ナイフ　3名

⑲テレホンカード（提東芝EMI）8月にデビューしたばかりです。

## ロッテンハッツ　6名

⑱うちわ（提キューンソニー）冬にもイベントがあるよーん。

## モダンチョキチョキズ　1名

⑰サイン入り天津甘栗の袋（提編集部）

## 9月号プレゼント当選者　運の良い人たち

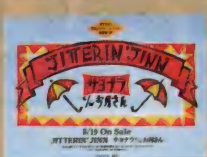
●UNICORN／うちわ／滋賀県　田口友紀子／埼玉県　正田淳子　他3名／ポラ／秋田県　斉藤希子／大分県　伊藤美和／徳島県　井上美樹　他7名／小道具／広島県　谷本由美／大阪府　久保田晶子　他2名
●B'z／キーホルダー／千葉県　金塚真由美／神奈川県　松永佳代／鹿児島県　川野由佳里
●J(S)W／ポラ／広島県　斉藤綾子　他2名／カメラ／大阪府　妹尾紘子／東京都　梶山弥生
●リンドバーグ／下じき／鹿児島県　平川友和／岐阜県　高橋ひとみ／和歌山県　寺下裕子　他2名
●Mr.Children／ポラ／大阪府　大西晴子／東京都／鈴木千寿子／福岡県　坂丸千尋　他2名
●THE BOOM／ポラ／福岡県　倉田真由美／沖縄県　大城葉月／神奈川県　橋本真紀子　他7名
●鈴木彩子／ポラ／愛知県　中山和子　他1名
●To Be Continued／ポラ／一岡市　千葉弘美／埼玉県　三橋幸弘／福井県　宮内香奈子
●CHARA／ボール／大阪府　中島こずえ　他2名
●松岡英明／シャツ／広島県　松林民恵　他1名
●M-age／ポラ／埼玉県　鈴木直子／キャップ／栃木県　斉藤理恵／山梨県　杉山梢　他2名
●マンナ／ポストイット／滋賀県　斉藤美乃里　他4名
●BY-SEXUAL／パジャマ／新潟県　米山千恵　他1名／ポラ／熊本県　中島ひとみ　他2名
●KIX・S／テレカ／石川県　長谷川春美　他4名
●すかんち／うちわ／宮城県　鈴木美絵／愛知県　鈴木なぎさ／熊本県　山本由美　他12名
●スパゴー／ポラ／東京都　三木麻美　他2名
●佐久間学／サイン／兵庫県　木原知子／大阪府　西知里／福岡県　井上美鈴／東京都　田中美佐　他1名
●CUTEMEN／Tシャツ／埼玉県　佐藤明子　他3名／ポラ／千葉県　安彦久美
●ロッテンハッツ／ポラ／神奈川県　津田明代／鳥取県　佃陽子　他1名／メモ帳／東京都　尾身育子／大阪府　辻本多恵子／福島県　高田美和子
●GAO／Tシャツ／静岡県　渡辺奈津子　他2名
●ジガーズサン／Tシャツ／青森県　広瀬歩　他2名

## 9名 電気GROOVE

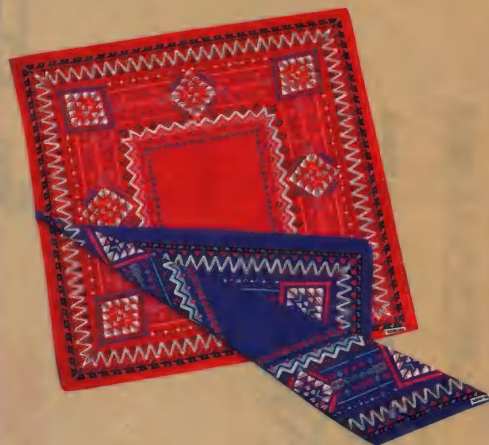
㉗ポラロイド（提編集部）ここ何ケ月分かのポラロイドを集めてみたよ。9月号のCDプレゼント、これから発送するので待っててネ。

## ジッタリン・ジン 12名

㉖下じき（提東芝EMI）かわいい下じきでしょう。ねっ。ねっ。

## ソフトバレエ 3名

㉕ポラロイド（提編集部）写真集発売予定!!

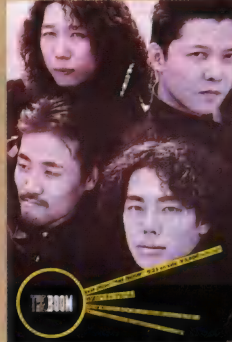
## 4名 大江千里

㉔バンダナ（提EPICソニー）10月16日から毎週金曜日夜10時から、千里くん本人が出演するドラマが始まるのだ。楽しみだねー。

## 1名 安藤治彦

㉙ポラロイド（提編集部）東京学園系のCFで曲が流れてるよ。

## MASARINA 3名

㉘テレホンカード（提日本テレビ）"GIANTSの勝ち"の司会です。

## 13名 THE BOOM

㉜ポスター（8名）㉝ちらし（5名提共にソニーレコード）初めのベストアルバムがリリースしたばかりですが、いかがでしたか？ そのアルバムのポスターとちらしだよーん。

## 3名 Jun Sky Walker(s)

㊴ポロシャツ（提TOY'S FACTORY）㊵ポラロイド（提編集部）ジュンスカのメンバーは、取材の時お腹がすくと、自分達でサンドウィッチとかを買いに行って食べます。とっても良い人達なので、担当編は、いつも感激です。

## 3名 L↔R

㉛Tシャツ（提ポリスター）

## 1名 DEER

㉚スポーツバック（提フォーライフ）なんと編若吉田ちゅーが入る大きさ。（実験済み←実話）

## 2名 トンネルズ

㊲Tシャツ㊳メモ帳（各1名提キャニオン）特別サービスだよん♡

## 3名 吉川晃司

㊱ポスター（提東芝EMI）今月の直筆は、いかがでしたか？ ツアーリハーサルで忙しい中なのに、こころよく直筆原稿を引き受けてくれました。どうもありがとうございました。ツアーは年末まで続くので、ゼヒ見てね。

## JAM CREAM 5名

㉞テレホンカード（提ソニーレコード）9月9日にデビューしたの。

## 5名 篠原利佳

㊸くつみがきセット（提テイチク）

## 18名 CUTEMEN

㊶Tシャツ（3名）㊷ステッカー（15名提共にパワーボックス）

## 3名 KIX'S

㉟キーホルダー（提アポロン）

## ●応募方法●

●秋がやって来ました。夜、クーラーが止まっても暑くならなくて、本当にウレシイ今日この頃。けどなー、涼しいのは良いけど、秋から冬は、洋服が高いのがイヤだなぁ。欲しい物はいっぱいあるけどお金がないよう（泣）さて、プレゼントに応募したい場合は、このページのハガキに必要事項を記入して送ってね。10月9日消印有効でーす!!

●チェッカーズ／パンフ／徳島県　福島夕紀／神奈川県　熊倉淳子　他3名／ポラ／鹿児島県　和田幸子
●レピッシュ／Tシャツ／大阪府　辻本結香　他4名／ステッカー／宮城県　氏家千晶　他9名
●ナガランド／テレカ／茨城県　秋山幸　他4名
●プラス／ウォッチ／大阪府　伊藤友子／福岡県　三砂奈穂美／東京都　田島奈穂子　他7名
●A・I・TLES／テレカ／栃木県　大越優子　他4名
●スピッツ／ポラ／東京都　田辺真紀　他2名
●イエローモンキー／テレカ／北海道　高玉和江／富山県　板垣啓子／東京都　笹山朋子　他2名
●電気GROOVE／ポスター／北海道　東原こずえ／東京都　長谷川大輔　他8名／小道具　愛知県　斉藤友紀恵／秋田県　伊勢香代子／愛知県　小林典子
●WANDS／ステッカー／大阪府　木野潤子／東京都　小林彩／静岡県　青木由理　他7名
●BAKU／ポラ／愛媛県　山浦彰子／北海道　小上さゆり／徳島県　大西美穂　他9名／曲順表／千葉県　尾頭奈央子／大阪府　井戸暖子／ポスター／広島県　桐木淳子／京都府　鵜木香也子　他2名
●プリンセス・プリンセスあら?カルトQ成績上位者アラーム・クロック当選者▼東京都　松村博（26点）東京都　石川真紀（25点）／愛媛県　安江美里（23点）ソックス当選者▼大阪府　坂本愛（22点）／東京都　長嶋靖之（22点）／大阪府　小池貴子（22点）／岐阜県　森岡千恵（22点）／神奈川県　雨森貴之（21点）／神奈川県　横田奈美（21点）／福岡県　吉岡富喜（21点）北海道　西森利香子（20点）／宮城県　東谷崇（20点）北海道　白川明美（19点）／神奈川県　秋山さつき（19点）／千葉県　福沢由美子（19点）／大阪府　北川みゆき（19点）／東京都　岩瀬かすみ（19点）／埼玉県　森崎真理子（19点）／東京都　蔵谷友美（19点）神奈川県　林光子（19点）／東京都　加藤ナツキ（19点）／東京都　伊藤めぐみ（18点）神奈川県　小林奈々（18点）　抽選によるソックス当選者▼熊本県　石丸真一／愛知県　埜沢圭子／京都府　森永麻津子／山口県　三上潤子／北海道　玉堀和彦　他の皆様



雑誌公規約の定めにより、この懸賞に当選された方は、この号のほかの懸賞に当選できない場合があります。

# SOUND MAGAZINE 創刊!! VOL.5

●気になるニュー・アーティスト。彼らの音楽が聞きたくても聞けないとお嘆きのみなさんへ、パチ▸パチからのスペシャル・サウンド・プレゼントです。どしどし応募してね。

## 抽選で3000名にプレゼント!!
(NEW ARTISTのサウンドダイジェストCD[8cm]を聞こう!!)

### 第5回アーティスト

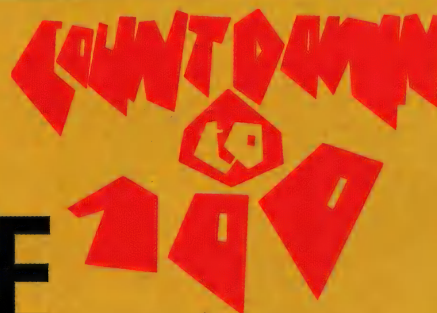
オムニバス

井上睦都実

橘いずみ

八反田理子

### 応募方法

●今月は、なんとオムニバス。井上睦都実、橘いずみ、八反田理子の3アーティストの歌声が、いっぺんに聞けちゃうという、大サービス。こんな、ウレシイ機会はめったにないよ。しかも抽選で3000名だからまず安心(笑)ドシドシ応募してください。応募方法はとってもカンタン。官製ハガキに、あなたの住所・名前・TEL、そして3人に興味を持った点(1人でも良いよ!!)を書いて、〒156-91 東京都世田谷区千歳郵便局私書箱25号 ソニー・マガジンズ「パチ▸パチSOUND MAGAZINE⑤」係まで。抽選で3000名の方にお届けします。

# COUNT DOWN to 100 イベント決定!!

## Mr.Children

クリスマス・ウォーミングアップ
スペシャルゲスト呼びまくり!!

**12月19日(土)**
**川崎クラブチッタ**

詳しくは151ページを!!

## ロッテンハッツ

PATi PATi PRESENTS
ROTTENHATS MEETING 第2弾

全国6ケ所初ツアーに御招待!! もちろん無料

●そんなわけで、楽しかった夏のイベントも終わり、次のお楽しみはク・リ・ス・マ・スっ!! (←単純) 基本的に、ワンマン・ライブは東京・大阪・名古屋でしかやったことのないロッテンハッツが、はじめて全国のみなさまに顔出しに行きます。最近、パチ▸パチのイベントっつうと、関東方面の人しか行けないからさぁ——なんて思ってたところだったでしょ。ロッテンハッツでよければ、会いに行きますよっ。

詳しくは148ページを!!

## 創刊100号に向けて全員サービス企画

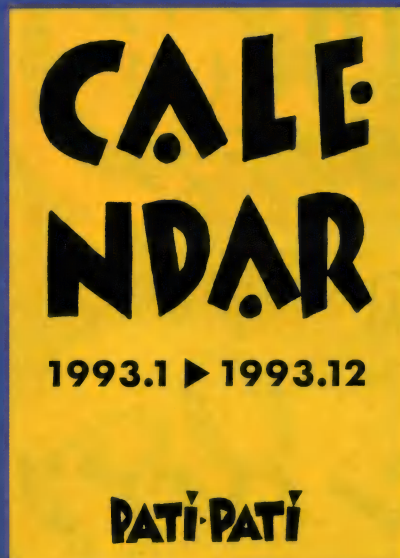
# その1 カレンダー締め切り迫る.!!

COUNTDOWN to 100

●創刊 100 号（1993年 3 月発売 4 月号）に向かっての、約 1 年間のぶっとおし企画。かわいい卓上アーティスト・ミニ・カレンダーとパチ▸パチの特撮PHOTOで作るアーティスト写真文庫を 3 段階のステップで全員にサービスします。その 1〝カレンダー〟の受付は、10月15日消印分まで!!　よく読んで応募してね。

## その1

### 1993ミニ・カレンダー（1月〜6月）

CALENDAR
1993.1 ▶ 1993.12
PATi·PATi

●まずファースト・ステップは、特製アーティスト・カレンダー。卓上のとってもキュートなやつ。1993年 1 月〜 6 月のカレンダーで12アーティストを収録します。5 月号から10月号までの 6 か月間、毎号についた応募券〝その 1〟は集まりましたか？　6 枚集まったら、下の応募方法をよーく読んで、即応募してください。1 枚でも欠けると無効なので失くさないように気を付けてね。応募券 6 枚と、120 円切手で、カレンダーがアナタの自宅へ届きます。お届けは今年の12月上旬予定です。

## その2

### 1993ミニ・カレンダー（7月〜12月）

●そして、セカンド・ステップへ行きましょう。1993年カレンダーの 7 月〜12月版です。〝その 1〟と合わせて、年間カレンダーの完成というわけです。〝その 1〟と同じで、今月号〜1993年 4 月号までの 6 枚の応募券〝2〟を集めると、応募することができます。応募方法は〝その 1〟と同じです。受付開始は1993年 3 月を予定。お届けは、1993年の 6 月上旬予定です。

## その3

### パチ▸パチ特製写真文庫

●さて、ラスト〝その 3〟は、創刊 100 号まで 1 年間欠かさずパチ▸パチを買ってくれた人へのラッキー・チャンスです。パチ▸パチが特別製作するアーティスト写真文庫（ページ数、掲載アーティスト未定）をプレゼントします。応募方法は決定次第お知らせしますので、応募券 3 を絶対に捨てないで、大切に保存しておいてください。応募券を12枚集めよう!!

## とりあえず、その1の応募方法です。

●応募の締め切りは10月15日消印有効。

よく読んで間違えないように応募してください。①まず、封筒を 2 つ用意します。封筒A＝カレンダーを入れてみんなに返送するためのものです。返信用の72円切手を貼って、アナタの住所・氏名をはっきり書いてください。（※注意：そのまま返送しますので、必ず名前のあとに〝様〟まで書いてください。②封筒B＝応募用です。封筒A（折り曲げ可）と、下の欄にしっかり貼った 6 枚の応募券と切手 120 円分を入れます。そして表に62円切手を貼って〒156-91東京都世田谷区千歳郵便局私書箱25号　ソニー・マガジンズ　パチ▶パチ・カレンダー係まで送ってください。応募受付開始 9 月 9 日から。締め切り10月15日消印有効。

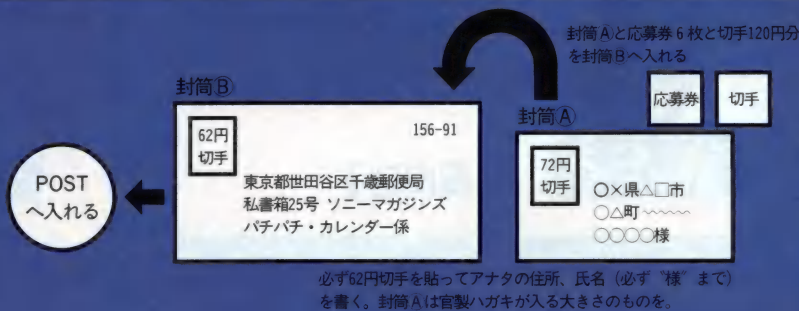
※注意：応募してくれた方全員にお送りしますが、返信用封筒に住所がちゃんと書かれていなかったり、切手が貼っていなかったり、応募券が規定どおり入っていなかったら、お送り出来ない場合があります。また封筒Aが小さすぎると送れない場合があります。封筒Aは必ず、官製ハガキが充分入る大きさのものを用意してください。また多数の応募が予想されます。作業上お手許に届くには少々時間がかかります。従って12月上旬を過ぎる場合もありますが、御了承ください。

POST へ入れる

封筒Ⓑ
62円切手
156-91
東京都世田谷区千歳郵便局
私書箱25号 ソニーマガジンズ
パチパチ・カレンダー係

封筒Ⓐと応募券 6 枚と切手120円分を封筒Ⓑへ入れる

応募券　切手

封筒Ⓐ
72円切手
○×県△□市
○△町 〜〜〜
○○○○様

必ず62円切手を貼ってアナタの住所、氏名（必ず〝様〟まで）を書く。封筒Ⓐは官製ハガキが入る大きさのものを。

| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|---|---|---|---|---|---|

ここに 6 枚の応募券 1 を貼り、切り取ったら封筒Ⓑへ

応募券 2
PATi▶PATi
1993・7〜12
カレンダー
全員サービス

応募券 3
PATi▶PATi
写真文庫
全員サービス

# 好評パチ▶パチ FAXサービス

### 小室哲哉

ロスから一時帰国した小室さんへQ＆A大特集。またロスへ行ってしまうんだって(悲)サインつきだよー!!

### 木根&宇都宮

なんと木根さん&宇都宮さんが登場!! ソロ活動中の2人の最新情報をお届けします。お楽しみに。

### 谷口宗一

お待たせしました!! 正真正銘、谷口くんの最新情報だよ。なんとBAKUの単行本も少し読めるよーん!!

### リンドバーグ

3週連続リリースするリンドバーグを記念してFAX。12月8日発売予定の単行本のこぼれ話しもあるよ。

**FAX·BOX番号 8807555-05**

※10月10から料金が240円から180円へと、とってもお得に!!

●大好評のこのサービスは、伝言FAXを使ったものです。この伝言FAXを使って、"みんなと遊ぼう" がテーマです。アーティストからのメッセージ、パチ▶パチの裏情報、そして締切りに間に合わなかった最新情報、最新ライブレポートetcがFAXであなたの手許に取り出せます。取り出し方はとっても簡単。(下の使い方をよく読んでね)FAXは家庭のものでも、オフィスのものでも大丈夫。FAXのない人もFAXの置いてあるコンビニ（下段参照）で取り出すことができます。

第7回目に登場するアーティストは、小室哲哉、木根尚登&宇都宮隆、谷口宗一、リンドバーグ。右に書いてある内容メニューを書いてある期間にFAXで自由に取り出せます。

※注意：FAX使用料がかかります。伝言FAX設置コンビニでは1回180円。東京・千葉・埼玉・神奈川の自宅orオフィス使用の場合1回約180円です。(値下げしてお得!! 詳しくは下段参照)

# MONTHLY MENU

## 小室哲哉・FAX
## 10月9日〜10月16日

●ロサンゼルスに行っていた小室さんが、一時帰国。その間に行われた撮影&取材。表紙&巻頭特集はいかがでしたか？ FAXでは、またロスへ旅立つ直前の小室さんへのQ&A大特集。FAXにはなんと、小室さんのサンイもつくよー!!

## 谷口宗一・FAX
## 10月17日〜10月23日

●内容はまだ決まってませんが、谷口くんの情報を早く知りたいというファンの皆さんのために緊急FAX。正真正銘、谷口くんの最新情報だよ。走って調べるからお楽しみに(笑) なんと、BAKUの単行本の一部もちょっと読めるよーん!!

## 木根尚登&宇都宮隆・FAX
## 10月24日〜10月31日

●ソロ活動に力を入れている木根尚登さんと宇都宮隆さんが登場!! レコーディング中の木根さんへのインタビュー、宇都宮さんの最新情報などなど、今後の2人の動きを追うのに参考となる情報をFAXにてお送りします!! サインが入るかも!?

## リンドバーグ・FAX
## 11月1日〜11月8日

●11月6日から、シングル2枚、アルバム1枚を、3週間連続してリリースするリンドバーグを記念してのFAXだよーん。なんとまぁ、スゴイことですよね、本当に。12月8日に発売予定の単行本"リンドバーグストーリー"のこぼれ話も少しね。

FAXはあっても、一部、情報が取り出せない地域があります。編集部では、FAXの内容に関するお問い合わせには、一切お答え出来ませんので、御了承ください。(情報が取り出せる地域は、今、序々に増えているので、その日がやって来るのをじっくりと待とう!)。

## 伝言FAXの使い方を、Catchせよ!

受話器をとって 0990-31-8012 をプッシュ。
東京・埼玉・千葉・神奈川のプッシュ回線のFAXからの場合、#8012でもご利用いただけます。
→ PBトーンの出せるダイヤル回線のFAXの場合、トーンの切り替えをする。トーンまたはシグナルチェンジのボタンをプッシュ
（プッシュ回線の場合）
→ 音声ガイダンスにしたがって5と#をプッシュ。
音声ガイダンスが繰り返した場合はダイヤル回線ですのでトーンの切り替えをしてください。
→ つづいてBOX番号と#をプッシュ。
→ BOX番号を確認して#をプッシュ。
→ スタートのボタンを押し、受話器を元にもどす。
→ FAX用紙を受け取る。

※NTTダイヤルQ²サービスエリア外ではご利用になれません。サービスエリアはNTT（局番なしの116）でお確かめください。

伝言ＦＡＸは、クロネコヤマトが開発した新しい情報メディア。オフィスや家庭のＦＡＸから、どなたでもご利用になれます。(料金は4〜7.5秒ごとに10円)。使い方は上図に従えばカンタン。尚一部のＦＡＸでご利用になれない場合があります。(ＡＭ3：00〜5：00はご利用いただけません）ＦＡＸをお持ちでない方なら、お近くの伝言ＦＡＸステーションのあるコンビニエンス・ストア（ファミリーマート、ローソン、サンチェーン、サンクスなど）からでもＯＫです。(料金は1回240円）伝言ＦＡＸはパチ▶パチＦＡＸ以外にも様々な情報が取り出せます。その他情報やＦＡＸがうまく取り出せないなど、伝言ＦＡＸのお問い合わせは、クロネコヤマトの伝言ＦＡＸセンター0120-00-8010（フリーダイヤル）へどうぞ。

# パチパチ読本。No.9

B5判・320ページ

なんでもあり

〝思い出〟なんかにしたくない！

# BAKU解散

**これが最後の表紙&メイン特集60ページ!!**

▶8月のEASTのLIVEをもって、バンドとしてのすべての活動に終止符を打ったばかりのBAKU。3人による最後の特写とインタビュー、最後のステージのレポートetc.でお届けする、BAKU解散特集。BAKUという枠組を超えたところで、3人が何を考え、何をしようとしているのか？　今後の彼らのステップをも予感させる〝現在〟の彼らのメッセージを聞いてほしい。

●パチパチ読本おもな登場人物

**電気GROOVE** ●最新アルバム〝カラテカ〟をリリース、シップードトーの進軍を続ける嵐の3匹。卓球が吠える!! 瀧が謎!! そして、まりんがカワイイ!! 読まなきゃソン。

**浅倉大介** ●TMNのサウンド・サポートを契機に、その実力が注目され始めた、浅倉大介。ソロ活動に向ける彼のすべてを、大ボリュームで紹介します。

**中村あゆみ** ●田家秀樹のテーマ・インタビュー〝ROCK'N'ROLL FRIENDSHIP〟は、中村あゆみが登場。久々のトークをたっぷりとお見せします。

**米米CLUB** ●お待たせしました。〝N〟マガジン、ついに発売!! 書店に走れ!! それでもって、ちょっと裏話が知りたい人は、この記事を読めばGOOD!!

**清水ミチコ vs 久本雅美** ●単行本も発売になるSPEAK EASYの読本スペシャル・ロング・バージョン。WAHAHA本舗の久本雅美とのトークをバッチリ掲載！

**杏子** ●好評の連載対談、〝サエキけんぞうのマニョマニョトーク〟の今回のゲストは、ソロ活動で新しい魅力を見せてくれる杏子サンが登場！

**大江千里** ●この8月も、恒例の西武球場でのスタジアムライブ〝第5回納涼千里天国〟を大成功させた千里クンから新しいメッセージをあなたに——。

パチパチ読本
第9号
定価　680円（税込）

**絶賛発売中！**

# BACK NUMBER(バックナンバー)ジョウホウ!!

●1月号
《91年12月9日発売》
表紙&巻頭特集●BAKU
特集●UNICORN/J(S)W/B'z/BUCK-TICK 他

●2月号
《92年1月9日発売》
表紙&巻頭特集●V2
特集●B'z/UNICORN/BAKU/J(S)W 他

●3月号
《92年2月9日発売》
表紙&巻頭特集●布袋寅泰
特集●B'z/BAKU/TMN/UNICORN/米米CLUB 他

●4月号
《92年3月9日発売》
表紙&巻頭特集●BUCK-TICK
特集●B'z/J(S)W/TMN/UNICORN/BAKU 他

●5月号
《92年4月9日発売》
表紙&巻頭特集●UNICORN
特集●松本孝弘/BUCK-TICK/J(S)W/米米CLUB 他

●6月号
《92年5月9日発売》
表紙&巻頭特集●寺田
特集●B'z/J(S)W/TMN/BAKU/THE BOOM 他

●7月号
《92年6月9日発売》
表紙&巻頭特集●米米CLUB
特集●UNICORN&寺田/尾崎豊/BAKU/J(S)W 他

●8月号
《92年7月9日発売》
表紙&巻頭特集●PRINCESS$^2$
特集●米米CLUB&スカパラ/UNICORN/B'z 他

●9月号
《928月8日発売》
表紙&巻頭特集●UNICORN
特集●BAKU/B'Z/氷室京介/福山雅治/J(S)W 他

●読本6
《92年3月31日発売》
表紙&巻頭特集●LINDBERG
特集●忘れないぜ! BARBEE BOYS その他企画満載

●読本7
《92年5月30日発売》
表紙&巻頭特集●THE ALFEE
特集●追悼、尾崎豊/吉田栄作 その他企画満載

●スタイル'91~'92
1991~1992年号
登場アーティスト全て大特集!!
UNICORN/J(S)W/B'z/BAKU/TMN 他

●9月は、2本も映画を観ました。これは、最近の私にしてはめずらしいこと。なかなか映画なんて観に行くヒマもないので。で、何を観たかというと、まずは〝遠き落日〟シブイッ!! 野口英世博士のお話しですが、野口英世の母親役を演じた、三田佳子さんの演技が良かったなぁ。母子愛を中心に描いた感動ものでした。そしてもう1本は〝遥かなる大地へ〟いやー、今さらながら、トム・クルーズのカッコ良さに感ゲキ。本当にいい男だわー。あの優しそうな笑顔、たくましそうな身体つき。いいわぁ♡←ただのミーハー。奥さんと一緒に出演しちゃう所がニクイなぁ。(ちょっと、うらやましい)映画自体もハッピーエンドでほのぼのしました。いやー、人間、読書や音楽や映画や、心安まる時間が必要ですね。

●バックナンバーの購入方法です。書店さんに行って「ソニー・マガジンズから出ているパチ▼パチ○月号を取り寄せて下さい」とお願いして下さい。書店さんがソニー・マガジンズに注文してくれますので、その書店さんに本が届きます。ポスターのついてないものがありますが、御了承下さい。

# パチパチ12月号は11月9日(月)発売!!

●やっと涼しくなって来ましたねー。スポーツの秋・読書の秋・食欲の秋です。夜になると庭のかた隅から、鈴虫の鳴き声が聞こえて来たりして、なんかいい感じと思う今日この頃。過ごしやすくて気持ち良いしねー。私は先月、土・日を使ってキャンプに行って来ました。神奈川県の相模湖のそばまで。いやー、最高ですなぁ。シチューを作ったり、バーベキューをしたり、ビールがやたらとおいしく感じたわけです。(注:アルコールは20歳を過ぎてからだよん)その日は満月の夜で、月の光は本当に明るく、ロマンティックな夜でしたわ。そんな時に、横に彼がいてくれたら……なぁ……。というわけで、自然の中で過ごすのは、本当にGOODです。藤本さんなんて今、キャンプにこりまくってて、ツライことがある時は、キャンプのことを思い出すという位、キャンプを楽しみにしているのだ。学生の皆さんは、月に1回、土曜日に学校が休みになったことですし、たまにはハネをのばしてみてはどうかな? こっていると言えば、この頃、アゴウさんがテレビゲームに夢中なのだ。テトリスみたいで、色を合わせてブロックをくずして行くというゲームなんだけど、知ってる? これがけっこうオモシロイのだよ。てな感じで、皆さんは、なんの秋を過ごすのでしょうか? 私はやっぱりねー、食欲の秋を選びますわ。では、各地の発売日です。

10日発売→山形県・石川県
11日発売→岩手県・秋田県・新潟県
富山県・福井県・岡山県
広島県・福岡県・香川県
12日発売→北海道・青森県・鳥取県
島根県・愛媛県・愛知県
福岡県を除く九州各県
13日発売→沖縄県

# PATi-PATi 後記。

●いったい世の中のエッセイストやコラムニストと呼ばれる人たちはどうしてあんなに次から次へと話題があるのでしょうか? いちサラリーマン編集者である(編)$Y^2$にとって、時には毎月この欄を駄文で埋めなければならないのは余りにも酷なこと。読者の皆様には誠に申し訳ないことだと常々思っております。パチ▼パチではなぜか、編集後記は表紙・巻頭特集担当編集者が書かねばならないというしきたりになっていて、何の因果か、私の担当アーティストの方々が表紙を飾ることが非常に多くて、それはとても嬉しい、編集者冥利に尽きることなのですが、それにしても、ああ、後記。たくさん書いたところで嫁入り道具になるわけでもなし……。

だいたい私はとてもシンプルに生きていて、(というと聞こえがいいでしょ?) いろんなことに興味がないわけだ。これでは人生つまらないと思いつつも、生活はいたってシンプル。(あ、部屋は散らかってますけど) 告白するとですね、私は新聞を取っていない。TVもめったに見ない。ぐうたらだから遊びにも行かない。どーです、雑誌編集者にはあるまじきこの生活態度。そんなことだから〝○×△/〟などとおしかりを受けても、〝ごもっともです、ごめんなさい〟と頭を下げるしかない意識の低さ。しかもボーッとしているからいろんなことを見過ごすんだな。

それにひきかえ(比べたりしてごめんなさい。一応文章の流れとして許して下さい)小室哲哉さんはいつお会いしても、すばらしい。インタビュアーのあらゆる分野の質問にも打てば響くように答え、(つまり知識が広く高感度アンテナの持ち主) またあるひとつのことについて話すにしても、各雑誌の読者層まで考えて(かどうか本当のところはわかりませんが) 面白く話して下さるので、雑誌ごとに違うインタビューが読めるのです。ミュージシャンなのに講義が上手な教授のよう。それでいて、いつお会いしても努力のかけらどころか、生活感も全く感じられない人で、かと言ってアーティストにありがちな気難しさなど全くなくて、で、あの仕事量です。今回の記事の中で小貫信昭さんが書いているように、バランス感覚が発達した人なのでしょう。仕事も含めすべてを楽しんでいるように見えます。今回のロケ場所までの長い長〜〜い道のりも、早起きも楽しんでいただけてたら嬉しいのですが……(なんちゃって。そりゃないですね)

あ、インタビューには弱冠遅刻されました。事務所の塚田さんはおっしゃいました。「昨夜はレコーディングは早く……12時(もちろん深夜の)くらいに終わったんですけどねぇ、その後が……どうだったのか……」──つまりレコーディングが深夜に終了してもその後遊びに出かける場合もある、と。え? 普通ですか? そりゃ仕事帰りのサラリーマンだって遊びに行くもんね、でもサラリーマンが飲んでたって、OLが踊ってたってちーっともうらやましいと思わないけど、やっぱり先生が遊んでるのはうらやましくない? だって何か楽しそうじゃん。あ、私? 仕事は深夜に終わるけど、もっちろん帰りに寄る所はないざんす。$Y^2$

# 布袋寅泰
# ギタリズムIII
# NOW ON SALE

TOCT-6658 ¥3,000 (incl.tax)

**GUITARHYTHM III ANALOG DISC**

全曲+BONUS TRACK(新曲)一曲収録 / 完全予約限定盤 / 11.18発売予定 / 詳しくは店頭で

New Single "LONELY★WILD" Now On Sale ("BOUTIQUE JOY" TV-CF Song) TODT-2881 ¥930 (incl.tax)

## GUITARHYTHM WILD

| Date | Venue | | Promoter | Tel |
|---|---|---|---|---|
| 10/12・13 | 渋谷公会堂 | SOLD OUT! | Disk Garage | 03-5704-3200 |
| 10/16 | 群馬県民会館 | | Flip Side | 0286-33-1009 |
| 10/18・19 | 日本武道館 | SOLD OUT! | Disk Garage | 03-5704-3200 |
| 10/22 | 大阪城ホール | SOLD OUT! | Yumebanchi Osaka | 06 -341 -3525 |
| 10/25 | 宇都宮市文化会館 | | Flip Side | 0286-33-1009 |
| 10/27 | 仙台サンプラザ | SOLD OUT! | G.I.P | 022-222-9999 |
| 10/30・31 | 福岡サンパレス | | Brains | 092-771-8121 |
| 11/13 | 静岡市民文化会館 | | Sunday Folk Shizuoka | 0542-84-9999 |
| 11/14 | 京都会館/第1ホール | SOLD OUT! | J Ongakukikaku | 075-231-7776 |
| 11/16 | 岡山市民会館 | | Yumebanchi Osaka | 0862-31-3531 |
| 11/17・18 | 名古屋市民会館 | | Sunday Folk Nagoya | 052-320-9100 |
| 11/20 | 広島厚生年金会館 | | Yumebanchi Hiroshima | 082-249-3571 |
| 11/24・25 | 札幌ペニーレイン24 | | Wess | 011-613-9000 |
| 11/27 | 札幌市民会館 | | Wess | 011-613-9000 |
| 12/ 2・3 | 大阪W'OHOL | | Yumebanchi Osaka | 06 -341 -3525 |
| 12/12 | 鹿児島市民文化ホール | | K&M Corp. | 0992-23-7710 |
| 12/15・16 | 大阪厚生年金会館 | | Yumebanchi Osaka | 06 -341 -3525 |
| 12/19・20 | 横浜アリーナ | | Disk Garage | 03-5704-3200 |
| 12/26 | 神戸国際会館 | | Yumebanchi | 0862-31-3531 |

Tour Total Information : 03-5466-1325 IRc2 CORPORATION

EASTWORLD TOSHIBA-EMI LIMITED

すべての若き
ロックンロール
ボヘミアンに捧ぐ

NOV.1992
11
VOL.95
PATi-PATi
第8巻第12号1992年11月9日発行昭和60年9月10日第3種郵便物認可
発行　株式会社　ソニー・マガジンズ
〒102　東京都千代田区五番町6-2
電話　03-3234-5811(販売)03-3234-7906(編集)03-3234-5101(広告)
おもしろ元気ヤング・ミュージック・マガジン



雑誌07555－11　定価◉600円(本体583円)　T1007555110603


印刷/凸版印刷株式会社